

令和2年度
修士論文

鳥羽市海女集落における民家形態の多様性とその変遷に関する研究
～景観調査および写真アーカイブ調査を通じて～



指導教員

浅野 聡 教授

大井 隆弘 助教

三重大学大学院工学研究科建築学専攻

荒木 菜月海

修士論文

鳥羽市海女集落における民家形態の多様性とその変遷に関する研究
—景観調査および写真アーカイブ調査を通じて—

【目次】

第1章 研究調査の概要	
<hr/>	
1-1 研究の背景	003
1-2 研究の目的	006
1-3 研究の対象	006
1-4 研究の構成	016
1-5 研究の方法	017
1-6 用語の定義	017
第2章 既往研究の整理	
<hr/>	
2-1 鳥羽市域を扱った調査・研究	019
2-2 民家に関する調査・研究	021
2-3 デザインサーヴェイに関する調査・研究	022
2-4 論文の位置付け	024
第3章 鳥羽市における海女集落の概要	
<hr/>	
3-1 文献調査の概要	025
3-2 地形区分	025
3-3 生業と土地利用	027
3-4 気候(台風)	038
第4章 鳥羽市における海女集落の集落構成	
<hr/>	
4-1 調査の概要	044
4-2 地形と集落分布	050
4-3 街路形態	053
4-4 社寺等の分布	062
4-5 木造主屋の分布	063
4-6 小括	065

第5章 鳥羽市における海女集落の木造主屋の形態

5-1 調査の概要	068
5-2 階数	070
5-3 二階建て	082
5-4 屋根形式	094
5-5 入口方向	106
5-6 妻入と平入	117
5-7 玄関の位置	129
5-8 風呂の位置	141
5-9 小括	153

第6章 鳥羽市における海女集落のかつての集落景観

6-1 アーカイブ調査の概要	166
6-2 かつての漁港と集落	179
6-2 かつての木造主屋	190
6-3 小括	210

第7章 研究の総括

7-1 民家形態の多様性と景観の変遷	212
7-2 今後の課題	213

謝辞

資料編 第6章におけるアーカイブ調査の対象資料一覧

1 石鏡	001
2 国崎	019
3 相差	039
4 答志	045
5 和具	049
6 菅島	055
7 神島	065

和文梗概

第 1 章

研究調査の概要



1-1	研究の背景	003
1-2	研究の目的	006
1-3	研究の対象	006
1-4	研究の構成	016
1-5	研究の方法	017
1-6	用語の定義	017

1-1 研究の背景

三重県の鳥羽・志摩地域は、全国の中で海女が最も多い地域であり、伝統的な海女漁が継承されていることが地域の特色である。2017年3月に「鳥羽・志摩の海女漁の技術」が国の重要無形民俗文化財に指定され、2019年には「海女(Ama)に出逢えるまち鳥羽・志摩～素潜り漁に生きる女性たち」が日本遺産に認定された。

また、鳥羽・志摩地域は、伊勢神宮を中心とした歴史・文化やリアス海岸に代表される自然環境が存在することも大きな特色であり、海女漁も伊勢神宮と密接な関わりを持ちながら、古代から伝承されてきたと考えられている。同地域は戦後初の国立公園として1946年伊勢志摩国立公園に指定されており、2016年には国立公園70周年を迎えることになったが、その際、観光庁の「明日の日本を支える観光ビジョン」(2016年)にもとづいて、重点的に環境整備を行う8つの国立公園の1つに選定されることとなった。選定を受けて、国や三重県等の関係機関から構成される伊勢志摩国立公園地域協議会によって「伊勢志摩国立公園ステップアッププログラム2020」が策定され、この中で、国立公園内の景観行政を充実させていくことが施策の1つとして位置づけられた。

鳥羽市は、これらを背景にして、景観計画の策定に着手(2018～2020年度)したが、ここでは海女漁が盛んな集落(以下、海女集落)の景観特性と景観構造の把握が重要な課題となった。鳥羽市域の漁村集落については、これまでも離島を中心に数多くの研究が行われており、また海女についても民俗学等の分野で大きな蓄積がある。しかし、海女集落としての景観に着目した研究はほとんど確認できなかったことから、筆者らは2018年度から2020年度にわたり、石鏡、国崎、相差、答志、和具、菅島、神島の調査研究を行い(以下「7地区」の記載はこれらの地区を指す)、報告書第I編～III編(2018～2020年度)注1～3)において、海女集落の景観の現状と課題、景観特性について報告した。

ここでは、景観構造を、①地形(+地質)、②土地利用(+海底利用)、③建築物(工作物・土木構造物)、④生活者(+風俗慣習)の4つの要素から捉え、これらが積層することによって景観が形成されると考えた。その様子を図化したものを、 1-1-1 に示す通り「景観構造ピラミッド」と称している。 1-1-2 に例として示した答志の場合のように、「景観構造ピラミッド」は、(i)シマ、(ii)イソ(磯)、(iii)サキ(崎)、(iv)ハマ(浜)、(v)集落、(vi)農地、(vii)森林に大別して捉えることができ、この7つの「景観構造ピラミッド」が集積して、集落全体の景観が総合的に形成される。これまでの調査研究を通して、海女集落の景観は、以上の(vi)農地、(vii)森林を除く、(i)～(v)の5つの「景観構造ピラミッド」の①～④の要素において、漁村集落の景観を基本として、それに海女集落としての景観資源が共存することによって、総合的に形成されていることが明らかとなった。例えば、①地形(+地質)については、(ii)イソ、(iii)サキ、(iv)ハマにおいて、全ての集落で集落が海に身を晒すように立地しており、海女漁を存続させるに適した地形が景観のベースになっていることが海女集落においては共通している。他にも、③建築物(工作物・土木構造物)については(v)集落における海女に関する社寺や、(iv)ハマにおける海女小屋などの景観資源が点在していること、④生活者(+風俗慣習)については(i)～(v)のすべてにおいて海女に関する年中行事が行われていることなどが、海女集落である各地区において共通する景観構造特性であると考えられる。

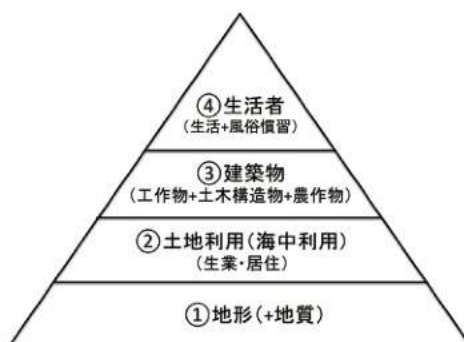


図 1-1-1 景観構造ピラミッド
(報告書第 I 編 p260 より転載)

1-2 研究の目的

以上のように海女集落には共通する景観構造や景観特性が存在する一方で、鳥羽市の各集落の景観は非常に多様であり、その魅力は一様ではない。そこで本研究では、この海女集落の景観に多様性をもたらす要因とは何かを探ることを目的として、特に景観の概要を決定する集落構成、および木造主屋の形態に着目した7地区の比較研究を行う。

また、現在、鳥羽市の景観計画において、7地区は「重点地区」の候補地となっており、実際に指定されれば、景観法に基づき景観形成基準を定めることになる。そこでは、各地区で今後目指す景観について歴史上のどの点に遡って決定するかの議論が行われることとなり、集落景観の現状の把握に加え、かつての集落の姿や、変化の様子を把握し、その特性を理解しておくことが必要になる。そこで、本研究では、その手がかりとなる古い写真資料を収集し、かつての集落の姿を探りたい。

1-3 研究の対象

1-3-1 研究対象地区の選定

本調査研究の対象地区は、報告書第I編～III編において景観調査を行なった鳥羽市の海女集落7地区と同一の地区とする。地区の選定は海女操業人数をもとに決定しており、海の博物館の調査^{注4)}を通じて、鳥羽市において2017年時点で概ね50名程度の海女操業人数が確認されている漁村集落地区とした。該当する地区は、本土では石鏡、国崎、相差の3地区であり、離島では答志、和具、菅島、神島の4地区である。

海女操業人数の変化

		2018年海の博物館調査										
		1949年	1972年	1978年	1989年	1997年	1999年	2004年	2007年	2010年	2014年	2017年
		昭和24年	昭和47年	昭和53年	平成元年	平成9年	平成11年	平成16年	平成19年	平成22年	平成26年	平成29年
鳥羽市	小浜	2	16	2	1	2	2	2	2	0	0	0
	桃取	-	-	-	-	3	3	3	2	13	1	1
	菅島	892	297	400	110	100	65	62	65	75	60	55
	答志	1000	310	300	171	150	80	115	76	96	79	65
	和具浦		300	300	120	100	75	86	87	62	50	46
	神島	95	162	147	111	125	80	64	48	52	63	38
	安楽島	32	6	11	10	9	8	10	11	10	7	15
	浦村		14	6	14	9	6	6	6	7	3	4
	石鏡	298	245	215	138	106	100	64	87	85	66	42
	国崎		146	170	111	80	78	79	60	54	56	50
	相差		510	350	255	220	210	170	140	100	108	100
	畔蛸	796	20	29	29	20	15	16	10	8	8	7
	千賀堅子		42	35	6	8	8	4	3	3	4	4
千賀				6	6	5	3	4	0	0	3	
		3115	2068	1965	1084	938	735	684	601	565	505	430
志摩市	安乗	301	190	115	70	44	34	28	45	23	17	16
	国府	25	15		8	3	3	3	8	8	2	2
	甲賀	212	112	120	50	40	30	27	20	20	14	10
	志島	192	180	80	39	27	24	20	17	14	11	7
	畔名	200	86	55	19	12	10	9	8	6	4	2
	名田	52	80	60	20	9	6	3	5	5	7	4
	波切	200	110	179	50	44	50	50	50	27	20	7
	船越	247	90	100	54	70	46	40	45	55	25	33
	片田	408	400	375	131	143	107	86	63	53	36	38
	布施田	220	170	120	98	83	71	66	53	48	33	34
	和具	501	350	200	149	131	127	86	71	74	50	46
	越賀	166	123	120	88	69	76	35	31	32	14	14
	御座	215	100	74	59	48	36	21	30	16	15	10
	浜島	55	50	40	18	37	13	7	34	27	8	7
			2994	2056	1638	853	760	633	481	480	408	256
	合計	6109	4124	3603	1937	1698	1368	1165	1081	973	761	660

※1949年鳥羽・志摩漁撈調査報告(三重県教育委員会)より
 ※1972年以降の調査は海の博物館

図1-3-1 海女操業人数の変化
 (海の博物館調査より)

1-3-2 鳥羽市域と研究対象地区

鳥羽市は、志摩半島の東北端に位置し、伊勢湾口を形成する三重県南部の都市である。東に遠州灘、西に熊野灘があり、古来より海上交通の要所として栄えた。市域は、西は伊勢市、南は志摩市と隣接し、伊勢市とは二見丘陵、志摩市とは青峰山、横山丘陵と隔てられており、その分水嶺がほぼ市域の境界となっている。伊勢湾および太平洋上には、答志島、菅島、坂手島、神島などが浮かんでいる。

鳥羽市域と研究対象地区の位置を図 1-3-2 に示す。本土では、石鏡地区が志摩半島の北西端に、国崎地区が志摩半島の東側の最も太平洋に突き出た場所に、相差地区が鳥羽市域の南東端に隣接して位置する。また離島では、答志島の南東の岬に和具地区、岬の北側に答志地区、菅島の北東に菅島地区、神島の北西に神島地区が位置する。いずれの地区も海に身を晒すように立地する集落であり、海岸線の入り組んだ湾奥部に身を隠すように位置する今浦や本浦といった集落とは異なる。



図 1-3-2 鳥羽市域と研究対象地区

1-3-3 景観調査の対象範囲

1-3-3-1 調査対象範囲

次に、報告書第Ⅰ編～Ⅲ編の作成において実施した景観調査における各地区の調査対象範囲を図 1-3-3-1 から図 1-3-3-7 に、調査対象範囲の面積を表 1-3-3 に示す。なお、本研究においても研究対象範囲は同一のものとしている。

調査対象範囲の決定には、まず各地区に存在する組に所属する建築物を特定した上で、そのすべてが含まれることを前提とした。加えて、実施した調査は景観に注目したものであるため、建築物等の背景になる山並みや漁港等も視野に入れ、主に視線の区切りとなる山の稜線や海岸線、建築物群から十分に離れた主要道路によって囲まれる部分を調査対象範囲としている。図中の着色している建築物が組に属する建築物であり、報告書における建築物の調査はこれらを対象に行なっている。なお各組の詳細が確認できる図については報告書(第Ⅰ編 p62, p154、第Ⅱ編 p50, p116, p182、第Ⅲ編 p50, 168)を参照されたい。

表 1-3-3

地区名	調査対象範囲面積
石鏡	35.4ha
国崎	19.6ha
相差	213.5ha
答志	30.1ha
和具	57.5ha
菅島	55.7ha
神島	75.3ha

3-1-2-2 ベースマップの作成

景観調査において使用したベースマップの作成方法、および面積の算定方法を以下に示す。

①使用した資料

使用した地図資料は以下の通りで、鳥羽市より提供を受けている。

- ・三重県共有デジタル地図(pd5 版)

②使用したソフト

- ・ Adobe Illustrator (CS6、CC)
- ・ ARCHICAD (23)

③ベースマップの作成方法

- (i) 三重県共有デジタル地図の PDF データを Adobe Illustrator に読み込み、連結する。
- (ii) Adobe Illustrator 上で、調査対象建築物、調査対象範囲を描画する。
- (iii) (ii)を DXF データとし ARCHICAD に読み込み、調査対象範囲の面積を算定する。



図 1-3-3-1 石鏡の調査対象範囲

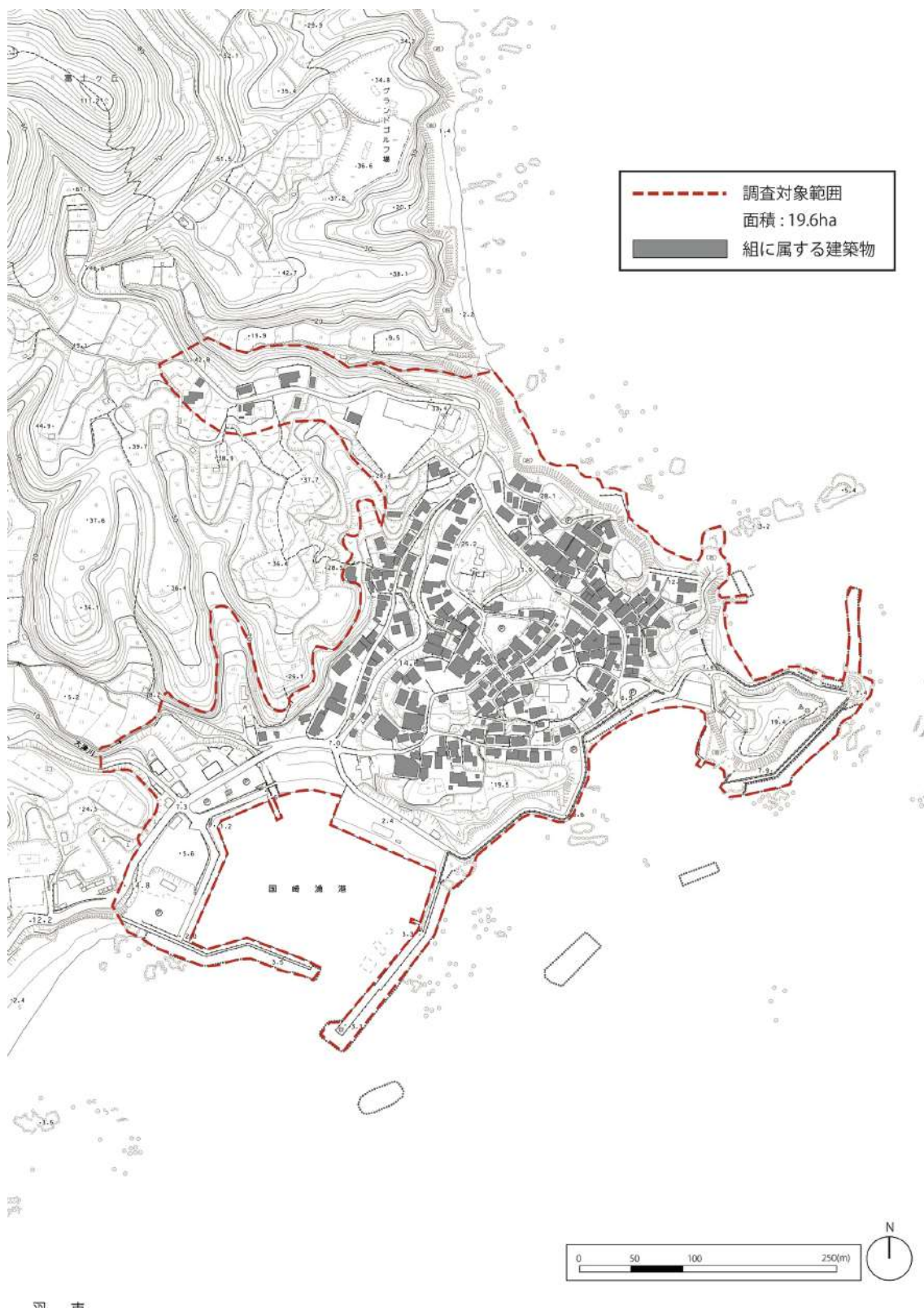


図 1-3-3-2 国崎の調査対象範囲



図 1-3-3-3 相差の調査対象範囲

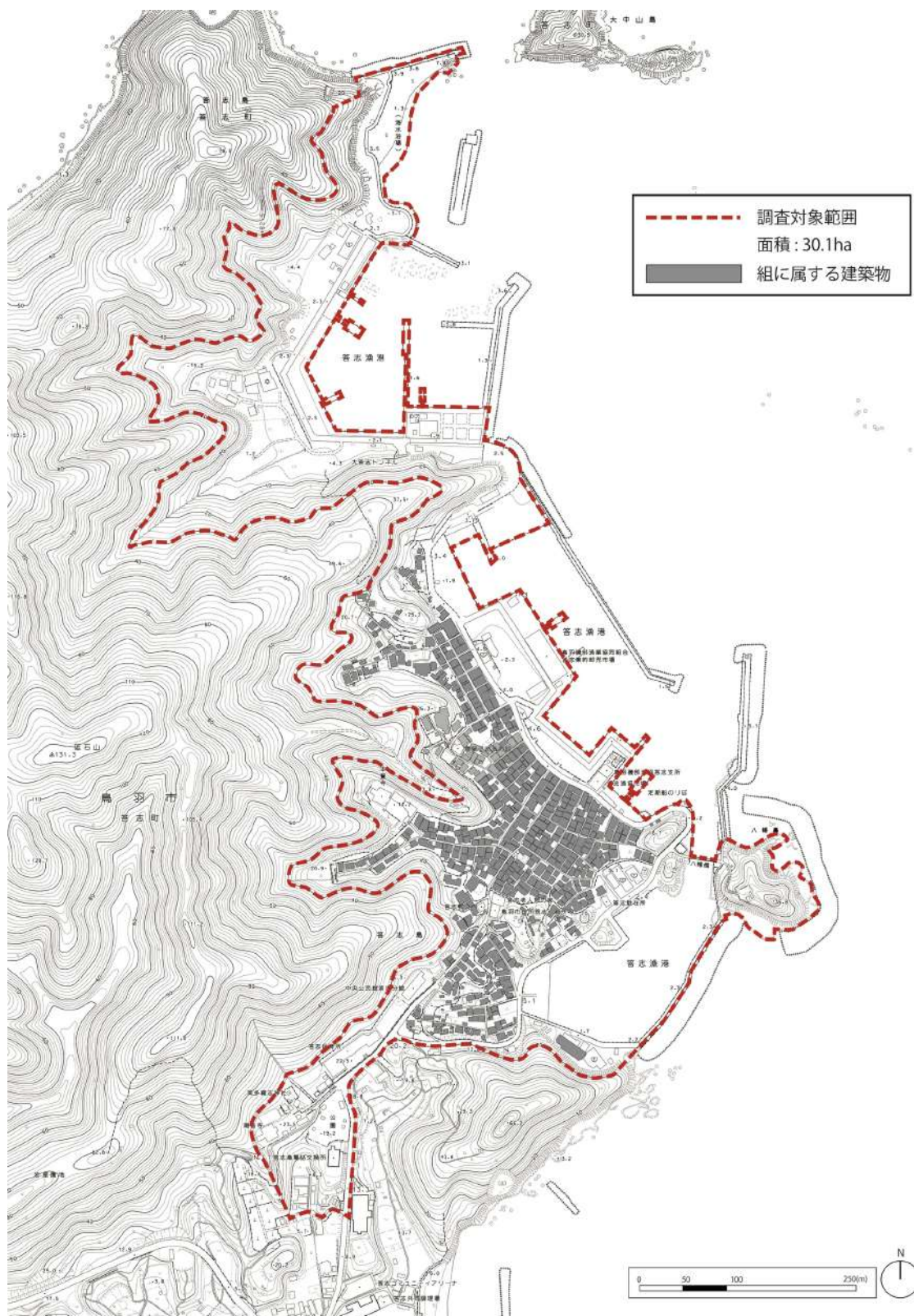


図 1-3-3-4 答志の調査対象範囲

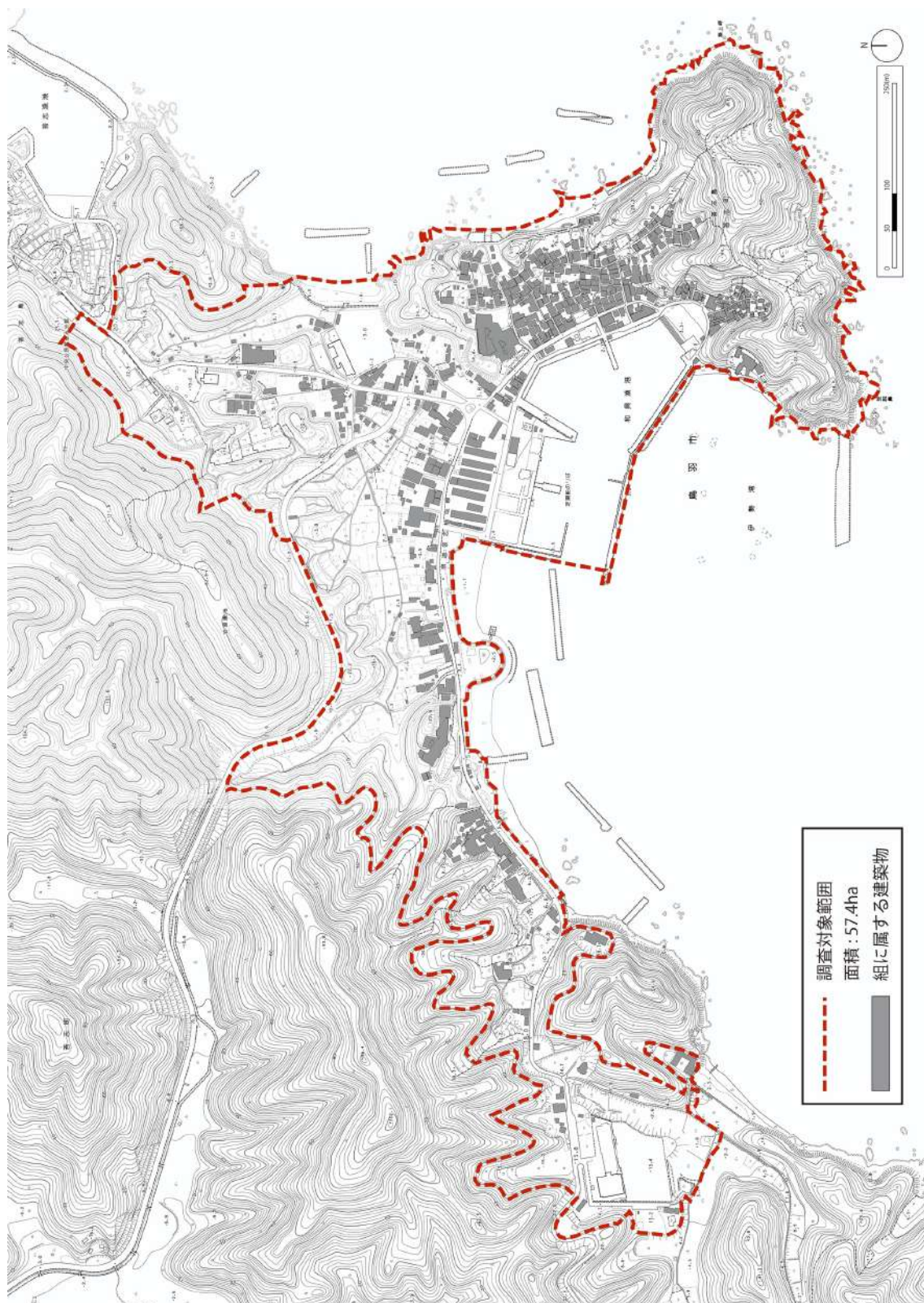


図 1-3-3-5 和具の調査対象範囲の分布

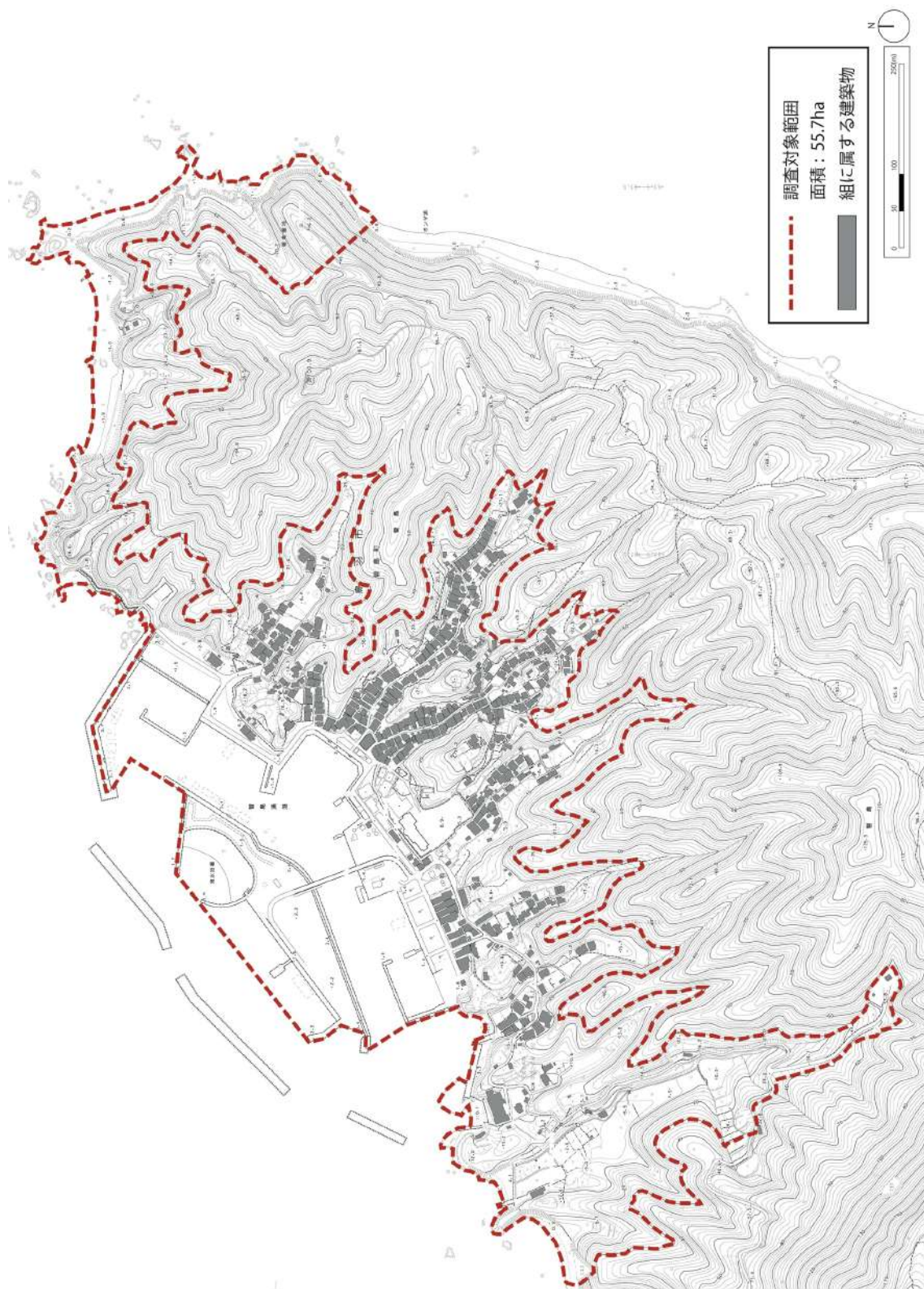


図 1-3-3-6 菅島の調査対象範囲の分布

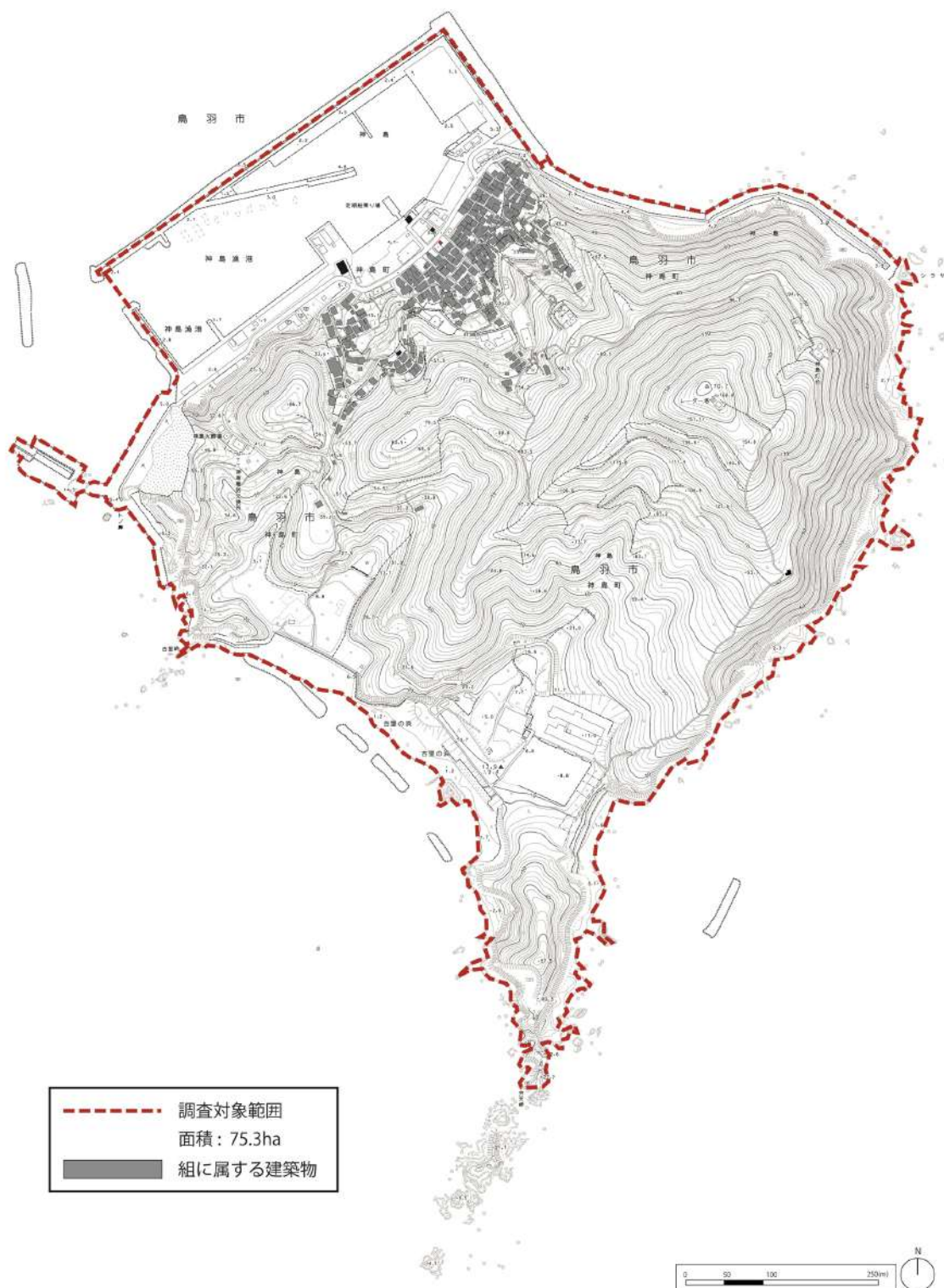


図 1-3-3-7 神島の調査対象範囲

1-4 研究の構成

研究のフローを図 1-4 に示す。第1章では、研究の背景、目的、研究対象地区の範囲、論文の構成、および研究方法を整理する。第2章、第3章は、フローにも示す通り報告書Ⅰ編～Ⅲ編で行なった文献調査の内容をもとに論述する。第2章では、海女集落全般と各地区に関する民俗学と建築学の分野における既往研究と著書の整理、第3章では、地形・地勢や生業など海女集落の概要を述べる。第4章では木造主屋の形態を分析するにあたりそのベースとなる地形、街路形態、木造主屋の分布について把握する。

その上で、第5章、および第6章の調査研究が本研究の主軸となる。まず、第5章では、現在の景観を対象とし木造主屋の形態について調査を行い、各地区の集落景観の考察および比較を行う。一方、第6章では、過去の集落景観を研究の対象とし、7地区の写真資料を整理し、各地区のかつての集落の姿を明らかにする。

最後に第7章では総括として、第5章で明らかになった現在の集落景観と、第6章で明らかになった過去の集落景観を照らし合わせ、第4章までの内容もふまえながら、鳥羽市の海女集落における民家形態の多様性とその変遷をまとめる。

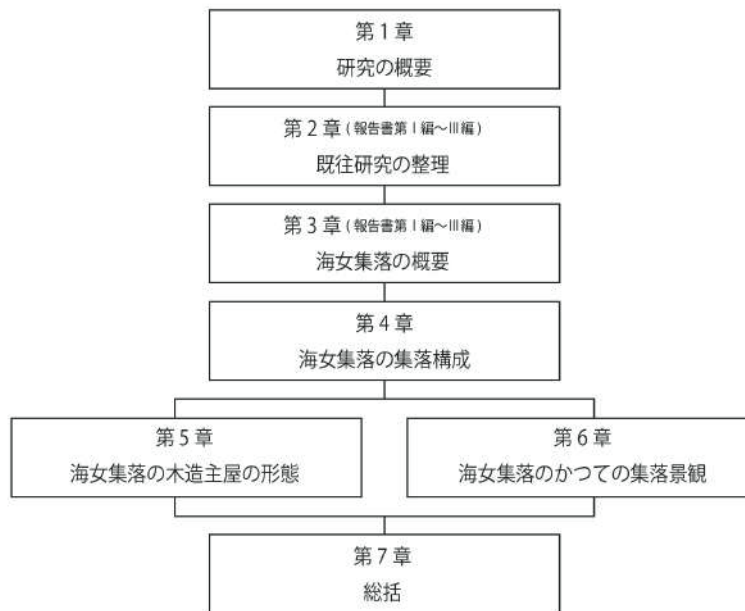


図 1-4 研究フロー

1-5 研究の方法

本研究の研究方法は、以下の通りである。なお(1)から(3)については、第2章および第3章に関するものであり、詳細については報告書(第Ⅰ編 p3、第Ⅱ編 p3、第Ⅲ編 p3)を参照されたい。また(4)(5)(6)についてはそれぞれ第4章、第5章、第6章の冒頭でより詳細に説明を行う。

- (1) 海女集落、デザインサーヴェイに関する既往研究の整理 …………… 【第2章】
- (2) 海女集落の歴史・文化・社会に関する文献資料調査 …………… 【第3章】
- (3) 海女集落7地区の土地利用・海中利用に関する文献資料調査 …………… 【第3章】

- (4) 集落構成に関する調査 …………… 【第4章】
各地区の集落構成については報告書第Ⅰ編～Ⅲ編においても述べられているが、本研究では新たに、立体地形図、屋根伏図の作成を行い、より詳細に街路形態や木造主屋の分布について調査を行う。

- (5) 木造主屋の形態に関する調査 …………… 【第4章】
各地区における建築物の調査は、景観調査の際に既に行われており、報告書第Ⅰ編～Ⅲ編においても述べられているが、そこでは組ごとに平均的な分析を行なうにとどまっている。本研究では建築物の中でも木造主屋に着目して、形態に関する7項目についてその割合および、分布の調査を行う。

- (6) かつての集落景観に関するアーカイブ調査 …………… 【第5章】
文献調査、アーカイブ調査により鳥羽市の古写真を収集し、撮影年代、撮影場所の特定を行い、集落全体と木造主屋の2つの視点から各地区のかつての集落景観の考察を行う。

1-6 用語の定義

本研究において使用する2種類の調査についての用語をここで定義する。以後以下の定義に準じて用語を使い分ける。

(1) 景観調査

報告書第Ⅰ編～Ⅲ編の作成に伴い、2018年度から2020年度にわたり行なった石鏡、国崎、相差、答志、和具、菅島、神島の7地区における景観調査。

(2) 追加調査

本研究の進行に伴い、内容の補足、確認のために行なった同7地区における追加の現地調査。

【第1章 注釈・引用文献・参考文献・URL】

〈報告書〉

- 1) 三重大学伊勢志摩サテライト海女研究センター、三重大学大学院工学研究科 浅野研究室・大井研究室：
『鳥羽市における海女集落の景観特性と景観構造に関する研究 第Ⅰ編：石鏡地区・国崎地区 -鳥羽市景
観計画における重点地区指定に向けて-』, 2018
- 2) 三重大学伊勢志摩サテライト海女研究センター、三重大学大学院工学研究科 浅野研究室・大井研究室：
『鳥羽市における海女集落の景観特性と景観構造に関する研究 第Ⅱ編：相差地区・答志地区・菅島地
区-鳥羽市景観計画における重点地区指定に向けて-』, 2019
- 3) 三重大学伊勢志摩サテライト海女研究センター、三重大学大学院工学研究科 浅野研究室・大井研究室：
『鳥羽市における海女集落の景観特性と景観構造に関する研究 第Ⅲ編：和具地区・神島地区 -鳥羽市景
観計画における重点地区指定に向けて-』, 2020
- 4) 海の博物館調査：http://www.umihaku.com/tenji/jyousestu/images/ama_women2017.pdf

第2章

既往研究の整理

2-1	鳥羽市域の民家を扱った調査・研究	019
2-2	各地区の民家について	021
2-3	デザインサーヴェイについて	022
2-4	論文の位置付け	024

2-1 鳥羽市域の民家を扱った調査・研究

表 2-1 は、報告書(第Ⅰ編 p28、第Ⅱ編 p34、第Ⅲ編 p27)をもとに、鳥羽市沿岸部の民家に関する調査報告書、書籍、研究をまとめたものである。

三重県における民家調査は、まず(1)民俗学方面からの調査が先行して行われた。その代表としては、1966年(昭和41)から73年(昭和48)にかけて三重県全域で実施された三重県教育委員会による一連の習俗調査報告書がある。地域的には、『南勢町・南島町山漁村習俗調査報告書』が最も鳥羽市と近く関係が深い。

また、(2)民俗学的な観点から鳥羽市域の民家に触れた文献が複数みられる。離島部は特に遅くまで風俗習慣、集落景観を残していたことから、1960年代以降数多くの調査が実施されている。

続いて、(3)建築学分野の調査は、全国各地で実施された緊急民家調査が端緒であったが、残念ながら三重県の民家は概報にとどまり、鳥羽市では神島の建築物が1件調査されただけである。また、近年『三重県近代和風建築総合調査報告』がまとめられたが、こちらも一次調査の段階から鳥羽市の民家は含まれておらず、最終的な報告でも鳥羽市の民家は掲載されていない。

(4)大学等による調査・研究としては、日本大学の宗正敏ら、芝浦工業大学の畑聰一らによる一連の報告、さらに明治大学の神代雄一郎らによるデザインサーベイの報告があり、鳥羽市の離島部を扱っている。

(5)県史・市史にあげた『三重県史 別編・建築』は、以上の建築学的な調査・研究を踏まえてまとめられたもので、今日三重県の民家を概観する際の最もまとまった書籍である。ここでは鳥羽市の民家はほとんど扱っていないものの、三重県における志摩地域の民家の特徴がよくまとめられている。また『鳥羽市史(下)』では、鳥羽各町の民家やその特徴が1、2点の間取図とともに記されており、和具以外の地区については間取図と概要は述べられている。なお相差地区については全体を通してほとんど調査記録が見られず(5)『鳥羽市史(下)』で取り上げられるにとどまっている。

以下では、これらの報告書・著作・論文を参考に志摩地方および各地区の民家の特徴をまとめる。

表 2-1 志摩地方の民家に関する報告書・著作・論文

(報告書(第I編 p28、第II編 p34、第III編 p27)をもとに作成)

報告書・著作・論文	民家の記述								間取図								備考
	志摩	石鏡	国崎	相差	答志	和具	菅島	神島	志摩	石鏡	国崎	相差	答志	和具	菅島	神島	
(1) 漁撈・山村習俗調査報告書(三重)																	
『南勢町・南島町山漁村習俗調査報告書』(三重県教育委員会, 1973)	●								●								(間取図数) 南勢町16, 南島町17
(2) 志摩地方の民俗(総論)																	
『鳥羽、志摩漁撈調査報告書』(三重県教育委員会, 1968)	●							●	●							●	(間取図数) 神島1, 先志摩1
『鳥羽志摩新誌』(中岡志州編, 1970)	●							●									(間取図数) 志摩一般1
『三重県民俗地図(民俗文化財緊急分布調査報告書)』(三重県教育委員会, 1974-5)	●																
『志摩の民俗』(和歌森太郎, 吉川弘文館, 1974)	●							●	●							●	(間取図数) 神島1, 桃取1, 夏草1, 波切1, 国府1
『志摩の家と水』(上村角兵衛, 1988)	●	●						●	●								(間取図数) 志摩一般1, 国府1, 波切1, 桃取1, 堀切1, 石鏡1, 神島1, 桧山路1
(2) 志摩地方の民俗(各論)																	
『海女の村』(『あしひ』第6号, 三重県立宇治山田高校歴史部, 1970)			●							●							(間取図数) 国崎3, 建設年分布図
『志摩半島の海女漁村』(『三重社会21号』, 三重県高等学校社会科研究会, 1976)		●								●							(間取図数) 石鏡1
『海女の村-三重県志摩郡長岡村』(小寺康吉, 富山大学紀要経済学部論集第3号, 1954)			●														
『郷土誌・長岡村大宇国崎』(酒井錠吉郎, 1925)			●														
『志摩海女漁村の社会構造と慣習法』(明治大学法学部法学会・第18号, 1967)		●															
『安濃津(22)』(津東高校郷土研究クラブ, 1983)								●								●	(間取図数) 神島1
『安濃津(24)』(津東高校郷土研究クラブ, 1985)								●								●	(間取図数) 菅島1
『安濃津(26)答志島』(津東高校郷土研究クラブ, 1987)					●	●						●					(間取図数) 神島1
『志摩菅島』(共立女子大学, 戸田泰男, 1985)								●								●	(間取図数) 神島1
『志摩離島の民俗』(堀哲, 1967-68)								●								●	(間取図数) 菅島1
『コーナー(19)答志島特集』(京都大学地理同好会, 1968)					●	●						●	●				(間取図数) 答志, 和具, 桃取多数
『三重県志摩地方の民俗調査(鳥羽市答志島・志摩町和具・越賀)』(立教大学博物館学講座, 1966)					●							●					(間取図数) 答志2※2階建て初例
『鳥羽市答志島・和具地区調査報告書』(三重大学教育学部, 1968)					●	●						●					(間取図数) 答志1
『神島の民俗誌』(東京女子大学民俗調査団, 2005)								●								●	(間取図数) 神島2
『神島の地域調査』(専修大学地理学研究会, 1959)								●									
『潮騒の島 神島民俗誌』(田辺悟・田辺弥栄子, 1980)								●									(間取図数) 神島1
『三重県地理学会報(鳥羽市神島調査が違法)』(三重大学芸部地理学会研究会, 1958)								●								●	(間取図数) 神島多数
『フィールドへ(5)神島』(野外活動研究会, 1978)								●								●	(間取図数) 神島1
(3) 建築学分野の調査報告																	
『三重県民家調査概報(昭和48年)』(『日本の民家調査報告書集成(12)』, 東洋書林, 1977)								●								●	(間取図数) 神島1, 竪神1(ただし寺院), 地区毎特色一覧表
同、各次調査シート								●								●	(間取図数) 神島1, 竪神1(ただし寺院), 他地区複数あり
『三重県近代和風建築総合調査報告』(三重県教育委員会, 2008)								●									(間取図) 鳥羽は掲載なし
同、一次調査報告書(鳥羽市の部)																	
(4) 建築学分野の調査・研究																	
芝浦工業大学・畑聰一らによる一連の漁村集落調査・研究(1978-)	●				●	●	●	●	●			●	●	●	●	●	(地区) 南勢町、先志摩、答志島
『高密度住居のしくみ』(『住まいを讀む』, 畑聰一, 1999)					●							●					(地区) 答志
日本大学・宗正敏らによる一連の漁村集落調査・研究(1991-)	●							●									(地区) 答志島、菅島、神島、坂手
明治大学・神代雄一郎らによるデザインサーベイ(1967-)	●							●								●	(地区) 菅島
『漁村における居住空間とその変容』(清水郁郎, 2007)	●							●									(地区) 答志島
(5) 県史・市史																	
『鳥羽市史(下)』(鳥羽市, 1991)	●	●	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	(間取図) 鳥羽市各地区(和具以外)
『三重県史 別編・建築』(三重県, 2003)	●							●									(間取図数) 今浦1, 国府1, 南勢町1, 南島町1, 他地域多数

2-2 各地区の民家について

2-1 で確認したことをふまえると、三重県全体の民家の概要や志摩地方の民家を知る書籍としては『三重県史 別編・建築』や『鳥羽市史（下）』、各地区の民家を直接的に知る書籍としては、まずは『鳥羽市史（下）』を確認するとよい。ただし和具については『鳥羽市史（下）』についての記載はみられないので、そのほかの習俗調査や畑聰一らの調査を確認する。他の地区についても『鳥羽市史（下）』に加えてほかの習俗調査や研究も参照していく。なお、志摩地方および各地区の概要については報告書第Ⅰ編～Ⅲ編で詳述しているためここでは省略する。各地区について下記に示す通り参照されたい。

- ・ 志摩地方および鳥羽市域の民家 …報告書(第Ⅰ編 p35-p39)
- ・ 石鏡地区の民家 ……………報告書(第Ⅰ編 p40-p41)
- ・ 国崎地区の民家 ……………報告書(第Ⅰ編 p42-p44)
- ・ 相差地区の民家 ……………報告書(第Ⅱ編 p30)
- ・ 答志地区の民家 ……………報告書(第Ⅱ編 p31-p37)
- ・ 和具地区の民家 ……………報告書(第Ⅱ編 p38-p42)
- ・ 菅島地区の民家 ……………報告書(第Ⅲ編 p29-p32)
- ・ 神島地区の民家 ……………報告書(第Ⅲ編 p33-p43)

2-3 デザインサーヴェイについて

デザインサーヴェイとは 1960 年代半ばから 70 年代にかけて日本で盛んに行われた都市・建築の調査手法であり、その特徴は集落全域にわたる実測とその図面化にある。図面の種類としては間取り図や、連続平面図、屋根伏図が作成されているものが多く、街路構成から生活の様子まで多岐にわたる情報をそれらから読み取ることができる。デザインサーヴェイやフィールドワークによって作成されたこれらの資料は、作成当時こそ設計への活用が主な目的であったが、全盛期から 50 年以上の時が経過した現在においては、歴史的な立場から、当時の集落や建築を把握する上で非常に有力な資料になっていると言える。

「建築学においては、デザインサーヴェイやフィールドワークをともなう研究分野で、従来から、自然発生的に存在する高密度居住地域の住宅が研究対象となってきた。漁村、とくに離島漁村には、住宅がたとえば東京都心の集合住宅に匹敵するほど密集しているところがある。平坦地が少ないことや漁港へのアクセスがしやすいことなどが、そうした高密度居住をもたらすのだが、その密集した居住空間において、人と人または集団同士の共存を可能とする在地のシステムが存在すると想定されたわけである。こうした問題意識から、本稿で対象とする答志をはじめとする伊勢湾内の離島は、建築学の研究対象となってきた。」(清水, 2007)^{注1)}とも記載があるように、漁村においてデザインサーヴェイやフィールドワークをともなう研究は盛んに行われており、本研究の研究対象地区でも離島を中心にデザインサーヴェイが行われている。

表 2-1 にまとめた既往研究のうち「デザインサーヴェイ」の用語が使用されているものとしては、明治大学の神代雄一郎らによる「漁村集体のデザインサーヴェイ-志摩・菅島」(1970)^{注2)}があり、ここでは 40 人を越す調査隊によって菅島の集落全体にわたり、200 戸の民家と社寺の屋根伏せおよび間取りの調査が行われた。神代は、菅島に先立ち、瀬戸内海女木島東浦(1967)・丹後半島伊根亀島(1968)・壱岐勝本浦正村(1969) 漁村のデザインサーヴェイを行なっているが、菅島の調査で初めて A1 サイズのトレーシングペーパー21 枚に渡って集落全域の連続平面図を驚異的な解像度で描き写している。「神代雄一郎のデザイン・サーヴェイ展開過程に関する研究」(青木寛子, 2014)^{注3)}によると、後のデザインサーヴェイも合わせると計 12 の集落と都市で調査が行なわれているが、このような集落全域の連続平面図が描かれているのは 12 地区中でも 3 地区のみである。このことから、集落全域の調査には壮大な働力を要することが推測でき、菅島におけるデザインサーヴェイの資料がいかに現代において貴重なものであるかが分かる。

次に「デザインサーヴェイ」の用語は使用されていないものの、長期間にわたるフィールドワークが行われ、作図が行われたものとして芝浦工業大学の畑聰一らによる一連の報告があげられる。この調査では、主な離島集落(答志、和具、桃取、菅島、坂手、神島、日間賀、篠島)を対象に、①調査地域全体の住戸の平面図の作成、②それらの建設年代の確認、③住まい方の調査が行われた。畑らによる論文数は、確認できるだけで 35 本におよび、その過程でこの地域に適した間取りの分析手法が導かれ、その構成原理が解明されるに至った。この一連の研究は、最終的に「漁村住宅の高密度居住形態に関する研究(その1 漁村住宅の実際)」(畑聰一, 住宅建築研究所報, 1980)^{注4)}および「漁村住宅の高密度居住形態に関する研究(その2 高密度居住の構造)」(畑聰一, 住宅建築研究所報, 1981)^{注5)}の二編にまとめられている。

また直接的に研究対象地区の間取りや概要を述べたものではないが、日本大学の宗正敏

らによる一連の報告においても志摩を対象として長期間にわたるフィールドワークが行われている。



図 2-3-1 神代らによる屋根伏実測図の例
（「漁村集落のデザインサーヴェイ-志摩・菅島」
より転載）



図 2-3-2 神代らによる連続平面図の例
（「漁村集落のデザインサーヴェイ-志摩・菅島」
より転載）

2-4 研究の位置付け

以上のように志摩地方および鳥羽市各地区の民家に関する報告書・著作・論文は一定数確認でき、また鳥羽市域の漁村集落については海女についても民俗学等の分野で大きな蓄積があるが、これら両者を結びつけて言及しているものはほとんどない。これを受けて、筆者らは報告書第Ⅰ編～Ⅲ編(2018～2020年度)注1～3)において、海女集落の景観調査を行い、集落景観の現状と課題、景観特性について報告している。

さらに、2-3や2-4で確認したように、建築学分野における研究や調査についても、民家の間取りを中心としたものがほとんどであり、民家の形態や集落景観に言及したものは少ない。そこで本研究では海女集落における景観特性の整理と、木造主屋の形態の分析、集落景観の変遷を明らかにすることにより、海女文化と建築物および景観を結びつけて考察していく。

【第2章 注釈・引用文献・参考文献・URL】

【2-1】【2-2】

〈報告書〉

- 1) 三重大学伊勢志摩サテライト海女研究センター、三重大学大学院工学研究科 浅野研究室・大井研究室：『鳥羽市における海女集落の景観特性と景観構造に関する研究 第Ⅰ編：石鏡地区・国崎地区 -鳥羽市景観計画における重点地区指定に向けて-』, 2018
- 2) 三重大学伊勢志摩サテライト海女研究センター、三重大学大学院工学研究科 浅野研究室・大井研究室：『鳥羽市における海女集落の景観特性と景観構造に関する研究 第Ⅱ編：相差地区・答志地区・菅島地区-鳥羽市景観計画における重点地区指定に向けて-』, 2019
- 3) 三重大学伊勢志摩サテライト海女研究センター、三重大学大学院工学研究科 浅野研究室・大井研究室：『鳥羽市における海女集落の景観特性と景観構造に関する研究 第Ⅲ編：和具地区・神島地区 -鳥羽市景観計画における重点地区指定に向けて-』, 2020

【2-3】

〈論文〉

- 1) 清水郁郎：「漁村における居住空間とその変容 -伊勢湾答志島における調査から-」, 2007
- 2) 神代雄一郎, 松本勝邦：「漁村集落のデザインサーヴェイ-志摩・菅島」, 1970
- 3) 青木寛子：「神代雄一郎のデザイン・サーヴェイ展開過程に関する研究 -コミュニティ論の形成と発展に着目して-」, 2014
- 4) 畑聰一：「漁村住宅の高密度居住形態に関する研究 (その1 漁村住宅の実際)」, 住宅建築研究所報, 1980
- 5) 畑聰一：「漁村住宅の高密度居住形態に関する研究 (その2 高密度居住の構造)」, 住宅建築研究所報, 1981

第 3 章

鳥羽市における海女集落の概要

3-1	文献調査の概要	025
3-2	地形区分	025
3-3	生業と土地利用	027
3-4	気候(台風)	038

3-1 文献調査の概要

本章では、主に報告書第Ⅰ編～Ⅲ編で行なった歴史・文化・社会に関する文献調査(第Ⅰ編 p5-60、第Ⅱ編 p5-48、第Ⅲ編 p5-48)および、農業・海女漁の土地利用・海中利用に関する文献資料調査(第Ⅰ編 p118-119, p206-207、第Ⅱ編 p68-69, p129-130, p190-191、第Ⅲ編 p130-131, p242-243)の内容を参考に研究対象地区の概要をまとめる。報告書では歴史や文化、生活環境について多岐にわたる調査が行われているが、ここでは、本研究の第4章、第5章で調査・分析を行う集落構成および木造主屋の形態と、特に関係が深いと考えられる地形区分、生業と土地利用、気候(台風)に絞って論述する。なお、3-4-1 鳥羽市の気候、3-4-2 災害をもたらした気象事例の一部については、本研究で新たに資料調査、資料作成を行なったものを補足している。それらについては随時、参考資料を記載する。

3-2 地形区分

本節では、研究対象地区が含まれる鳥羽市の地形区分の特徴を述べる。なお各地区の地形の詳細については第4章 4-1 地形を参照されたい。鳥羽市域は、おおよそ5つの地形区分をもつ。すなわち、市域北部と答志島など各島を含めた(Ⅰ)島嶼列地区、北西部の(Ⅱ)朝熊ヶ岳山地区、加茂川に沿った(Ⅲ)加茂川沖積地区、さらに石鏡町までの(Ⅳ)東部台地区、国崎町以南の(Ⅴ)海食台地区である。

石鏡地区は(Ⅳ)東部台地区に、国崎地区、相差地区は(Ⅴ)海食台地区に、離島の答志地区、和具地区、菅島地区、神島地区は(Ⅰ)島嶼列地区に属している。

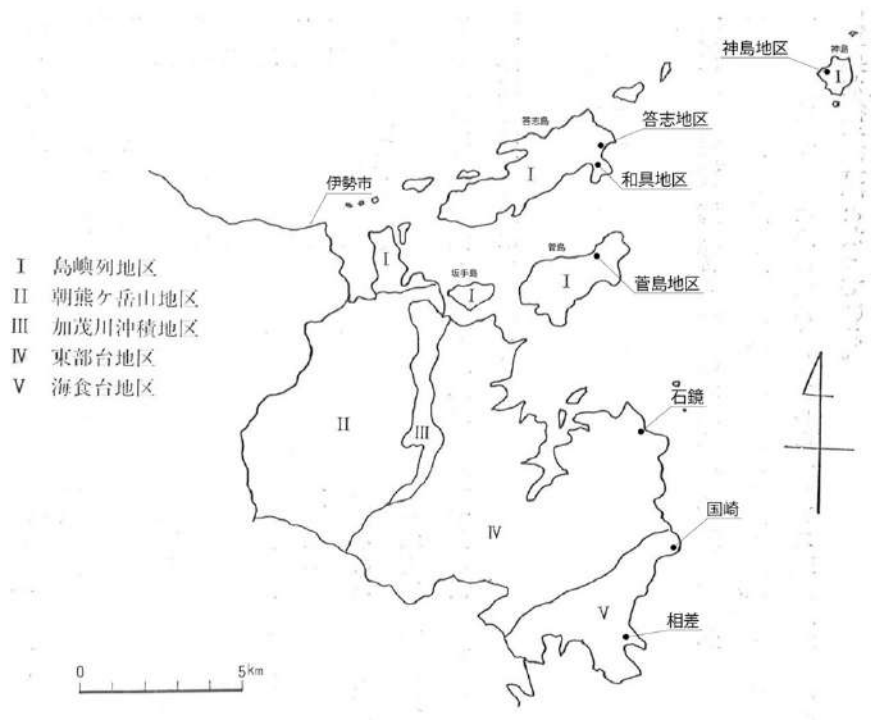


図 3-2-1 地形区分図

(『鳥羽市史(下)』を基に作成, 原図: 藤本利治作図)

1) (IV) 東部台地区

(IV) 東部台地区は安楽島-五ヶ所構造線の南東部に展開する高台で、石鏡地区を含む。100～160m クラスの大きな起伏の丘陵が続き、300m を超す山地も存在する。地層は、的矢層群と呼ばれる中生層である。低山性の起伏と太平洋からの塩分を含んだ強風のため農地開発が阻害され、灌木林が地表を覆う農業に不向きな土地も多い。したがって、集落形成は限定的である。沿岸部は、その多くが海蝕崖と岩礁からなるリアス海岸で、その間に破碎された砂の堆積した小さな砂浜が形成される。この磯浜と砂浜が、海女漁業をはぐくむ要因と言える。

2) (V) 海食台地区

(V) 海食台地区は、高度 50～30m の定高性のある台地で、国崎地区、相差地区を含む。陸上で形成された谷地形が、その後の沈水によって凹部は海成層によって埋積され、凸部は波食をうけて平坦化し、海成の堆積面と侵食面からなる一連の平坦面が形成されている。表面には薄い礫と粘土からなる上部鮮新層の鶉方層がかぶっている。海岸には海女漁を育む岩礁が続く一方で、田畑の広がる平坦地を持つ。

3) (I) 島嶼列地区

(I) 島嶼列地区は中央構造線に沿ってほぼ西南西から東北東に展開する二列の島々からなり、離島4地区を含む。この地区の多くは起伏が200m以下であり、平坦地はわずかである。答志島は南部で標高170m程、神島についても燈明山は標高約170mであり、菅島には、標高236mの大山がある。

3-3 生業と土地利用

本節では、文献調査による産業統計データの分析と、農地・海女操業場の分布図の分析により、各地区の生業と土地利用の特徴を述べる。

3-3-1 生業

表 3-3-1-1 に昭和 25 年における各地区の農業・水産業生産額と農用地面積・戸数、表 3-3-1-2 に昭和 55 年、60 年における各地区の農用地面積・戸数、表 3-3-1-2 に昭和 58 年における専兼業別漁家数を示す。表 3-3-1-1、表 3-3-1-2 については「長岡村」に相違・国崎、「鏡浦村」に石鏡が、「答志村」に答志・和具が含まれており、各地区の個別のデータは確認できなかった。これらの表から、次のことが読み取れる。

- ・ 表 3-3-1-1 の農業・水産業生産額より、全生産額のうち水産業生産額の占める割合が高い順に並べると神島村(97%)、答志村(95%)、菅島村(91%)、鏡浦村(75%)、長岡村(35%)の順になり、長岡村については農業生産額が占める割合の方が高い。
- ・ 表 3-3-1-1、表 3-3-1-2 の農用地面積より田面積と畑面積の合計が小さい順になら並べるといずれの年代においても、神島村、菅島村、答志村、鏡浦村、長岡村の順になり、また全ての地区において農用地面積は減少している。
- ・ 表 3-3-1-3 の専兼業別漁家数より、専業及び、兼業のうち漁業が主であるものの合計数が全戸数に占める割合が高い順に並べると答志(94%)、神島(92%)、和具(82%)、菅島(73%)、国崎(38%)、石鏡(32%)、相違(11%)の順になる。

以上のことをまとめると離島 4 地区は漁業を生業の中心とし、農業は自給自足に満たない程度に行われている「主漁従農」であることが分かる。本土側の石鏡についても離島ほどではないものの、生業に占める漁業の割合は高く「主漁従農」であると言える。一方、長岡村に属する相違・国崎については生産額からみてもかなり農業の比重が大きく広大な農地を有していることから「半農半漁」の集落であると言える。石鏡については次に各地区の土地利用について確認する。

表 3-3-1-1 各地区の農業・水産業生産額と農用地面積・戸数 (S. 25)

	生産額 (千円)		農用地面積 (反)		農家戸数 (戸)		
	農業	水産業	田面積	畑面積	専業	I種兼業	II種兼業
長岡村	40,186	23,200	1,607	816	8	334	137
鏡浦村	24,972	76,560	993	195	6	81	184
答志村	2,525	44,561	91	199	3	3	194
菅島村	2,390	24,000	46	172	0	0	148
神島村	917	30,447	0	59	0	0	60

* 『鳥羽市史 (下)』 (p. 340 を元に作成)。「長岡村」に相差・国崎、「鏡浦村」に石鏡、「答志村」に和具が含まれる。

表 3-3-1-2 各地区の農用地面積・戸数 (S. 55/S. 60)

	農業戸数		農地用面積 (a)			
	(戸)		田面積		畑面積	
	昭和 55 年	昭和 60 年	昭和 55 年	昭和 60 年	昭和 55 年	昭和 60 年
長岡村	725	725	14,495	13,584	5,187	2,349
鏡浦村	307	307	8,671	7,923	354	376
答志村	21	21	191	153	59	34
菅島村	7	3	35	16	127	13
神島村	4	5	0	0	22	28

* 『鳥羽市史 (下)』 (p. 428 を元に作成)。「長岡村」に相差・国崎、「鏡浦村」に石鏡、「答志村」に和具が含まれる。

表 3-3-1-3 各地区の専兼業別漁家数 (S. 58)

	総数(戸)	専業(戸)	兼業(戸)	
			漁業主	漁業従
桃取	168	10	134	24
答志	162	121	32	9
和具	91	17	58	16
神島	93	64	22	7
菅島	145	36	70	39
石鏡	149	5	42	102
国崎	101	2	36	63
相差	226	-	25	201

* 『鳥羽市史 (下)』 (p. 435 を元に作成)。

3-3-2 土地利用

図 3-3-2-1 から図 3-3-2-7 に各地区の農地・海女操業場の分布を示す。農地については、1975 年と現在（石鏡：2018 年時点、その他の地区：2012-2013 年時点）の農地の広がり方を地図上に落とし込んでおり、1975 年の航空写真から読み取れた農地を薄い緑色で、現在の航空写真から読み取れた農地を濃い緑色で表示している。航空写真を基礎とした調査のため、多少誤差は生じるが、現在の航空写真はもちろんのこと、1970 年代や 80 年代の航空写真の中では最も解像度の高い航空写真を選択して、より正確な落とし込みを行った。また、海女操業場については鳥羽市より情報提供を受けて海上に青色で表示しているが基本的には地図に示す範囲以外でも海女の活動は行われており、代表的な場所を示すものになるので参考程度とされたい。

まず、前項でも確認したように全ての地区において農地用面積は減少しており耕作放棄地となっていることが読み取れる。離島 4 地区においては答志島の和具方面に限っては、現在も農地が広がっている場所がみられるが、その他の地区については極わずかに分布するのみである。元々、離島は本土と比べて、農業にとっては厳しい自然条件であり、農地の分布は小規模であるが輪をかけて減少している。一方、本土 3 地区においては集落を囲う山地に農地が分布している。1975 年時点の国崎の農地分布をみてもわかるように、等高線の間隔が短く傾斜が急なところを避けて濃密に農地がつくられている。石鏡については国崎・相差に比べて傾斜急なところが多いために不利になるためか、農地の分布は小規模である。石鏡・国崎については、農地は大幅に減少し、現在においては耕作放棄地となっているものが多いが、相差については他の地区と比べると現在も比較的農地が残されている。

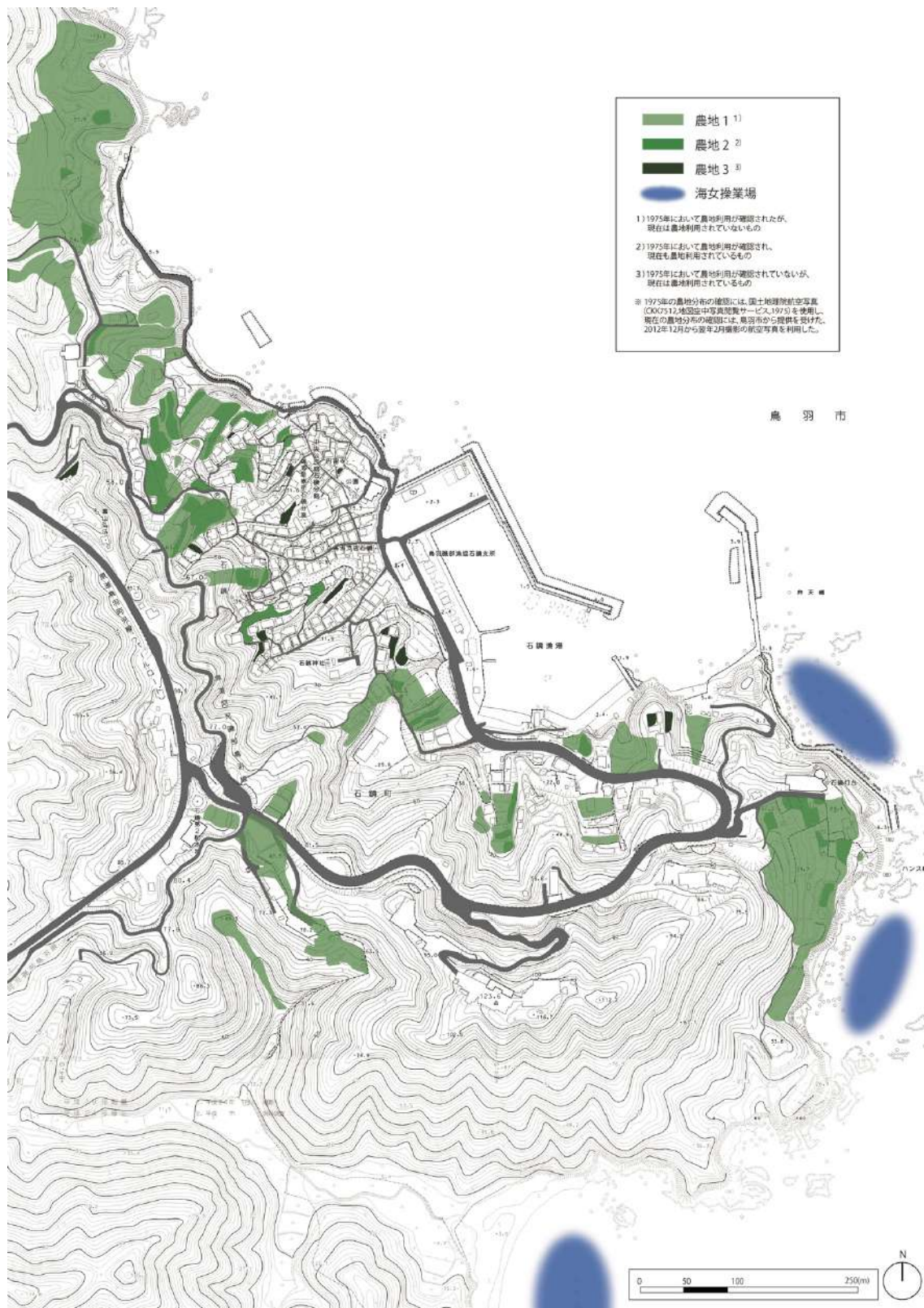


図 3-3-2-1 石鏡の農地と海女操業場の分布

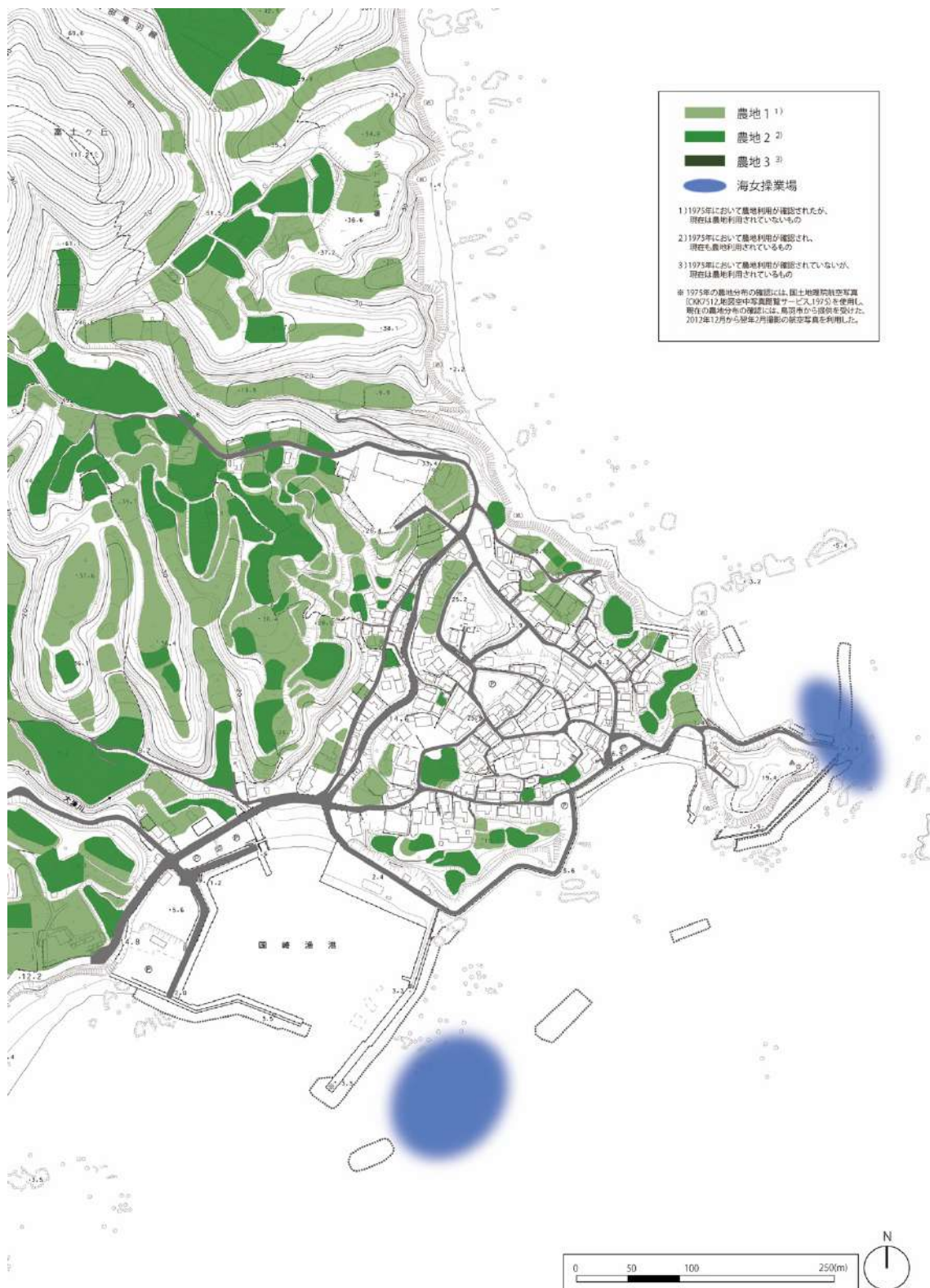


図 3-3-2-2 国崎の農地と海女操業場の分布

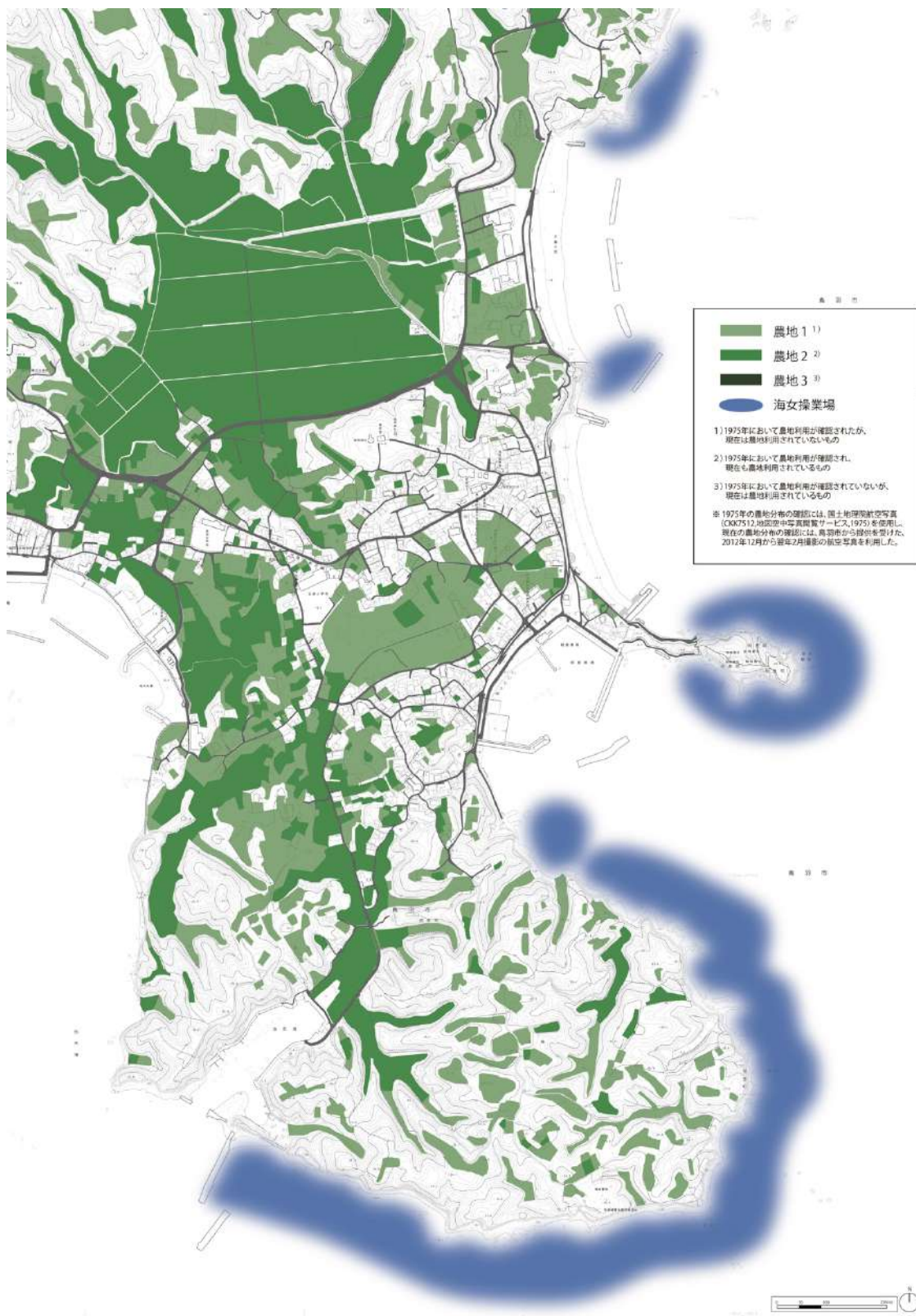


図 3-3-2-3 相差の農地と海女操業場の分布

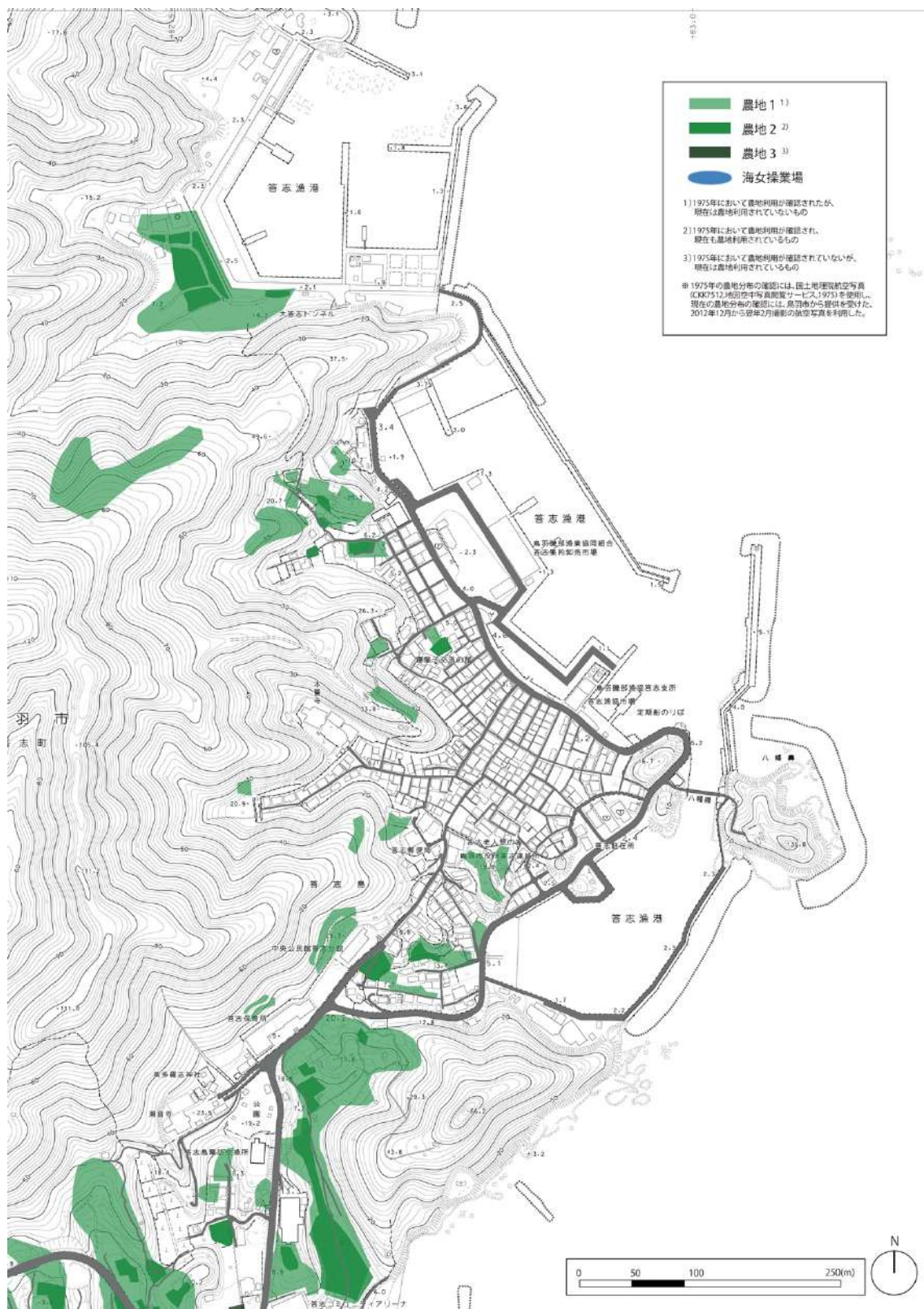


図 3-3-2-4 答志の農地と海女操業場の分布

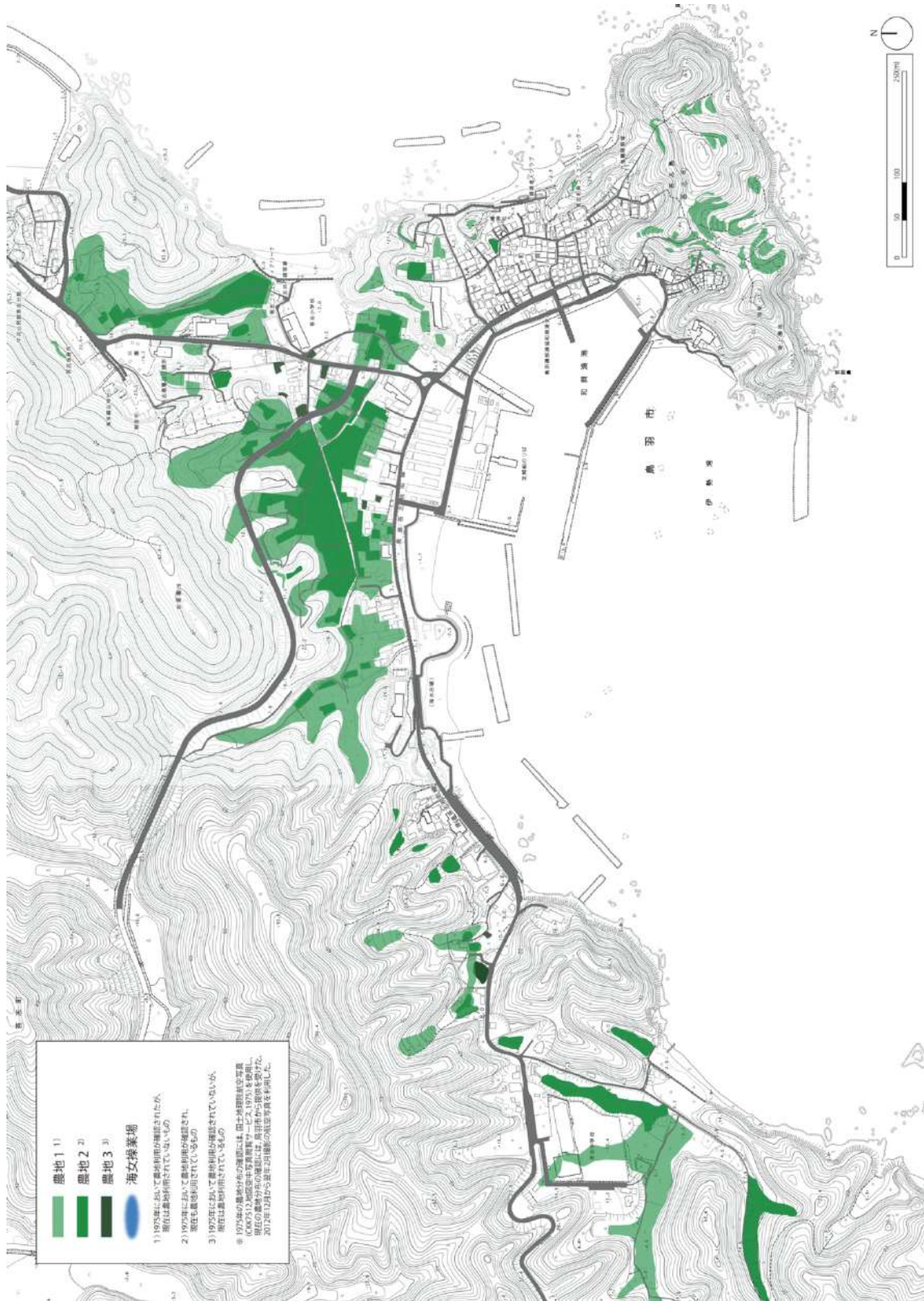


図 3-3-2-5 和具の農地と海女操業場の分布



図 3-3-2-6 菅島の農地と海女操業場の分布

3-3-3 生業における各地区の位置付け

本節のまとめとして7地区の生業における農業と水産業の比重による位置付けを図 3-3-3 に示す。図は右に偏るほど漁業の比重が大きく、左に偏るほど農業の比重が大きいことを表す。前項までの内容をふまえると離島 4 地区はいずれの地区もかなり水産業の占める割合が高く「主漁従農」の性格が強い。4 地区の中では、その比重に大差はないものの、生産額や農地面積からみると、神島が最も漁業の比重が大きいと言える。石鏡についても、離島ほどではないが「主漁従農」である。一方、国崎、相差は「半農半漁」であり、相差に関しては広大な農地を持ち、7 地区の中で唯一、農業の比重が高い。

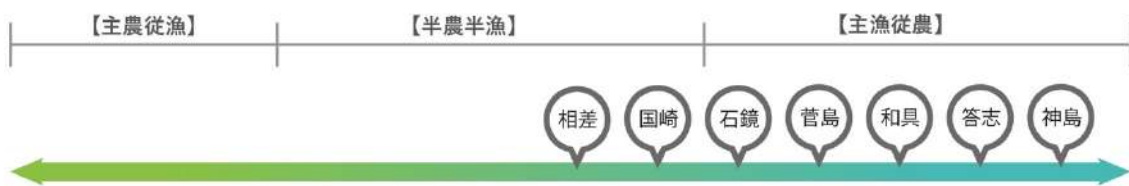


図 3-3-3 生業の比重による位置付け

3-4 気候(台風)

集落形成や建築物の分布にあたり、気象条件の影響をうける例は少なくない。本節では、過去の主な気象データおよび過去の自然災害より、鳥羽市全域の気候の特徴と各集落との関係を述べる。

3-4-1 鳥羽市の気候

気象庁の「過去の気象データ」<http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php>より、鳥羽市(観測点 北緯 34 度 28.9 分 東経 136 度 49.5 分 標高 2m)の 1998 年から 2019 年における気象の主なデータを表 3-4-1 に示す。年平均気温は全般に 15℃から 16℃、年平均降水量は 2000mm から 2500mm である。風向については、観測上の全ての年で北西、または北北西が最多風向となっており、基本的に本土側の山から吹き下りた風をうけるかたちとなっている。また最大風速時の風向も同様に、過半の年で北西、または北北西である。最大風速時の風向については南から南東の年もいくつかみられるが、これらは夏から秋にかけての間に観測されているものが多いことから、台風の影響が推測できる。

ここで、各地区において気温や降水量が与える影響は、どの地区においてもさほど差はないように思われる。その一方で、風については、それぞれの地区で集落の向きが異なることに伴い、その影響も地区ごとに差があると考えられる。各地域の集落の向きと、風向の関係を図 3-4-1 に示す。図 3-4-1 中の矢印の向きと数によって、鳥羽史における最大風速時の風向および最多風向と、方向ごとの発生頻度を表している。発生頻度については表 3-4-1 のデータを基に、観測期間 42 年間における方向別の発生頻度を調べ、42 年中 1~5 年該当した方角を矢印 1 つ、6~15 年を 2 つ、16~25 年を 3 つ、26 年以上を 4 つのように表している。

図 3-4-1 の結果、菅島、神島については集落が北西を向いており、夏以外は年間を通して風を直接受ける集落であることがわかる。菅島の景観調査の際には住民から「菅島は風の島である。」と幾度か聞いたが、浜に直行して谷筋がのびており集落の奥の方まで風が吹き抜けるため、納得できる話である。神島も浜に直行して短冊状に集落が展開する。残りの 5 地区については集落より北西に山があり、北西からの風には身を守るように集落が立地しており、さらに石鏡や和具は集落の南東側も山で囲われている。石鏡、和具は 7 地区の中では最も風の影響を受けない地区であると言える。一方、台風などの南東の風を考えると、国崎、相差、答志は南東側が海に開いており、南東からの強い風を直接受けることになる。次項では災害をもたらした気象事例として伊勢湾台風の概要をまとめている。

表 3-4-1 三重県鳥羽市における年ごとの気象の主なデータ
(気象庁発表の「過去の気象データ」を基に作成)

年	降水量(mm)		気温(°C)			風向・風速(m/s)				
	合計	日最大	日平均	最高	最低	平均	最大風速	最大風速時の風向	最大風速時の日時	最多風向
1978	1736	136	16.0	35.3	-2.3	2.4	11	南南西	4/16	北西
1979	2335	153	16.4	34.2	0.7	2.2	16	南	9/30	北西
1980	2438	187	15.2	34.2	-1.5	2.2	12	北西	3/30	北西
1981	1883	169	14.9	35.0	-4.9	2.4	12	北西	4/2	北西
1982	2958	423	15.6	31.8	-2.1	2.5	15	北東	8/1	北西
1983	2134	121	15.9	36.0	-1.9	2.6	14	北東	8/16	北西
1984	1358	143	15.3	35.0	-3.2	2.5	13	北西	2/24	北西
1985	2520	203	15.9	34.9	-3.0	2.5	12	北北西	3/3	北西
1986	1892	110	15.3	33.1	-3.1	2.6	13	北北西	3/24	北西
1987	1414	69	16.4	34.9	-0.8	2.6	13	南	4/21	北西
1988	2561	243	15.5	34.2	-2.0	2.5	12	北北西	3/15	北西
1989	2808	230	15.9	32.7	-0.3	2.5	12	南南東	8/27	北北西
1990	2580	209	15.5	35.5	-2.6	2.5	20]	///	9/19	北北西
1991	3053	326	15.9	35.4	-4.5	2.2	14	南	9/27	北西
1992	2610	232	15.7	34.8	-1.0	2.5	11	北西	12/2	北西
1993	2407	122	15.2	32.3	-0.2	2.5	13	北西	12/28	北西
1994	2009	169	16.1	38.3	-2.5	2.1]	12]	南南東	9/29	北北西
1995	2066	132	15.0	36.4	-2.4	2.3	11	北北西	9/17	北北西
1996	1970	97	14.4	35.6	-3.7	2.3	11	北北西	11/13	北北西
1997	2435	263	15.0	33.8	-5.2	2.2	12	北北西	2/21	北北西
1998	3609	288	16.1	34.5	-2.0	2.1	13	南南東	10/18	北北西
1999	2364	169	15.3	33.7	-4.3	2.2	13	北北西	3/22	北北西
2000	2207	213	15.4	35.6	-3.0	2.2	11	北北西	12/19	北北西
2001	2568	283	15.3	36.9	-3.7	2.1	14	北北西	8/22	北北西
2002	2149	135	15.5	36.7	-2.9	2.1	11	北北西	10/1	北北西
2003	2826	289	15.4	33.8	-3.5	2.2	11	北	9/21	北北西
2004	2810	140	16.5	35.2	-2.3	2.2	14	南南東	6/21	北北西
2005	1276	103	15.4	34.8	-3.4	2.1	12	北北西	4/26	北北西
2006	2444	158	15.3	34.4	-4.1	2.0	12	北	4/3	北北西
2007	1924	170	15.9	36.0	-0.4	2.1	12	北北西	3/11	北北西
2008	2795	206	15.6	35.6	-2.0	2.2	11.3	北北西	12/26	北北西
2009	2424	220	15.7	34.1	-4.9	2.3	11.4	西	10/8	北北西
2010	2725	163	16.0	36.6	-2.7	2.2	12.8	北北西	10/27	北北西
2011	2379	159	15.5	35.0	-2.5	2.2	17.4	北北西	9/21	北北西
2012	2366	143	15.3	34.8	-2.9	2.3	14.9	北北西	9/30	北北西
2013	1731	135	15.7	37.5	-2.3	2.4	15.3	北北西	10/16	北北西
2014	2219	200	15.3	36.0	-2.7	2.3	15.8	北北西	10/6	北北西
2015	2721	247	15.8	35.6	-1.9	2.2	14.0	南東	12/11	北北西
2016	2553	116	16.3	35.8	-3.5	2.3	11.8	北北西	11/3	北北西
2017	2300	396	15.3	34.7	-2.8	2.3	12.3	北北西	10/23	北北西
2018	2573	154	16.0	36.6	-4.0	2.2	18.0	北北西	7/29	北北西
2019	2517	281	16.1	35.1	-1.5	2.3	13.5	北北西	10/12	北北西

※点線は観測場所を移動した場合、観測装置を変更した場合、または観測の時間帯等を変更した場合、その前後のデータが均質ではないことを示す。

※表中の記号については、] は資料不足値、/// は欠測または観測を行っていない場合を示す。

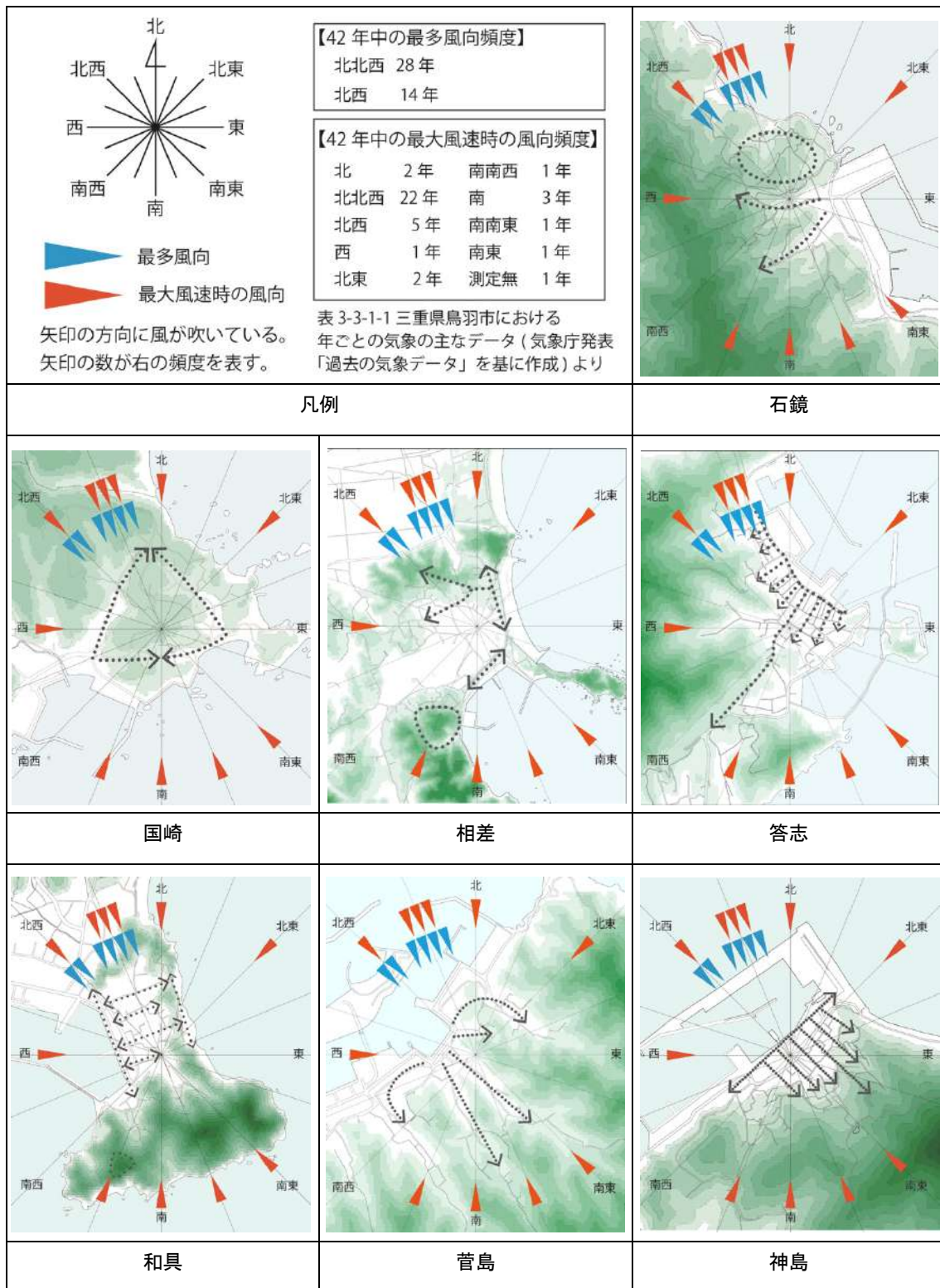


図 3-4-1 集落の向きと風向の関係

3-4-2 災害をもたらした気象事例

気象庁が発表する「災害をもたらした気象事例」の中から、被害地区に鳥羽市が含まれているものを検索したところ、昭和34年9月26日、27日の伊勢湾台風が該当した。伊勢湾台風は、26日に潮岬に上陸し、紀伊半島から東海地方を中心にほぼ全国にわたって甚大な被害をもたらした台風である。伊勢湾沿岸の愛知県・三重県での被害が特に甚大であったことからこの名称が付けられた。死者・行方不明者の数は5,000人を超え、明治以降の日本における台風災害においては最大のものとなった。

伊勢湾台風の期間降水量、期間内最大瞬間風速を図3-4-2-1、図3-4-2-2に示す。伊勢湾台風の鳥羽市の被害の詳細については『鳥羽市十年の歩み』から確認できる。台風15号は9月23日硫黄島の南南東600キロの海上で、中心気圧が894ミリバール、最大風速75m/sの超大型台風となり、26日18時に潮岬付近に上陸した。平均毎時65キロの速さで、24時には富山の東から日本海へと抜けている。鳥羽市では26日21時前後がもっとも激しく、人的被害は死者1名、負傷者78名、被災戸数は全体の9割（全壊174、半壊558、浸水886、一部被害3120戸）に登り、20億円もの被害総額を出した。この台風は建築物に及ぼした被害は大きく、建物の損傷に伴う補強や建て替えにより、集落の景観の影響する出来事の一つになったと考えられる。

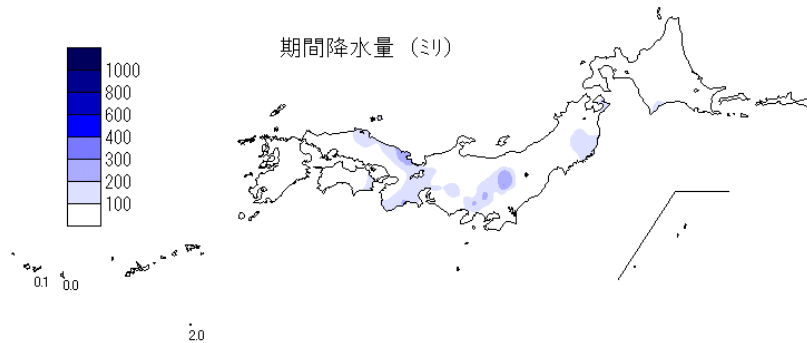


図3-4-2-1 期間降水量
(気象庁発表データから転載)

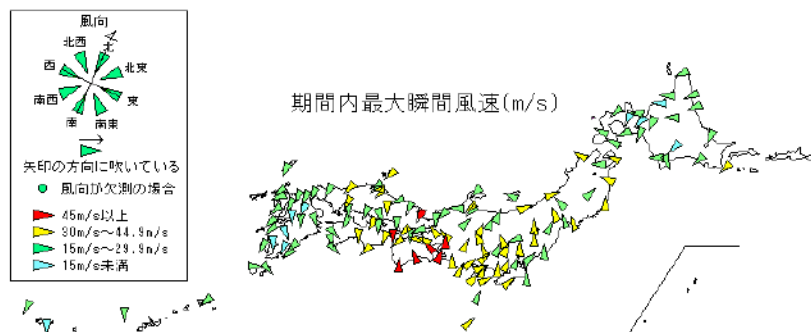


図3-4-2-2 期間内最大瞬間風速
(気象庁発表データから転載)

3-4-3 風向との関係における各地区の位置付け

本節のまとめとして7地区の集落と風向との関係による位置付けを図3-4-3に示す。研究対象地区のタイプは大きく分けて、一年のうち夏季を除いた時期に北・北西からの風を直接受ける地区、一年のうち夏季に南・南東からの風を直接受ける地区、一年を通して風を直接受けない地区の3つに類型できると考える。北・北西からの風を直接受ける地区には菅島、神島が該当し、南・南東からの風を直接受ける地区には国崎、相差、答志、一年を通して風を直接受けない地区には石鏡、和具が該当した。



図 3-4-3 風向との関係による位置付け

【第3章 注釈・引用文献・参考文献・URL】

【3-1】 【3-2】 【3-3】 【3-4】

〈報告書〉

- 1) 三重大学伊勢志摩サテライト海女研究センター、三重大学大学院工学研究科 浅野研究室・大井研究室：『鳥羽市における海女集落の景観特性と景観構造に関する研究 第I編：石鏡地区・国崎地区 -鳥羽市景観計画における重点地区指定に向けて-』, 2018
- 2) 三重大学伊勢志摩サテライト海女研究センター、三重大学大学院工学研究科 浅野研究室・大井研究室：『鳥羽市における海女集落の景観特性と景観構造に関する研究 第II編：相差地区・答志地区・菅島地区-鳥羽市景観計画における重点地区指定に向けて-』, 2019
- 3) 三重大学伊勢志摩サテライト海女研究センター、三重大学大学院工学研究科 浅野研究室・大井研究室：『鳥羽市における海女集落の景観特性と景観構造に関する研究 第III編：和具地区・神島地区 -鳥羽市景観計画における重点地区指定に向けて-』, 2020

【3-2】 【3-3】

〈著書〉

- 1) 『鳥羽市史（下）』（鳥羽市, 1991）

【3-4】

〈URL〉

- 1) 気象庁「過去の気象データ」
<http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php>
- 2) 内閣府「防災情報のページ」
http://www.bousai.go.jp/kyoiku/kyokun/kyoukunokeishou/rep/1959_isewan_typhoon/index.html

〈著書〉

- 1) 『鳥羽市十年の歩み』

第4章

鳥羽市における海女集落の集落構成

4-1	調査の概要	044
4-2	地形と集落分布	050
4-3	街路の形態	053
4-4	社寺等の分布	062
4-5	木造主屋の分布	063
4-6	小括	065

4-1 分析の概要

本章では、研究対象地区の集落構成を考察する。集落構成については報告書第Ⅰ編～Ⅲ編(第Ⅰ編 p8、第Ⅱ編 p8、第Ⅲ編 p9)においても述べられているが、本研究では、新たに立体地形図、屋根伏図の作成を行い、より詳細に地形、街路形態、建築物の分布について調査を行う。また、項目ごとに7地区の比較分析を行うとともに、第3章で確認した生業や風向とも合わせて相互の要素にどのような関係があるかを明らかにする。

4-1-1 立体地形図の作成

立体地形図の作成は、これまでの調査研究では平面的な図によって分析してきた集落の地形と集落分布について、より直感的に把握することを目的とする。立体地形図の作成方法を以下に示す。

①使用した資料

- ・ 国土地理院・地理院地図(電子web)の3Dデータ

②使用したソフト

- ・ Adobe Illustrator
- ・ meshlab

③作成方法

- (i) 国土地理院・地理院地図(電子web)において各地区の3D地形図(スケール100mの時、350×350の範囲)を指定し、dem.wrl、texture.pgw、texture.pngの3ファイルを保存する。
- (ii) (i)を、meshlabソフトにてアクソメ図として出力する。
- (iii) (ii)をベースとしてAdobe Illustratorにて立体地形図を描写する。

4-1-2 屋根伏図の作成

第2章で前述したように、1960年代から70年代のデザインサーヴェイにおいて作成された資料は、現在においては歴史的な立場から当時の集落構成や建築を把握する上で非常に価値のある資料になっていると言える。本研究における屋根伏図の作成についても、集落景観の現状の把握が主な目的ではあるが、それらを図面という形で後世に残すことも目的の一つである。屋根伏図の作成にあたり図面の表現については、明治大学の神代雄一郎らによるデザインサーヴェイにおける屋根伏図を参考にし、等高線、街路、階段、擁壁・山留、農地、各建築物の屋根伏せを描画した。もちろんデザインサーヴェイのように一棟ごとの実測は行っていないものの、複数の資料を照らし合わせて屋根伏図を作成後、再度、現地における追加調査を行い、作図と現状のすり合わせを徹底するなど、できる限り整合性を高めることに努めた。屋根伏図の作成方法を以下に示す。

①使用した資料

- ・三重県共有デジタル地図(pd5版)(鳥羽市より提供)
- ・ゼンリン地図(2014)
- ・航空写真(鳥羽市より提供石鏡：2018, その他の地区：2012-2013)
- ・景観調査で撮影した各建築物の写真

②使用したソフト

- ・Adobe Illustrator

③作成方法

- (i) 三重県共有デジタル地図のPDFデータをAdobe Illustratorに読み込み、連結する。
- (ii) (i)をもとに屋根伏図のベースとなる等高線、街路、階段、擁壁・山留を描画する。必要な箇所については「ゼンリン地図(2004)」も適宜参照する。なお、作図範囲の基準は集落内の建築物がおおかた内包される範囲として、相差以外の6地区については1/2000の縮尺でA3版(297×420)、相差については1/2000の縮尺でA1版(594×841)に収まる範囲とする。
- (iii) (ii)に鳥羽市により提供を受けた高解像度の航空写真(石鏡：2018年時点、その他の地区：2012-2013年時点)をもとに農地を描画する。
- (iv) (iii)に農地同様の航空写真、および景観調査で撮影した建築物の写真をもとに各建築物の屋根伏せを描画する。なお、建築物についてはその用途に関わらず、作図範囲内のものについては全て描画しているが、コンテナや仮設の倉庫などは省略しているものもある。
- (v) 再度、現地での追加調査を行い(ii)～(iv)で描画を行なった要素について作図と現状のすり合わせを行い、適宜修正と補足をする。

4-1-3 各地区のドローン撮影

今年度新たに行った各集落のドローンの写真撮影によって、各地区の集落構成がより鮮明に把握できることとなった。図 4-1-3-1 から図 4-1-3-7 に各地区の写真を示す。これらから 7 地区の集落構成は非常にバラエティ豊かであることがうかがえる。以下、地形や街路形態の分析の際に参照されたい。

なお、撮影については、

「ドローン事業 アインズ株式会社 <https://www.shiga-web.or.jp/eins/drone/>」を元請けに、「伊勢市のフォトスタジオ アンプレ <https://ampre.jp/>」に依頼した。

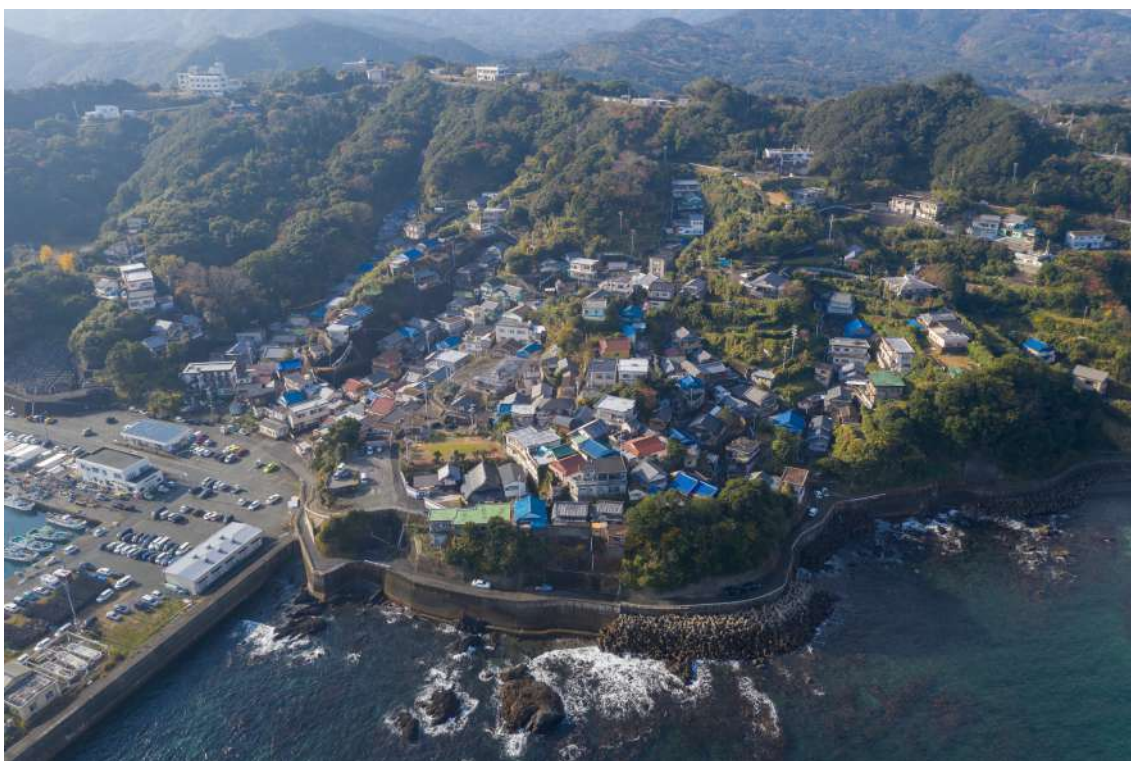


図 4-1-3-1 石鏡のドローン撮影写真



図 4-1-3-2 国崎のドローン撮影写真



図 4-1-3-3 相島のドローン撮影写真



図 4-1-3-4 答志のドローン撮影写真



図 4-1-3-5 和具のドローン撮影写真



図 4-1-3-6 菅島のドローン撮影写真



図 4-1-3-7 神島のドローン撮影写真

4-2 地形と集落分布

4-2-1 各地区の地形と集落分布

地形および集落分布の把握のため図 4-2-1 に各地区の立体地形図を示す。

1) 石鏡

石鏡の地形は、海から広がる2つの谷と、北部の標高25m程の高台で形成されており、浜付近のわずかな平坦地を残して大部分が傾斜地となっている。集落は谷間部分と高台上に展開しており、民家は谷間の最も高いところで60mに立地し、かなり急傾斜となっている。

2) 国崎

国崎の地形は、中央に標高25mの三角形の高台があり、その周囲に谷を作るような形で山が取り囲む。高台上は平坦であるが、周囲の谷についてはいずれについても緩やかな傾斜地となっている。集落は谷間部分と高台上に展開している。

3) 相差

相差は北と南(鵜塚)の2つの地区に分けて説明する。北部の地形は、大部分に広がる平坦地と、北西へ緩やかに上がるわずかな斜面地で形成されており、集落は水田をのぞいて全域に広く展開している。一方南部(鵜塚)の地形は、標高25mの高台と、その周囲を囲う緩やかな傾斜地と平坦地で形成されており、集落は鵜塚を中心に展開している。

4) 答志

答志の地形は、答志島東側にわずかにできた平坦地と、和具方面に向かう緩やかな高台で形成されている。集落は平坦地と東の浜周辺の傾斜地を中心に、一部山の谷間部分にも展開する。民家は高台の最も高いところで20m程に立地する。

5) 和具

和具の地形は、標高約25mの高台と標高約61mの岬、およびその間に挟まれた平坦地で形成されている。集落は東西を海に開くように平坦地に展開し、わずかに岬の斜面地にも展開している。

6) 菅島

菅島の地形は、海から見て指を広げるような形で尾根と谷が繰り返すように形成されている。集落は谷間部分にのみ展開し、集落の民家が建つ最高高さは20m程度と緩やかな傾斜となっている。

7) 神島

神島の地形は、島全体が一つの山(燈明山)となっており、島の大部分が斜面地となる。燈明山の標高は約170mで、集落は島北部の2つの尾根の間にわずかにできた平坦地を中心に、斜面にかけてすり鉢状に広がっている。また島の南側にはカルスト地形がみられる。

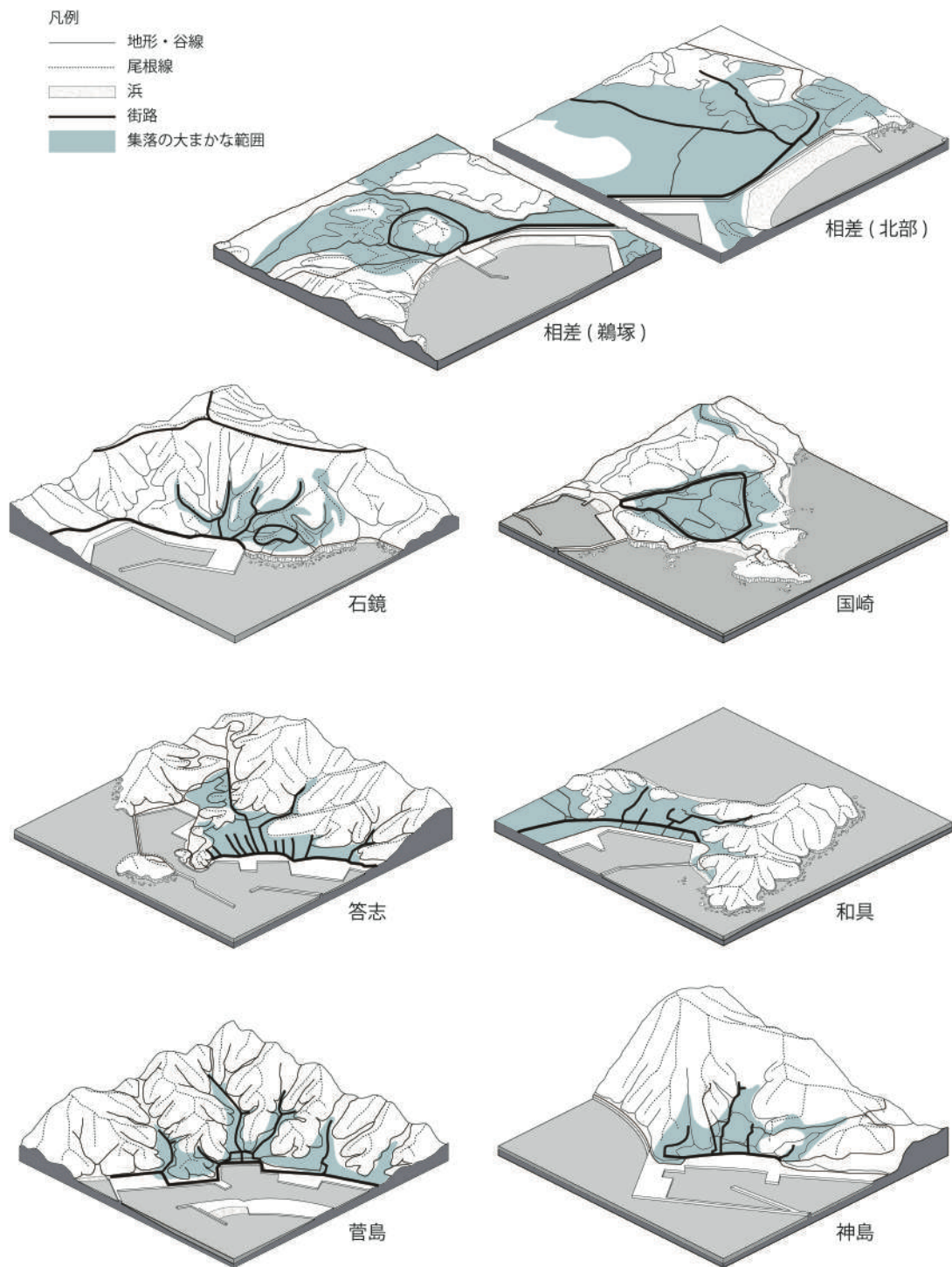


図 4-2-1 各地区の立体地形図

4-2-2 地形における各地区の位置付け

本節のまとめとして7地区の地形による位置付けを図4-2-2に示す。研究対象地区における地形のタイプは大きく分けて〈広大な平地〉〈高台〉〈谷間〉〈僅かな平地〉の4つに類型でき、集落の地形はこれらの組み合わせによって形成されていると考える。

相差の地形は大部分が平地であるが、鵜塚に高台を持つことから〈広大な平地+高台〉で形成されており、国崎、石鏡については同じ〈高台+谷間〉で形成されるが、国崎については高台を谷が囲んでいるのに対し、石鏡は並列に並ぶ。菅島の地形は〈谷間〉で、答志、和具、神島の地形は〈僅かな平地〉形成される。

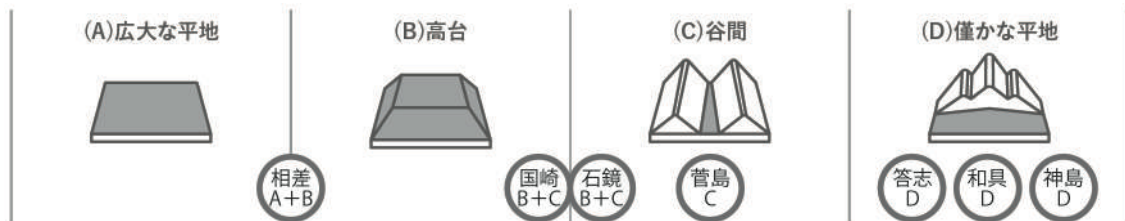


図 4-2-2 地形による位置付け

4-3 街路の形態

4-3-1 各地区の街路の形態

集落構成の把握においては街路が重要な手がかりとなる。各地区の大まかな街路の形態を図 4-2-1 に示す立体地形図より把握する。図中の太線が主要な街路を示している。また、街路の詳細については図 4-3-1 から図 4-3-7 に示す各地区の屋根伏図より把握する。

1) 石鏡

石鏡の街路は、漁港に並行に沿う平坦な街路と、そこから 3 方向に延びる街路によって形成される。3 本の内 2 本は山の谷筋(宮ノ谷、北ノ谷)に沿って延びた急勾配に登る街路で、もう 1 本は、北ノ谷の麓から、さらに北に位置する高台上へと続く。これらの 3 本の街路を中心として、それぞれを繋ぐような形でその他の街路が形成されている。谷筋の頂部や高台上の街路は階段となっているところも多い。

2) 国崎

国崎の街路は、三角形の高台を囲う 3 辺の谷筋に沿って延びる街路によって形成される。大津浜、前浜を結ぶ街路は双方からの上り坂、他の 2 辺に位置する街路は浜からの緩やかな上り坂になっている。これらの谷筋の街路を中心として、それぞれの谷筋から高台へ登るような形でその他の街路が形成される。高台上では神社や寺を囲うように円環上の街路もみられる。

3) 相差

相差の街路は、白浜から漁港にかけて並行に沿った平坦な街路と、そこから直角に分岐する Y 字の街路、および鶴塚周辺を円環上に囲う街路によって形成される。Y 字の街路を北側に分岐する街路は緩やかな上り坂、南に分岐する街路は緩やかな下り坂となっている。これらの街路を中心として、それぞれを繋ぐような形でその他の街路が形成されている。

4) 答志

答志の街路は、前浜の漁港に並行に沿う平坦な街路と、それに直行して和具方面へと続く大通りを中心として、左右に規則正しく展開する短冊状の街路によって形成される。これらの短冊状の街路を基準として、それらに直行する向き(漁港に並行な向き)にも数本の路地が通されており、相互を繋いでいる。ただし、湾曲した東の浜や山に近づくにつれて不規則となり、特に東の浜付近は複雑に街路が展開しており「さんでの底」と呼ばれている。

5) 和具

和具の街路は答志同様に、漁港に並行に沿う平坦な街路と、それに直行する短冊状街路によって形成されるが、答志のように直線的ではなく、クランクしながら延びているのが特徴である。これらの短冊状の街路を押さえるように、集落内部にも高台から岬にかけて、漁港に並行な向きに街路が通っているが、これについても大きくクランクしながら形成されている。

6) 菅島

菅島の街路は、漁港に並行に沿う平坦な街路と、そこから4つの谷筋に延びる街路によって形成され、いずれも緩やかな上り坂である。谷筋に沿うように街路が形成されるのは石鏡も同様であるが、菅島については尾根にあたる部分の開発はされておらず、谷筋を相互に繋ぐ街路がほとんどみられないことが石鏡との違いであると言える。

7) 神島

神島の街路も答志同様に、漁港に並行に沿う平坦な街路と、それに直行する短冊状街路によって形成される。これらの短冊状の街路は、集落の奥行に対して浜から半分程度までは直線的に延びるが、半分から山にかけては湾曲やクランクしながら延びていく。また山側にかけて展開する街路は階段となっているところが多い。

4-3-2 街路の形態における各地区の位置付け

本節のまとめとして7地区の地形による位置付けを図4-3-2に示す。研究対象地区における街路の形成のタイプは大きく分けて〈直線型〉〈円環型〉〈放射型〉〈短冊型〉の4つの型に類型でき、集落の街路の形態は、これらの型の組み合わせによって形成されていると考える。

相差については、白浜から漁港にかけて並行に沿った街路と、鵜塚周辺の街路によって形成されるために〈直線型+円環型〉となり、国崎は高台の周囲を囲うように街路が形成されることから〈円環型〉となる。石鏡や菅島のように手を広げたような形で谷筋に街路を形成するものについては〈放射型〉となるが、石鏡は城山の高台周辺にも街路を形成するため〈円環型+放射型〉となる。残りの答志、和具、神島については同じ〈短冊型〉になるが、答志については直線的な街路、和具についてはクランクした街路、神島については両者の組み合わせとなっており、厳密な街路形態は異なる。



図 4-3-2 街路形態による位置付け

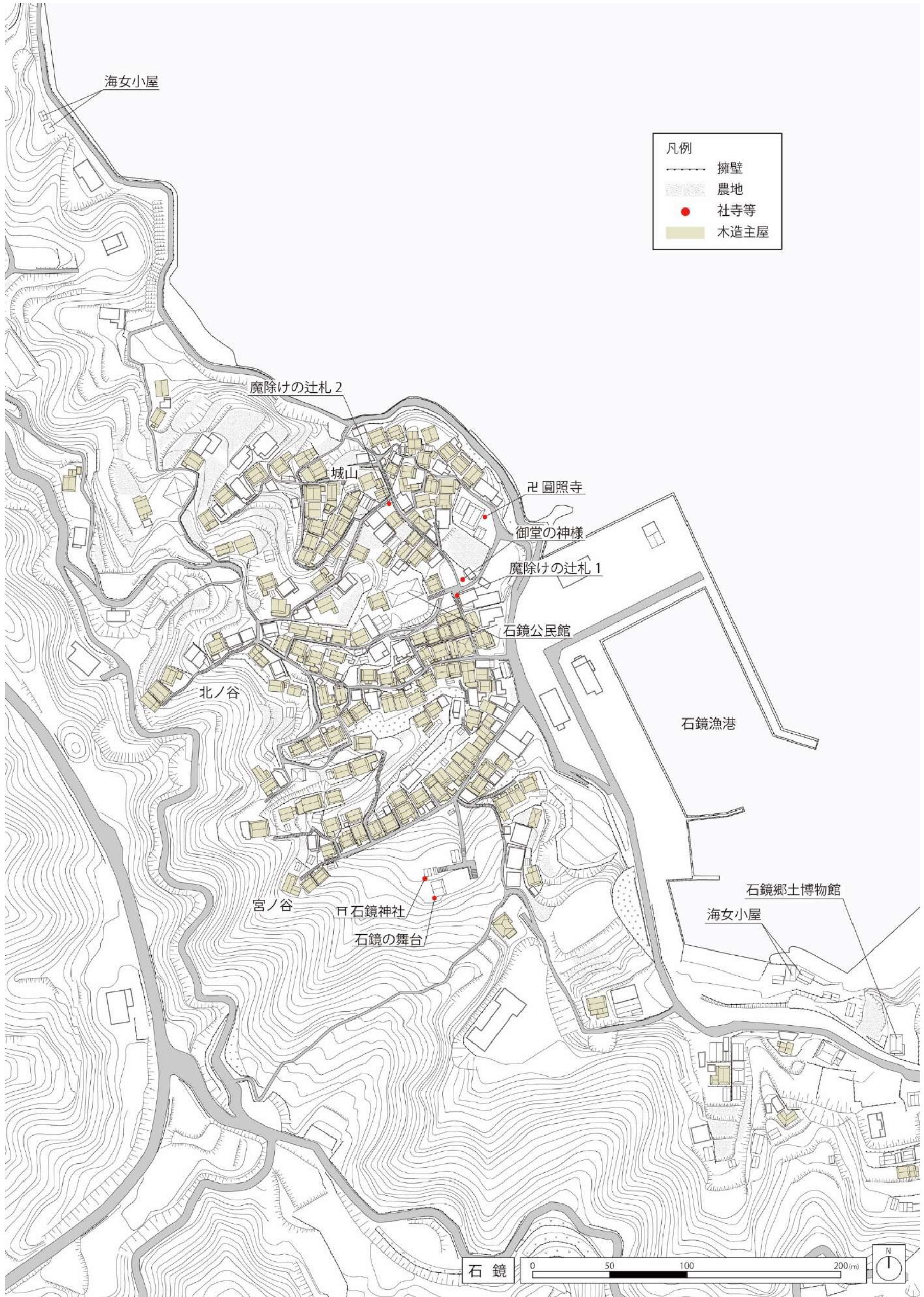


図 4-3-1 石鏡の屋根伏図

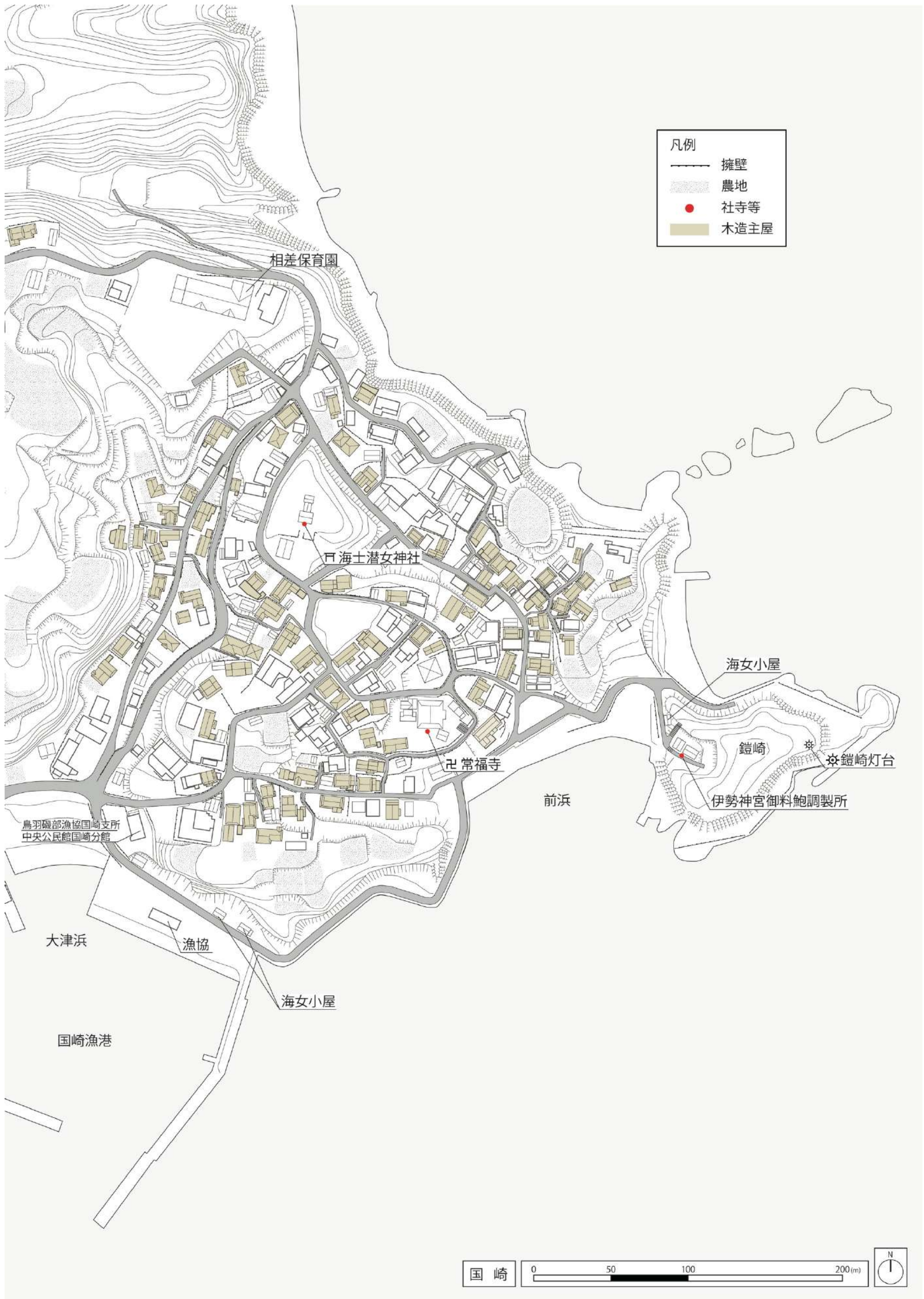


図 4-3-2 国崎の屋根伏図

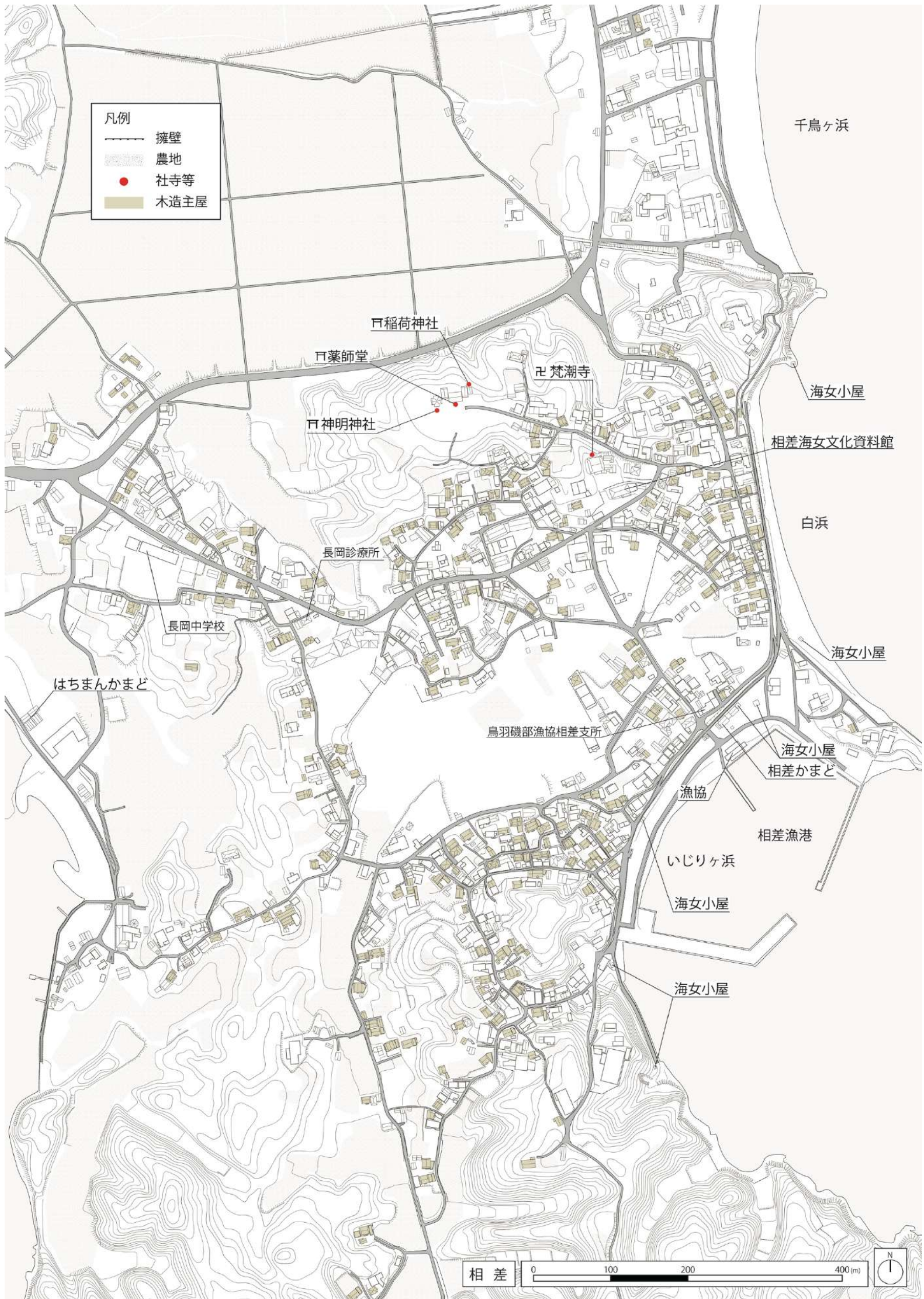


図 4-3-3 相差の屋根伏図

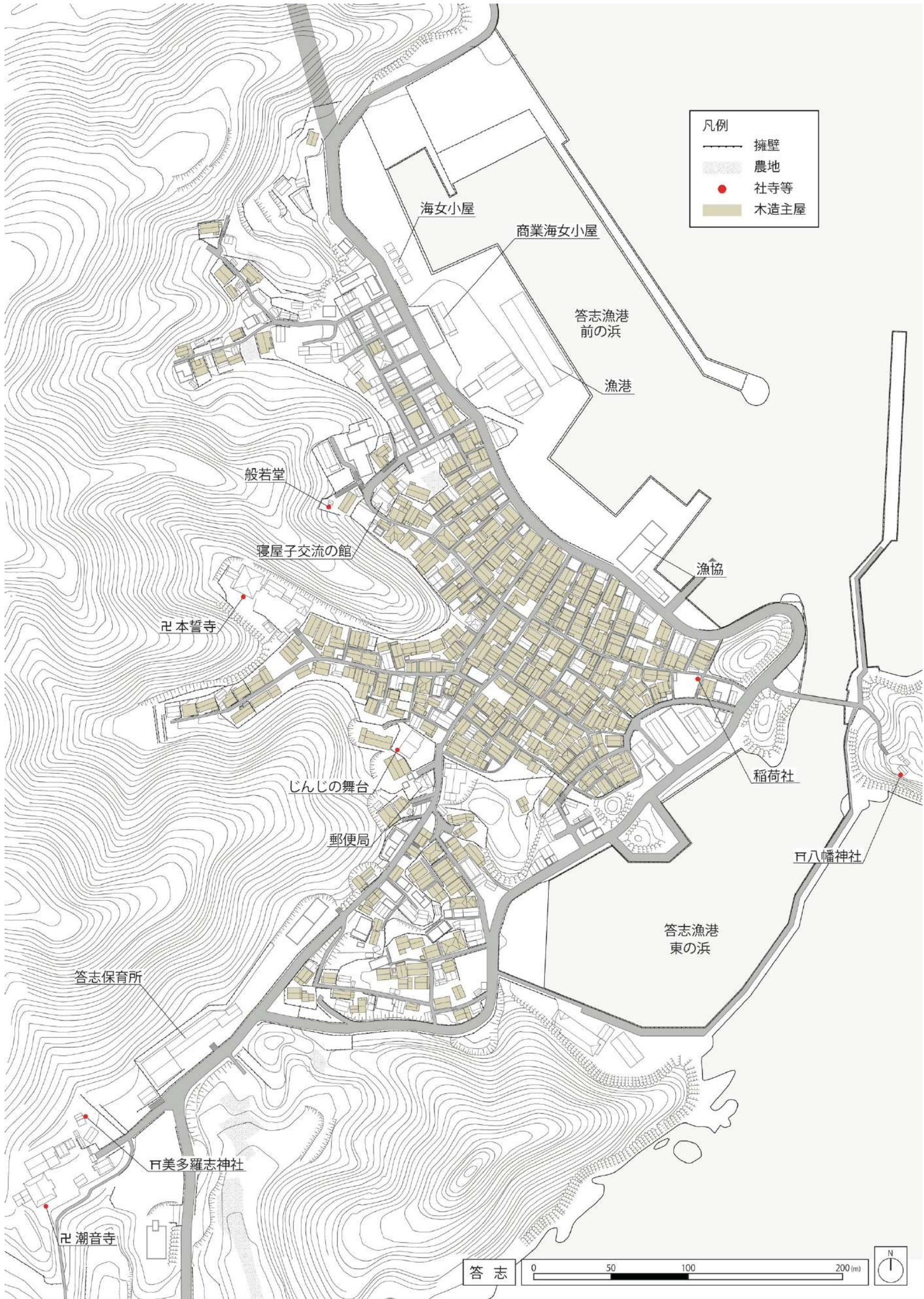


図 4-3-4 答志の屋根伏図

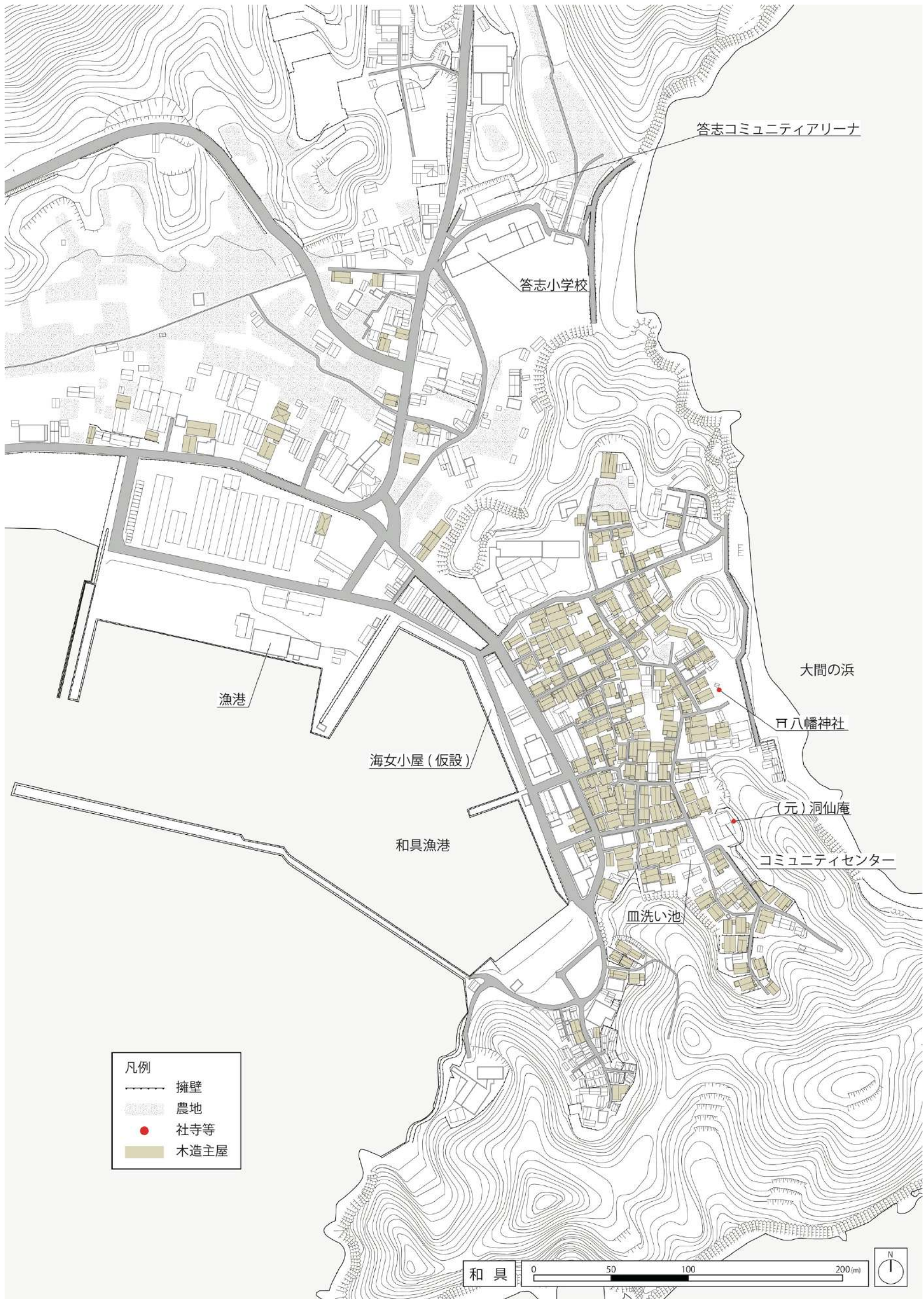


図 4-3-5 和具の屋根伏図

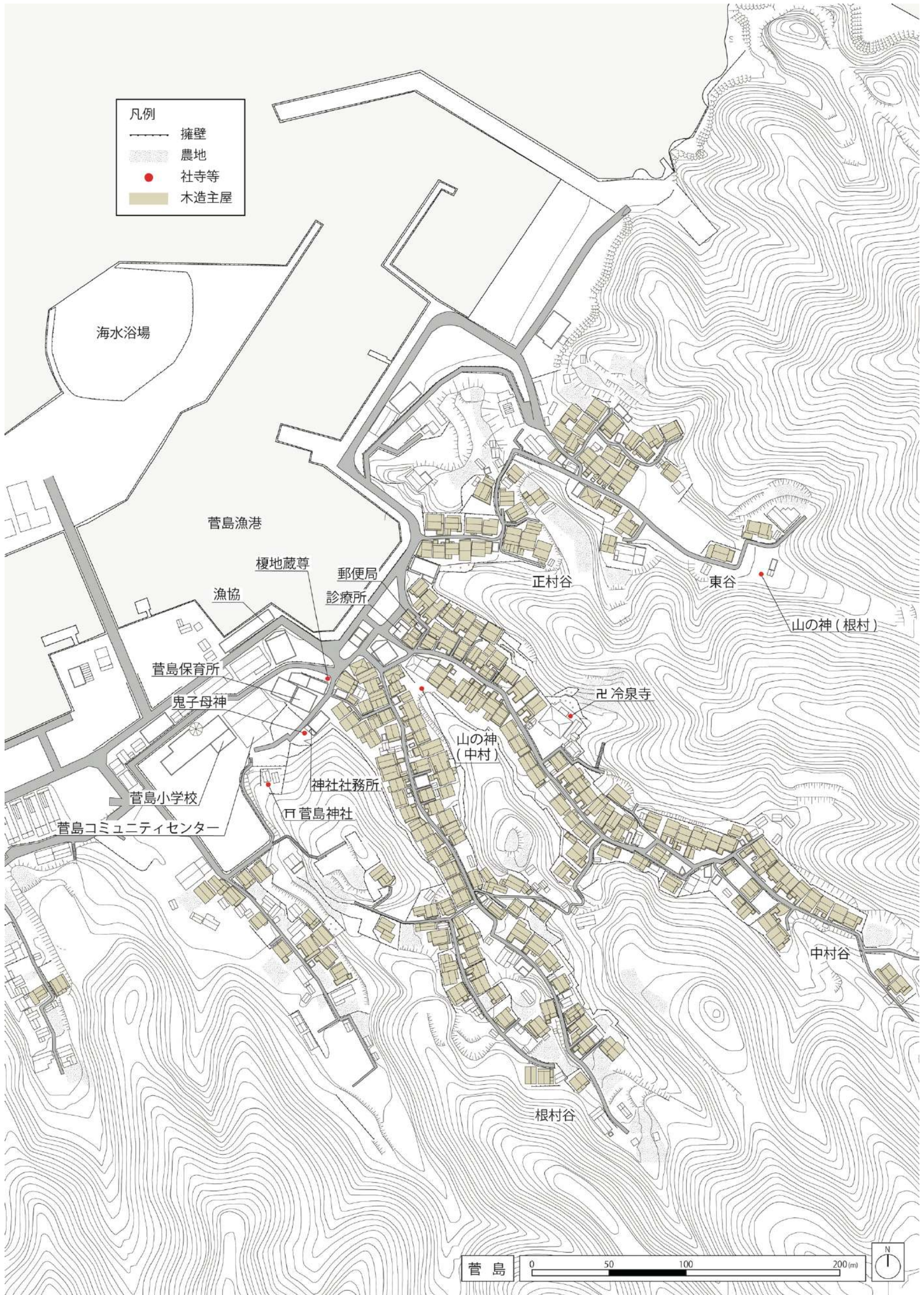


図 4-3-6 菅島の屋根伏図

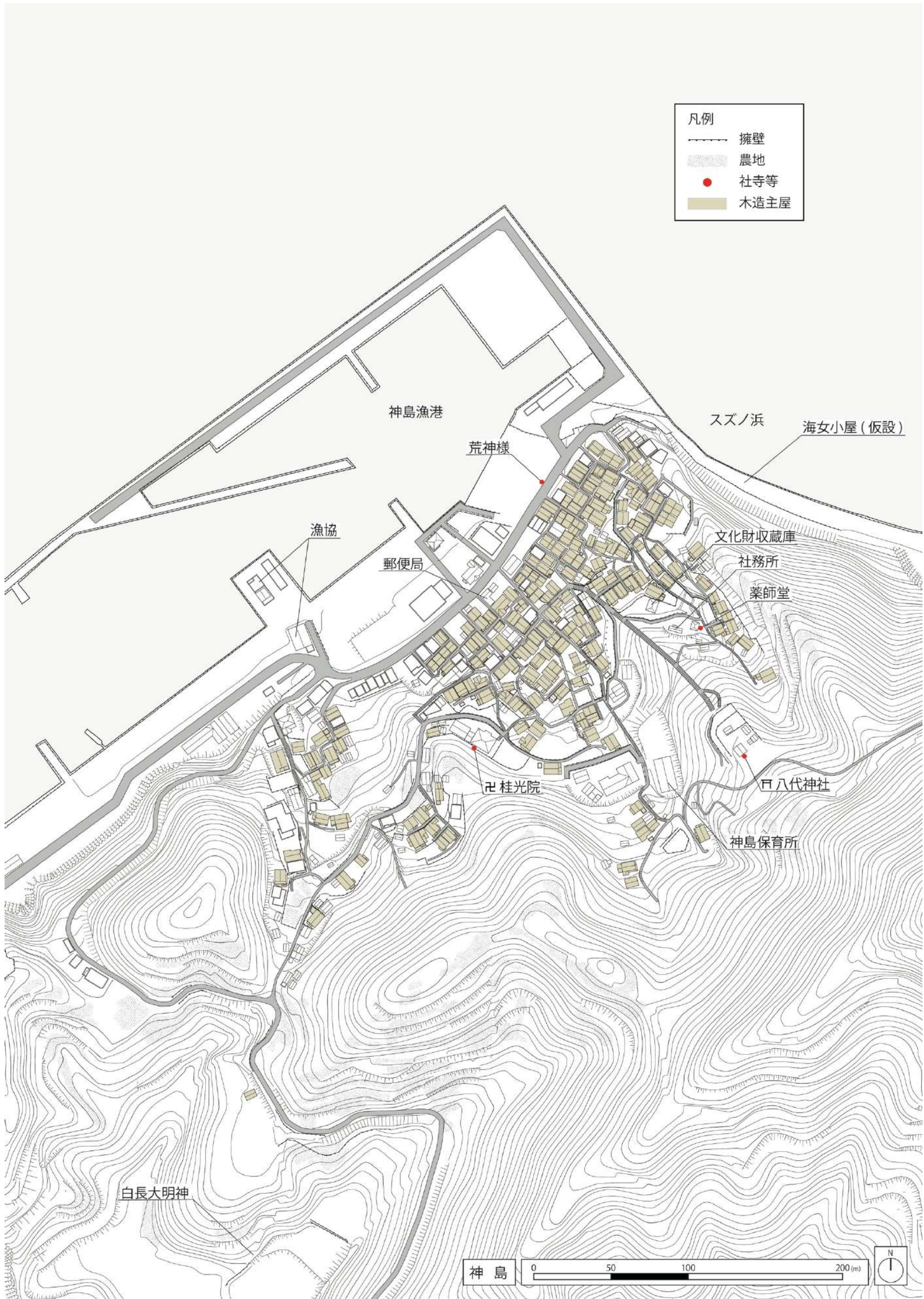


図 4-3-7 神島の屋根伏図

4-4 社寺等の分布

各地区の社寺の分布を図 4-3-1 から図 4-3-7 に示す屋根伏図より把握する。図中において赤丸が置かれる建築物が主要な社寺等を示している。

1) 石鏡

石鏡の社寺等は、宮ノ谷の一方に石鏡神社があり、また城山の高台に圓照寺や御堂の神様と呼ばれる祠がある。二本の谷筋を社寺が挟み込むような分布になっている。

2) 国崎

国崎の社寺等は、高台上に海士潜女神社、常福寺といった社寺が建ち、もともと海士潜女神社があった標高 20m 程度の鎧岬には伊勢神宮御料鮫調製所や山の神と呼ばれる祠がある。

3) 相差

相差の社寺等は、Y字の街路の分岐点に梵潮寺があり、北側に分岐する街路の先に神明神社(石神さん)や稲荷神社がある。集落の北部に社寺等が集中して分布している。

4) 答志

答志の社寺等は、集落北西の谷筋の突き当たりに本誓寺、前の浜と東の浜の両者を隔てるように突き出した岬の先に位置する標高 36m 程の小島に八幡神社、集落の中心から和具方面へと続く街路の途中に、じんじの舞台、美多羅志神社、潮音寺がある。

5) 和具

和具の社寺等は、大間の浜の周辺に八幡神社があり、現在の答志和具コミュニティセンターとなっている場所に洞仙庵があった。

6) 菅島

菅島の社寺等は、中村谷の中腹に冷泉寺、根村谷の南側の漁港から菅島小学校へ向かう街路に、榎地蔵尊、鬼子母神、菅島神社が続く。

7) 神島

山に延びる集落中央の街路の先に八代神社、集落の南東に桂光院がある。いずれも集落が一望できるような標高の高い位置に分布している。

4-5 木造主屋の分布

各地区の木造主屋の分布を図 4-3-1 から図 4-3-7 に示す屋根伏図より把握する。図中において着色されている建築物が木造主屋を示しており、これらは第5章における調査の対象建築物でもある。

1) 石鏡

木造主屋は、比較的密集して分布しており、特に二本の谷筋については隣家と近接しながら軒を連ねている。街路に対して平を向けて建つものがやや優勢の傾向があるが、妻を向けるものも一定数見られる。高台については等高線に沿うように木造主屋が分布しており、街路に平を向けるものが多い。

2) 国崎

木造主屋は建築物全体の半数程度で、多くは東西に軸をとるかたちで、分散して分布している。なお前浜から海女潜女神社に向かう谷筋に限っては街路に妻を向け、隣家と接近するように並んでいるのが特徴的である。

3) 相差

木造主屋は建築物全体の 1/4 にも満たない程度で、平地については東西に軸をとるかたちで、分散して分布している。鶴塚の周辺に関しては、平地と比べると密集して分布しているが、石鏡の高台のように等高線に沿うわけではなく、平地同様に東西に軸をとるよう軒を構える。

4) 答志

木造主屋は集落中心部から南部の平坦地にかなり密集して分布しており、街路に沿って妻を向けるものと、平を向けるものが混在して軒を連ねる。ただし集落北西の谷筋については、街路に平を揃えて連なっており、東の浜付近についても海に妻を揃えて連なっているところもみられる。

5) 和具

木造主屋は高台より南部の平地に密集して分布する。答志同様、街路に沿って妻を向けるものと、平を向けるものが混在して軒を連ねる。

6) 菅島

木造主屋は比較的密集して分布しており、全ての谷で街路に平を向けて、隣家と近接しながら山裾に引き寄せられるように軒を連ねる。

7) 神島

木造主屋はかなり高密度に分布している。菅島同様に街路に対して平を向けて建ち並び、港側からみると、ずらり妻をみせるように軒を連ねる。

4-5-2 木造主屋の分布における各地区の位置付け

本節のまとめとして7地区の木造主屋の分布による位置付けを図4-5-2に示す。研究対象地区における木造主屋の分布のタイプは大きく分けて〈分散型〉〈密集/妻平純然型〉〈密集/妻平混在型〉の3つの型に類型できると考える。

〈分散型〉とは木造主屋が互いに距離をとって分布しているものを指し、国崎、相差がここに該当する。一方の〈密集型〉は木造主屋が街路に沿って互いに接する形で分布しているものを指し、その中でも棟の向きを統一して軒を連ねる地区を〈密集/妻平純然型〉とし、棟の向きが交錯して連なるものを〈密集/妻平混在型〉とする。木造主屋が、街路に対して平を向けて、海に対して妻を見せるかたちで軒を連ねる菅島、神島は〈密集/妻平純然型〉となり、残りの石鏡、答志、和具は〈密集/妻平混在型〉となる。

またこの分析より〈分散型〉である国崎、相差が〈密集型〉の5地区よりも建築物一件に対する相対的な敷地面積が広いことが明らかとなった。

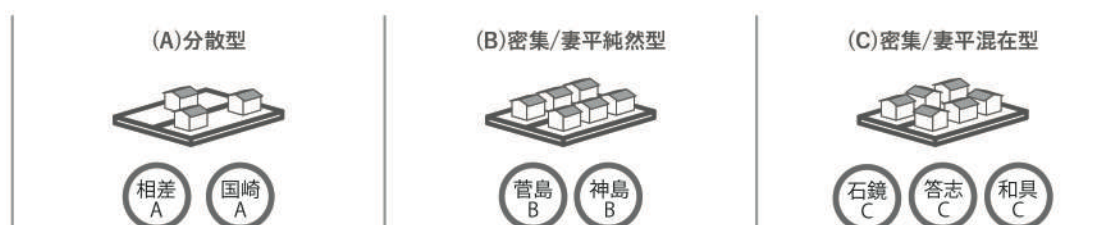


図 4-5-2 木造主屋の分布による位置付け

4-6 小括

4-6-1 集落構成における各地区の位置付け

ここでは調査を行ったもののうち、地形・街路の形態・木造主屋の分布において各節で示した各地区の位置付けをまとめて示している(図 4-6-1)。図 4-6-1 から考察できることを以下に述べる。

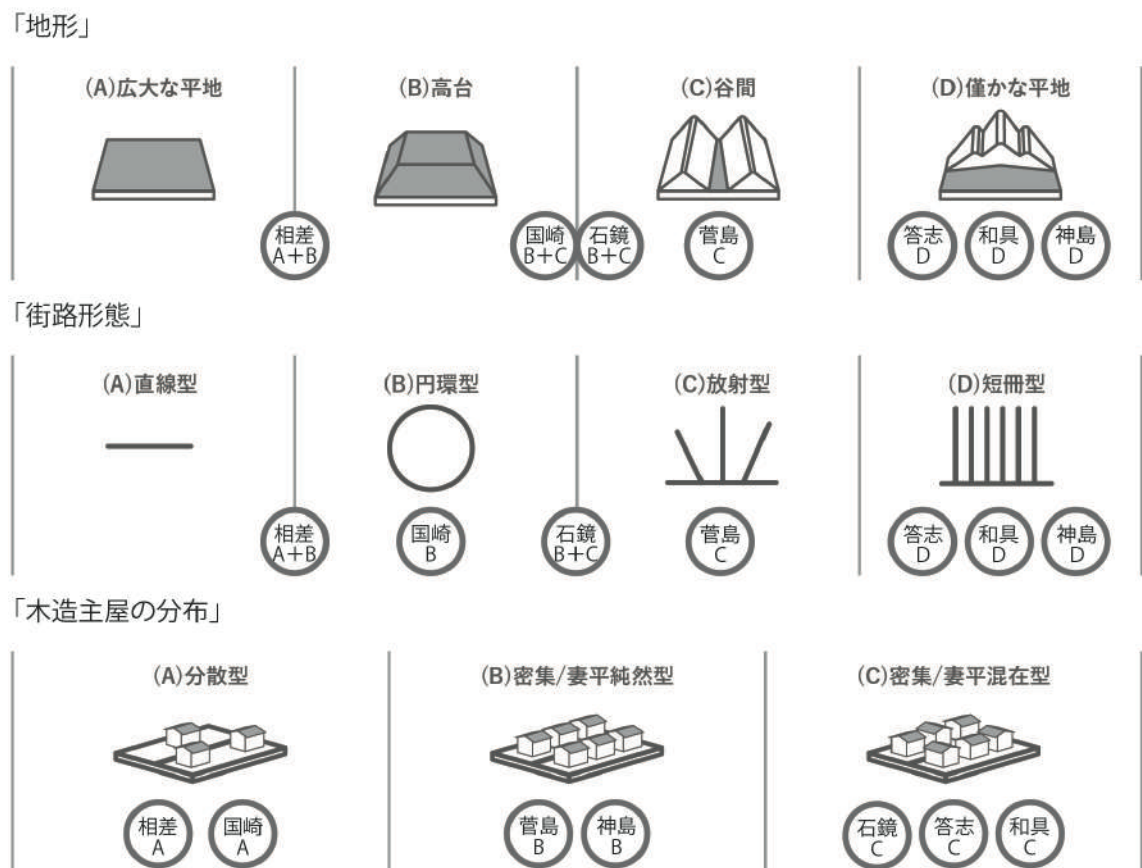


図 4-6-1 集落構成における各地区の位置付け

以上より、同じ海女集落であっても地形や街路形態、木造主屋の分布は一様でないことが分かる。また、「地形」と「街路形態」の関係については、集落の地形が答志、和具、神島のような〈僅かな平地〉で形成される場合は、街路形態が〈短冊型〉となり、集落の地形が国崎や相差の鶴塚、石鏡の城山のような〈高台〉で形成される場合は、街路形態が〈円環型〉、集落の地形が石鏡や菅島のような〈谷間〉で形成される場合は、街路形態が〈放射型〉となっていることがわかる。このように、同地形タイプに類型された地区は、街路形態についても同タイプに類型されていることが分かる。このことから、「街路形態」は「地形」によって選択されていると考えられる。また、「木造主屋の分布」については、「地形」が、〈谷間〉や〈僅かな平地〉といった限られた地形である場合は、〈密集型〉となり、一方の〈広大な平地〉や〈高台〉といった余裕のある地形である場合は、〈分散型〉となっていることがわかる。

4-6-2 生業・風向と集落構成の関係

次に本章で確認した集落構成と、第3章で確認した生業と風向との相互の関係を考察する。各地区の位置付けを図4-6-2に今一度並べて示す。図4-6-2から考察して、相互に関係しているものを以下に述べる。

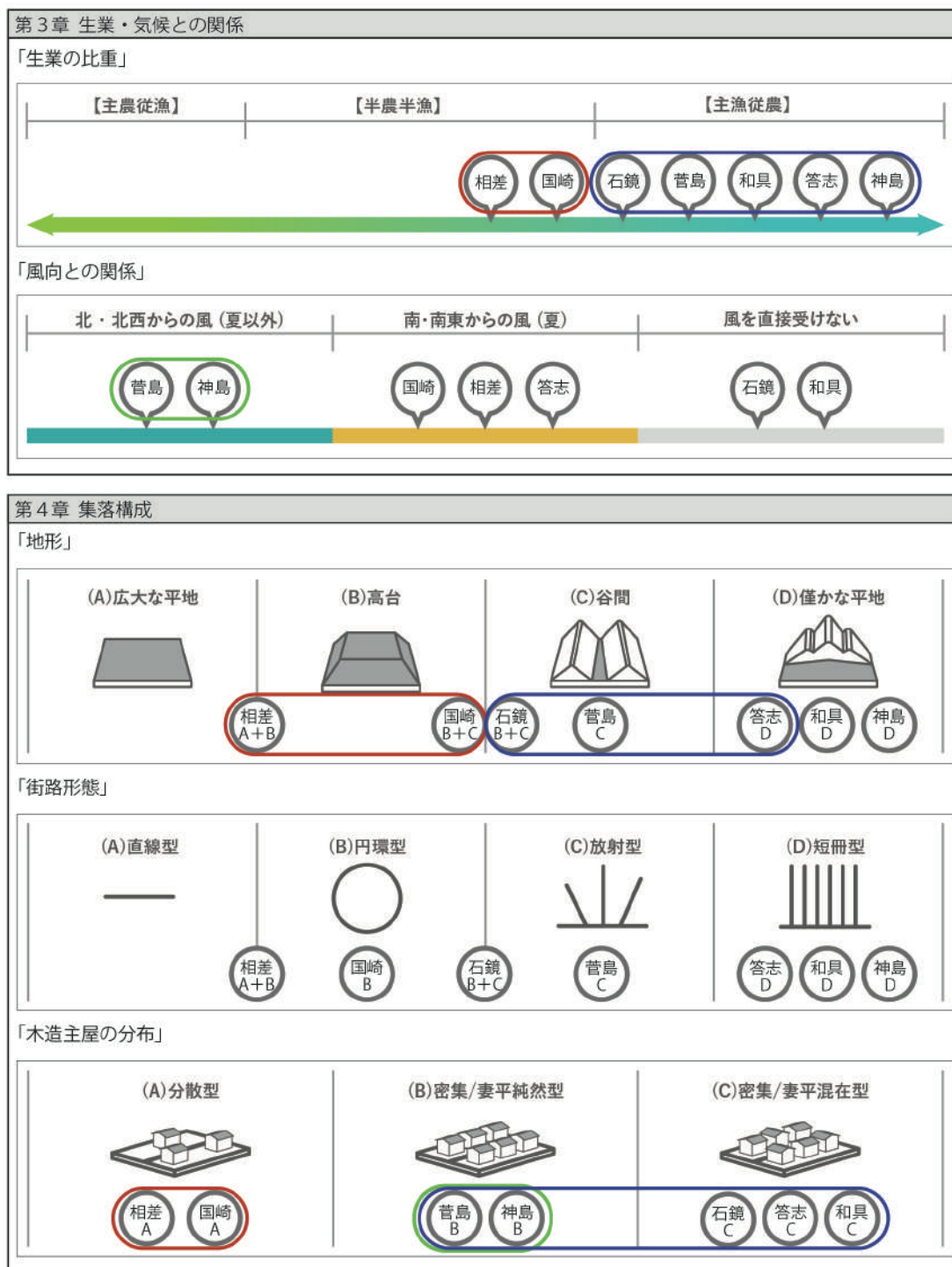


図 4-6-2 生業・風向と集落構成の関係

1) 「生業の比重」 - 「地形」「木造主屋の分布」

「生業の比重」と「地形」「木造主屋の分布」の関係を以下に挙げる。

- ・生業の比重において国崎や相差のように農業のしめる割合が高い場合は、地形が〈広大な平地〉や〈高台〉で形成されており、ゆとりがある。また木造主屋の分布は〈分散型〉となり、建築物一棟あたりにおける敷地面積は相対的に大きくなる。(図 4-6-2 における赤枠の地区)
- ・生業の比重において石鏡や離島のように漁業のしめる割合が高い場合は、地形が〈谷間〉や〈僅かな平地〉で形成されており、限られている。また木造主屋の分布は〈密集型〉となり、建築物一棟あたりにおける敷地面積は相対的に小さくなる。(図 4-6-2 における青枠の地区)ただし、その中でも石鏡は地形に〈高台〉もあることから、国崎、相差側に寄った性格となっている。

以上のことから「地形」、「木造主屋の分布」と「生業の比重」は相互に影響し合うと考えられる。

2) 「風向との関係」 - 「木造主屋の分布」

「風向との関係」と「木造主屋の分布」で関連があると思われることを以下に挙げる。

- ・集落が北東に向き、一年のうち夏季以外の時期に北西(海)からの風を直接受ける菅島と神島は、風が吹き付ける海に妻を揃えて軒を連ねる〈密集/妻平純然型〉になっている。(図 4-6-2 における緑枠の地区)

以上のことから「木造主屋の分布」は「風向きとの関係」の影響を受けると考えられる。

第 5 章

鳥羽市における海女集落の木造主屋の形態

5-1	調査の概要	068
5-2	階数	070
5-2	二階建て	082
5-4	屋根形式	094
5-5	入口方向	106
5-6	妻入と平入	117
5-7	玄関の位置	129
5-8	風呂の位置	141
5-9	小括	153

5-1 調査の概要

本章では各地区における木造主屋の形態を考察する。各地区における建築物の調査は、景観調査の際に既に行われており、報告書第Ⅰ編～Ⅲ編(第Ⅰ編 p68-111, p156-205、第Ⅱ編 資料編、第Ⅲ編 p56-116, p170-230)においても述べられているが、そこでは組ごとの平均的な分析にとどまっている。そこで、本研究では木造主屋に着目して形態に関する7項目についての調査を行い、その割合および、屋根伏図を利用した分布を明らかにし、地形等との関係も意識しながら建物単体での形態の考察を行う。また、項目ごとに7地区の比較分析を行うとともに、第3章で確認した生業や気候、第4章で確認した集落構成とも合わせて相互の要素にどのような関係があるかを明らかにする。

5-1-1 調査の対象

本調査は各地区の木造主屋を調査対象とする。木造主屋の判断は、景観調査における結果を基に行なっており、建築物のうち種別が「主屋」であり、かつ構造が「木造」のもの(木造主屋)を対象とする。景観調査の概要については報告書第Ⅰ編(p64-67)を、景観調査における各地区の調査範囲と調査対象建築物については第1章の1-3-3 景観調査の対象範囲を参照されたい。

本調査の対象となる木造主屋数を表 5-1-1 に示す。なお、参考として景観調査における調査対象建築物の全数と、種別「主屋」に該当した建築物の件数も共に示している。また、対象となる木造主屋の分布については第4章で作成した各地区の屋根伏図(図 4-3-1 から図 4-3-7)に記載しているため参照されたい。

表 5-1-1 調査対象建築物数

地区	全建築物(件)	主屋(件)	木造主屋(件)	二階建て(件)
石鏡	253	216	155	95
国崎	209	134	88	37
相差	1080	504	236	84
答志	553	378	346	282
和具	629	198	189	179
菅島	426	228	214	206
神島	321	223	191	109

5-1-2 調査の内容

調査項目は建築物の形態を考察する上で重要となる [階数] [二階建て] [屋根形式] [妻入・平入] [入口方向] [玄関の位置] [風呂の位置] の7項目である(図 5-1-2)。[二階建て]以外の項目の調査については、表 5-1-1 に示す木造主屋のすべてを対象に、[二階建て]の調査については、木造主屋のうち [階数] の調査において「二階」に該当したものの全てを対象に行なう。二階建ての件数についても表 5-1-1 に重ねて示している。なお調査内容の詳細については項目ごとに5-2 から5-8 において後述する。調査結果については項目ごと、地区ごとに割合と分布に示す。



図 5-1-2 調査項目

5-1-3 調査の方法

①使用した資料

- ・ 景観調査で撮影した各建築物の写真
- ・ 景観調査で作成した建築物の集計シート

②使用したソフト

- ・ Adobe Illustrator
- ・ Microsoft Excel

③調査方法

- (i) 5-1-1 に示す調査対象建築物について、景観調査で撮影した各建築物の写真、作成した建築物の集計シートをもとに 5-1-2 に示す 7 項目について調査を行う。
- (ii) 調査を行なった 7 項目の、項目ごとの調査結果を、第 4 章で作成した各地区の屋根伏図に Adobe Illustrator を用いてプロットし分布を示す。
- (iii) (ii) でプロットしたパスの数を Adobe Illustrator 上でカウントし、それをもとに Microsoft Excel で割合を求める。なお集落の中心部から離れており、屋根伏図の作図の範囲外に位置している木造主屋についても、アートボード外にプロットし、カウントに反映するようにしており、割合には調査対象となる木造主屋の全てが数に含まれる。
- (iii) (i) で把握できなかった項目および、建築物について、再度、現地における追加調査を行い(ii)、(iii)を補足する。なお、この追加調査は 4-1-2 屋根伏図の作成における追加調査と並行して行なったものである。

5-2 階数

木造主屋の形態を把握するため、まず初めに階数の調査を行う。区分枝は「一階」「ツシ二階状」「二階」「三階」とし(図 5-2-1)、その分布と割合を調べる。ここで、ツシ二階とは二階建ての内、二階部分の天井が低く主に物置に使われていたもののことであるが、本景観調査では内部の様子は確認できないため、その特徴が外観に反映したものを「ツシ二階状」とする。具体的には、上屋と下屋の区別があり、平側からみた二階の軒高が1尺から2尺程度のものである。また、地下があるもので、外から見て開口部が確認できるものについては階数に数え、また建築物の部分によって階数が異なる場合においては最大のものとする。

階数の分布を図 5-2-2 から図 5-2-8 に、件数と割合を表 5-2 に示す。なお、図 5-2-2 から図 5-2-8 において着色されていない建築物については、木造主屋以外の建築物である。また、件数と割合については作図の範囲外の木造主屋についても含んでいる。

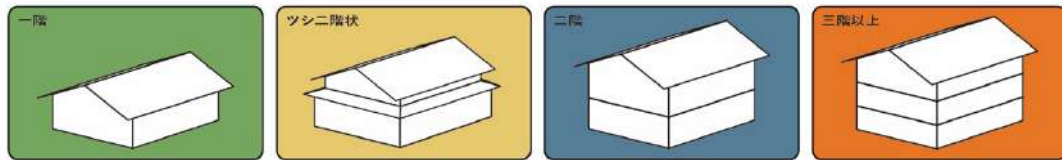


図 5-2-1 階数の区分

表 5-2 全地区における階数の割合

階数	一階		ツシ二階状		二階		三階		合計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
石鏡	24	15.5%	36	23.2%	95	61.3%	0	0.0%	155	100.0%
国崎	27	30.7%	24	27.3%	37	42.0%	0	0.0%	88	100.0%
相差	131	55.5%	20	8.5%	84	35.6%	1	0.4%	236	100.0%
答志	16	4.6%	2	0.6%	282	81.5%	46	13.3%	346	100.0%
和具	6	3.2%	0	0.0%	179	94.7%	4	2.1%	189	100.0%
菅島	4	1.9%	1	0.5%	206	96.3%	3	1.4%	214	100.0%
神島	7	3.7%	3	1.6%	109	57.1%	72	37.7%	191	100.0%

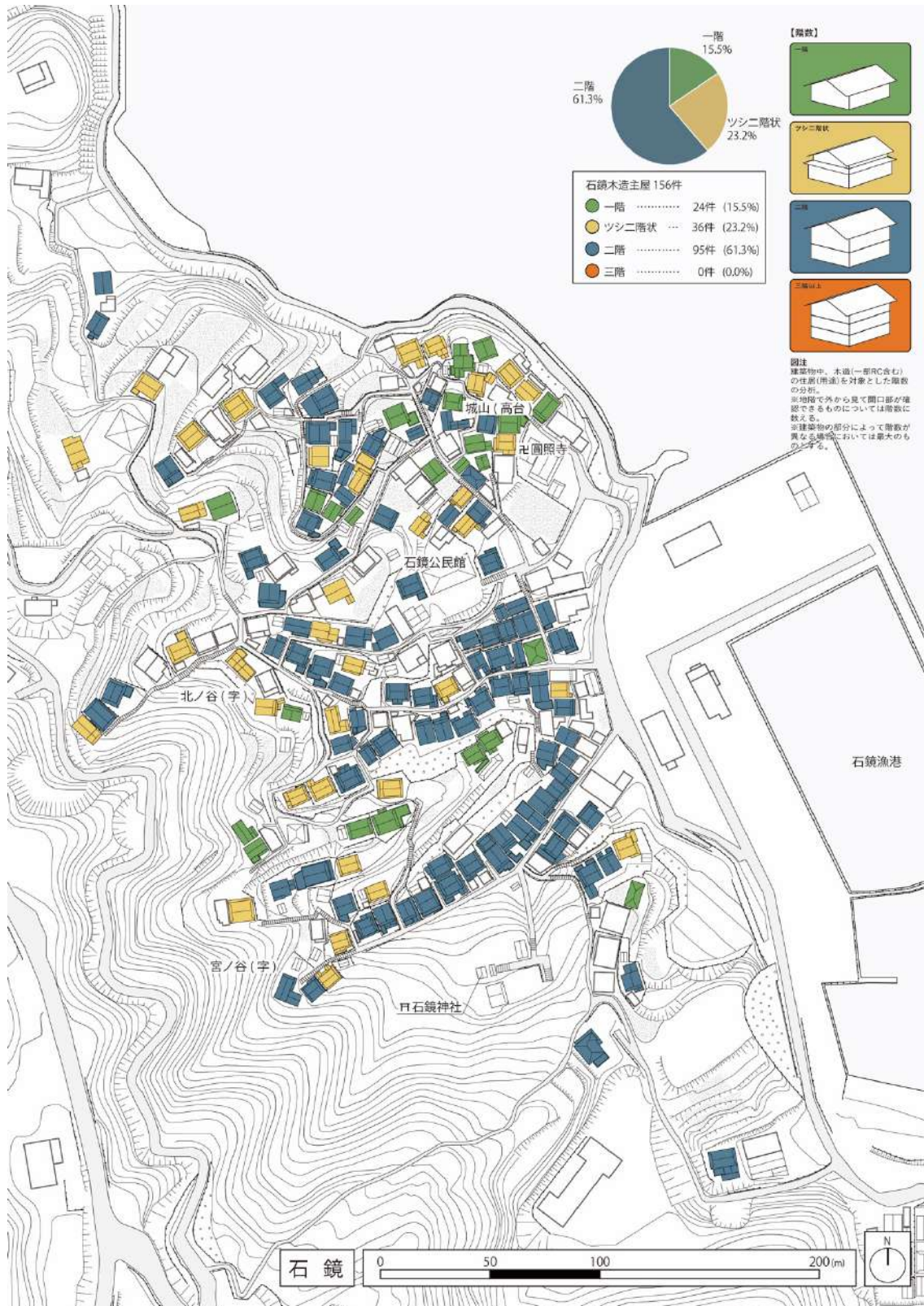


図 5-2-2 石鏡における階数の分布

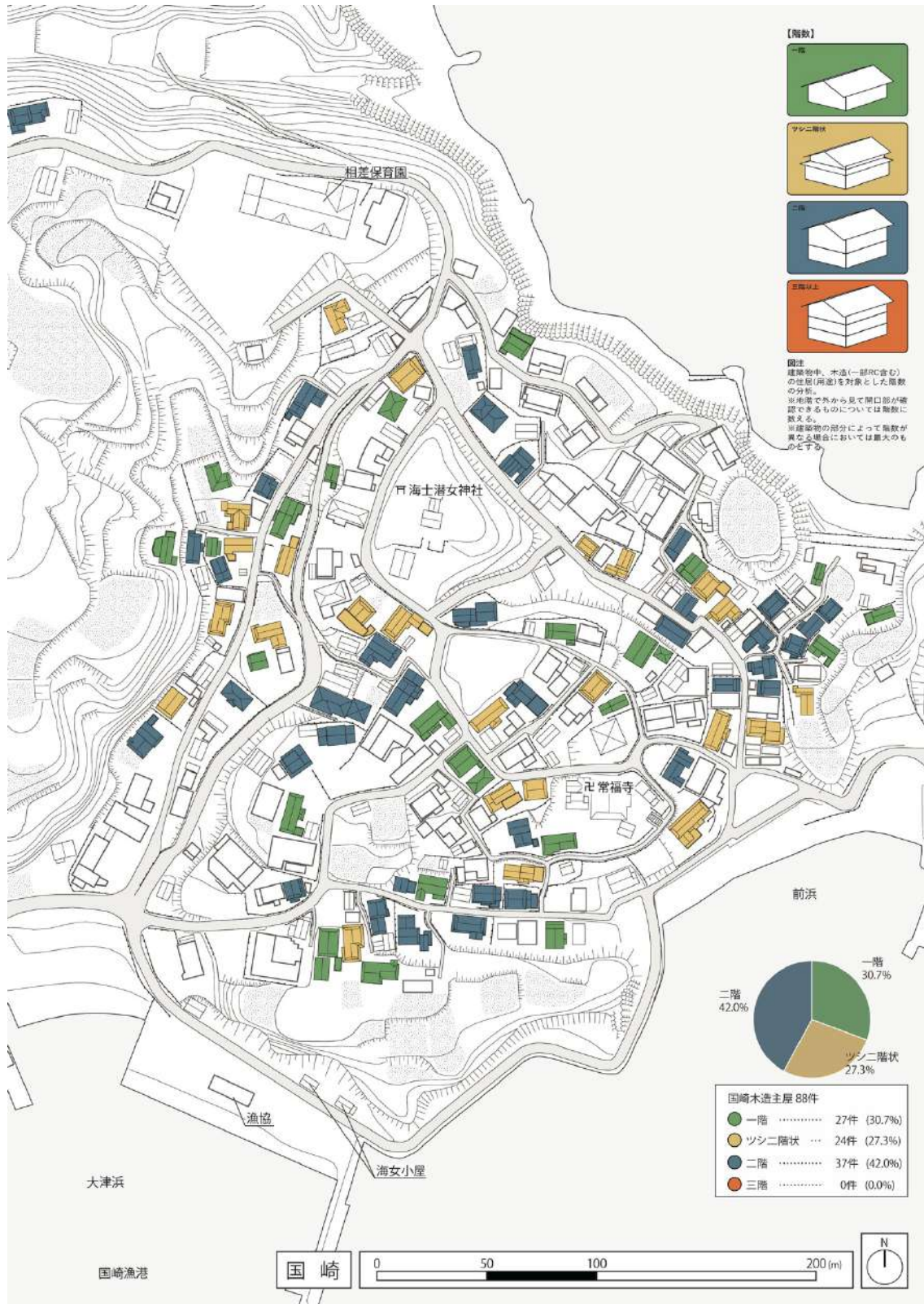


図 5-2-3 国崎における階数の分布

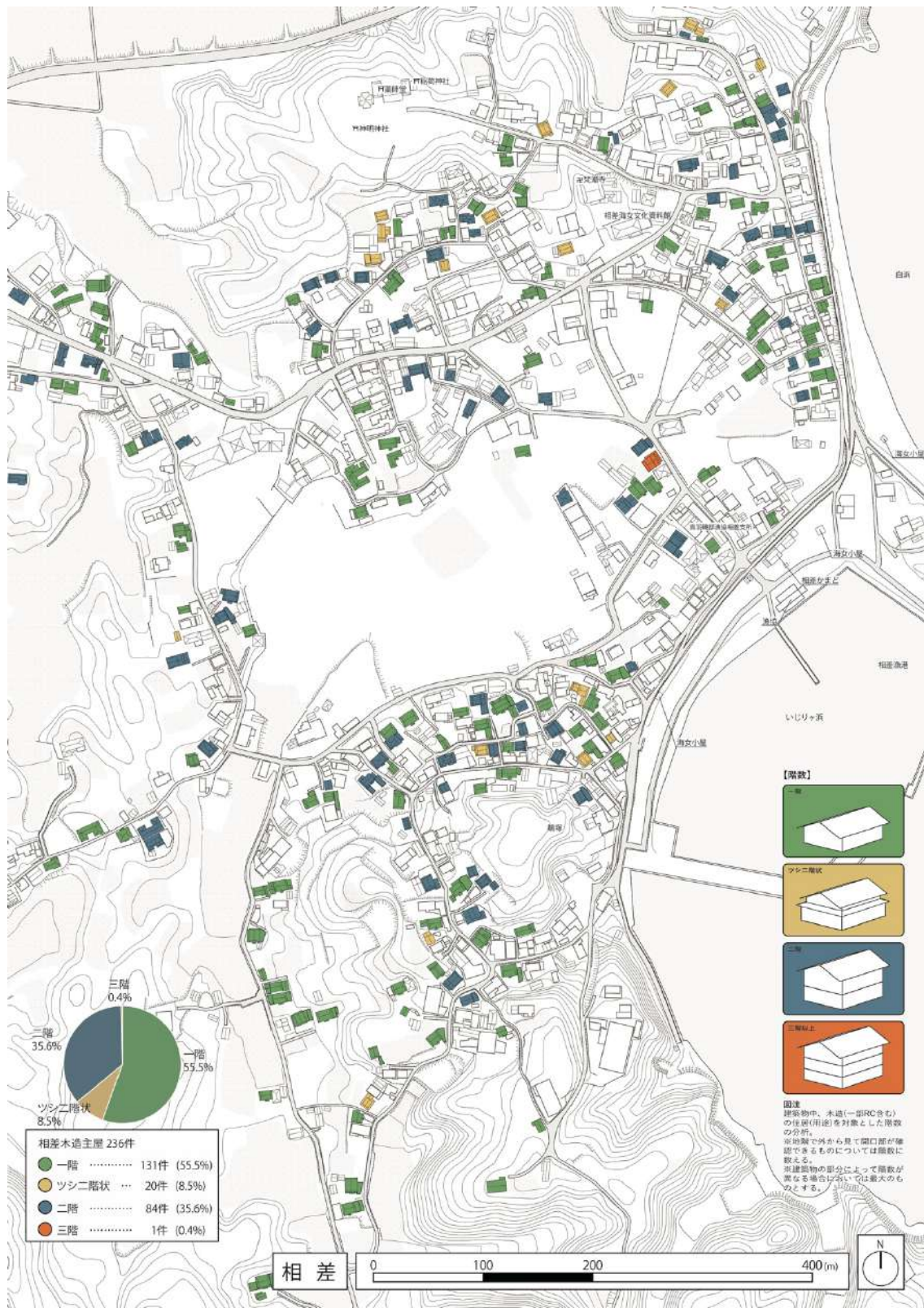


図 5-2-4 相差における階数の分布

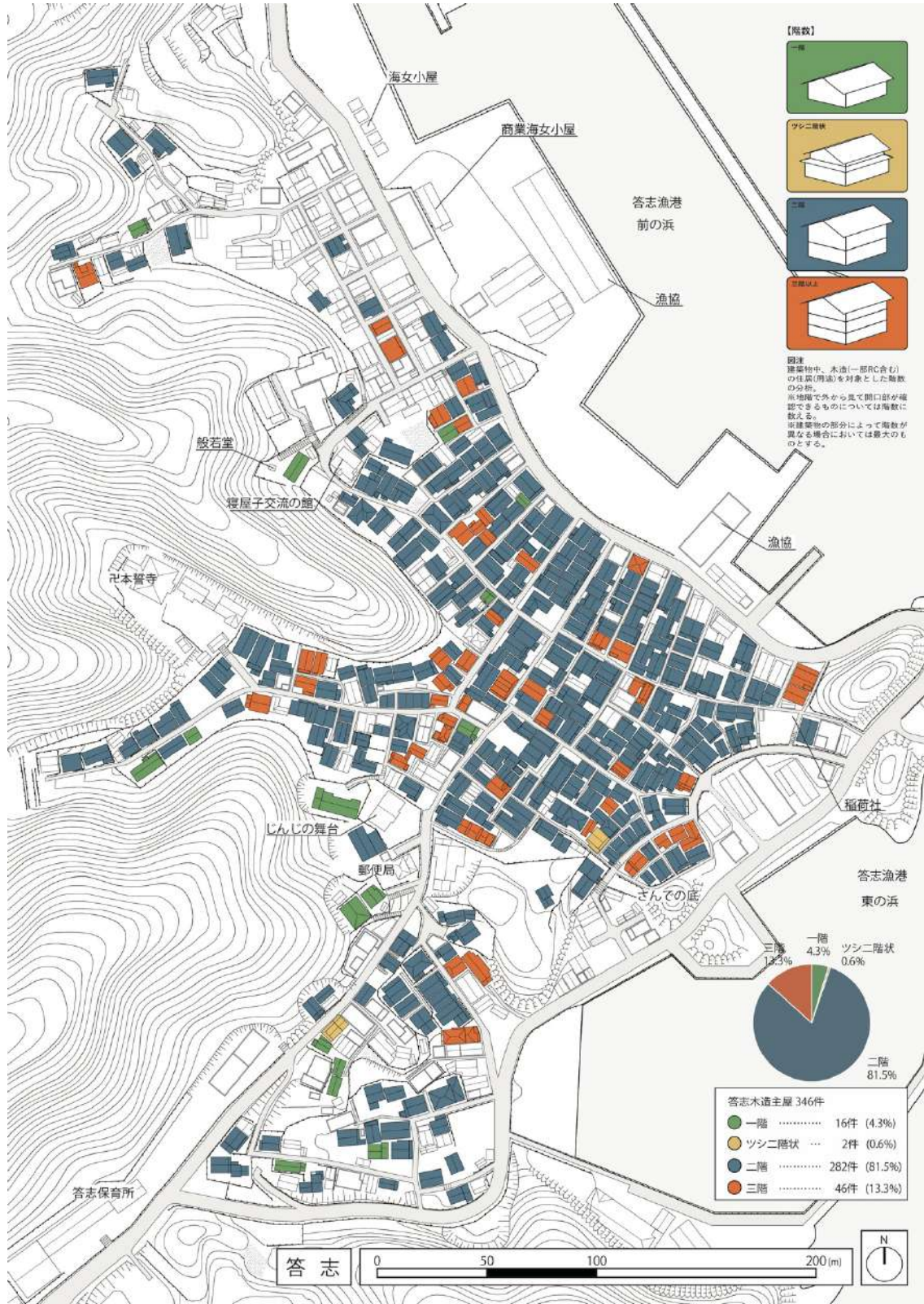


図 5-2-5 答志における階数の分布

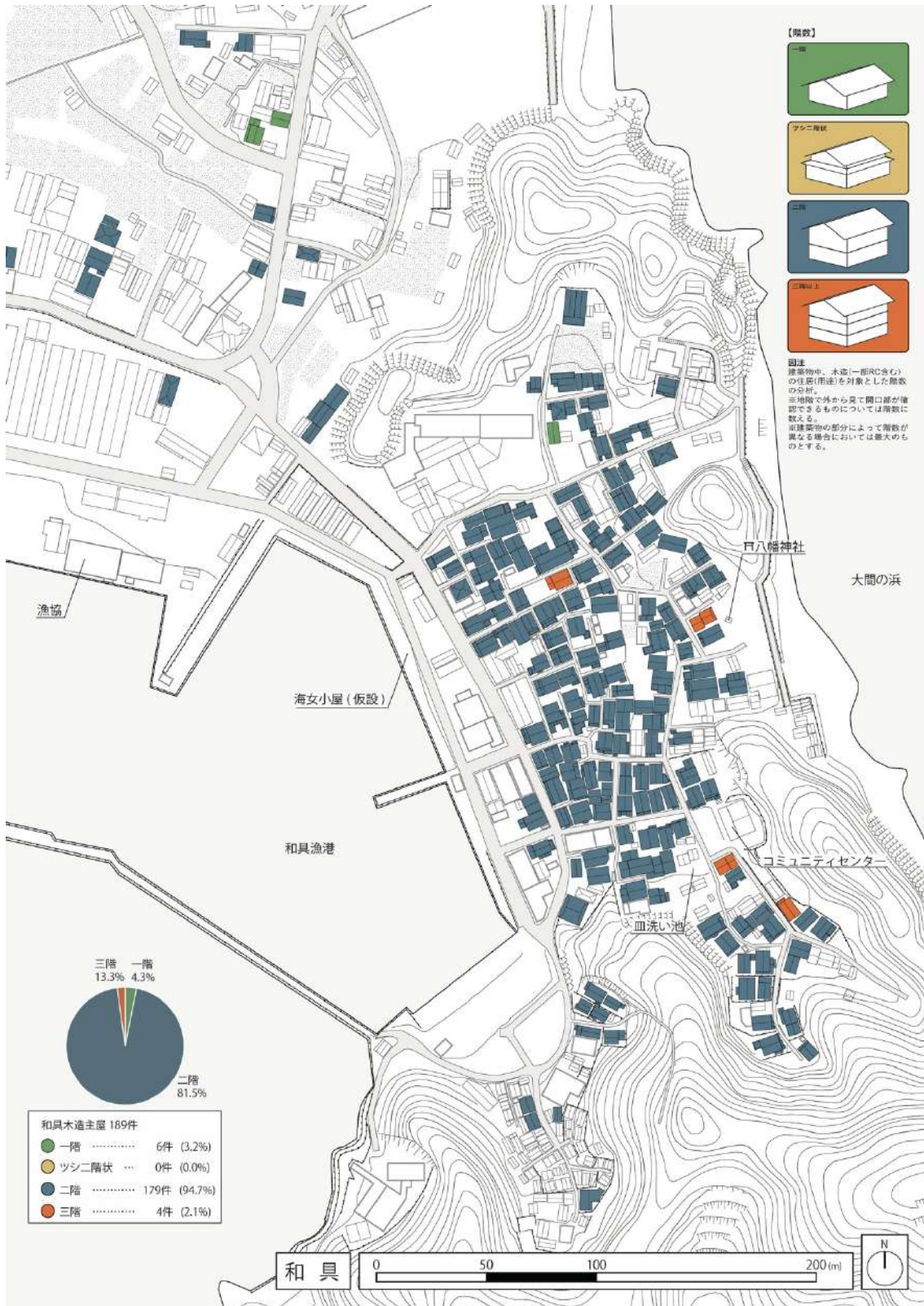


図 5-2-6 和具における階数の分布

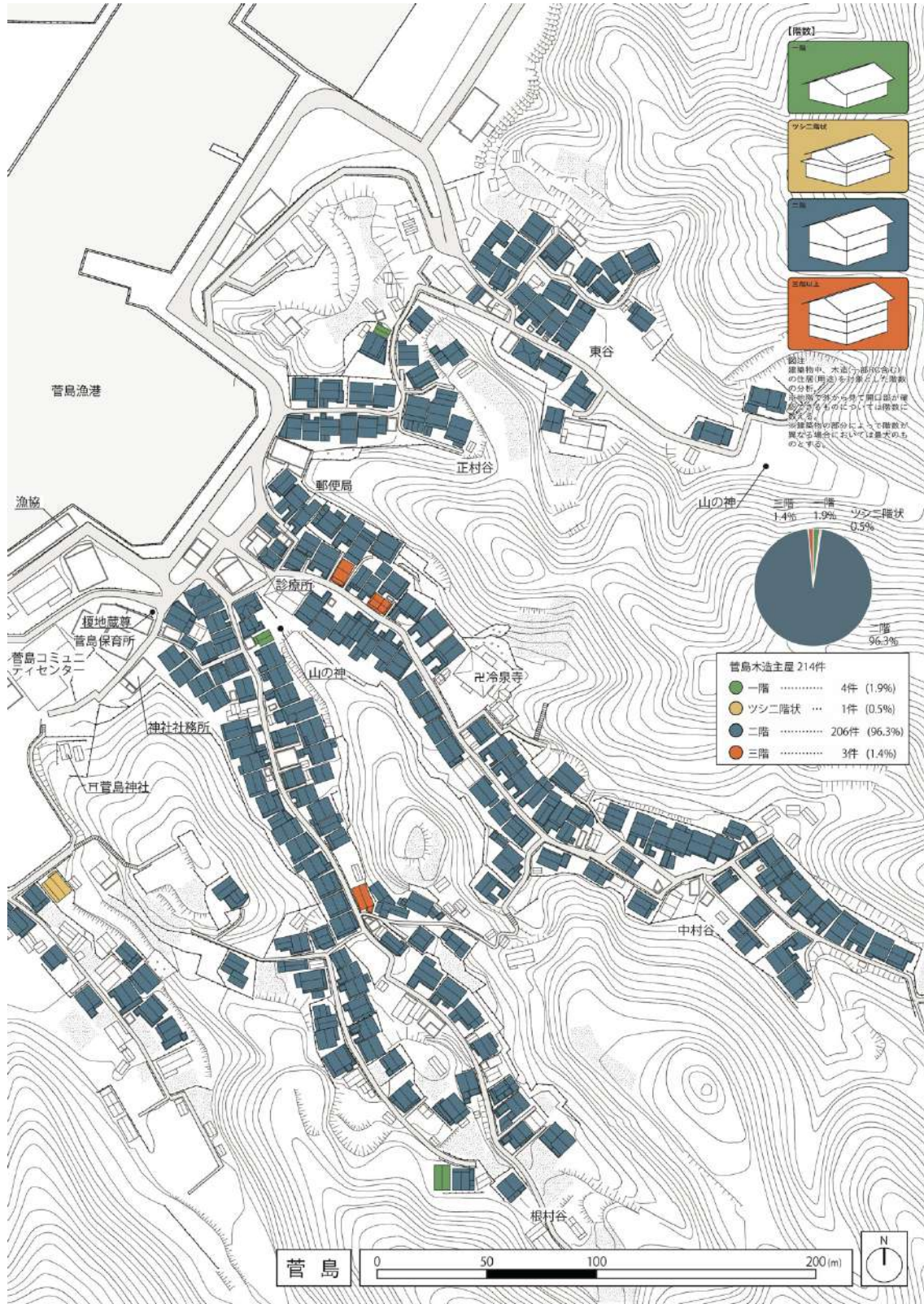


図 5-2-7 菅島における階数の分布

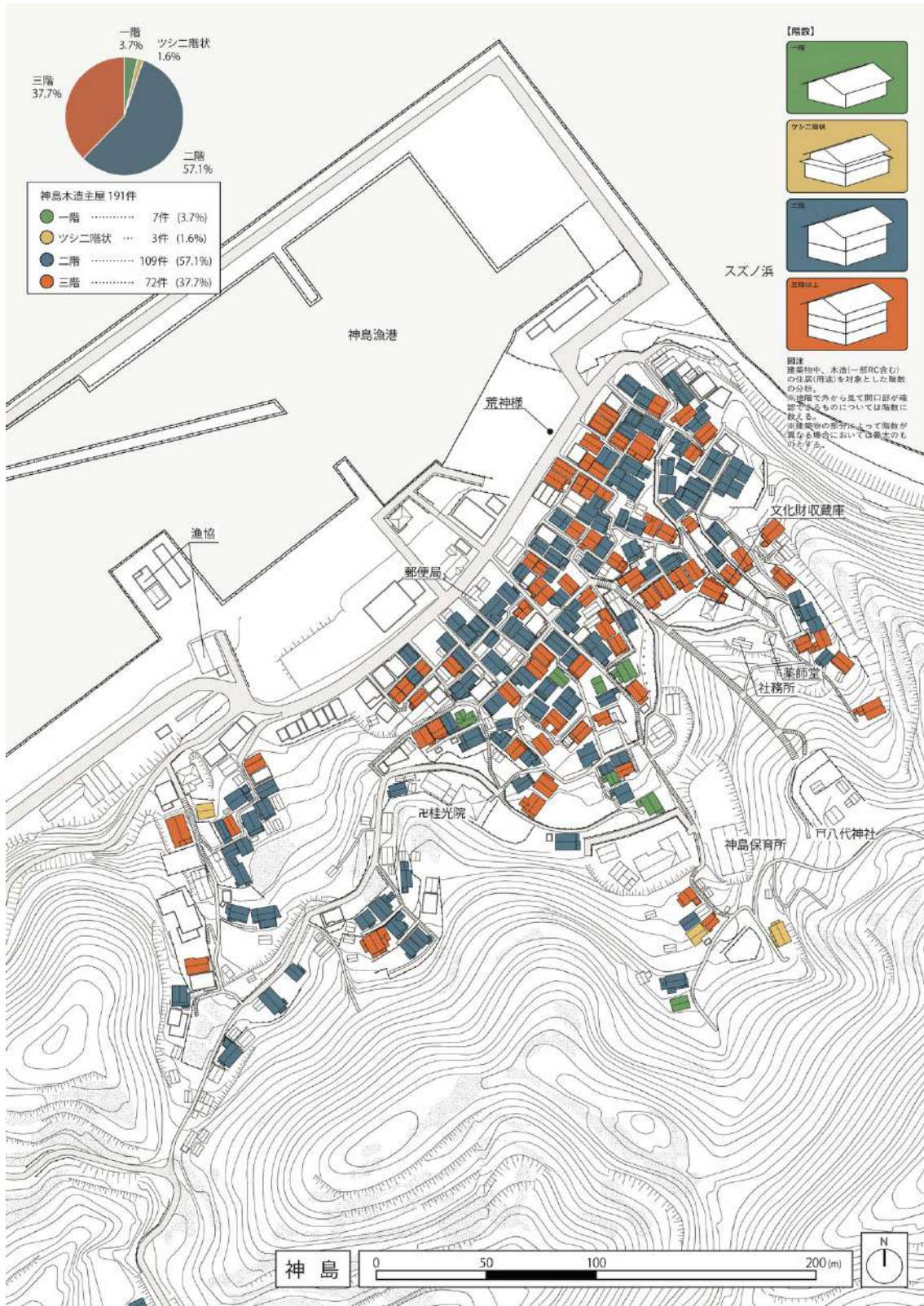


図 5-2-8 神島における階数の分布

【地区ごとの結果】




1) 石鏡

「一階」が15.5%、「ツシ二階状」が23.2%、「二階」が61.3%で「三階」はなかった。「二階」が過半を占めているが特に、宮ノ谷と北ノ谷の2本の谷筋に集中して「二階」は分布しており、一方の尾根、および城山の高台については「一階」と「ツシ二階状」が分布する。また、「ツシ二階状」は標高の高いエリアにも分布している。

			
一階	ツシ二階状	二階	三階
写真 5-2-1 階数(石鏡)			




2) 国崎

「一階」が30.7%、「ツシ二階状」が27.3%、「二階」が42.0%で「三階」はなかった。特に地形による偏りはなく、全体にわたって均等に分布するように思われる。「ツシ二階状」については木造主屋での割合で見ると全地区の中で最も割合が高く、前節で確認したようにRCへの建て替えが進む一方で、古い形式を持つ木造主屋も多く残る。

			
一階	ツシ二階状	二階	三階
写真 5-2-2 階数(国崎)			

3) 相差

「一階」が55.5%、「ツシ二階状」が8.5%、「二階」が35.6%で「三階」はなかった。全地区の中で最も「一階」が占める割合が高い。また、写真 5-2-3 にも示す通り木造主屋の中でも比較的古いと判断される外壁が真壁のものはほとんど「一階」に該当しており、一方、木造主屋の中でも比較的新しいと判断される大壁のものが「二階」に該当する。

			
一階	ツシ二階状	二階	三階
写真 5-2-3 階数(相差)			




4) 答志

「一階」が4.6%、「ツシ二階状」が0.6%、「二階」が81.5%、「三階」が13.3%である。集落の中心は「二階」が中心であるが「三階」も分散してみられる。また山裾には少数ではあるが「一階」も分布している。

			
一階	ツシ二階状	二階	三階
写真 5-2-4 階数(答志)			

5) 和具

「一階」が3.2%、「二階」が94.7%、「三階」が2.1%で、「ツシ二階状」はなかった。特に地形による偏りはなく、ほとんどが「二階」であると言える。稀に「一階」「三階」のものもあるが、それらにも地形による偏りはなかった。

	/		
一階	ツシ二階状	二階	三階
写真 5-2-5 階数(和具)			

6) 菅島

「一階」が1.9%、「ツシ二階状」が0.5%、「二階」が96.3%、「三階」が1.4%であった。和具と同様に特に地形による偏りはなく、ほぼ全てが「二階」である。全地区の中で最も「二階」が占める割合が高い。

			
一階	ツシ二階状	二階	三階
写真 5-2-6 階数(菅島)			

7) 神島

「一階」が3.7%、「ツシ二階状」が1.6%、「二階」が57.1%、「三階」が37.7%であった。最も多いのは「二階」であるが、3割を超えて「三階」もみられる。他の地区では「三階」は少数しかみられなかったことから、神島の特徴であると言える。「三階」とされているものは基本的に写真 5-2-7 に示すように、二階建ての木造主屋の基礎となる地下部分にRCでもう一層分の階がつくられており、RC部分は主に倉庫として使われている。「三階」の分布に偏りはなく、全体的に分散して分布している。



【階数における各地区の位置付け】

全地区の階数の割合を図 5-2-9 に示す。相違を除く6地区については「二階」が最も多いことが共通しているが、その割合の差は顕著である。本土の3地区については、相違はもちろん、国崎でも「一階」と「ツシ二階状」の総数が過半を超えており、相対的な階数は小さい。また石鏡でも国崎、相違ほどではないが、「一階」と「ツシ二階状」の総数が約4割と、比較的階数が少なく、高さを抑えた木造主屋が多くみられる。一方離島の4地区についてはほぼ全てが「二階」以上であり、いずれの地区も本土に比べて相対的な階数は大きくなる傾向がある。特に神島は「三階」の割合が非常に高いことから、全地区の中で最も階数が大きくなる。

本節のまとめとして7地区の木造主屋における、相対的な階数の大きさによる位置付けを図 5-2-10 に示す。図は右に偏るほど階数が高くなり、左に偏るほど低くなることを表す。相対的に階数が小さい地区から順に並べると相違、国崎、石鏡、和具、菅島、答志、神島の順となる。

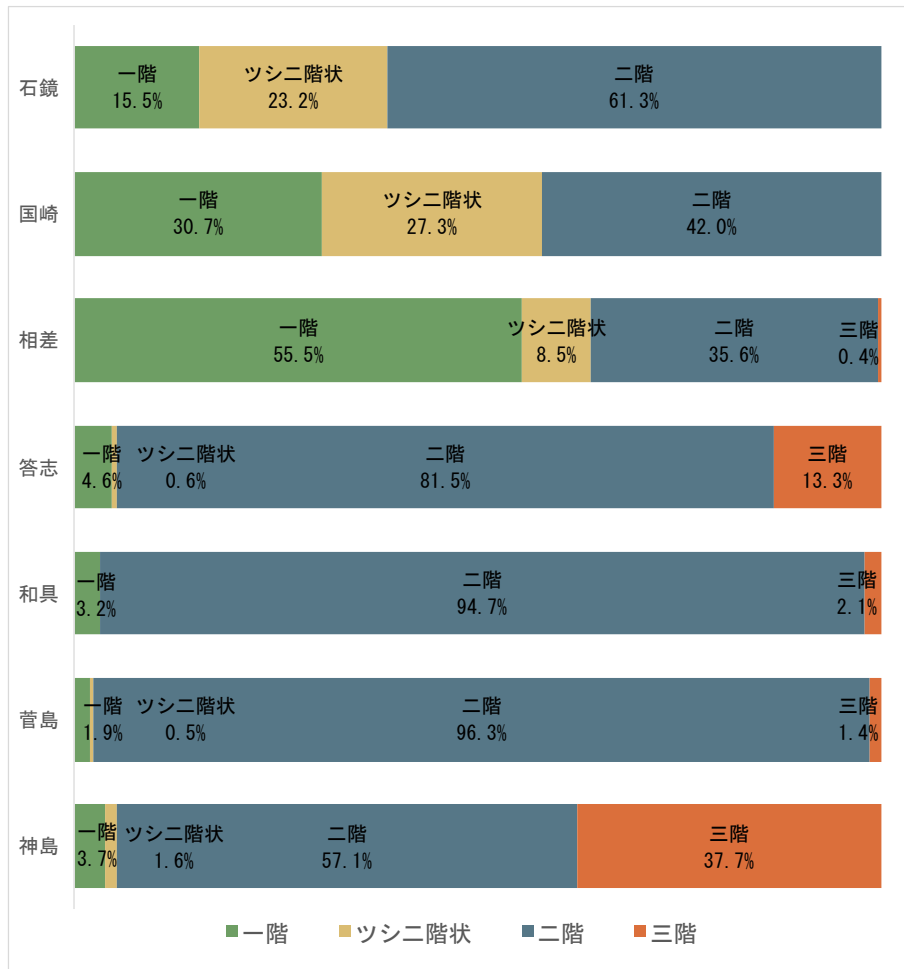


図 5-2-9 全地区の階数の割合



図 5-2-10 階数の大きさによる位置付け

5-3 二階建て

前項で木造主屋の階数の調査を行ったが、同じ階数であっても地区によってその形態は様々のように思われる。そこで本項では全ての地区で一定数見られた二階建てを取り上げて、下屋の形状をもとに、より詳しい調査を行う。区分肢は下屋部分のボリュームを検討することを意図して設定した「総二階」「非居室」「居室一間未満」「居室一間以上」とし(図 5-3-1)、その分布と割合を調べる。二階と一階の床面積が同じ建築物を「総二階」、二階より一階の床面積が大きい建築物のうち面積差(下屋)が玄関・水廻り(トイレ・風呂)にあたるものを「非居室」、面積差(下屋)が居室にあたり二階と一階の外壁の差が一間未満のものを「居室一間未満」、一間以上のものを「居室一間以上」とする。ただし、面積差(下屋)にあたる部分に居室と非居室のどちらもあるものについては「居室一間未満」または「居室一間以上」に含む。なお、本節における形状の調査は、ボリュームの検討を目的としているため、倉庫については水廻りよりも大きく居室に近いボリュームを持つことから、非居室であるが居室として扱い、「居室一間未満」または「居室一間以上」に分類している。

二階建ての分布を図 5-3-2 から図 5-3-8 に、件数と割合を表 5-3 に示す。なお、図 5-3-2 から図 5-3-8 において着色されていない建築物については、木造主屋で「二階」に該当したもの以外の建築物である。また、件数と割合については作図の範囲外の木造主屋で「二階」に該当したものについても含んでいる。

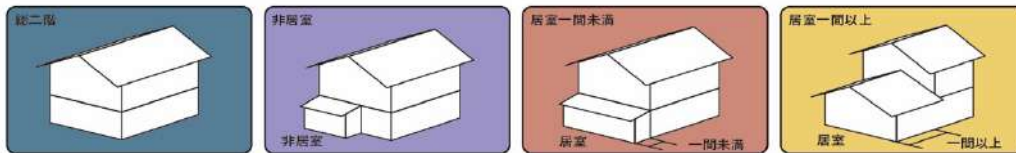


図 5-3-1 二階建ての区分

表 5-3 全地区における二階建ての割合

二階	総二階		非居室		居室一間未満		居室一間以上		合計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
石鏡	13	13.7%	9	9.5%	45	47.4%	28	29.5%	95	100.0%
国崎	2	5.4%	5	13.5%	7	18.9%	23	62.2%	37	100.0%
相差	11	13.1%	1	1.2%	26	31.0%	46	54.8%	84	100.0%
答志	128	45.4%	54	19.1%	67	23.8%	33	11.7%	282	100.0%
和具	59	33.0%	40	22.3%	42	23.5%	38	21.2%	179	100.0%
菅島	17	8.3%	10	4.9%	47	22.8%	132	64.1%	206	100.0%
神島	33	30.3%	24	22.0%	38	34.9%	14	12.8%	109	100.0%

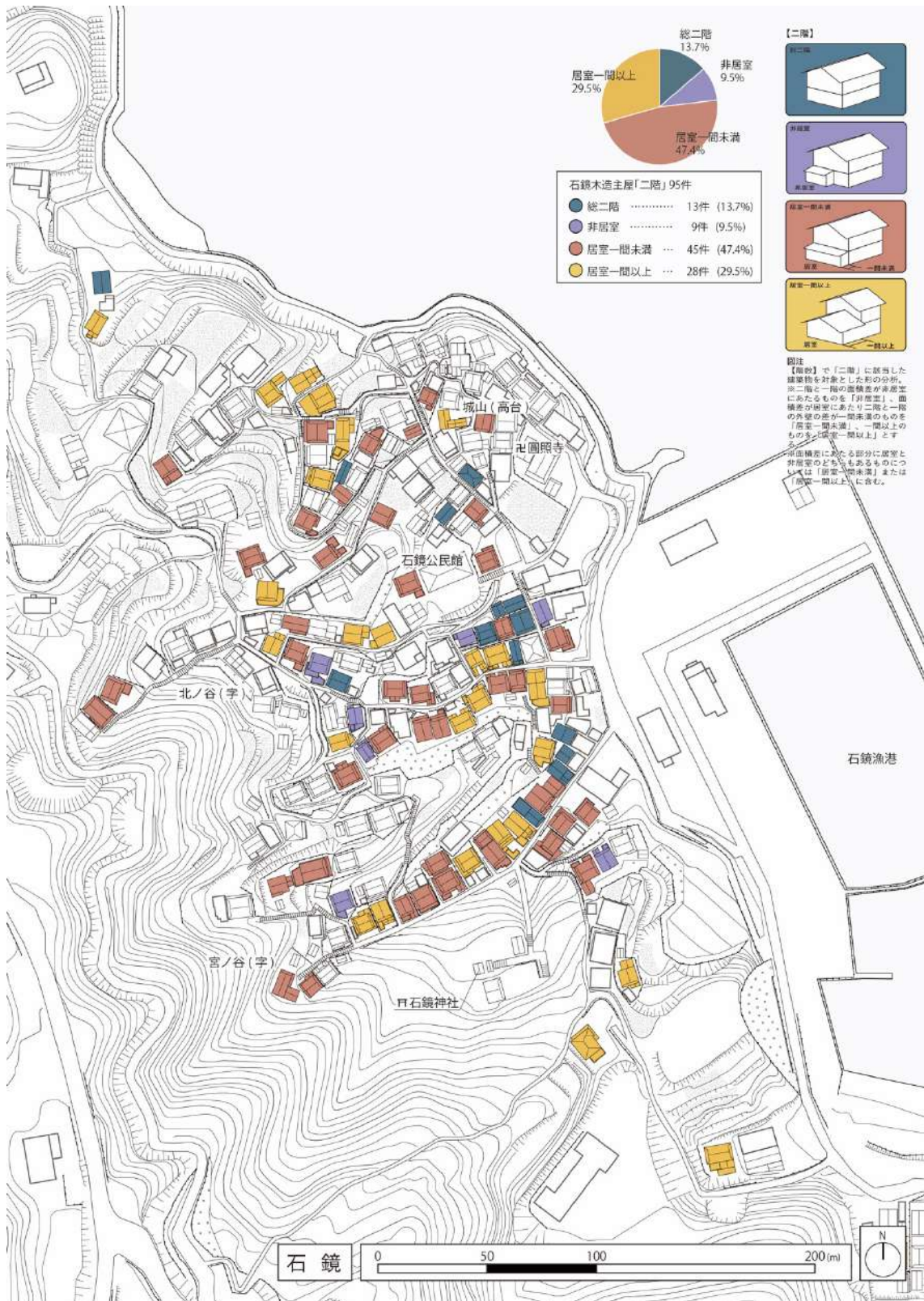


図 5-3-2 石鏡における二階建ての分布

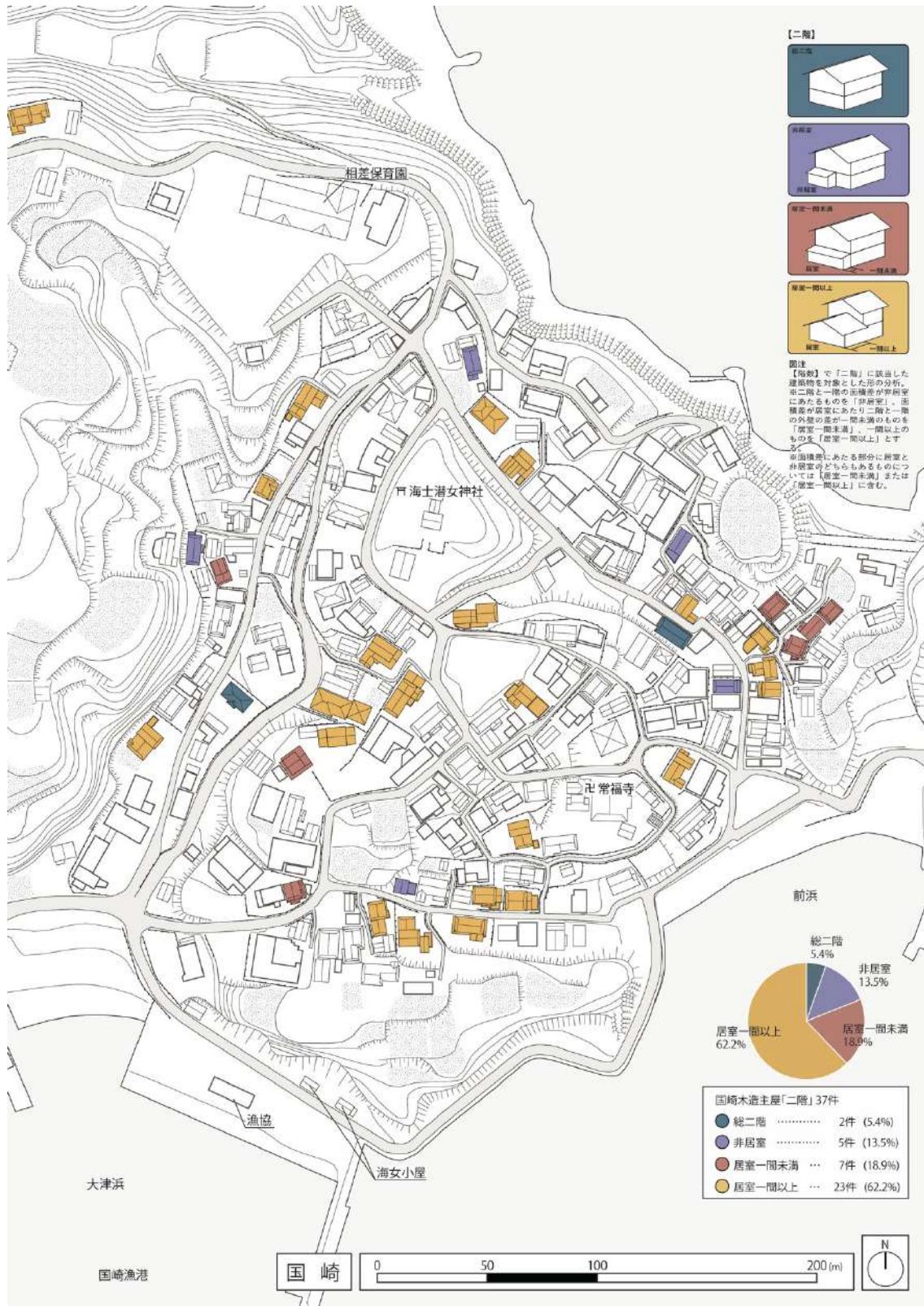


図 5-3-3 国崎における二階建ての分布

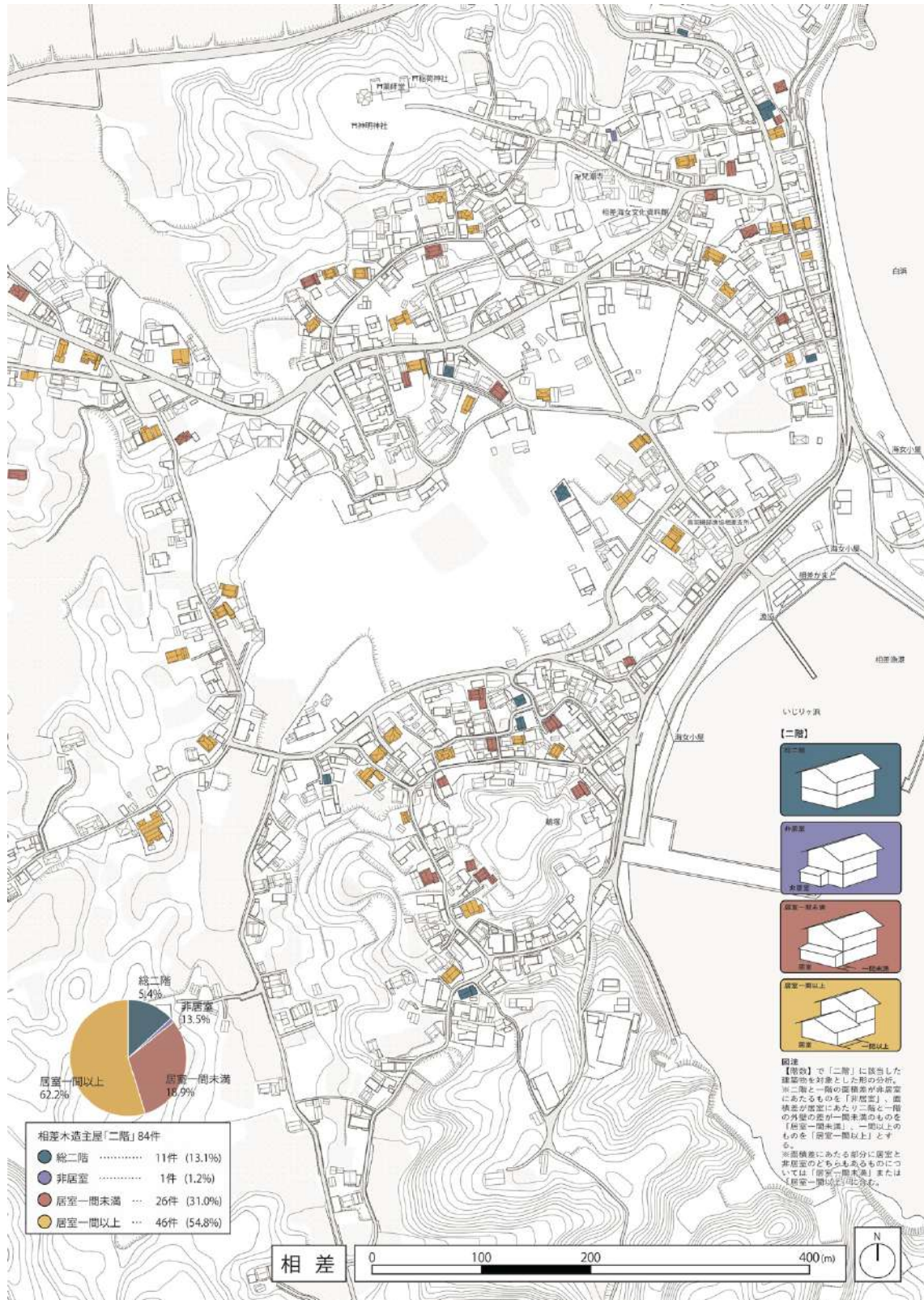


図 5-3-4 相差における二階建ての分布

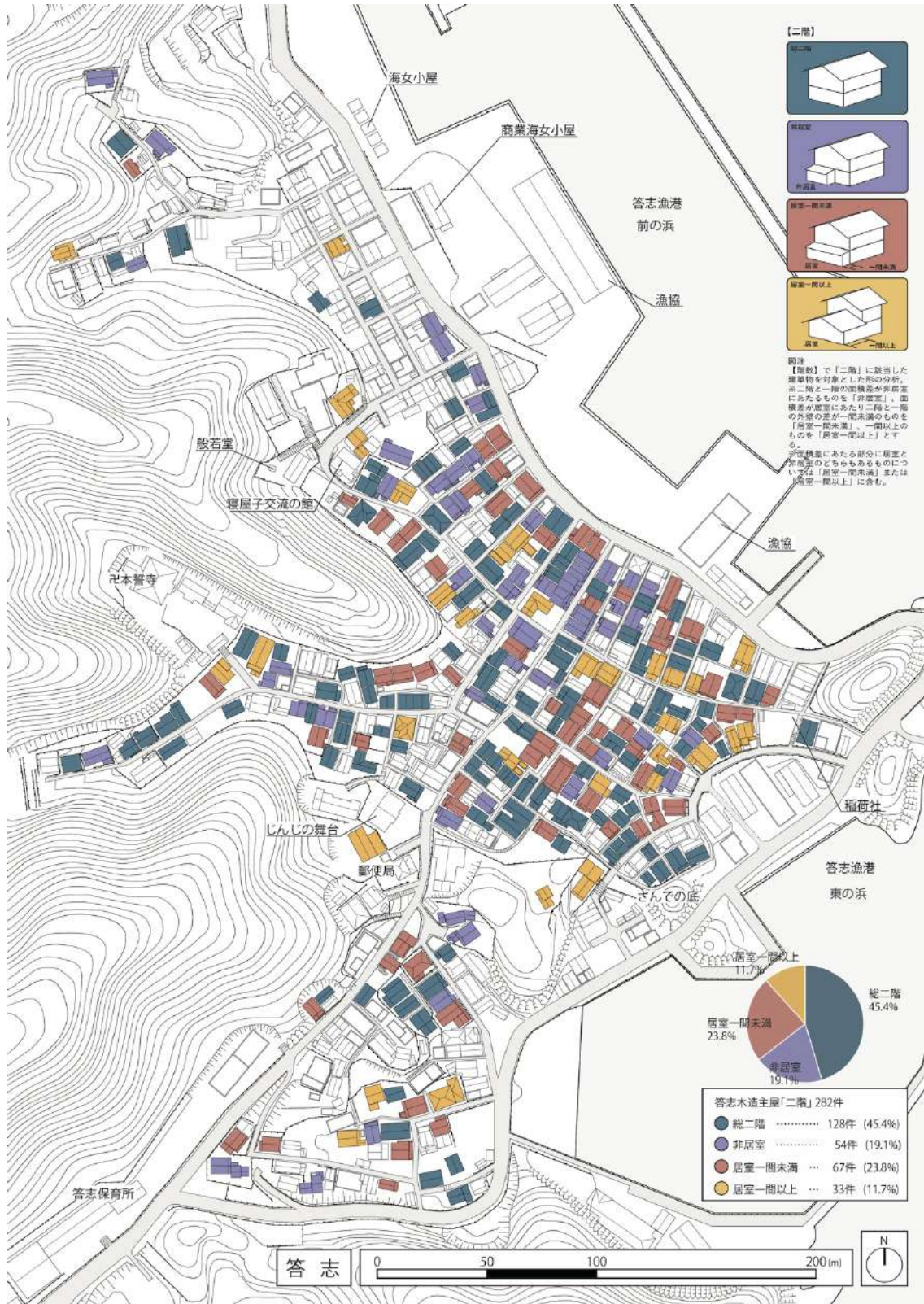


図 5-3-5 答志における二階建ての分布

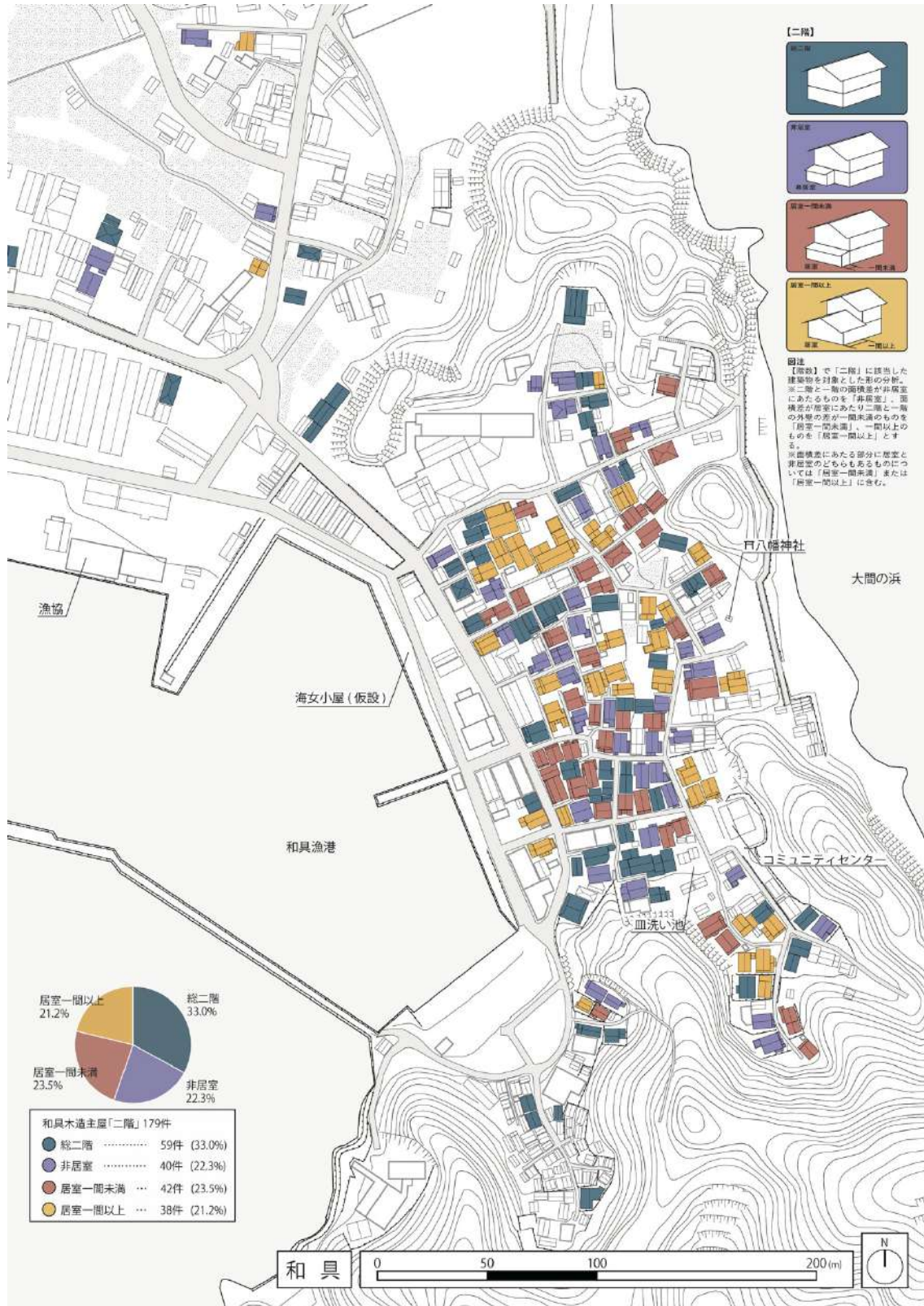


図 5-3-6 和具における二階建ての分布

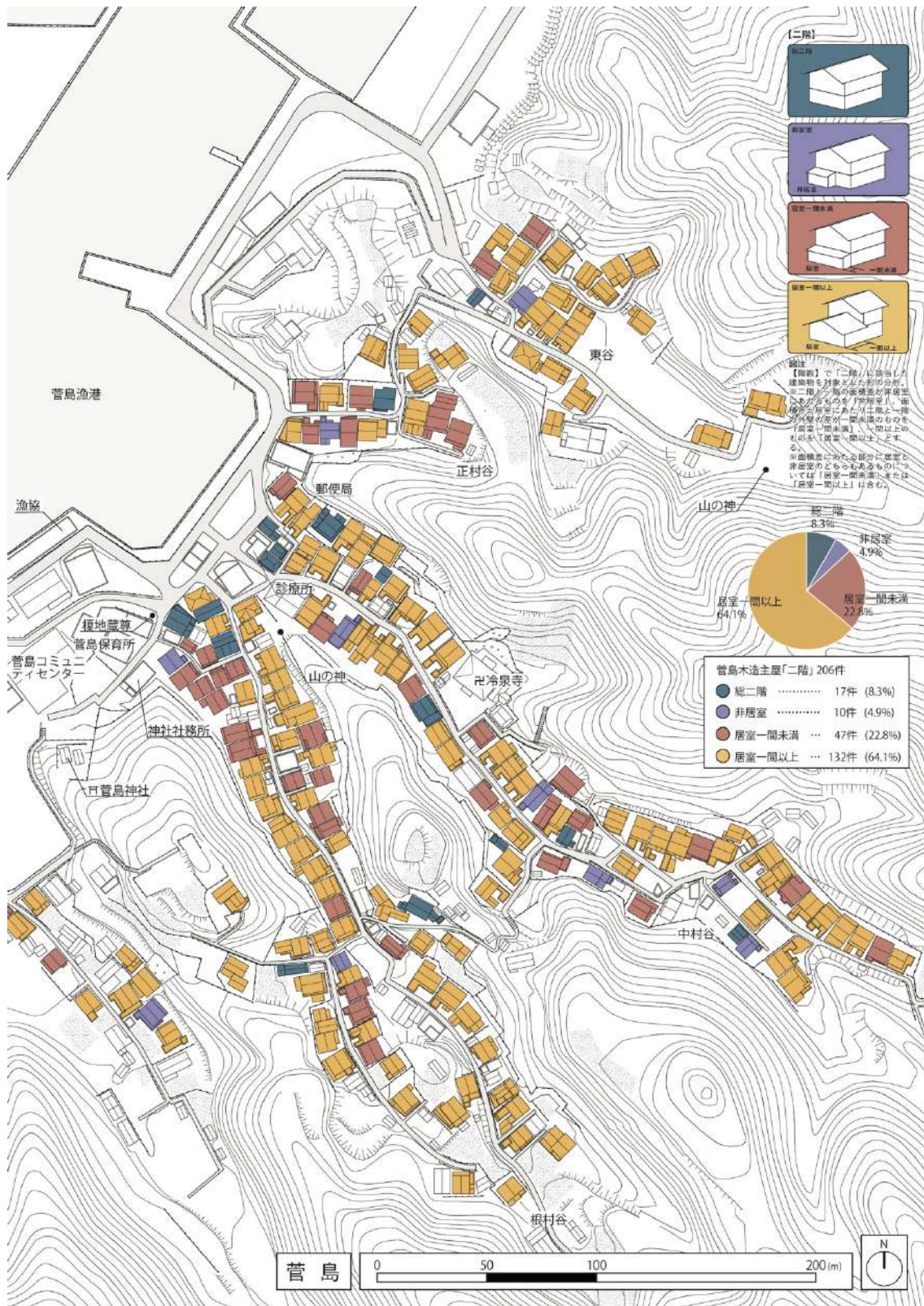


図 5-3-7 菅島における二階建ての分布

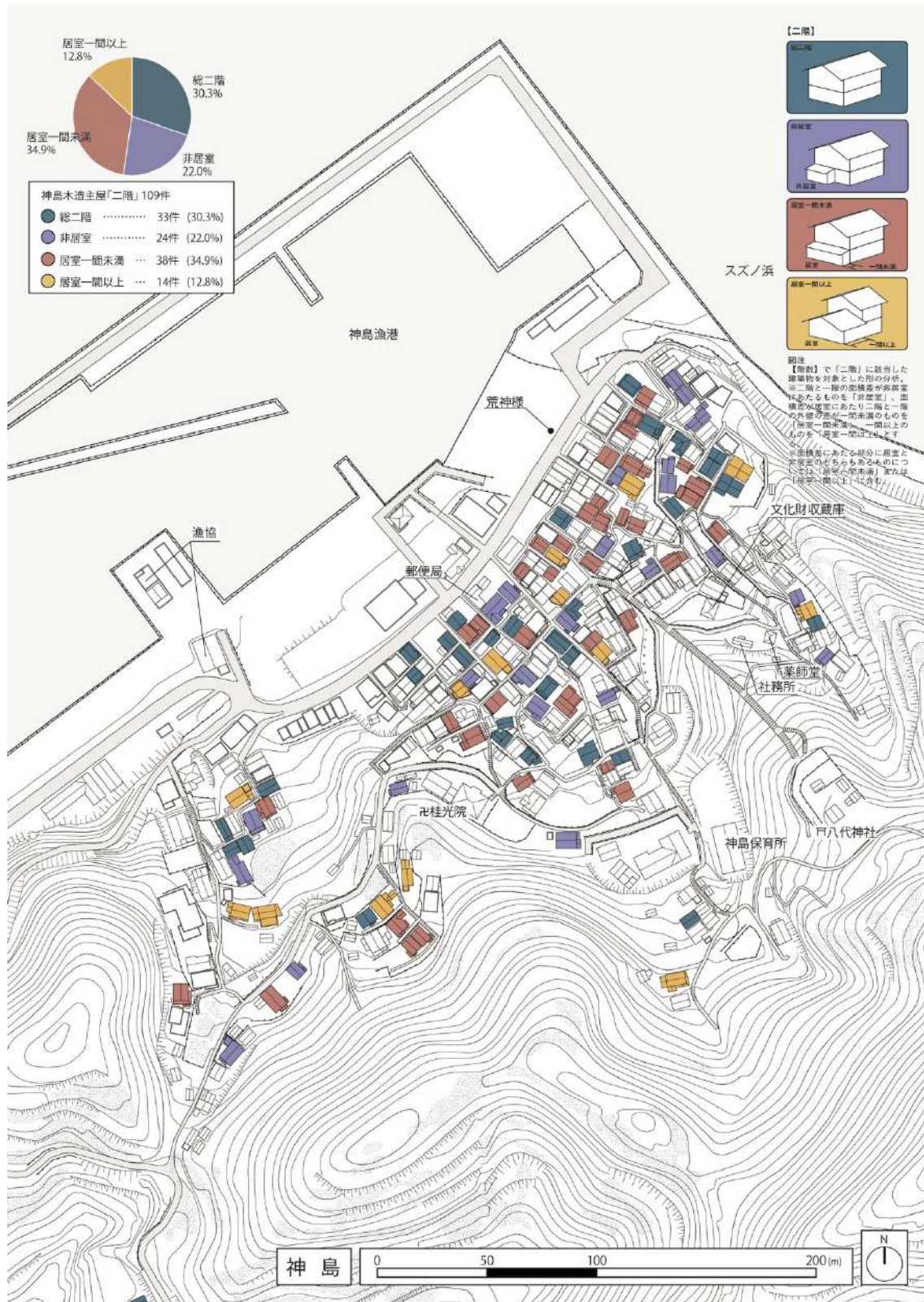






図 5-3-8 神島における二階建ての分布

【地区ごとの結果】

1) 石鏡

「総二階」が13.7%、「非居室」が9.5%、「居室一間未満」が47.4%、「居室一間以上」が29.5%である。「居室一間未満」が約半数をしめているが、これらは写真に示すように、居室が1尺分程度の下屋になっているものがほとんどである。この形状のものは他の地区と比較しても石鏡に特に多くみられる。ついで「居室一間以上」の割合が高いが、これらに該当するものは写真のように、ちょうど一間程度のボリュームで下屋となっているものが多く、国崎や相差の「居室一間以上」と比べると控えめである。

			
総二階	非居室	居室一間未満	居室一間以上
写真 5-3-1 二階建て(石鏡)			

2) 国崎

「総二階」が5.4%、「非居室」が13.5%、「居室一間未満」が18.9%、「居室一間以上」が62.2%である。「居室一間以上」が過半を超えるが、これらは写真に示すように、一室全部が下屋となっているなど、比較的大きなボリュームのものが多い。「総二階」や「非居室」は少ない。

			
総二階	非居室	居室一間未満	居室一間以上
写真 5-3-2 二階建て(国崎)			

3) 相差

「総二階」が13.1%、「非居室」が13.5%、「居室一間未満」が31.0%、「居室一間以上」が54.8%である。相差においても「居室一間以上」が過半を超えるが、これらは国崎と同様に、一室全部が下屋となっているなど、比較的大きなボリュームのものが多い。また「非居室」はほとんどない。

			
総二階	非居室	居室一間未満	居室一間以上
写真 5-3-3 二階建て(相差)			

4) 答志

「総二階」が45.4%、「非居室」が19.1%、「居室一間未満」が23.8%、「居室一間以上」が11.7%である。全地区の中でも「総二階」の割合が最も高く、約半数をしめる。ついで「非居室」と「居室一間未満」が同程度みられるが、どちらの区分に該当したのものも写真のように3尺以内におさまるものがほとんどである。「居室一間以上」となったものの国崎や相差の「居室一間以上」と比べると控えめである。

			
総二階	非居室	居室一間未満	居室一間以上
写真 5-3-4 二階建て(答志)			

5) 和具

「総二階」が33.0%、「非居室」が19.1%、「居室一間未満」が23.5%、「居室一間以上」が21.2%である。集落の南側には「居室一間以上」がほとんどみられないが、北側には「居室一間以上」が多く分布する。「総二階」の割合が最も高く、残りの3区分については同程度である。

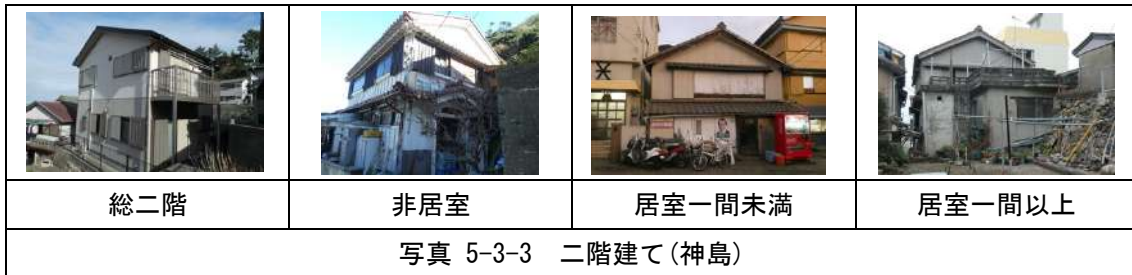
			
総二階	非居室	居室一間未満	居室一間以上
写真 5-3-5 二階建て(和具)			

6) 菅島

「総二階」が8.3%、「非居室」が4.9%、「居室一間未満」が22.8%、「居室一間以上」が64.1%である。「居室一間未満」が約半数をしめているが、これらは写真 5-3-3 に示すように、主屋と全面道路との間に水廻り等を含む倉庫が、かなり大きなボリュームの下屋として出てきているものがほとんどである。このような形状の木造主屋は菅島でしかみられず菅島の特徴である。



7) 神島 「総二階」が30.2%、「非居室」が22.2%、「居室一間未満」が34.9%、「居室一間以上」が12.8%である。「居室一間未満」が最も割合が高いが、これらは石鏡で多くみられたものと同様に、居室が1尺分程度下屋になっているものがほとんどである。ついで「総二階」「非居室」となる。



【二階建てにおける各地区の位置付け】

全地区の二階建ての割合を図 5-3-9 に示す。下屋については「総二階」「非居室」「居室一間未満」「居室一間以上」の順に大きくなるが、本土側の3地区については「総二階」や「非居室」は少なく、特に相差や国崎では「居室一間以上」の中でも一室全部が下屋になっているなど、下屋が大きいものが多い。一方、離島については、菅島を除く3地区は「総二階」や「非居室」の割合が高いことから、本土側に比べて下屋が小さくなる傾向があると言える。菅島については、離島の他地区に反して、「居室一間以上」の割合が最も高くなっているが、これは居室ほどの面積を持つ倉庫が下屋となっているためであり、他の地区にはみられない菅島の木造主屋の特徴である。

本節のまとめとして7地区の木造主屋における、相対的な下屋の大きさによる位置付けを図 5-3-10 に示す。右に偏るほど下屋が小さくなり、左に偏るほど大きくなることを表して

おり、下屋が大きくなるにつれてボリュームの視点からみれば一階建てに近づくことになることから、左に偏るほど相対的な階数は小さくなると言える。相対的に下屋が大きい地区から順に並べると菅島、国崎、相差、石鏡、神島、和具、答志の順となる。

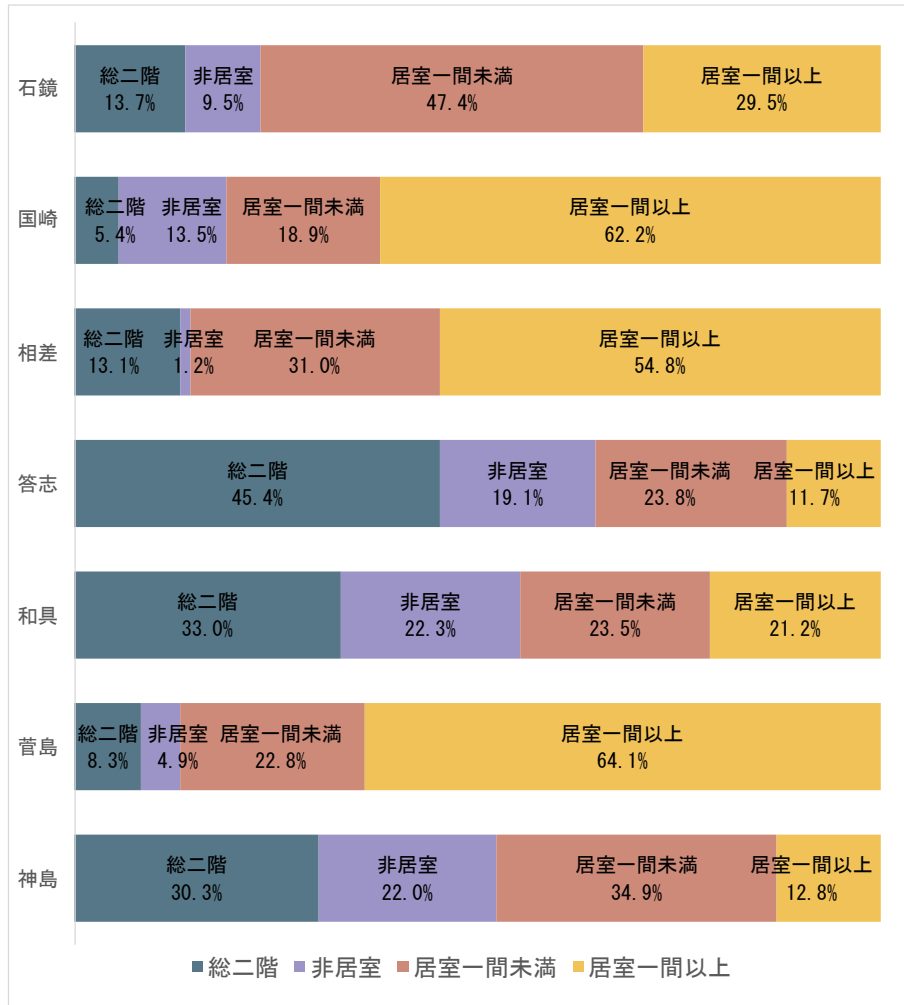


図 5-3-9 全地区の二階建ての割合



図 5-3-10 二階建て 下屋の大きさによる位置付け

5-4 屋根形式

次に屋根形式の調査を行う。区分肢は「切妻」「複合型」「入母屋」「寄棟」「その他・不明」とし(図 5-4-1)、その分布と割合を調べる。ここで「複合型」とは妻面の形式が両面で切妻と入母屋で異なるものとし、「その他・不明」には方行、片流れ等が含まれる。

屋根形式の分布を図 5-4-2 から図 5-4-8 に、件数と割合を表 5-4 に示す。なお、図 5-4-2 から図 5-4-8 において着色されていない建築物については、木造主屋以外の建築物である。また、件数と割合については作図の範囲外の木造主屋に該当したものについても含んでいる。

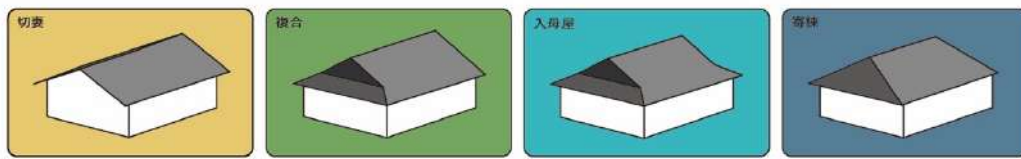


図 5-4-1 屋根形式の区分

表 5-4 全地区における屋根形式の割合

屋根形式	切妻		複合		入母屋		寄棟		その他		合計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
石鏡	60	38.7%	31	20.0%	60	38.7%	4	2.6%	0	0.0%	155	100.0%
国崎	28	31.8%	17	19.3%	37	42.0%	6	6.8%	0	0.0%	88	100.0%
相差	75	31.8%	21	8.9%	113	47.9%	27	11.4%	0	0.0%	236	100.0%
答志	307	88.7%	23	6.6%	2	0.6%	12	3.5%	2	0.6%	346	100.0%
和具	161	85.2%	13	6.9%	7	3.7%	8	4.2%	0	0.0%	189	100.0%
菅島	189	88.3%	19	8.9%	2	0.9%	4	1.9%	0	0.0%	214	100.0%
神島	185	96.9%	1	0.5%	2	1.0%	1	0.5%	2	1.0%	191	100.0%

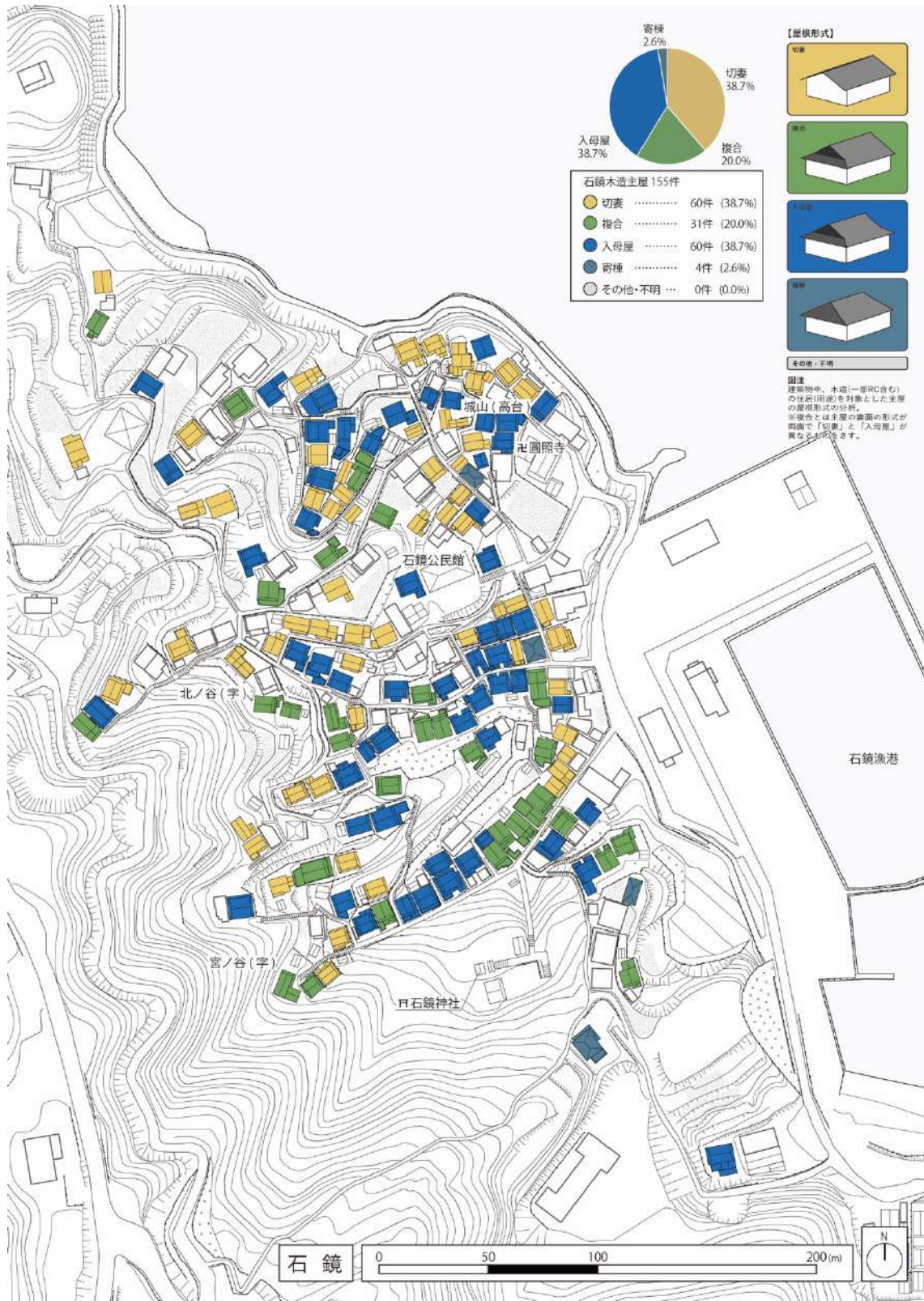


図 5-4-2 石鏡における屋根形式の分布

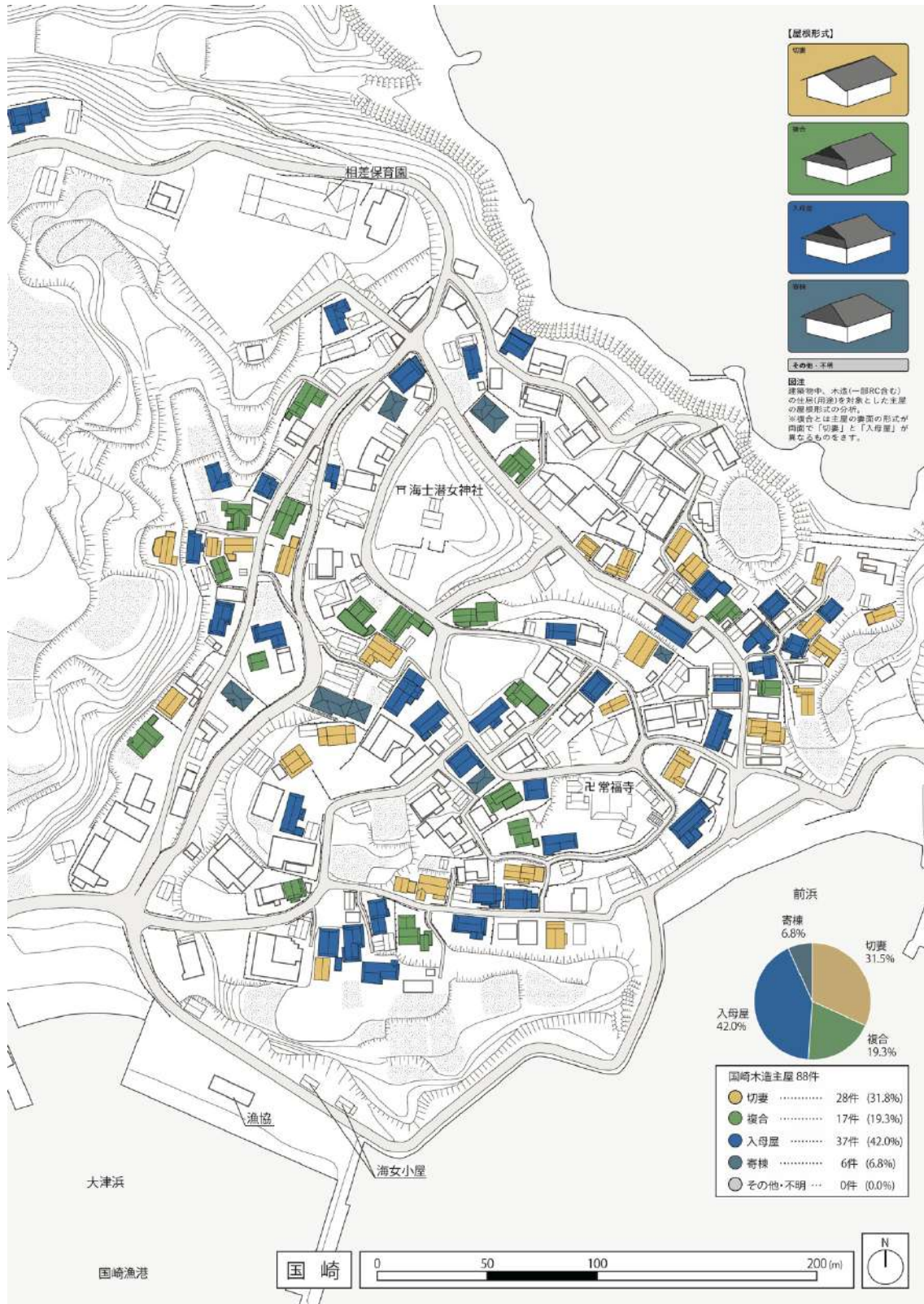


図 5-4-3 国崎における屋根形式の分布

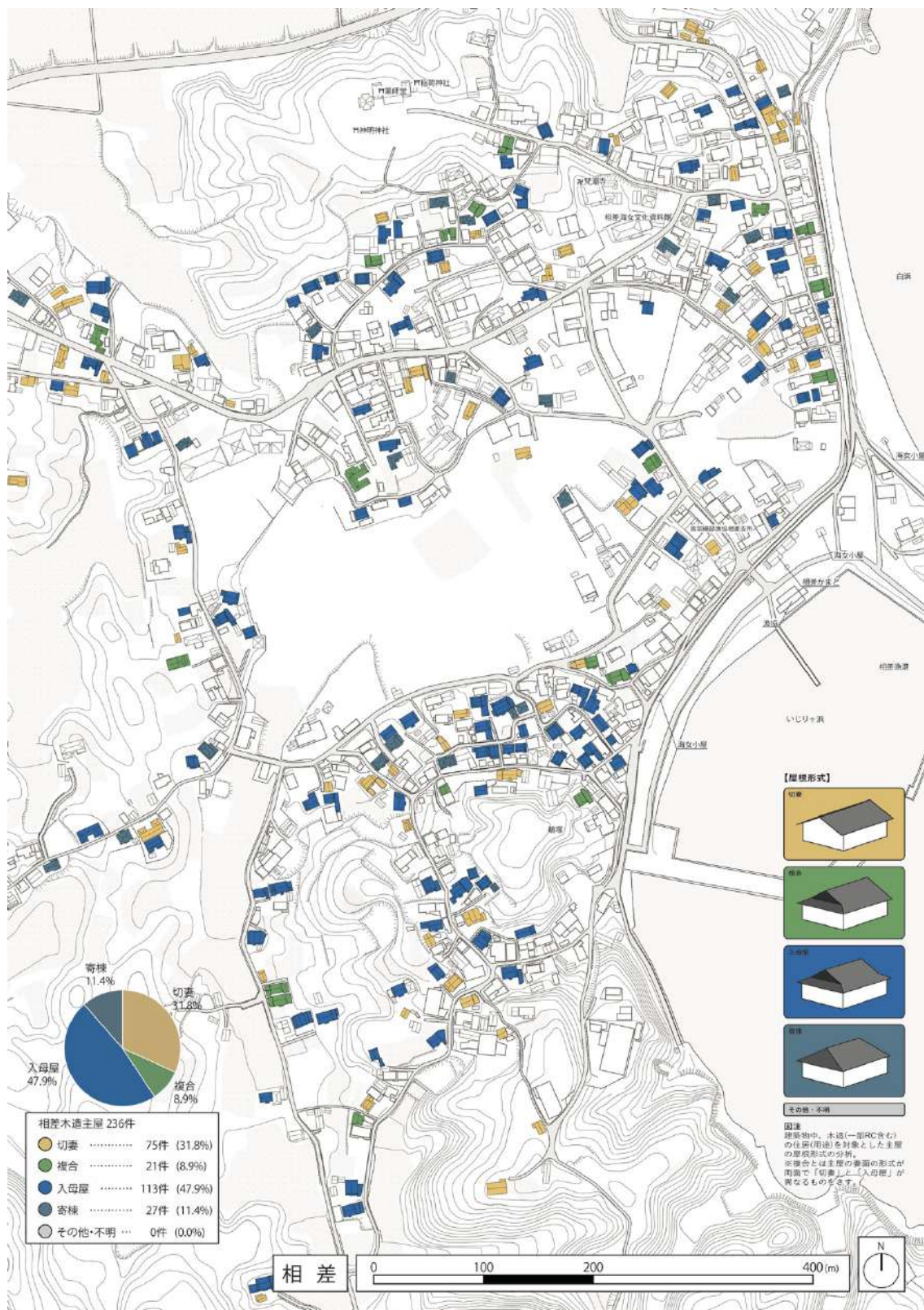


図 5-4-4 相差における屋根形式の分布

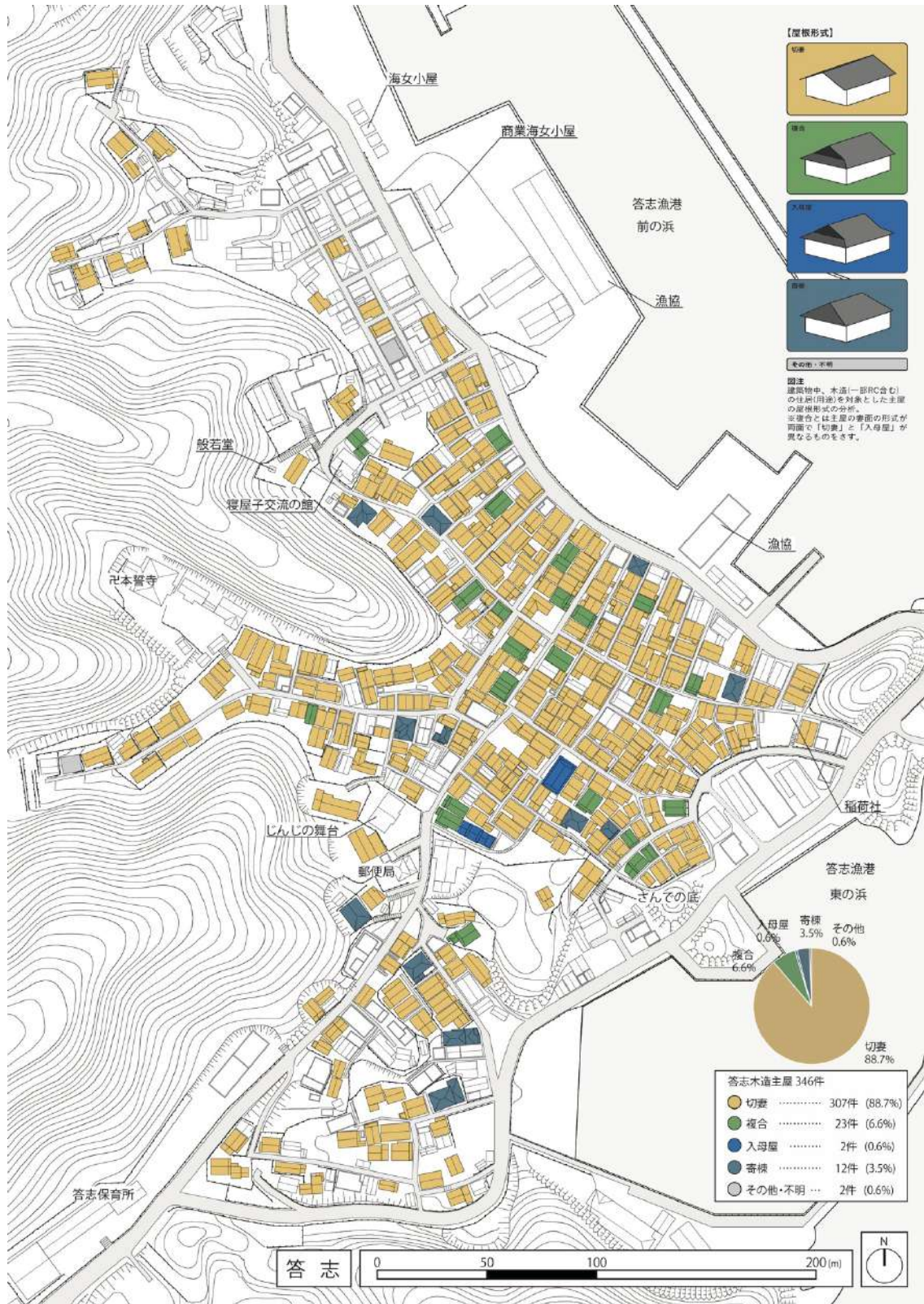


図 5-4-5 答志における屋根形式の分布

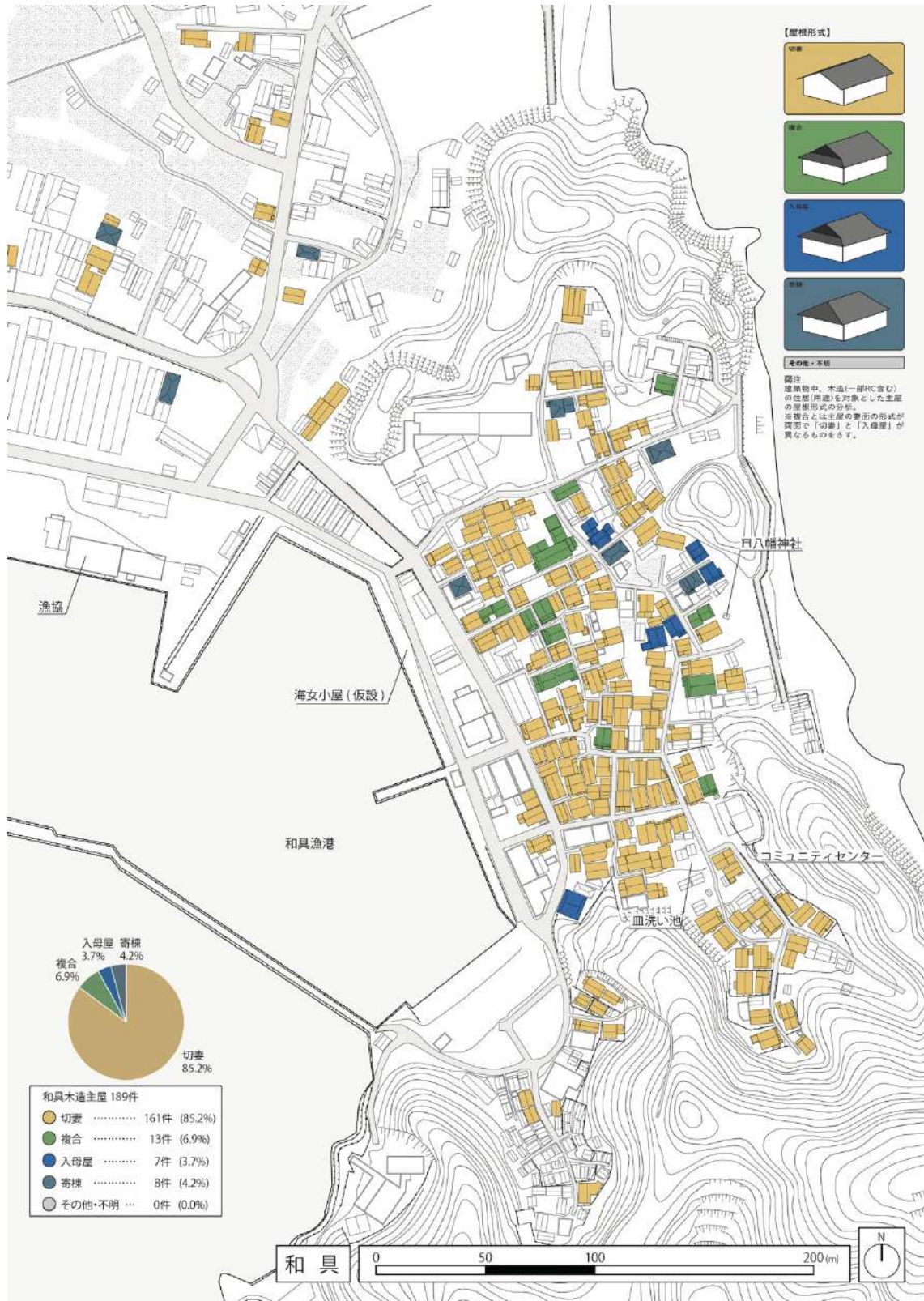


図 5-4-6 和具における屋根形式の分布

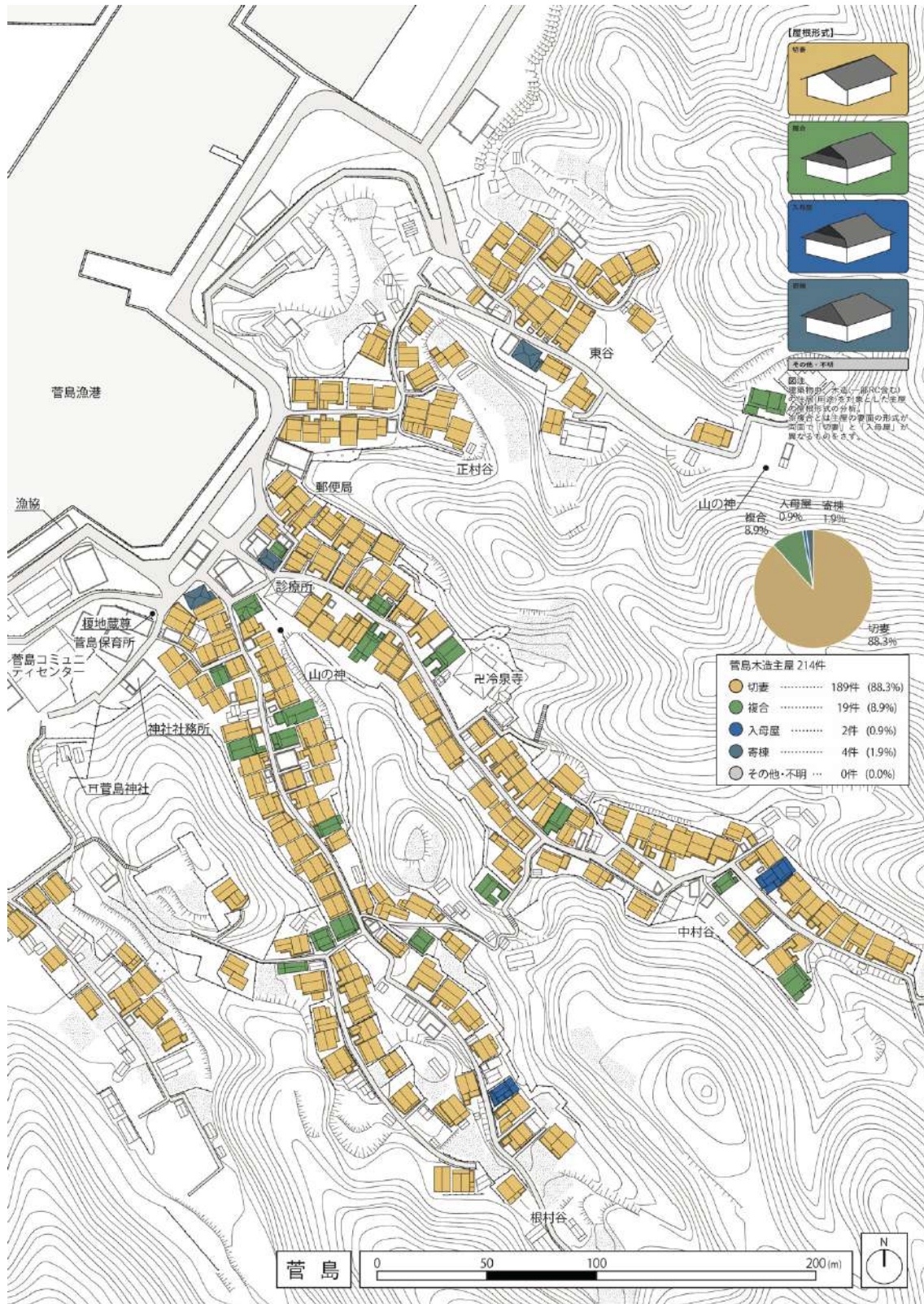


図 5-4-7 菅島における屋根形式の分布

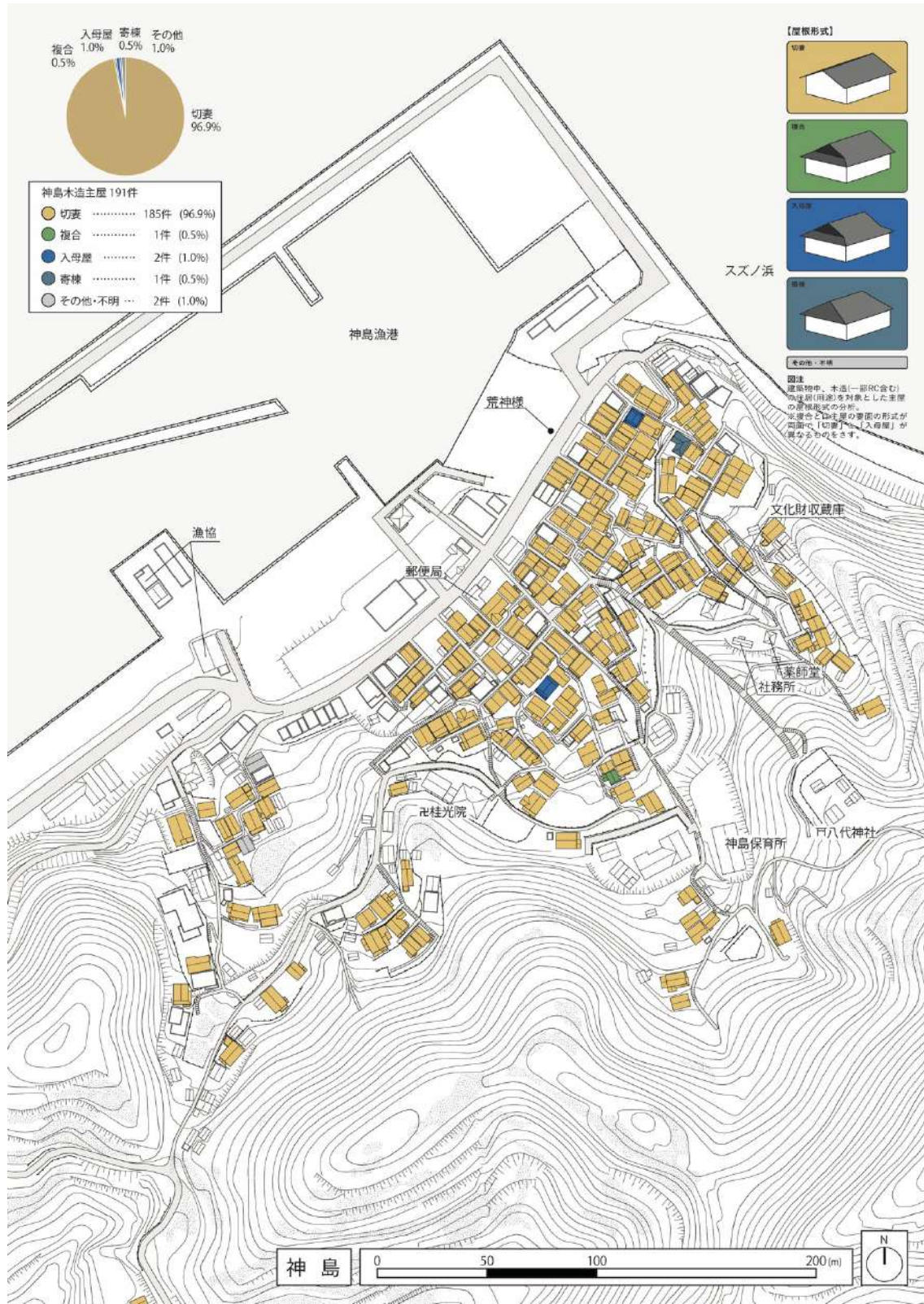





図 5-4-8 神島における屋根形式の分布

【地区ごとの結果】

1) 石鏡

「切妻」が38.7%、「複合」が20.0%、「入母屋」が38.7%、「寄棟」が2.6%である。宮ノ谷と北ノ谷の2本の谷筋については大半が「入母屋」と「複合」のどちらかである。

「複合」のものについては、谷筋は背後に山が迫っており見えないために背面を切妻、全面道路から見える面を入母屋としているものばかりで、道路からはずらりと入母屋が並んでいるような景観になっている。一方、城山の高台では「切妻」と「入母屋」が拮抗する。

			
切妻	複合	入母屋	寄棟
写真 5-4-1 屋根形式(石鏡)			

2) 国崎

「切妻」が31.8%、「複合」が19.3%、「入母屋」が42.0%、「寄棟」が6.8%である。「入母屋」が最も多く、「複合」としているものも他の地区と比較すると多い。「複合」については国崎においても、全面道路から見える面を「入母屋」としているものが多いが、道路に平を向けて建つ木造主屋もあるため、石鏡ほど見え方を意識したものではないように思える。「切妻」は分散してみられた。

			
切妻	複合	入母屋	寄棟
写真 5-4-2 屋根形式(国崎)			

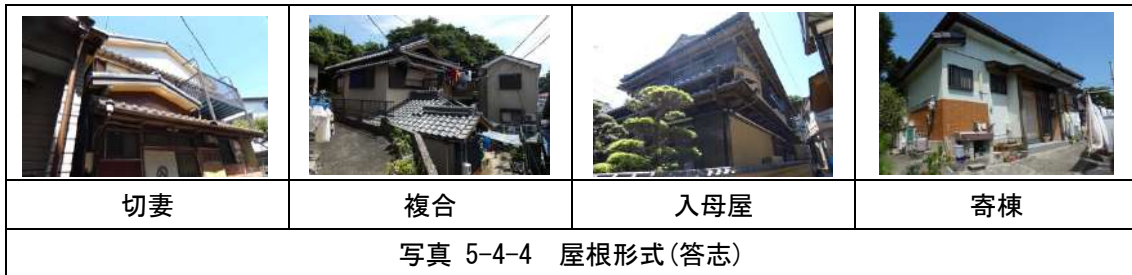
3) 相差

「切妻」が31.8%、「複合」が8.9%、「入母屋」が47.9%、「寄棟」が11.4%である。
 写真5-4-3にも示す通り木造主屋の中でも比較的古いと判断される外壁が真壁のものは「入母屋」や「複合」のものが多く、一方、木造主屋の中でも比較的新しいと判断される大壁のものが「寄棟」に該当している。地形による偏りはなく、どの形式についても全体に分散して分布している。



4) 答志

「切妻」が88.7%、「複合」が6.6%、「入母屋」が0.6%、「寄棟」が3.5%である。
 「切妻」が中心であるが、所々「複合」としているものもみられる。答志については集落の中心地は4-2で確認したように妻と平が交錯して軒を連ねているが、「複合」のものはほとんどが街路に妻を向けて建っている。







5) 和具

「切妻」が85.2%、「複合」が6.9%、「入母屋」が3.7%、「寄棟」が4.2%である。
 和具も答志同様、街路に沿って妻と平が交錯するように軒を連ねており、屋根形式についても似たような分布の仕方であるが、答志と比べてやや「入母屋」の割合が高くなっている。「入母屋」についてはいずれも、集落の中心から少し縁に逸れた所に分布している。



6) 菅島

「切妻」が88.3%、「複合」が8.9%、「入母屋」が0.9%、「寄棟」が1.9%である。多くが「切妻」で道路に平を向けて建っている。「入母屋」はほとんどみられないが、「複合」は数件みられ、菅島も石鏡と同様に背後に山が迫る地形であるために背面を切妻、全面道路側を入母屋としている。

			
切妻	複合	入母屋	寄棟
写真 5-4-6 屋根形式(菅島)			

7) 神島

「切妻」が96.9%、「複合」が0.5%、「入母屋」が1.0%、「寄棟」が0.5%である。ほぼ全てが「切妻」であり全地区の中でも最も割合が高く、他の形式はそれぞれ1件、2件程度である。

			
切妻	複合	入母屋	寄棟
写真 5-4-7 屋根形式(神島)			

【屋根形式における各地区の位置付け】

全地区の屋根形式の割合を図 5-4-9 に示す。本土の3地区については、「切妻」が半数以下であり、「複合」「入母屋」「寄棟」といった「切妻」と比べると重厚な屋根形式が多く用いられている。一方離島の4地区については、いずれの地区でも「切妻」が80%を超えており、その違いは顕著である。またこの地区においても「寄棟」は木造主屋の中でも比較的新しいと判断される大壁のものが該当している傾向があり、建て替えが進む相違においてはその割合が高くなっている。また神島を除く6地区では「複合」も一定数みられたが、地形との関係で考えると全面道路からの見える面を入母屋としているものが多く、コスト面と見た目の双方を考えた結果の形式ではないかと推測できる。

本節のまとめとして7地区の木造主屋における、「入母屋」と「切妻」の比重による位置付けを図 5-4-10 に示す。図は左に偏るほど「入母屋」の比重が大きく、右に偏るほど「切妻」の比重が大きいことを表す。「複合」は「入母屋」と「切妻」の間に位置するものであると考え、「切妻」が少ない地区から順に並べると相違、国崎、石鏡、和具、菅

島、答志、神島の順となる。

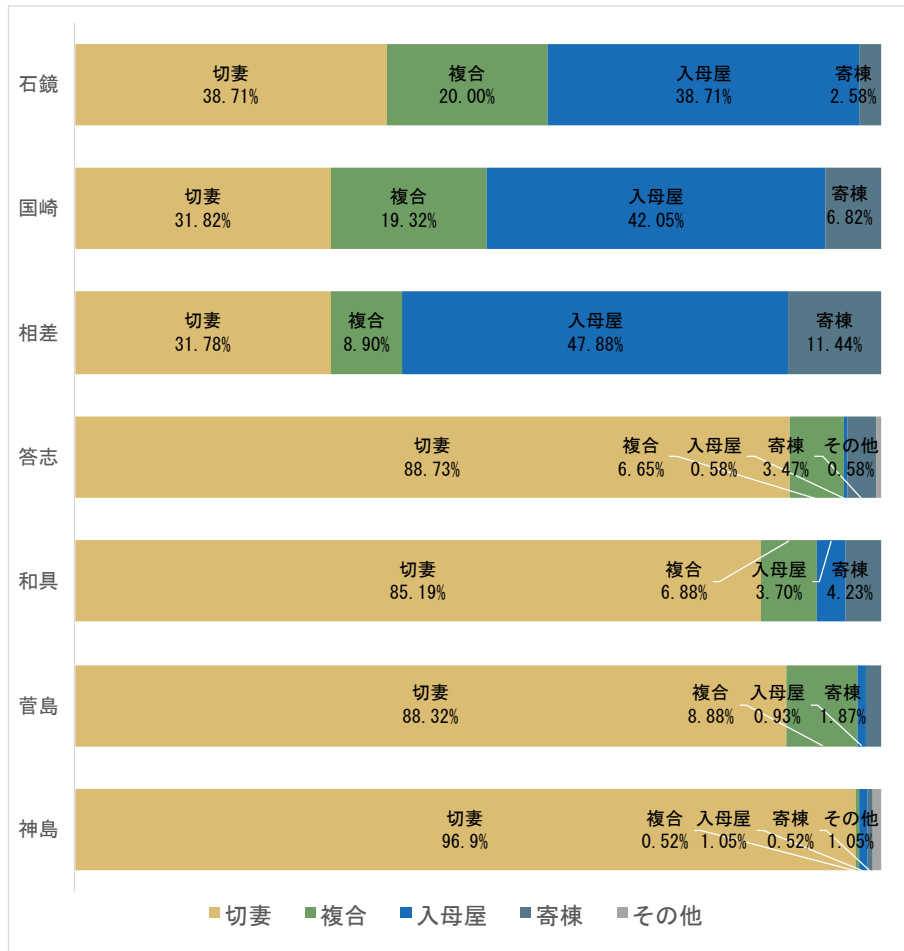


図 5-4-9 全地区の屋根形式の割合



図 5-4-10 屋根形式「入母屋」と「切妻」の比重による位置付け

5-5 入口方向

次に入口方向の分析を行う。各主屋の入口位置を屋根伏せ図上に矢印で図示しており、矢印の始点が入口位置を、矢印の向きが主屋に入る際の向きを表している。方向については図 5-5-1 に示すように4方位を示す円の中心に矢印の終点を合わせ、矢印が東西南北のどの範囲にあたるかで判断した。図 5-5-1 の例であれば南に該当する。

入口位置と入口方向の分布を図 5-5-2 から図 5-5-8 に、件数と割合を表 5-5 に示す。なお図 5-5-2 から図 5-5-8 において着色されていない建築物については、木造主屋以外の建築物である。また、件数と割合については作図の範囲外の木造主屋に該当したものについても含んでいる。

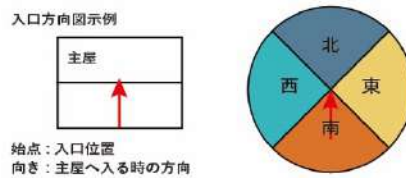


図 5-5-1 入口方向の区分

表 5-5 全地区における入口方向の割合

入口方向	北		南		東		西		不明		合計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
石鏡	24	15.5%	69	44.5%	47	30.3%	11	7.1%	4	2.6%	155	100.0%
国崎	7	8.0%	44	50.0%	29	33.0%	8	9.1%	0	0.0%	88	100.0%
相差	11	4.7%	163	69.1%	41	17.4%	19	8.1%	2	0.8%	236	100.0%
答志	52	15.0%	124	35.8%	104	30.1%	66	19.1%	0	0.0%	346	100.0%
和具	21	11.1%	74	39.2%	27	14.3%	67	35.4%	0	0.0%	189	100.0%
菅島	26	12.1%	72	33.6%	60	28.0%	56	26.2%	0	0.0%	214	100.0%
神島	25	13.1%	61	31.9%	55	28.8%	49	25.7%	1	0.5%	191	100.0%

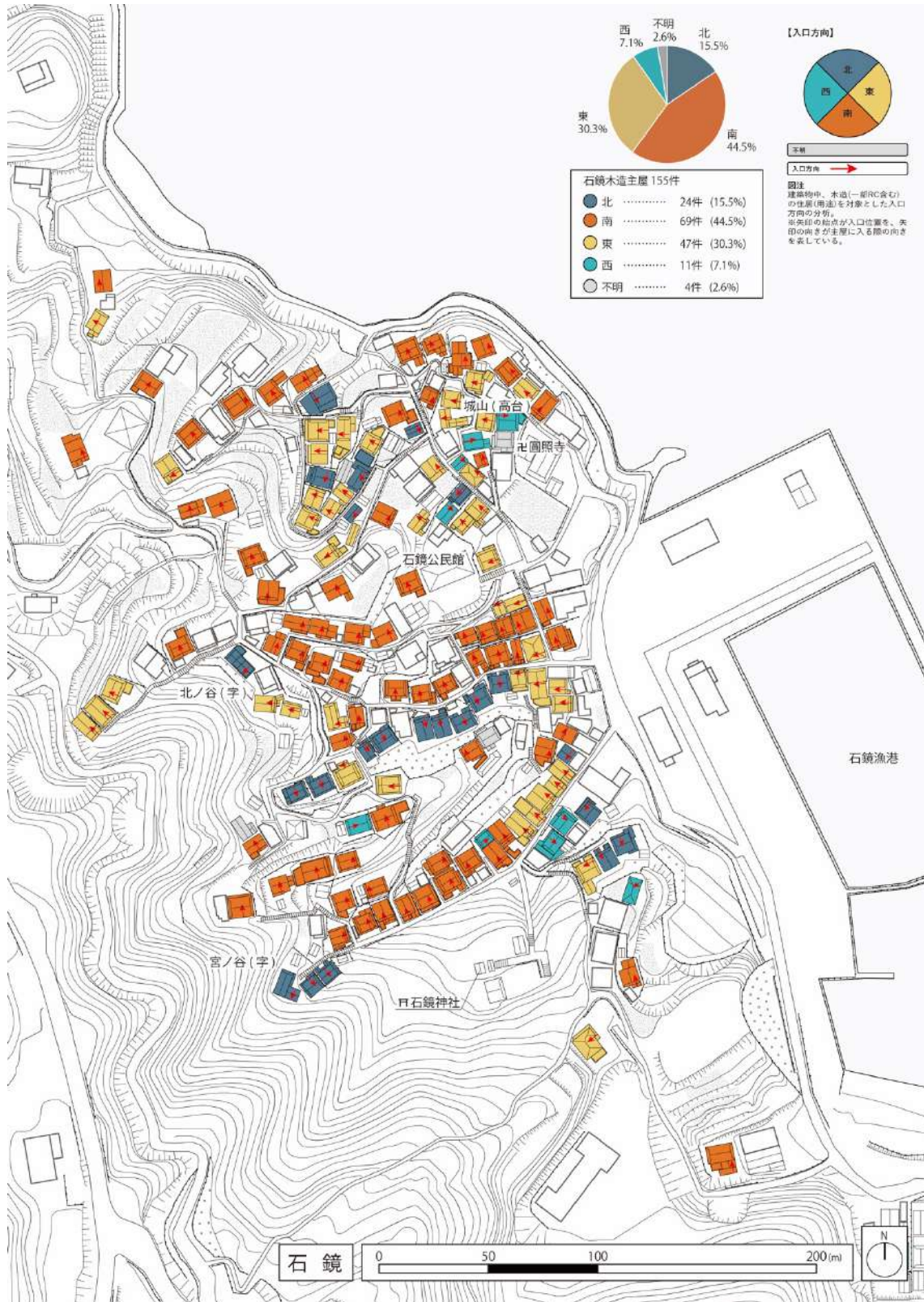


図 5-5-2 石鏡における入口方向の分布

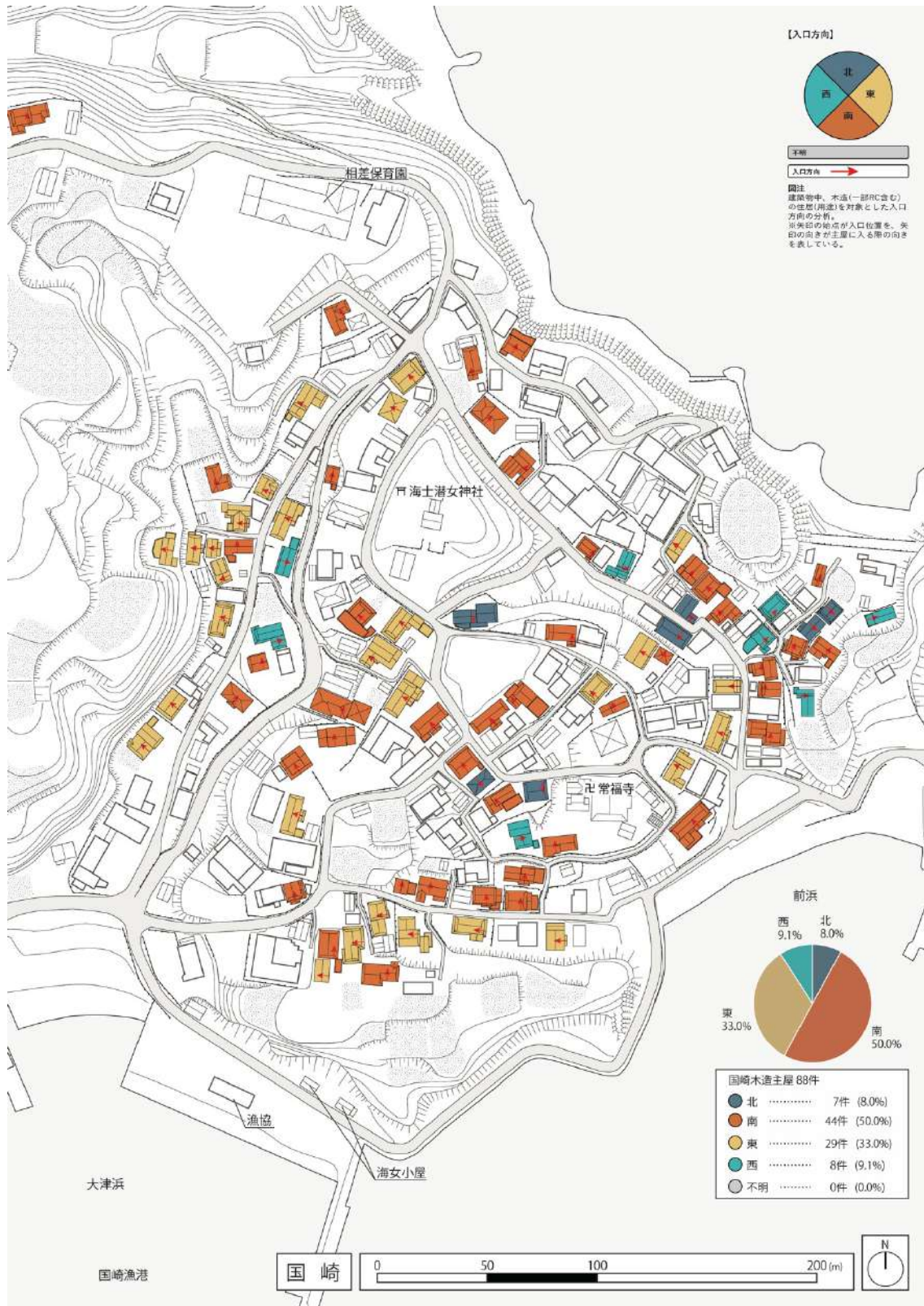


図 5-5-3 国崎における入口方向の分布

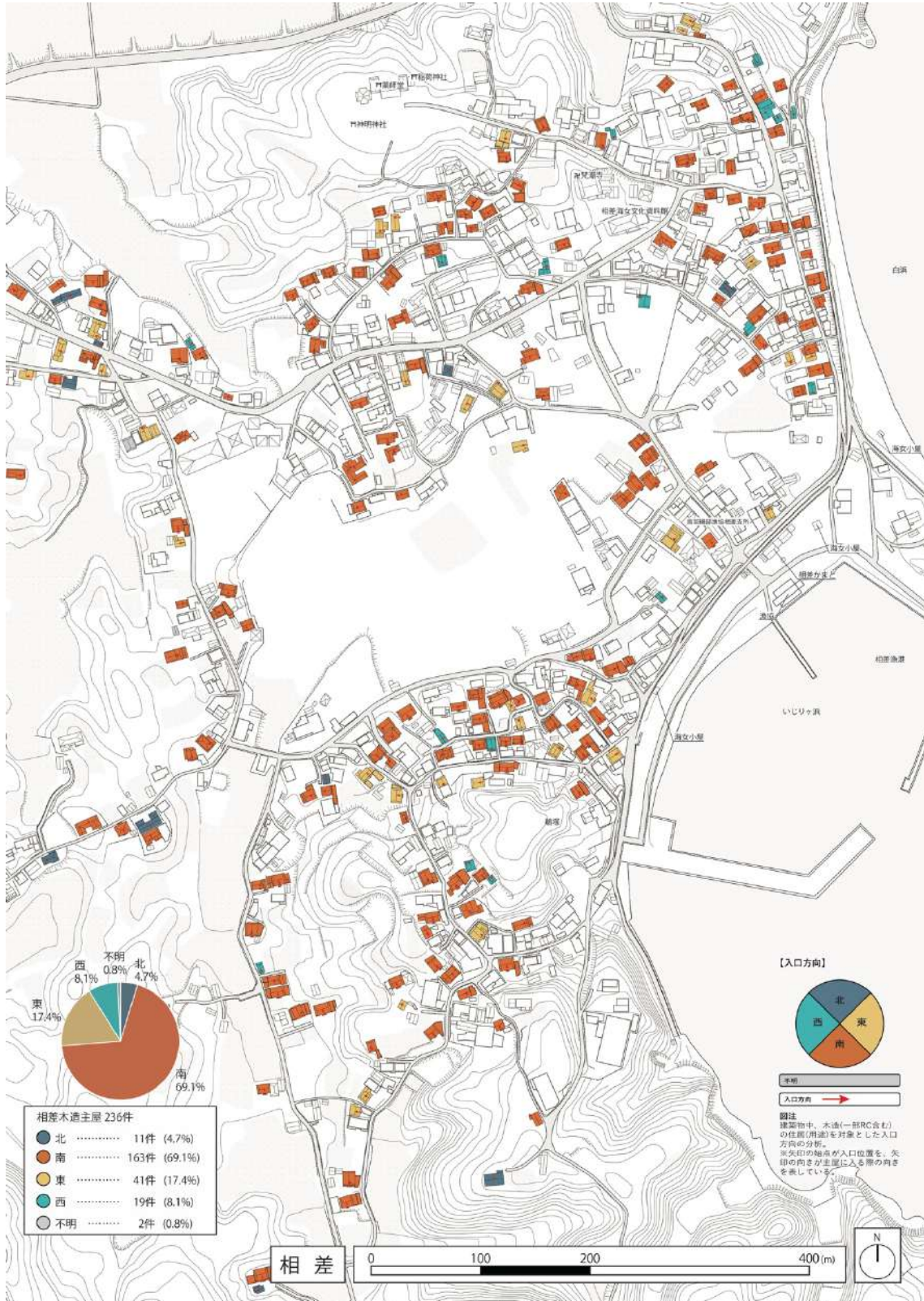


図 5-5-4 相差における入口方向の分布

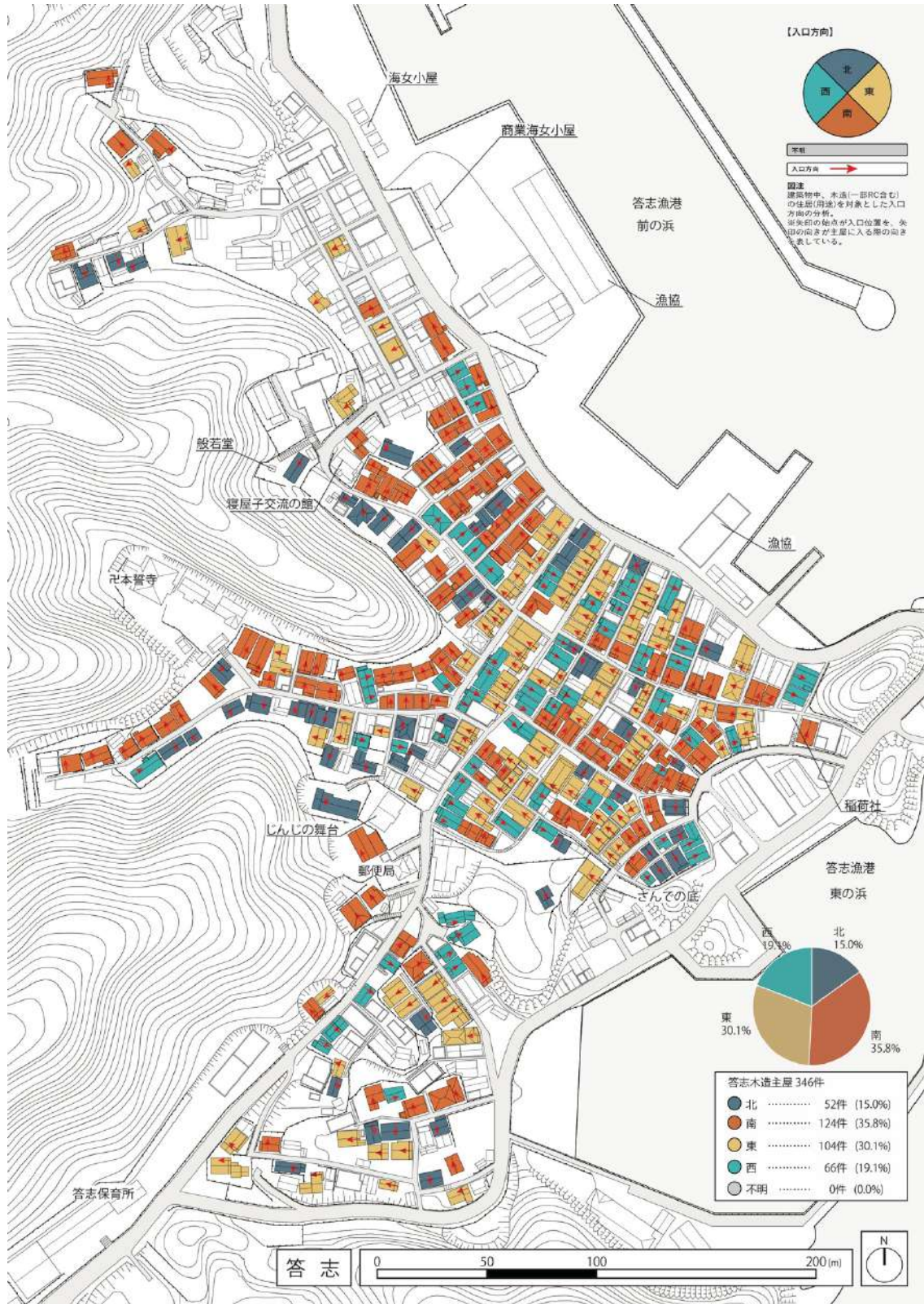


図 5-5-5 答志における入口方向の分布

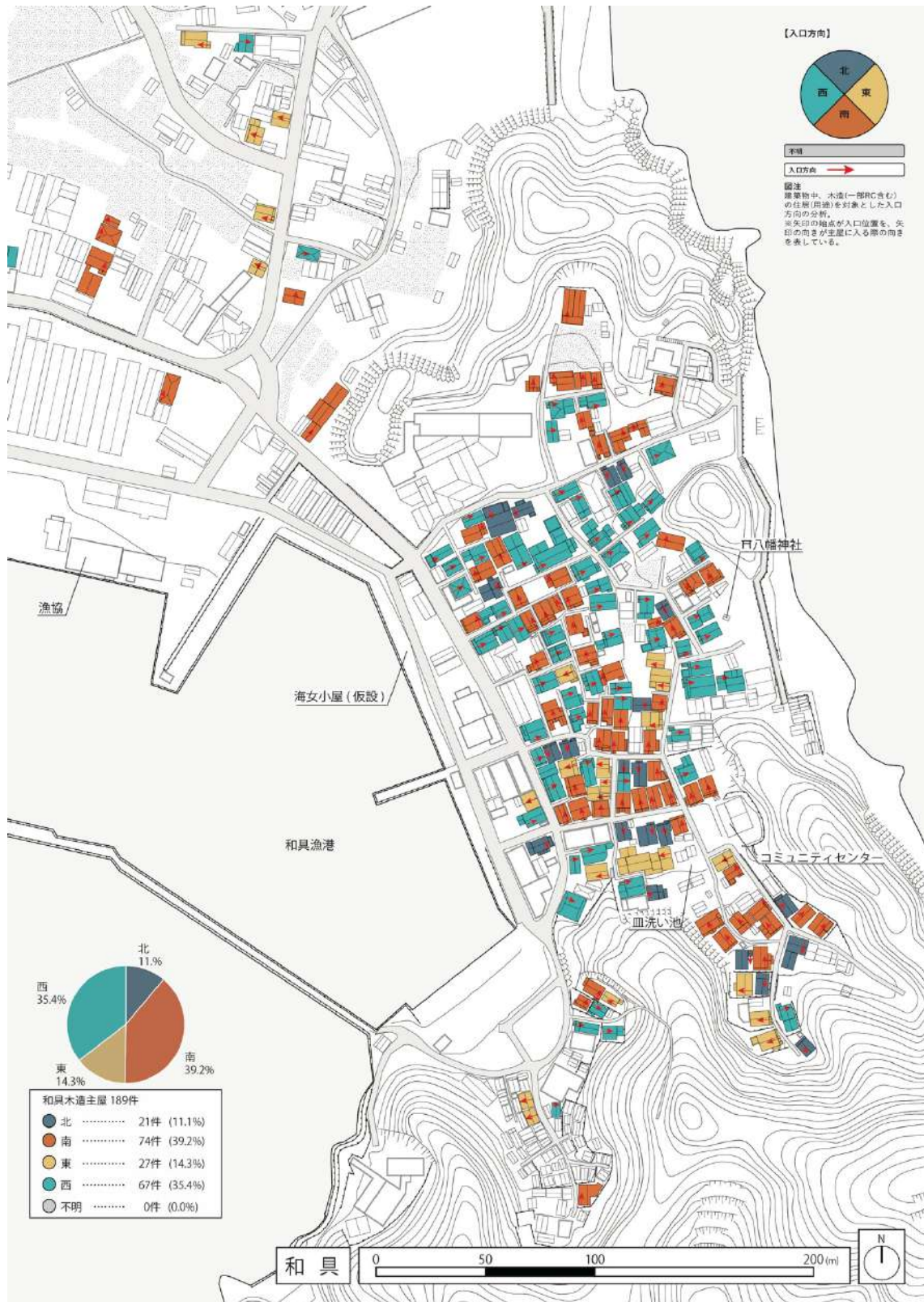


図 5-5-6 和具における入口方向の分布

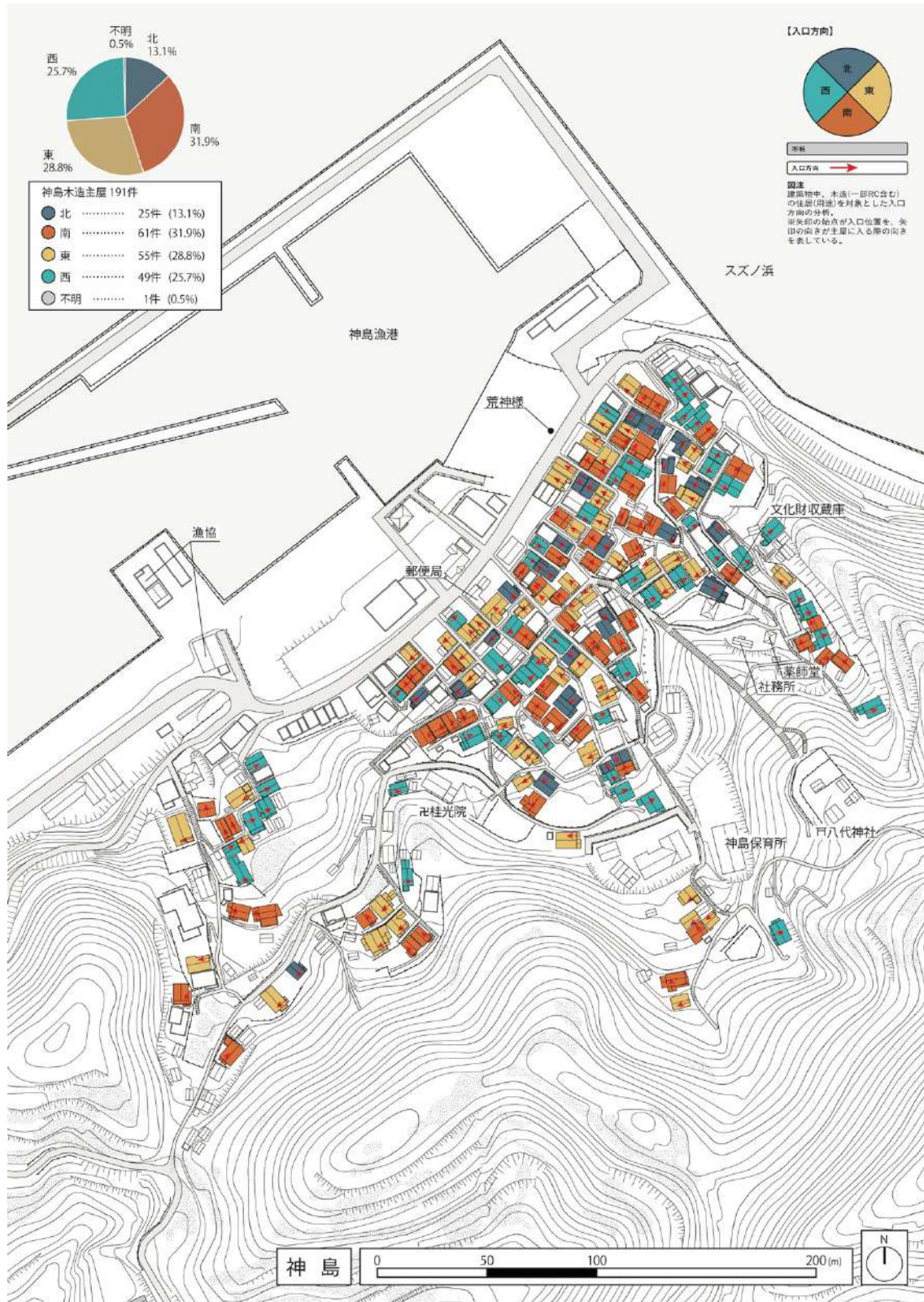


図 5-5-8 神島における入口方向の分布

【地区ごとの結果】

1) 石鏡

「北」が15.5%、「南」が44.5%、「東」が30.3%、「西」が7.1%である。2本の谷筋についてはほとんどの木造主屋が道から直接入れる場所に玄関を設けており、道のカーブに合わせて玄関の方角も変化している。北の谷については道を挟んで向かい合うように玄関を設けているため、「北」にむくものもみられる。谷筋であっても、浜に近いエリアに限っては海に向かって「東」に玄関を設けており、城山の高台については、道や地形にあまり影響されずに「南」または「東」に玄関を設けている木造主屋が多い。

2) 国崎

「北」が8.0%、「南」が50.0%、「東」が33.0%、「西」が9.1%である。地区全体において、道や地形にあまり影響されずに「南」または「東」に玄関を設けている木造主屋が多い。そのため、道から直接玄関に入らずに一度敷地に入り横や背面に玄関を設けるかたちになっているものもある。

3) 相差

「北」が4.7%、「南」が69.1%、「東」が17.4%、「西」が8.1%である。地区全体において、道や地形にあまり影響されずに「南」または「東」に玄関を設けている木造主屋が多く、その傾向は国崎よりも強い。かなり南面思考が強く、平地はもちろん、鵜塚などの起伏がある場所においても「南」を向くものが過半を占める。そのため、国崎同様、道から直接玄関に入らずに一度敷地に入った後、横や背面に玄関を設けるかたちになっているものもある。

4) 答志

「北」が15.0%、「南」が35.8%、「東」が30.1%、「西」が19.1%である。平坦地、谷筋のどちらにおいても、ほとんどが道挟んで向かい合うように玄関を設けている。そのため集落の東と西で道の角度に合わせて玄関の方角も異なっており、集落の東では「南」か「北」、集落の西では「東」か「西」に玄関を設けているものが多い。また、短冊状に道が形成される平坦地では、木造主屋が複数の道に面する場合があるが、この場合「北」よりも「西」「南」「東」に玄関を設ける傾向がある。

5) 和具

「北」が11.1%、「南」が39.2%、「東」が14.3%、「西」が35.4%である。道や地形にあまり影響されずに「南」または「西」に玄関を設けている木造主屋が多い。そのため、道から直接玄関に入らずに一度敷地に入り横や背面に玄関を設けるかたちになっているものもある。ただし和具漁港からコミュニティセンターへ伸びる道に関してのみ、道を挟んで向かい合うように玄関を設けているため、「北」にむくものもみられる。

6) 菅島

「北」が12.1%、「南」が33.6%、「東」が28.0%、「西」が26.2%である。根村谷、中村谷、正村谷、東谷の全ての谷筋において道を挟んで向かい合うように玄関を設けているため、道のカーブに合わせるように玄関の方角も変化している。全地区の中で最も規則正しく玄関を設けている。

7) 神島

「北」が13.1%、「南」が31.9%、「東」が28.8%、「西」が25.7%である。全地区のうち最も規則性がなく玄関を設けている。道に面して玄関を設けているものが比較的多いが、道が縦横に複雑に形成されているために一貫性がない。木造主屋が複数の道に面する場合であっても、答志のように特に「北」を避けるような傾向もなく、あまり気にしていないように思われる。

【入口方向における各地区の位置付け】

全地区の入口方向の割合を図 5-5-9 に示す。国崎、相差、和具は方角を優先して玄関を設けていることが分かる。その中でも国崎と相差は「南」や「東」といった日射に対して有利な方角に玄関を設けている点で共通しているが、和具については「西」を重視しており相違がある。一方、石鏡、答志、菅島、神島は、特定の方向を意識せず、道から直接入ることを優先して玄関を設けている。それぞれ地形に合わせて形成された道に、向かい合うように玄関を設けており、道の角度に合わせて方角も変化している。

本節のまとめとして7地区の木造主屋における、入口方向による位置付けを図 5-5-10 に示す。調査対象地区の木造主屋の入口方向のタイプは大きく分けて2つに類型できる。1つ目が国崎、相差、和具のように方角を揃えて玄関を設けるもの、2つ目が石鏡、答志、菅島、神島のように道から直接入る向きに玄関を設けるものである。

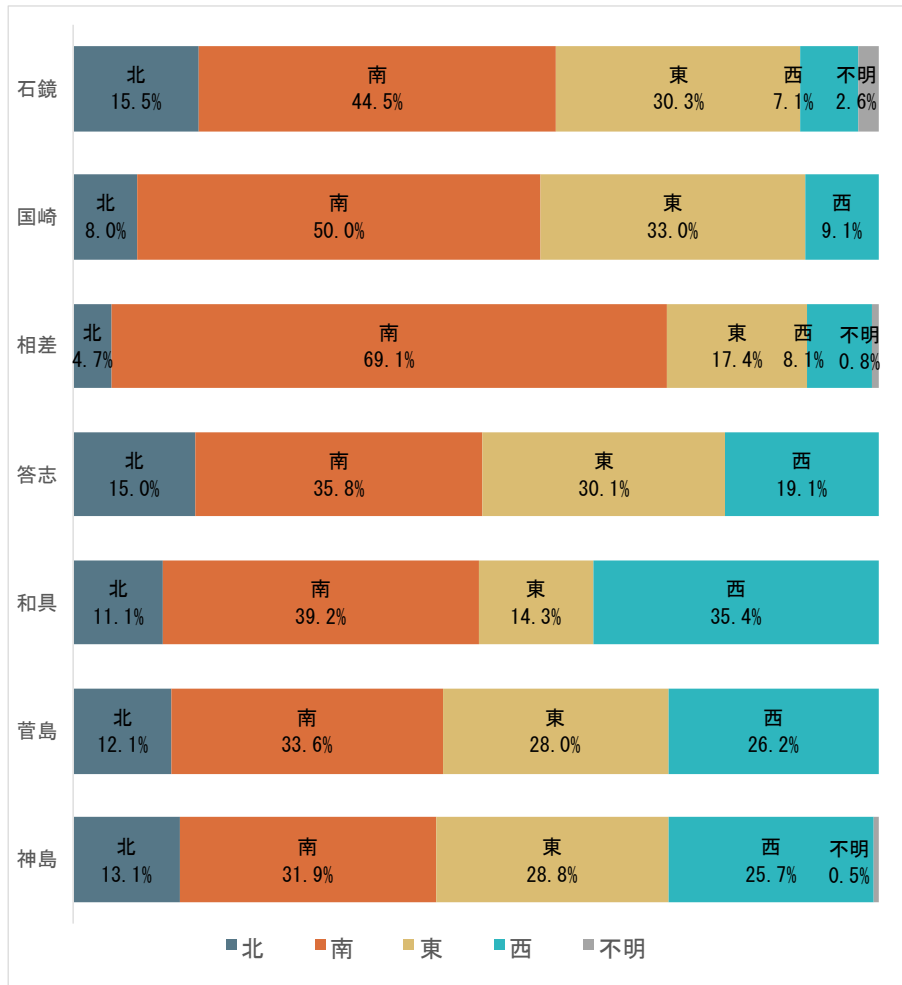


図 5-5-9 入口方向の比較



図 5-5-10 入口方向による位置付け

5-6 妻入と平入

次に妻入と平入を分析する。区分肢は「妻入」「平入」「その他・不明」とし(図 5-6-1)、その分布と割合を調べる。屋根の傾斜によってできる家型の壁面がみえる方に出入口がある場合を「妻入」、もう一方が「平入」としている。「妻入」「平入」の分類は、4-4 木造主屋の屋根形式で「切妻」「複合型」「入母屋」「寄棟」に該当したもののみ行い、「その他・不明」に該当したものは本節でも「その他・不明」としている。

妻入と平入の分布を図 5-6-2 から図 5-6-8 に、件数と割合を表 5-6 に示す。なお図 5-6-2 から図 5-6-8 において着色されていない建築物については、木造主屋以外の建築物である。また、件数と割合については作図の範囲外の木造主屋に該当したものについても含んでいる。

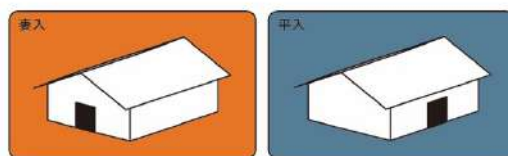


図 5-6-1 妻入・平入の区分

表 5-6 全地区における妻入と平入の割合

妻入・平入	妻入		平入		その他・不明		合計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
石鏡	59	38.1%	92	59.4%	4	2.6%	155	100.0%
国崎	13	14.8%	75	85.2%	0	0.0%	88	100.0%
相差	41	17.4%	193	81.8%	2	0.8%	236	100.0%
答志	196	56.6%	148	42.8%	2	0.6%	346	100.0%
和具	120	63.5%	69	36.5%	0	0.0%	189	100.0%
菅島	58	27.1%	156	72.9%	0	0.0%	214	100.0%
神島	91	47.6%	97	50.8%	3	1.6%	191	100.0%

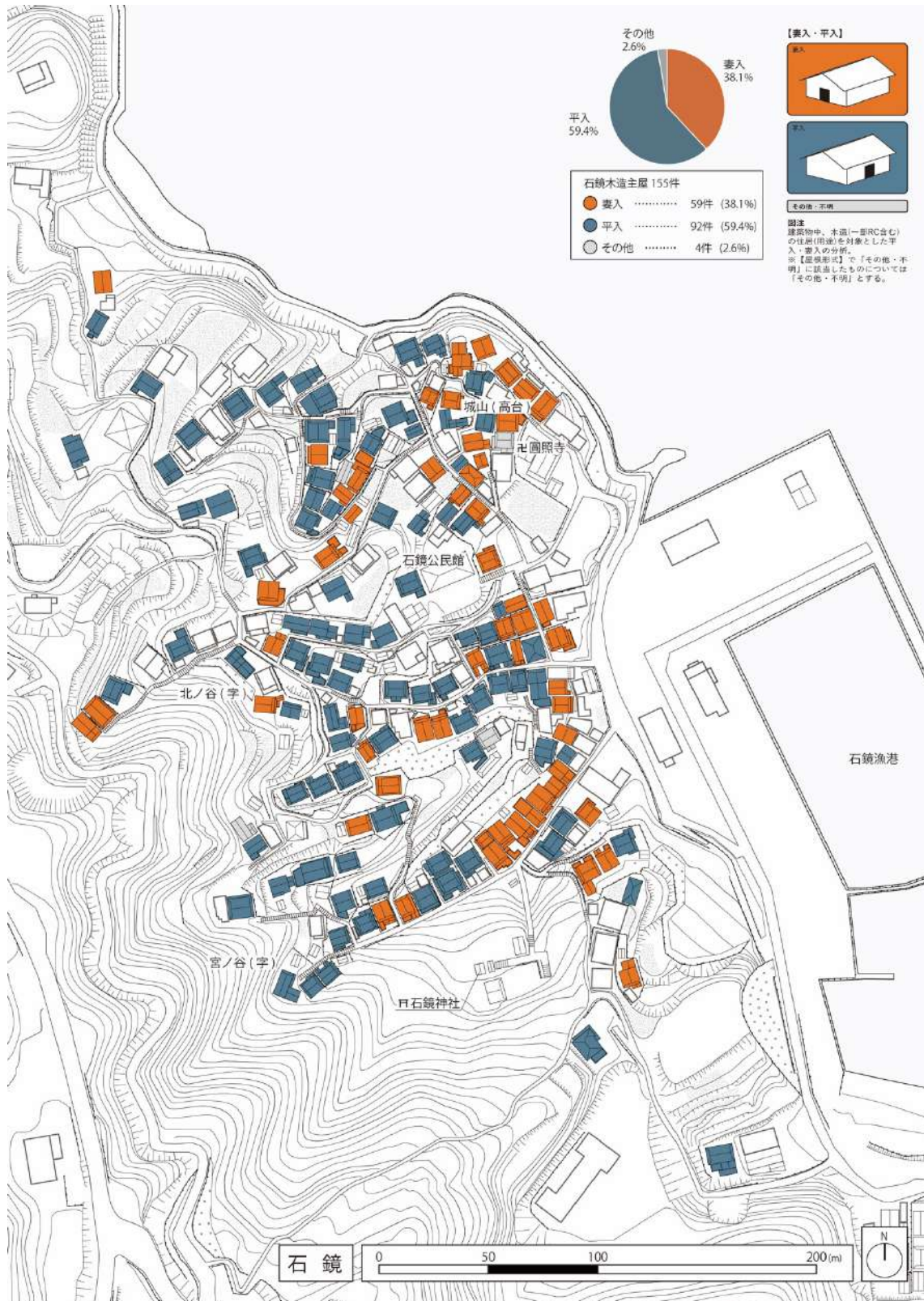


図 5-6-2 石鏡における妻入と平入の分布

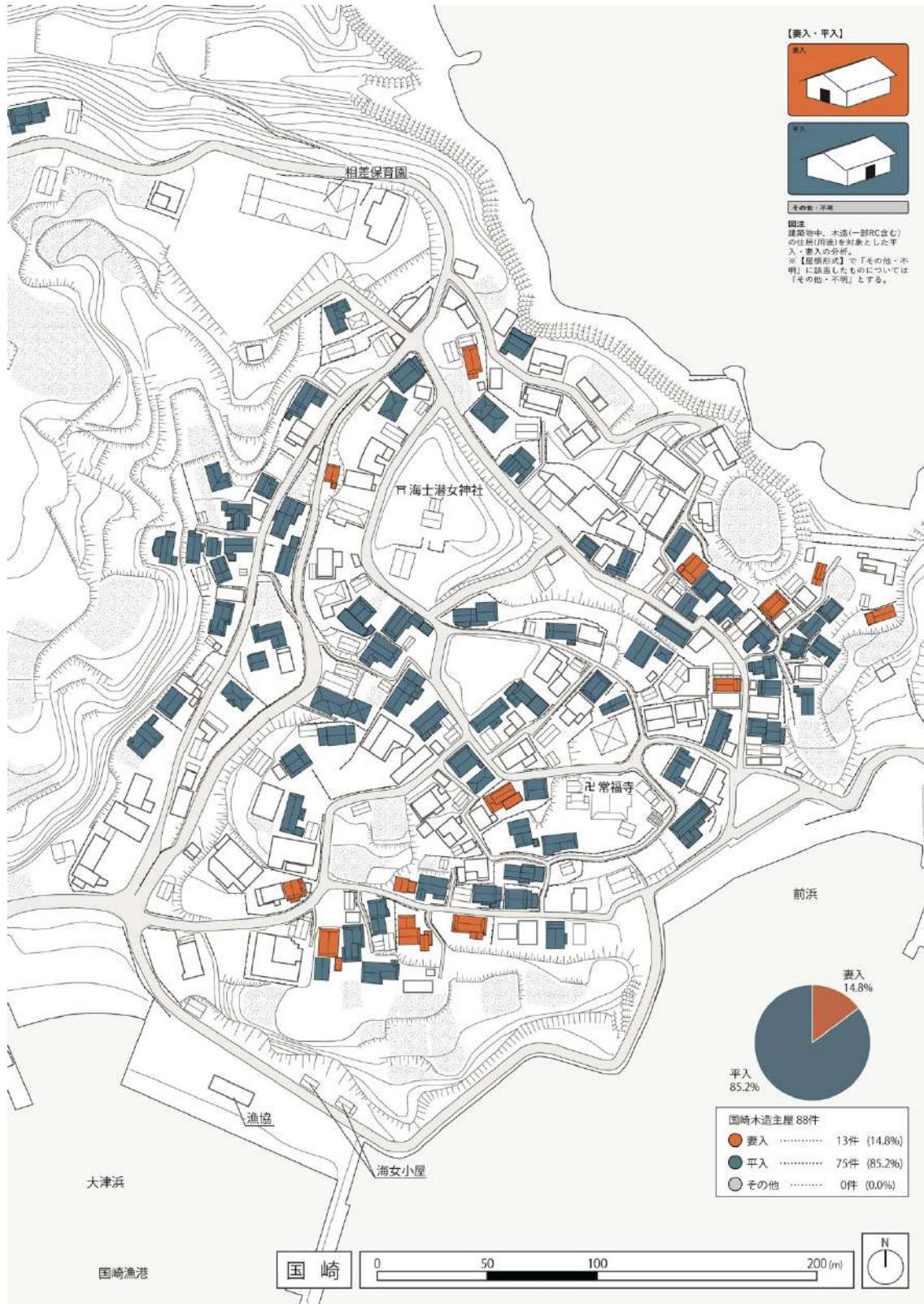


図 5-6-3 国崎における妻入と平入の分布

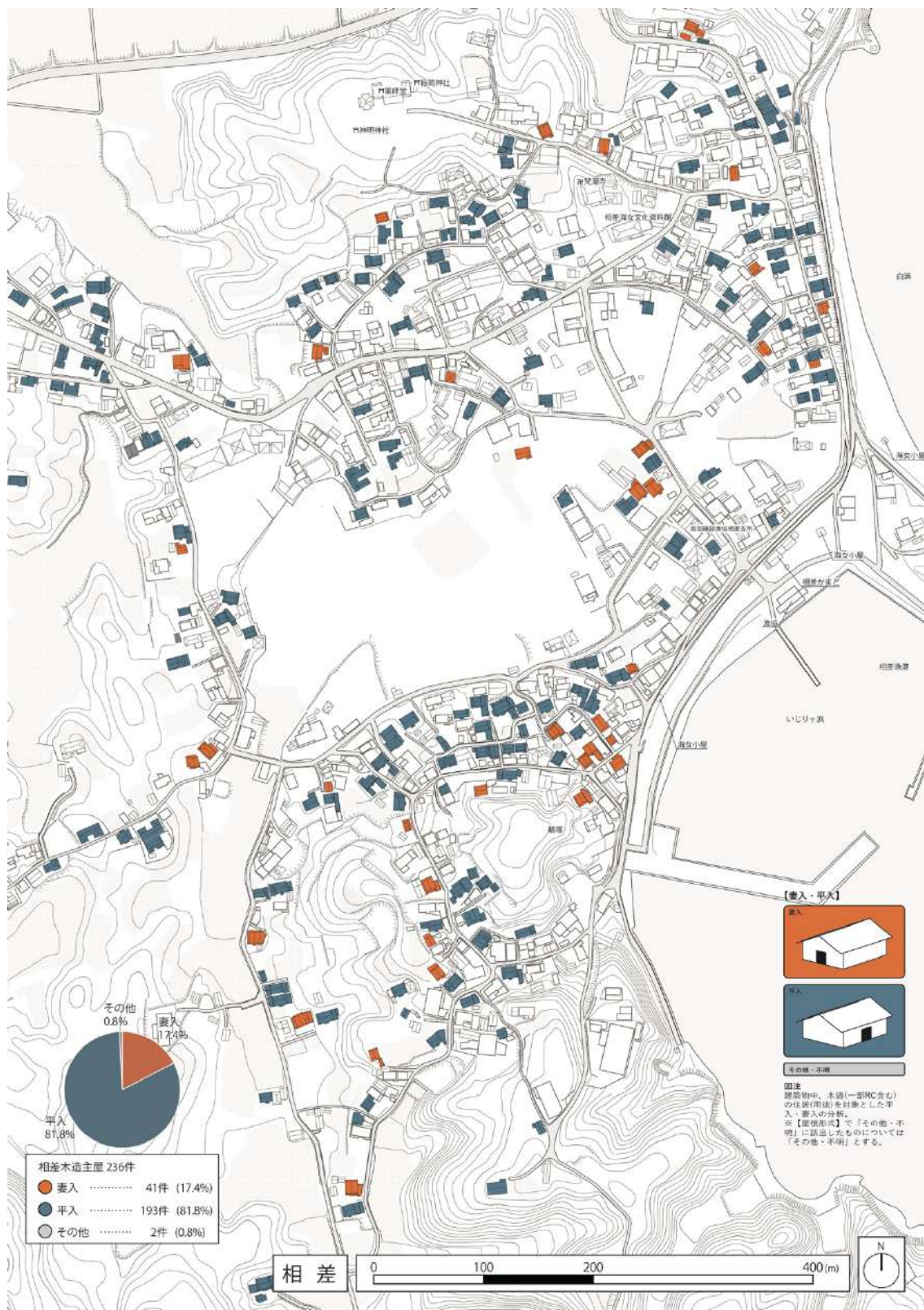


図 5-6-4 相違における妻入と平入の分布

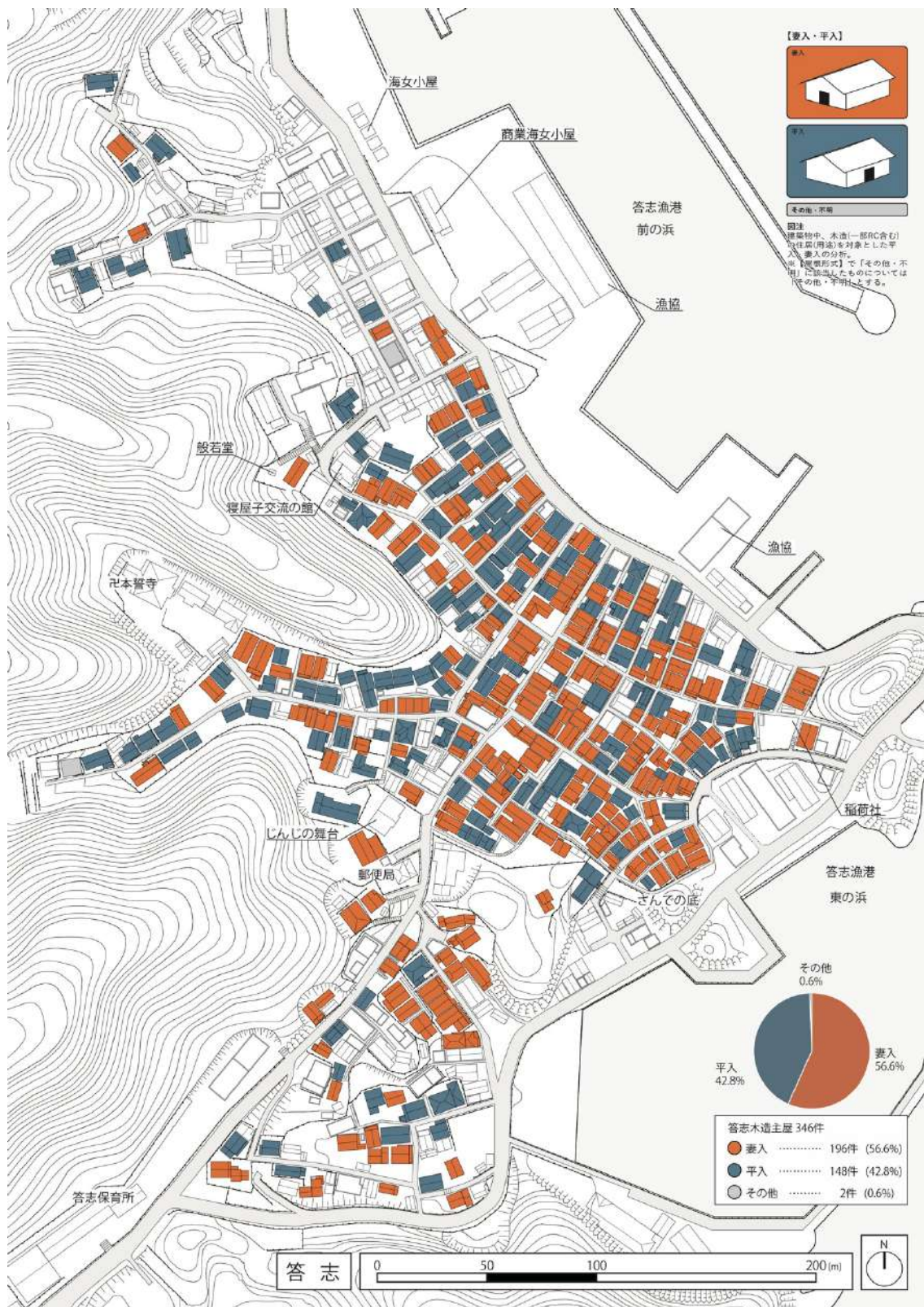


図 5-6-5 答志における妻入と平入の分布

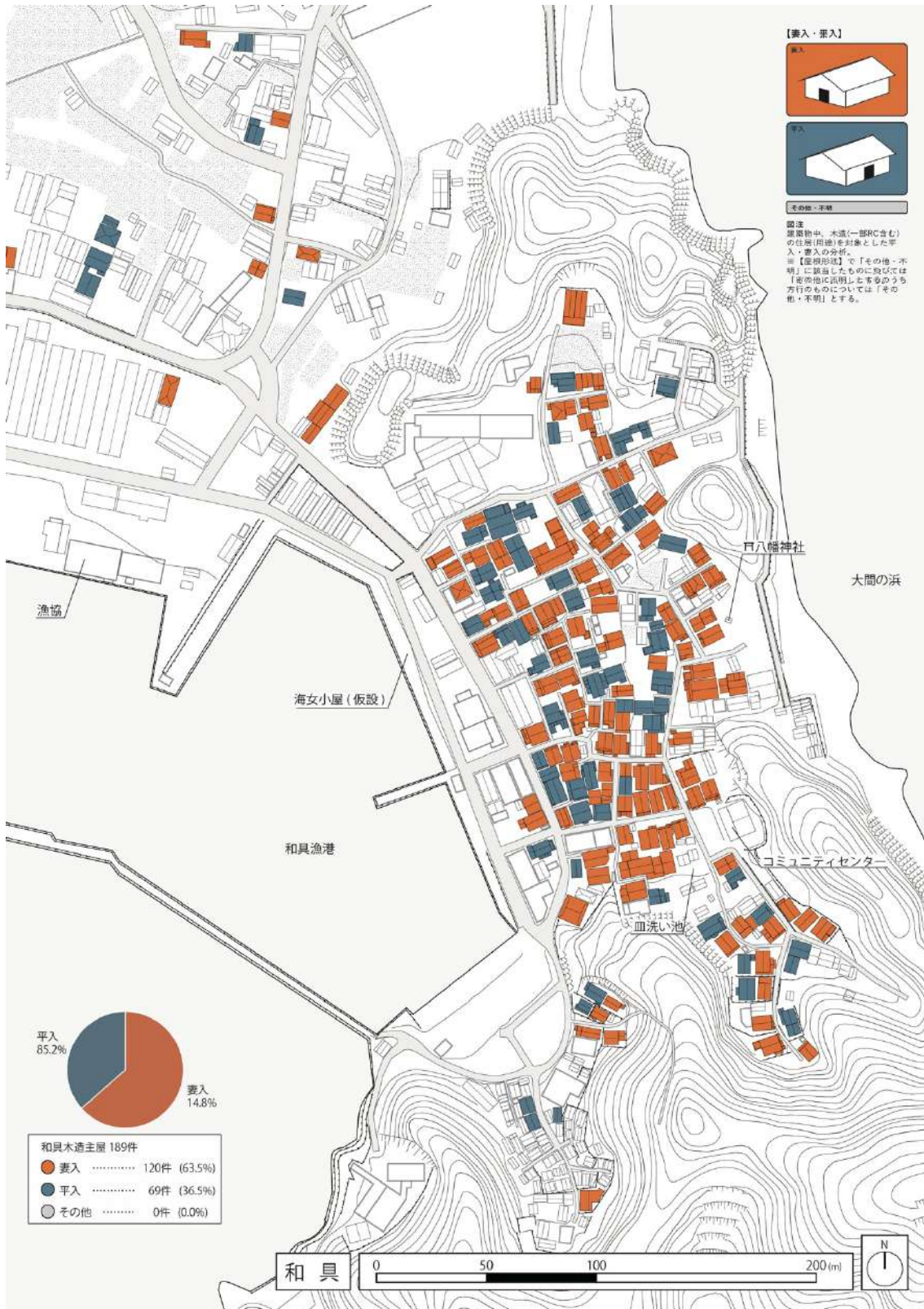


図 5-6-6 和具における妻入と平入の分布

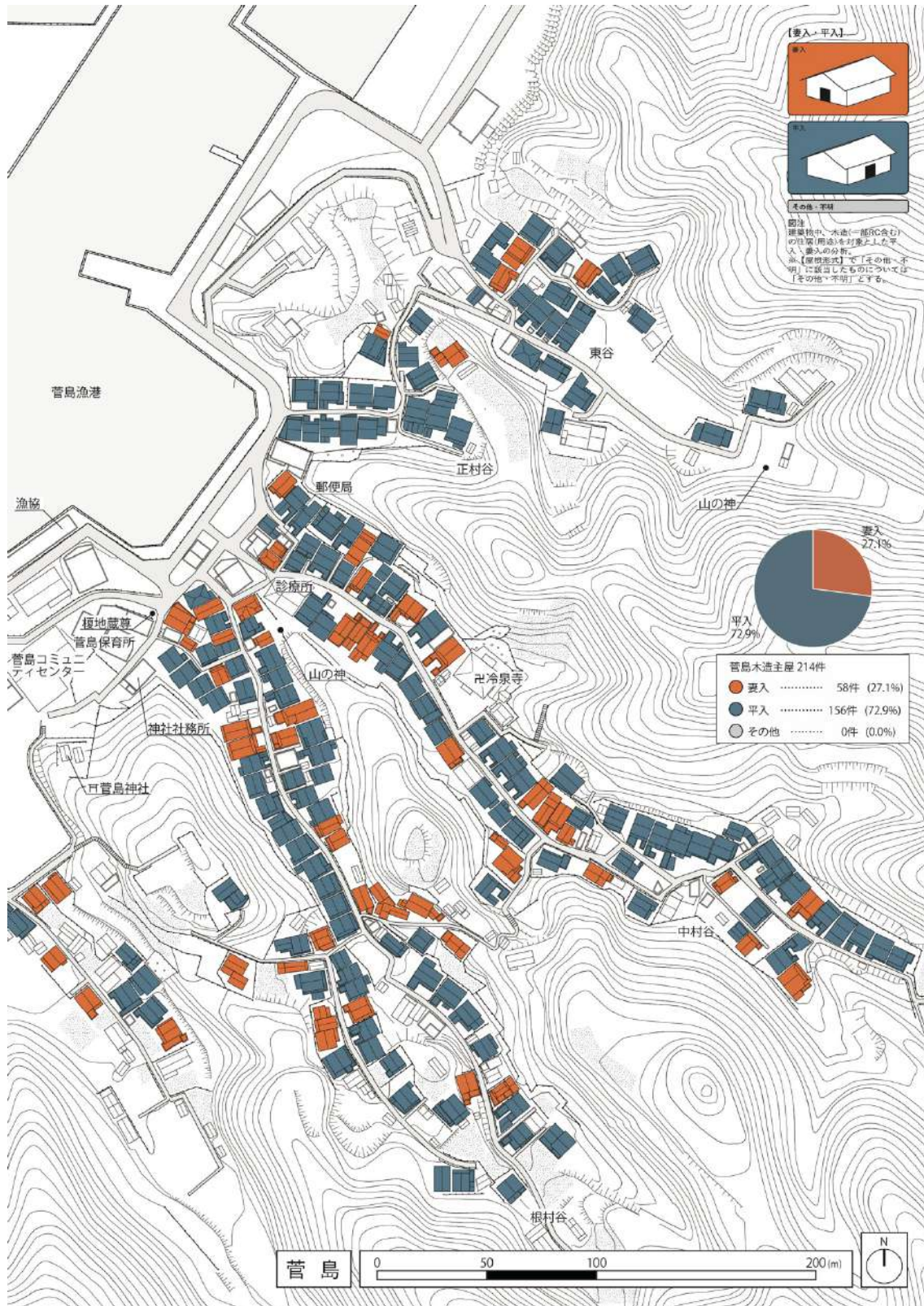


図 5-6-7 菅島における妻入と平入の分布

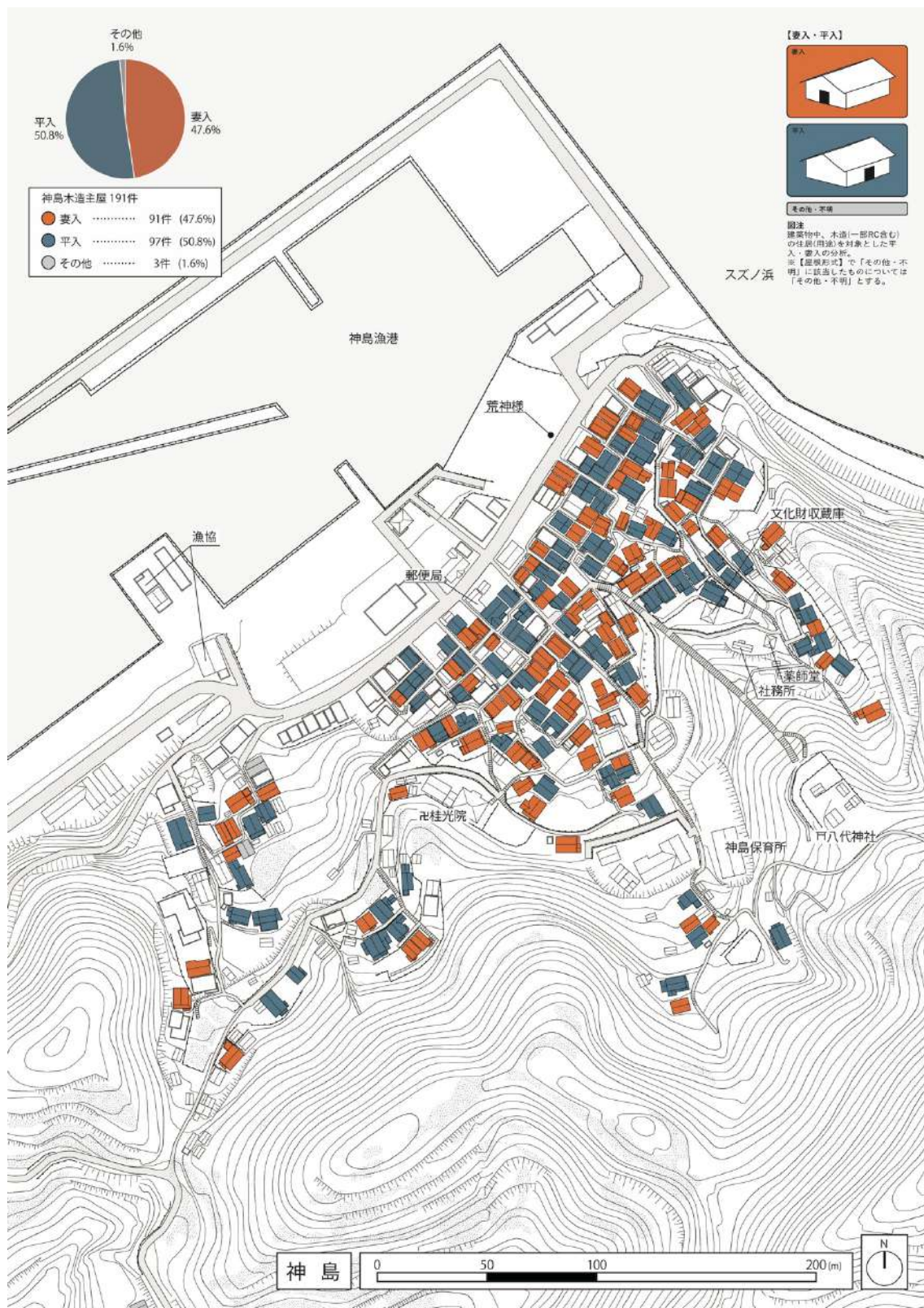
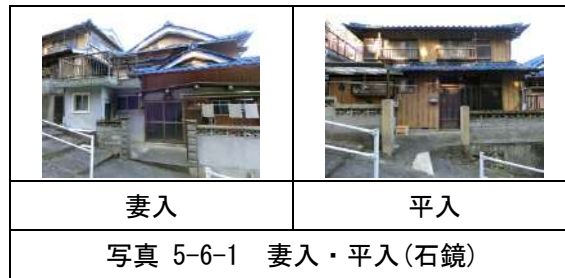


図 5-6-8 神島における妻入と平入の分布

【地区ごとの結果】

1) 石鏡

「妻入」が38.1%、「平入」が59.4%で、「平入」が優勢である。全体的に浜に近い東側に「妻入」が多く分布しているように思われ、特に宮ノ谷の浜付近には「妻入」の木造主屋が集中している。



2) 国崎

「妻入」が14.8%、「平入」が85.2%で、「平入」がかなり優勢である。前浜から延びる2本の谷筋に「妻入」が多く分布しており、その他の場所については、ほとんど「平入」である。



3) 相差

「妻入」が17.4%、「平入」が81.8%で、「平入」がかなり優勢である。全地区の中で最も「平入」の割合が高い。鵜塚の麓でいじりが浜の周辺に「妻入」が集中している場所が一箇所あるが、他の場所については「妻入」は分散してみられる。



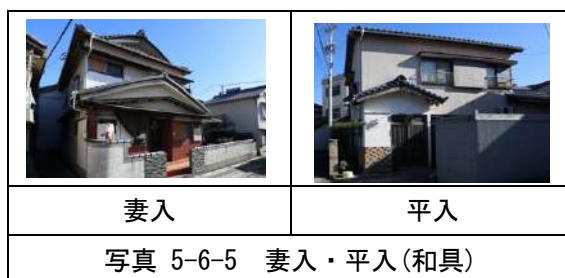
4) 答志

「妻入」が56.6%、「平入」が42.8%で、「妻入」と「平入」が拮抗している。全体的にほぼ均等に分布しているが、強いて言えば、集落の東側に「妻入」が多いように思われる。特にさんでの底あたりは「妻入」が集中している。



5) 和具

「妻入」が63.5%、「平入」が36.5%で、妻入が優勢である。全地区の中で最も「妻入」の割合が高い。コミュニティセンターの周辺に集中している。



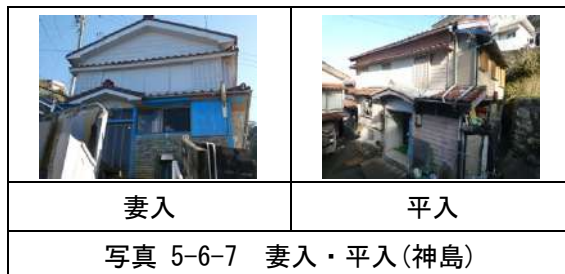
6) 菅島

「妻入」が27.1%、「平入」が72.9%で、平入がかなり優勢である。基本的には谷筋に沿う道に対して平を向けて木造主屋が軒を連ね、それらが「平入」となっているが、たまに道に対して妻を向けているものが「妻入」になっている。



7) 神島

「妻入」が47.6%、「平入」が50.8%で、妻入と平入が拮抗している。全体的にほぼ均等に分布しており、地形による偏りはない。



【妻入と平入における各地区の位置付け】

全地区の妻入・平入の割合を図 5-6-9 に示す。本土の3地区、および菅島、については「平入」が優勢であり、特に国崎と相差については平入が8割を超える。神島については妻入と平入が拮抗しており、答志、和具については、やや「妻入」が優勢である。

本節のまとめとして7地区の木造主屋における、「平入」と「妻入」の比重による位置付けを図 5-6-10 に示す。図は左に偏るほど「平入」の比重が大きく、右に偏るほど「妻入」の比重が大きいことを表す。「妻入」が少ない地区から順に並べると国崎、相差、菅島、石鏡、神島、答志、和具の順となる。

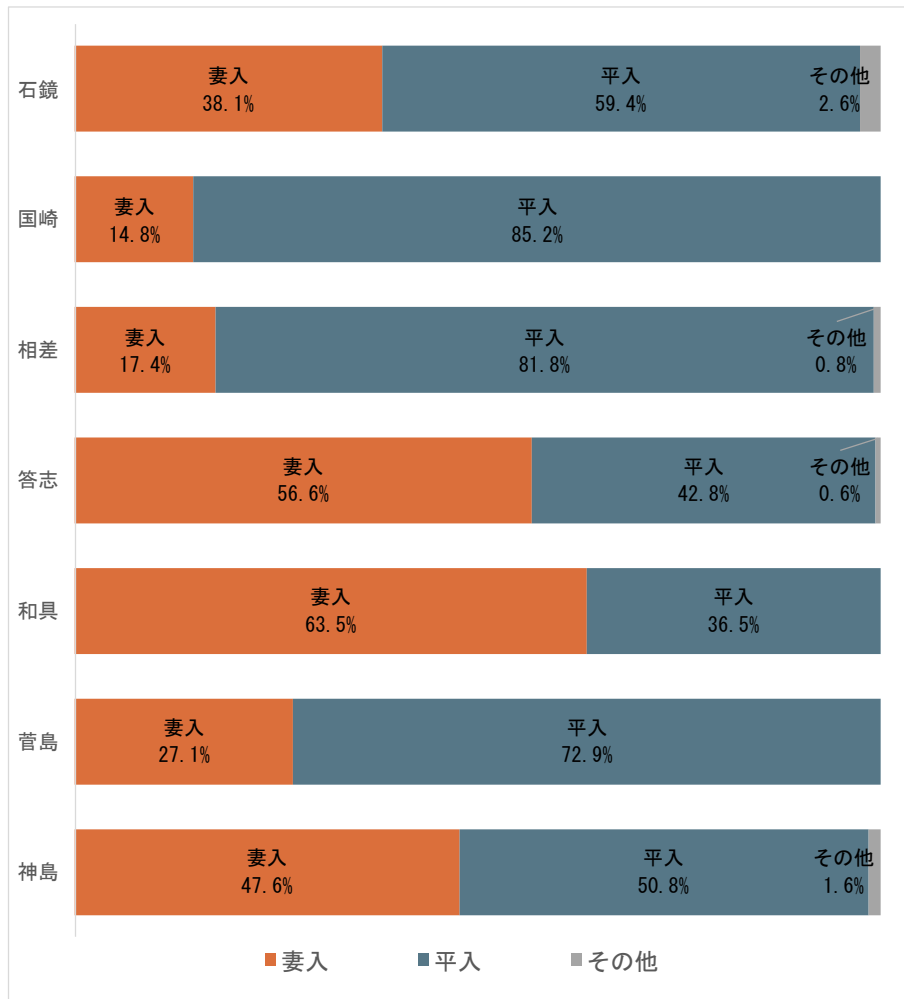


図 5-6-9 全地区の妻入と平入の割合



図 5-6-10 妻入と平入の比重による位置付け

5-7 玄関の位置

次に玄関の位置を調査する。区分肢は「妻面突出」「平面突出」「突出なし」とし(図 5-7-1)、その分布と割合を調べる。ここで「突出」とは、図 5-7-1 のように玄関の屋根が、主屋の屋根から切り替えて妻側を見せるように突出しており、かつ、それが壁、又は、柱で支持されているものとする。ただし、屋根のみが突出するもの、及び、玄関が居室に内包して突出しているものは対象としない。

玄関が突出しているものの分布を図 5-7-2 から図 5-7-8 に、件数と割合を表 5-7 に示す。なお図 5-7-2 から図 5-7-8 において着色されていない建築物については、木造主屋以外の建築物である。また、件数と割合については作図の範囲外の木造主屋に該当したものについても含んでいる。



図 5-7-1 玄関の位置の区分

表 5-7 全地区における玄関の位置の割合

玄関	妻面		平面		突出なし		合計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
石鏡	4	2.6%	1	0.6%	150	96.8%	88	100.0%
国崎	2	2.3%	18	20.5%	68	77.3%	155	100.0%
相差	12	5.1%	60	25.4%	164	69.5%	236	100.0%
答志	8	2.3%	6	1.7%	332	96.0%	346	100.0%
和具	18	9.5%	11	5.8%	160	84.7%	189	100.0%
菅島	5	2.3%	7	3.3%	202	94.4%	214	100.0%
神島	14	7.3%	17	8.9%	160	83.8%	191	100.0%

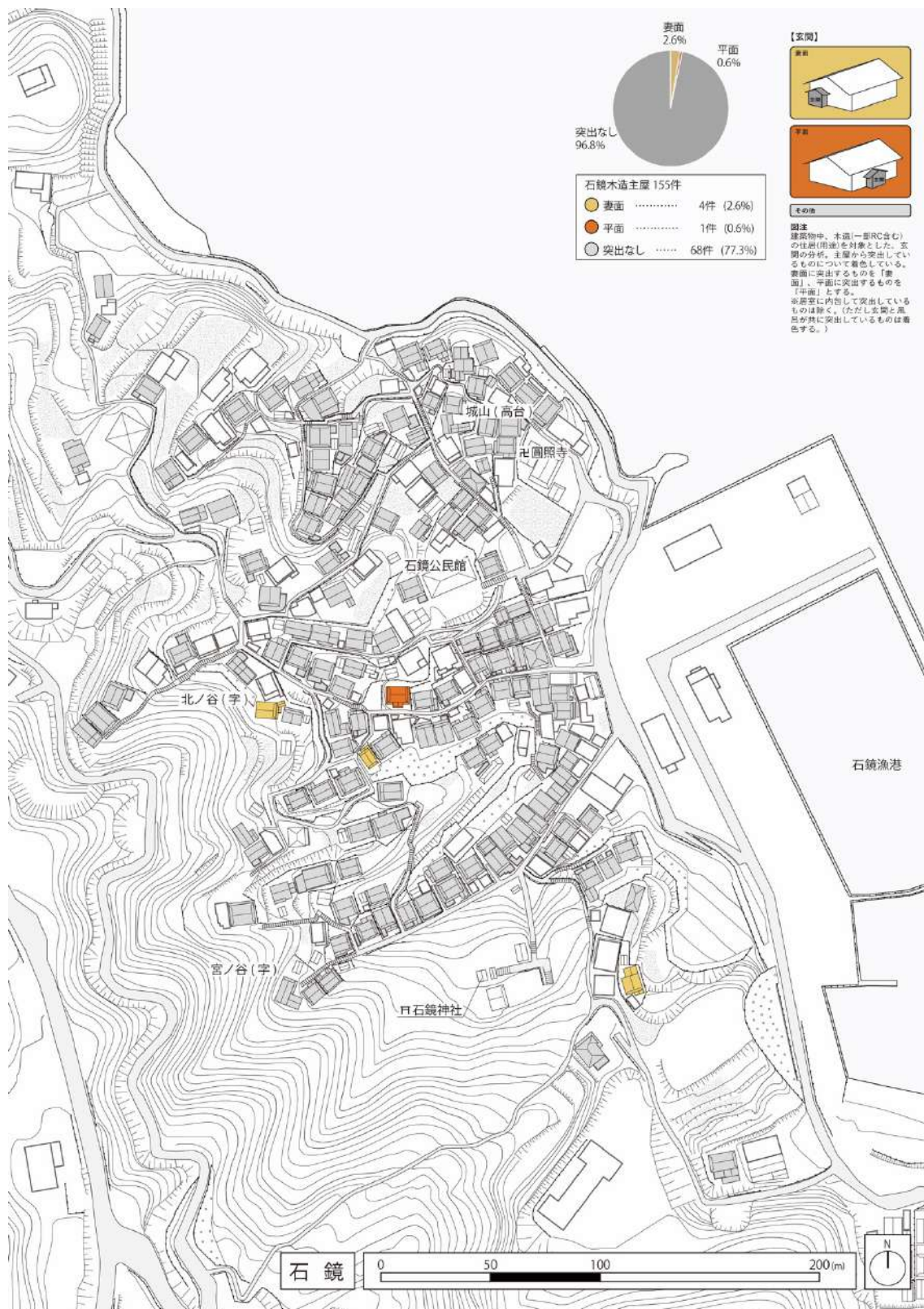


図 5-7-2 石鏡における玄関の位置の分布

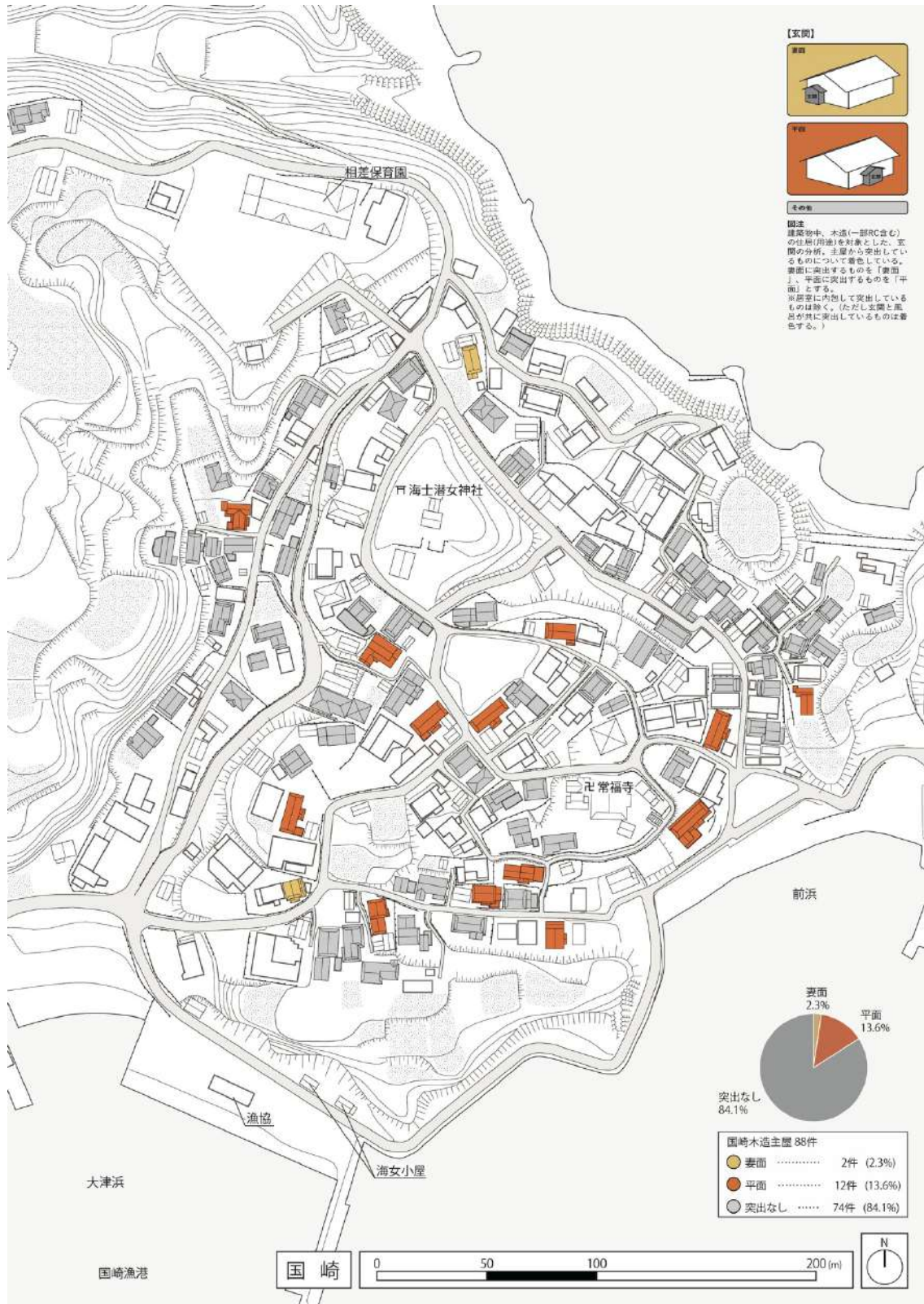


図 5-7-3 国崎における玄関の位置の分布

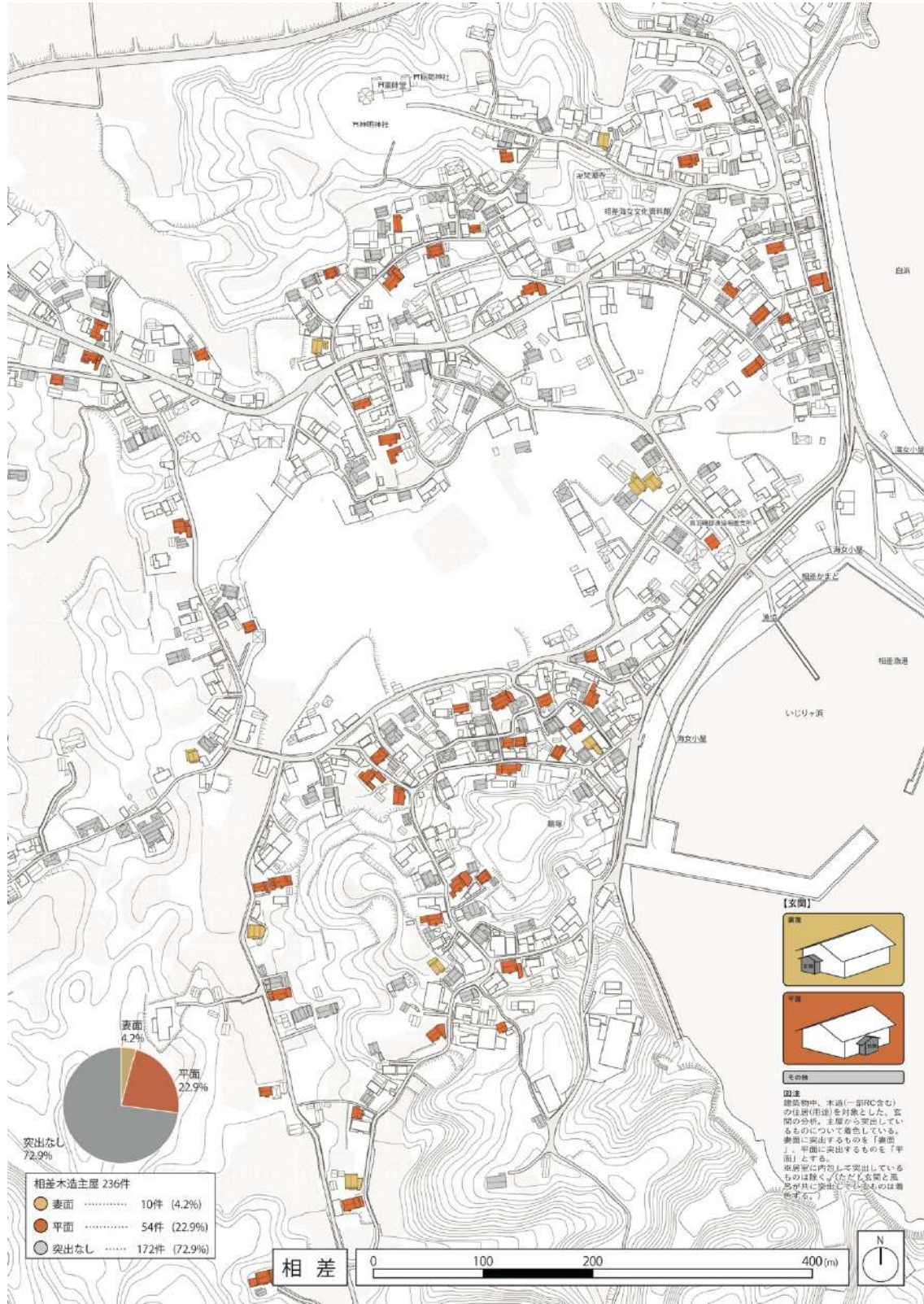


図 5-7-3 相差における玄関の位置の分布

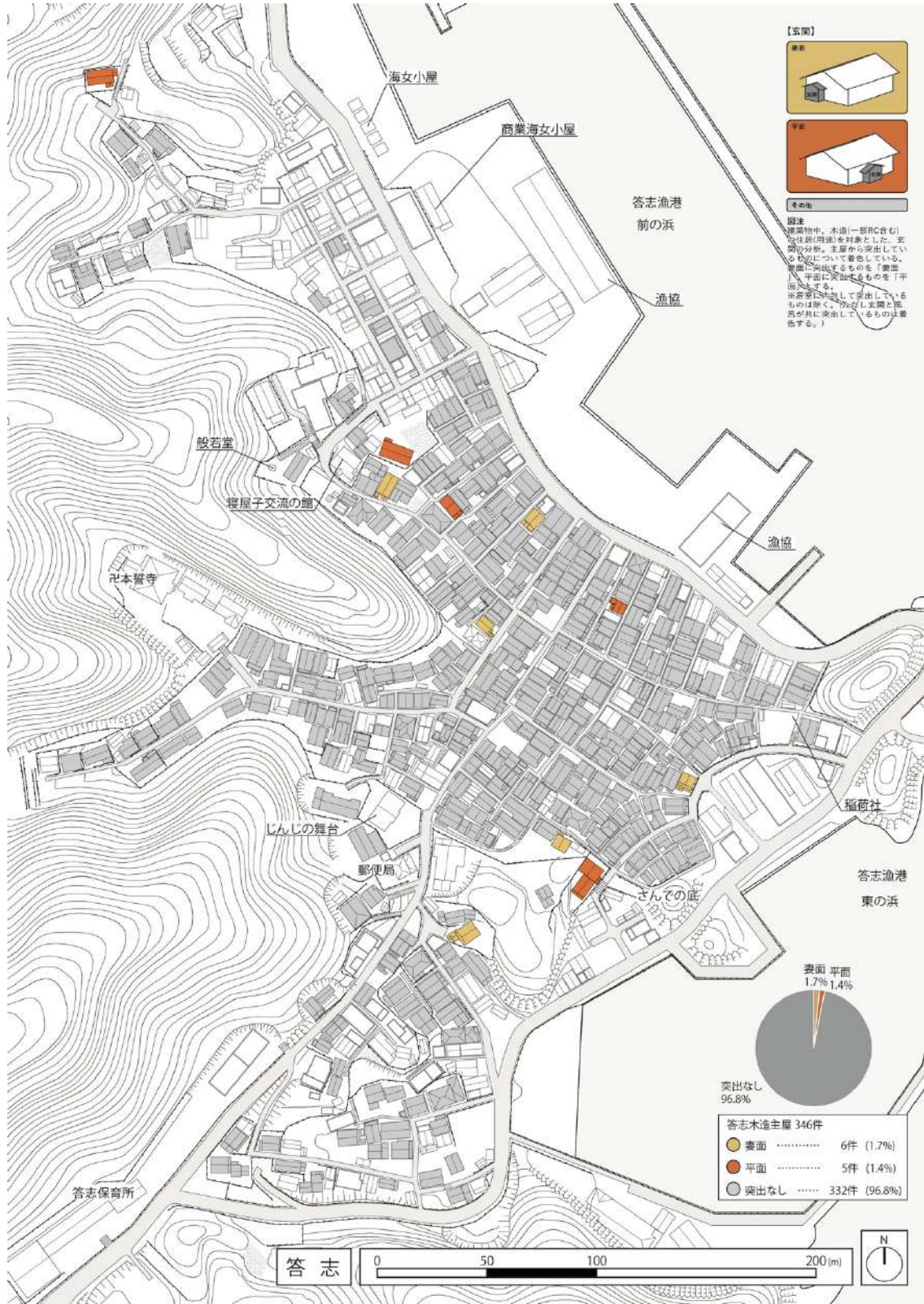


図 5-7-5 答志における玄関の位置の分布

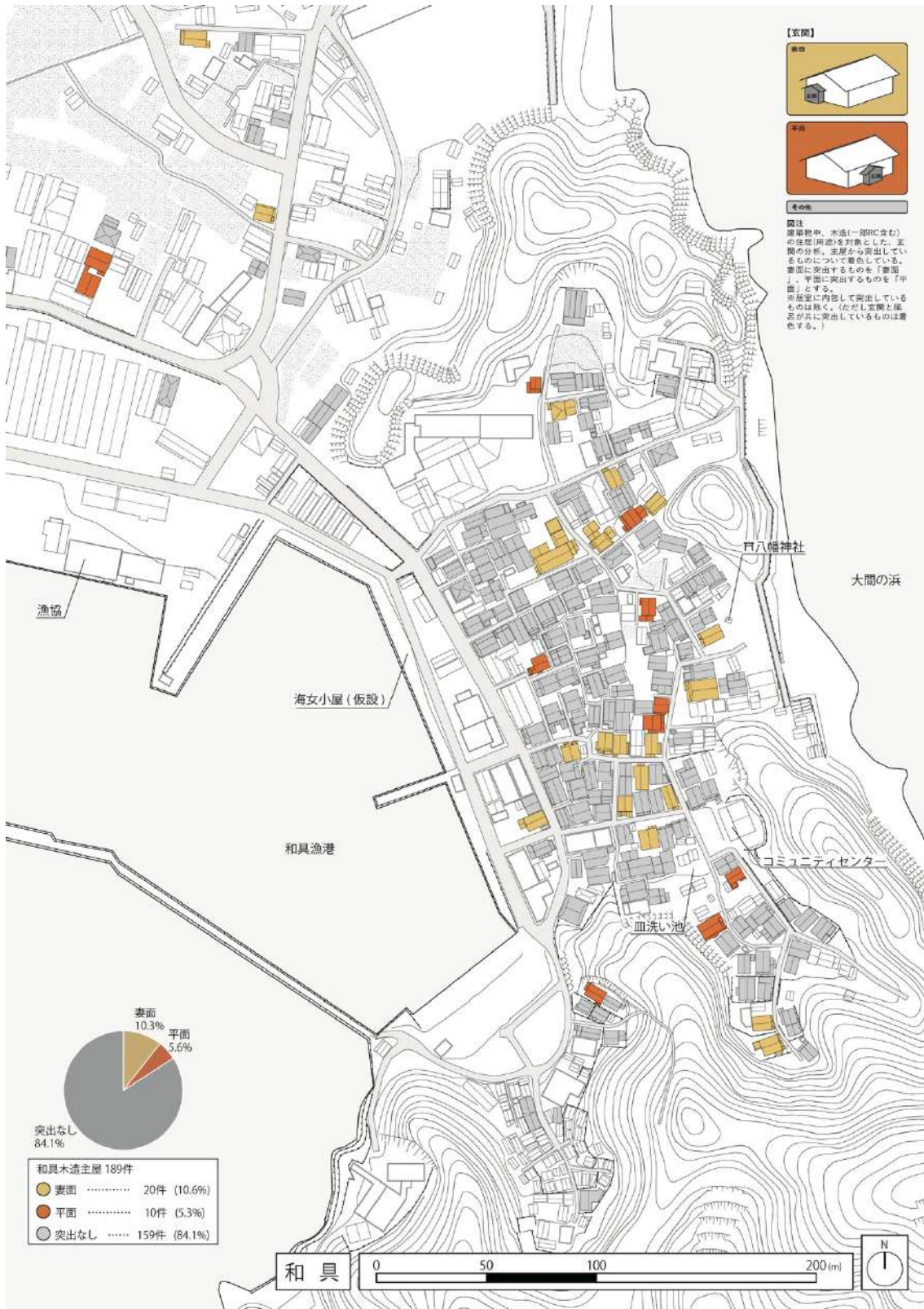


図 5-7-6 和具における玄関の位置の分布

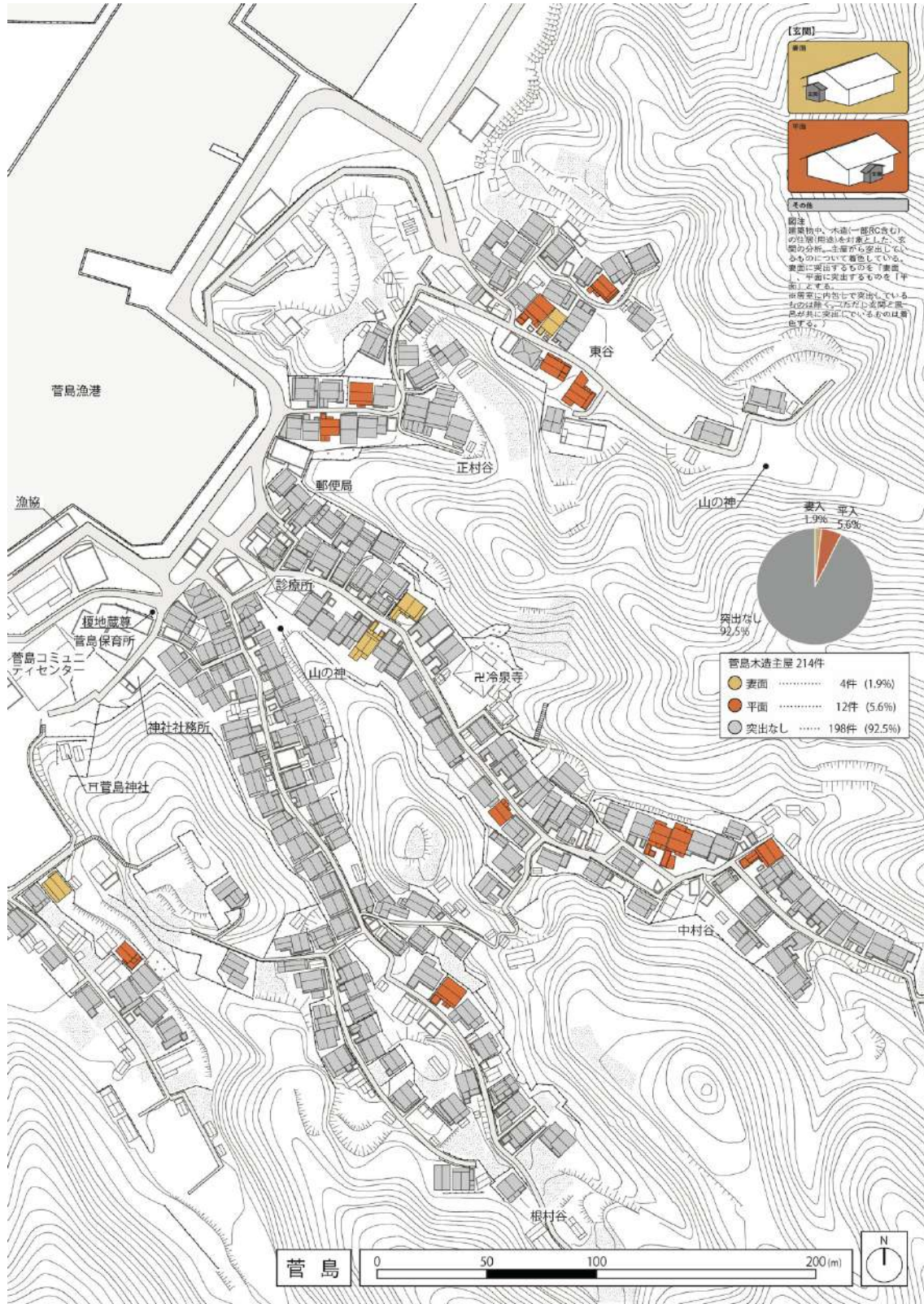


図 5-7-7 菅島における玄関の位置の分布

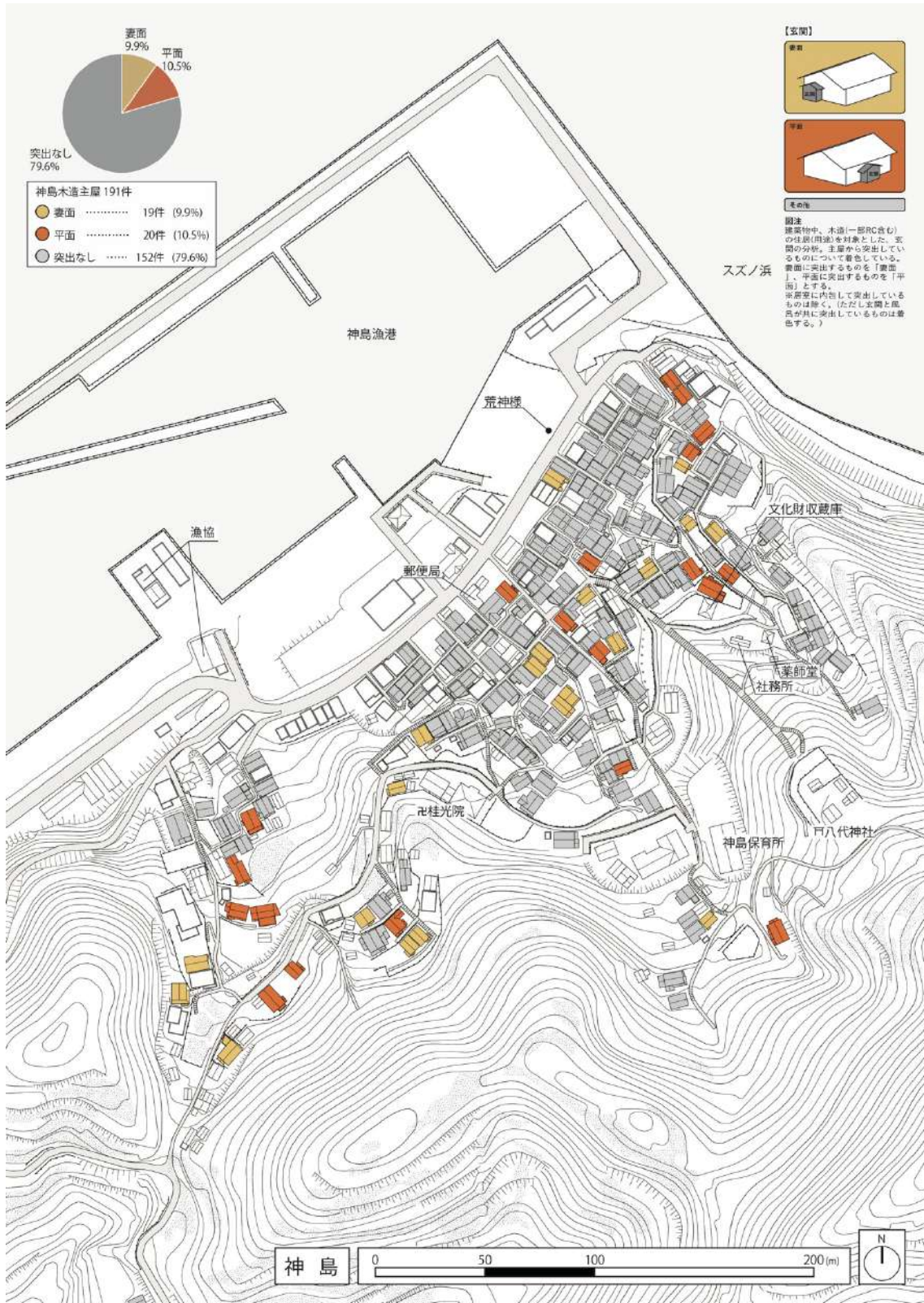


図 5-7-8 神島における玄関の位置の分布

【地区ごとの結果】

1) 石鏡

「妻面」が2.6%、「平面」が0.6%であり、合わせて3.2%である。突出しているものは5件のみで、全地区の中で最も割合低い。



2) 国崎

「妻面」が2.3%、「平面」が13.6%であり、合わせて15.9%である。横長の主屋に対して平面の中央に玄関が突出しているものが多く、特に高台上の海女潜女神社の南側に集中して分布している。入母屋の屋根をかけているものもみられる。



3) 相差

「妻面」が4.2%、「平面」が22.9%であり、合わせて27.1%で、全地区の中で最も割合が高い。国崎と同様に横長の主屋に対して平面の中央に玄関が突出しているものが多く、特に鵜塚より南に数が多い。入母屋の屋根をかけているものもみられる。



4) 答志

「妻面」が1.7%、「平面」が1.4%であり、合わせて3.1%であり、玄関が突出しているものは少ない。突出しているものは最も建築物が密集している集落の中心部には少なく、比較的端の方に多くみられる。



5) 和具

「妻面」が10.6%、「平面」が5.3%であり、合わせて15.8%である。突出しているものは、やや妻面の割合が高い。比較的突出しているものの割合が高く、特に集落の南に多く分布している。



6) 菅島

「妻面」が1.9%、「平面」が5.6%であり、合わせて7.5%である。突出しているものの中で平面に突出しているものが多い。地形に関わらず分散して分布している。



7) 神島

「妻面」が9.9%、「平面」が10.5%であり、合わせて20.4%である。突出しているものの中で、妻面に突出しているものと、平面に突出しているものが拮抗している。神島の玄関の突出は、他の地区と比べて控えめで、いずれも1尺程度である。浜から少し離れた標高が高いエリアに分布している。



【玄関の位置における各地区の位置付け】

全地区の玄関が突出するものの割合を図 5-7-9 に示す。石鏡についてはわずかに2%ほどであり玄関が突出しているものはほぼみられない。相差、国崎、菅島については平面に、石鏡、和具については妻面に突出しているものが多く、答志、神島は拮抗している。

本節のまとめとして7地区の木造主屋における、玄関の突出するものの割合による位置付けを図 5-7-1 に示す。図は、右に偏るほど突出しているものの割合が高くなり、左に偏るほど低くなることを表す。地区名の上のアイコンは各地区において突出している玄関の中で「妻面」および「平面」のうち、優勢の方を示している。なお、ほぼ同程度だったものは拮抗と示し、()内に優勢の方を示している。玄関が突出するものの割合が高い地区から順に並べると相差、国崎、神島、和具、菅島、答志、石鏡の順となる。

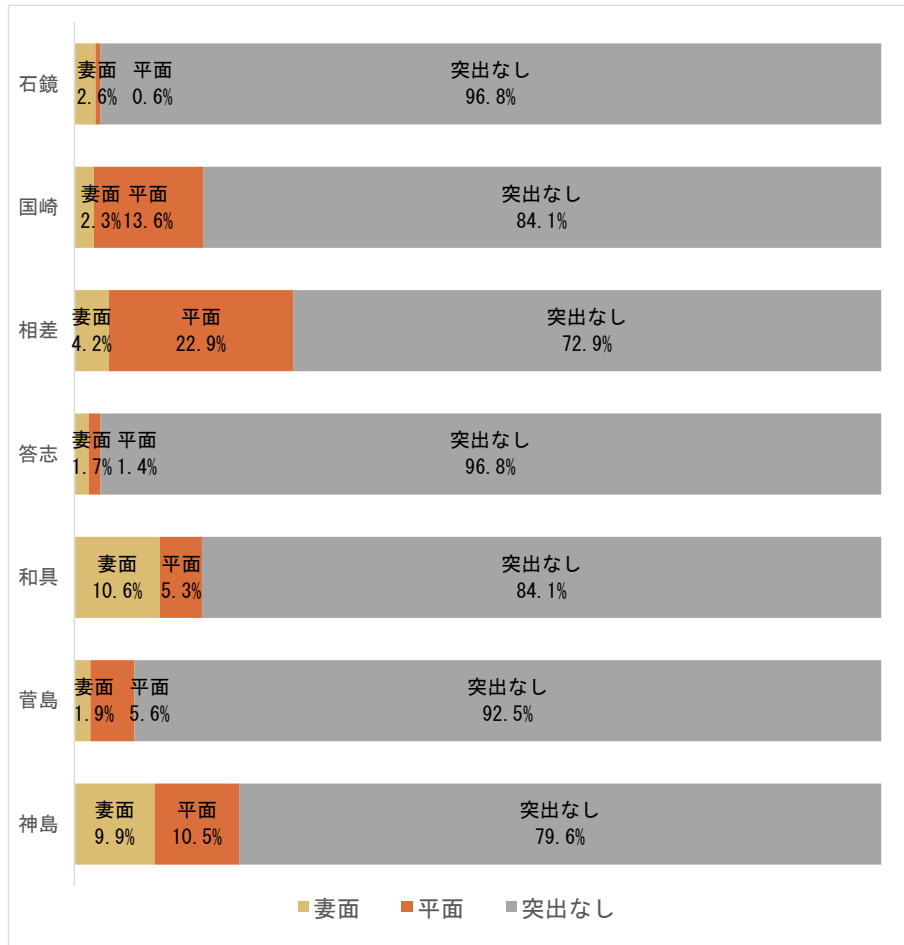


図 5-7-9 全地区の玄関が突出するものの割合

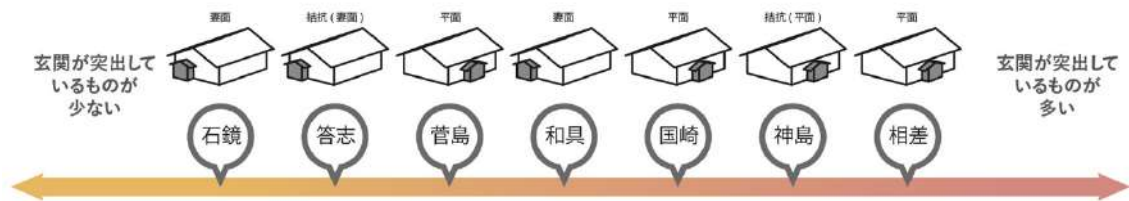


図 5-7-10 玄関が突出するものの割合による位置付け

5-8 風呂の位置

次に玄関と同様に風呂の位置を調査する。「風呂」とは風呂単体、もしくは風呂とトイレが一体になっているものを指しており、トイレのみの突出のものは含んでいない。区分肢は「道路面」「道路面以外」「突出なし」とし(図 5-8-1)、その分布と割合を調べる。ここで前節と同様に「突出」とは風呂のみが主屋から突出しているものを指し、居室に内包して突出しているものは対象としない。また写真のように主屋から離れた場所に風呂が位置している場合も、明らかに同一敷地内にあるものについては主屋からの突出と認識し「突出」に含めている。さらに突出しているものの内、道路からみて主屋より手前に風呂が位置するものを「道路面」、その他の場所に位置するものを「道路面以外」として区分している。なお、敷地が複数の道路に面する場合は、いずれかの道路からみて主屋より手前に位置していれば「道路面」とする。

風呂が突出しているものの分布を図 5-8-2 から図 5-8-8 に、件数と割合を表 5-8 に示す。なお図 5-8-2 から図 5-8-8 において着色されていない建築物については、木造主屋以外の建築物である。また、件数と割合については作図の範囲外の木造主屋に該当したものについても含んでいる。



図 5-8-1 風呂の位置の区分

表 5-8 全地区における風呂の位置の割合

風呂	道路面		道路面以外		突出なし		合計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
石鏡	46	29.7%	21	13.5%	88	56.8%	155	100.0%
国崎	18	20.5%	14	15.9%	56	63.6%	88	100.0%
相差	9	3.8%	23	9.7%	204	86.4%	236	100.0%
答志	64	18.5%	6	1.7%	276	79.8%	346	100.0%
和具	25	13.2%	13	6.9%	151	79.9%	189	100.0%
菅島	59	27.6%	6	2.8%	149	69.6%	214	100.0%
神島	28	14.7%	15	7.9%	148	77.5%	191	100.0%

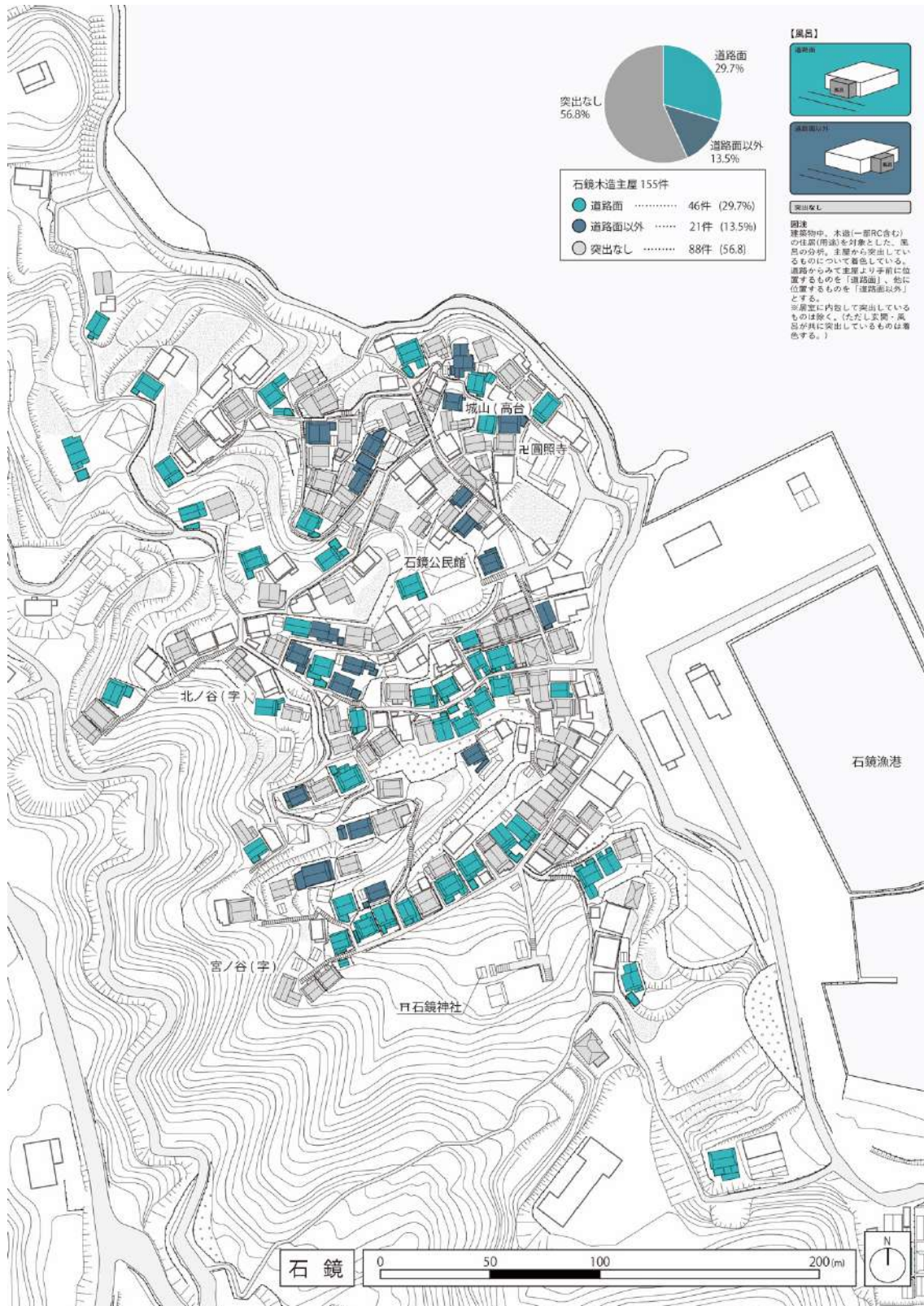


図 5-8-2 石鏡における風呂の位置形態の分布

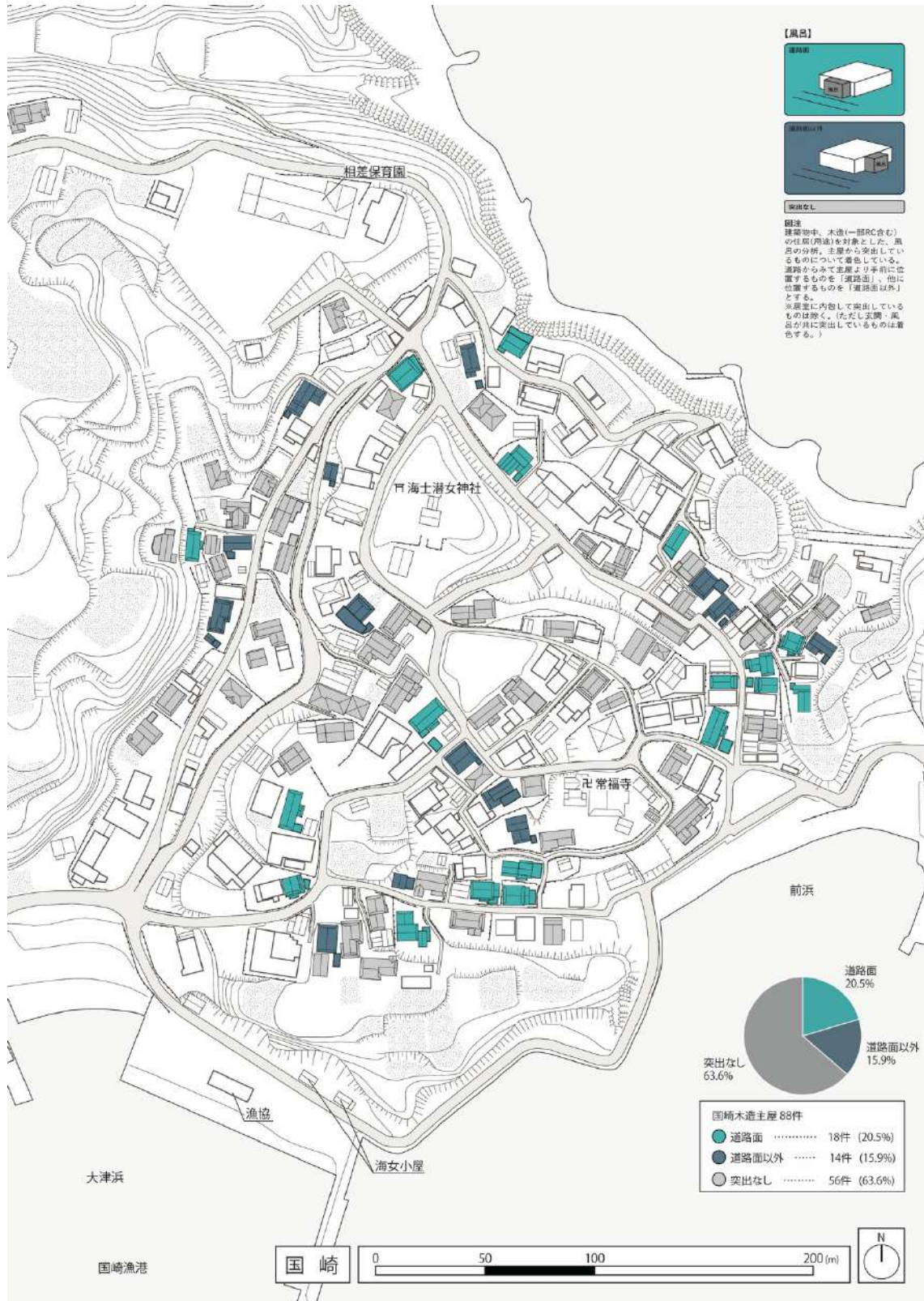


図 5-8-3 国崎における風呂の位置形態の分布

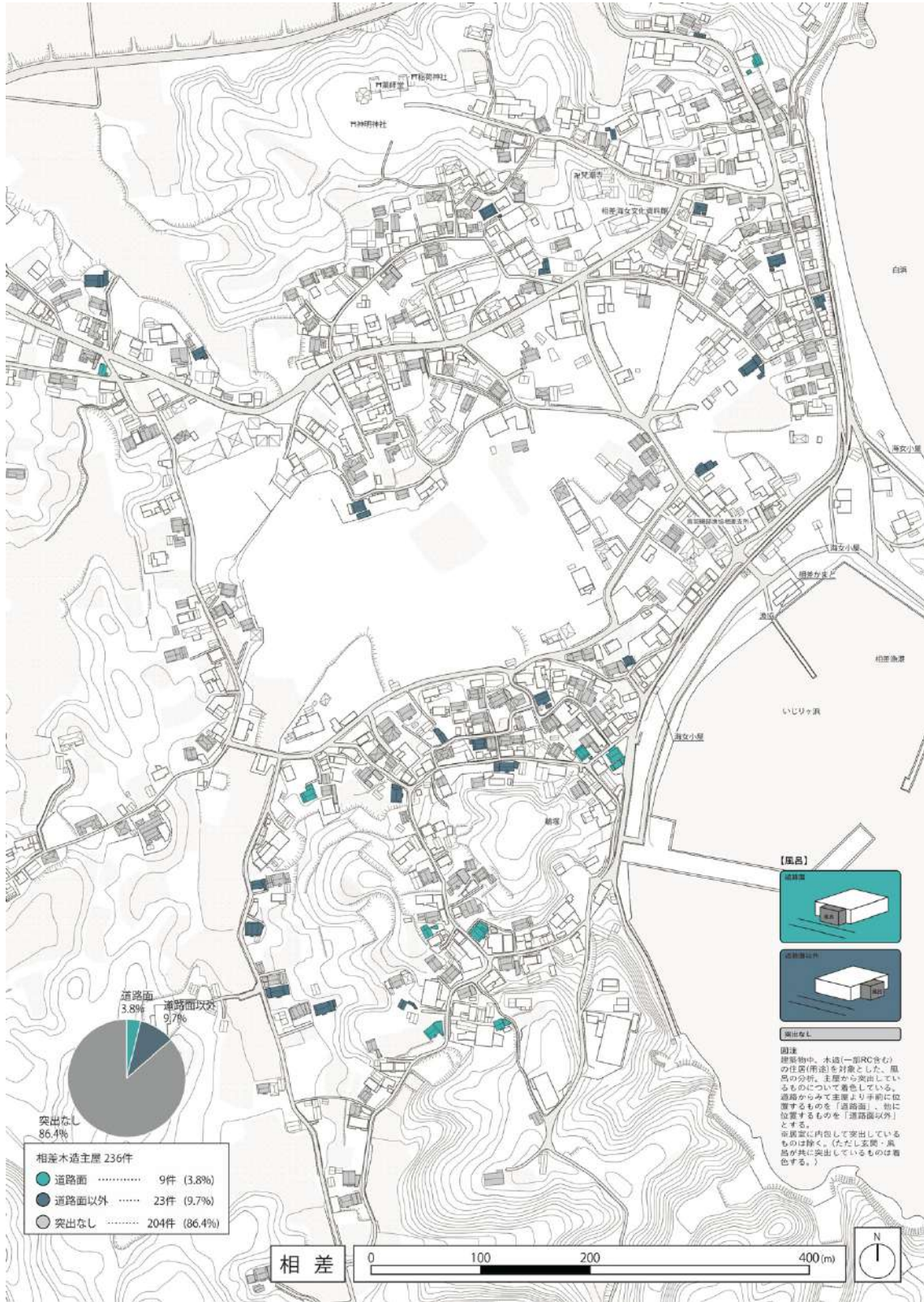


図 5-8-4 相差における風呂の位置形態の分布

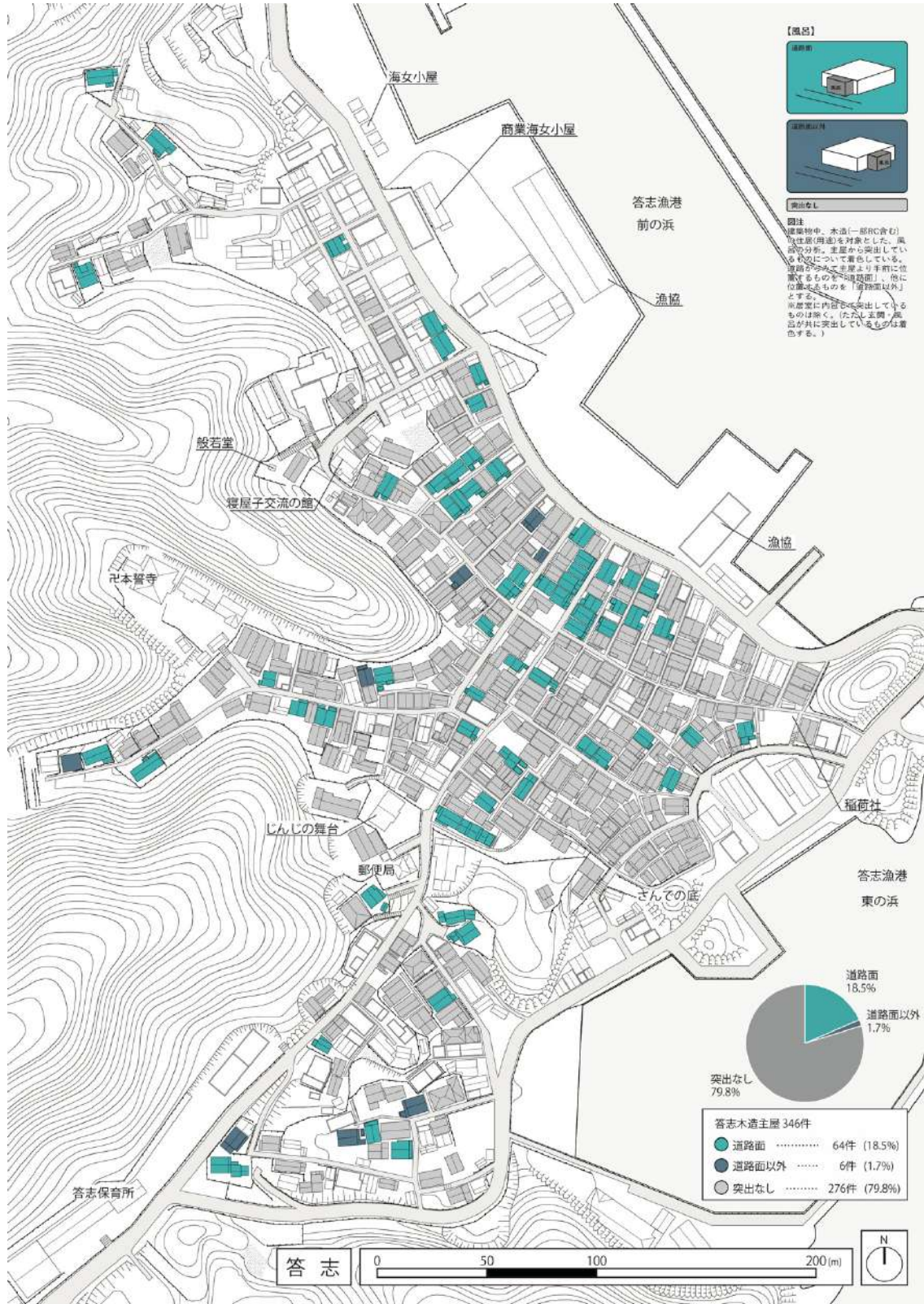


図 5-8-5 答志における風呂の位置形態の分布

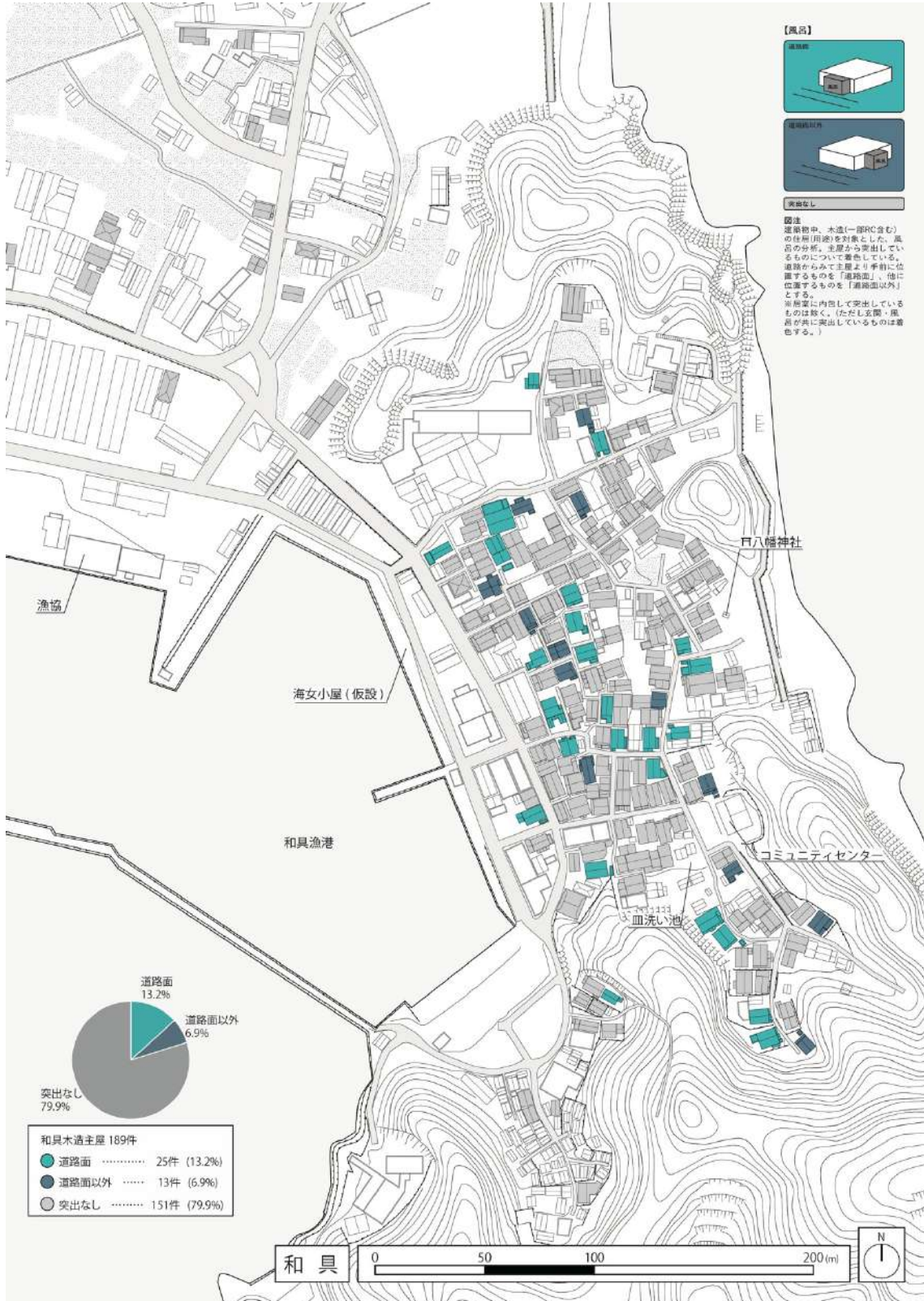


図 5-8-6 和具における風呂の位置形態の分布

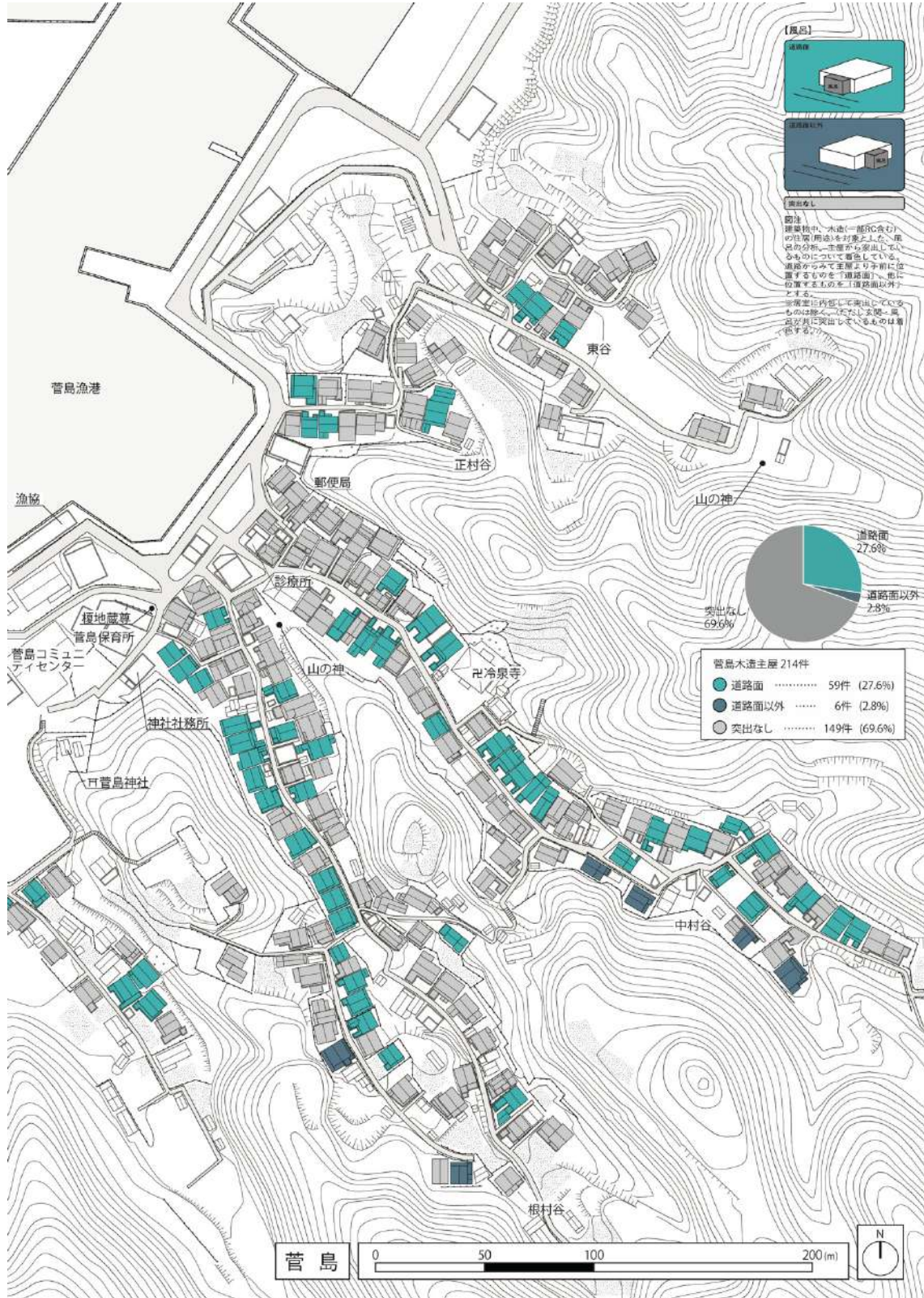


図 5-8-7 菅島における風呂の位置形態の分布

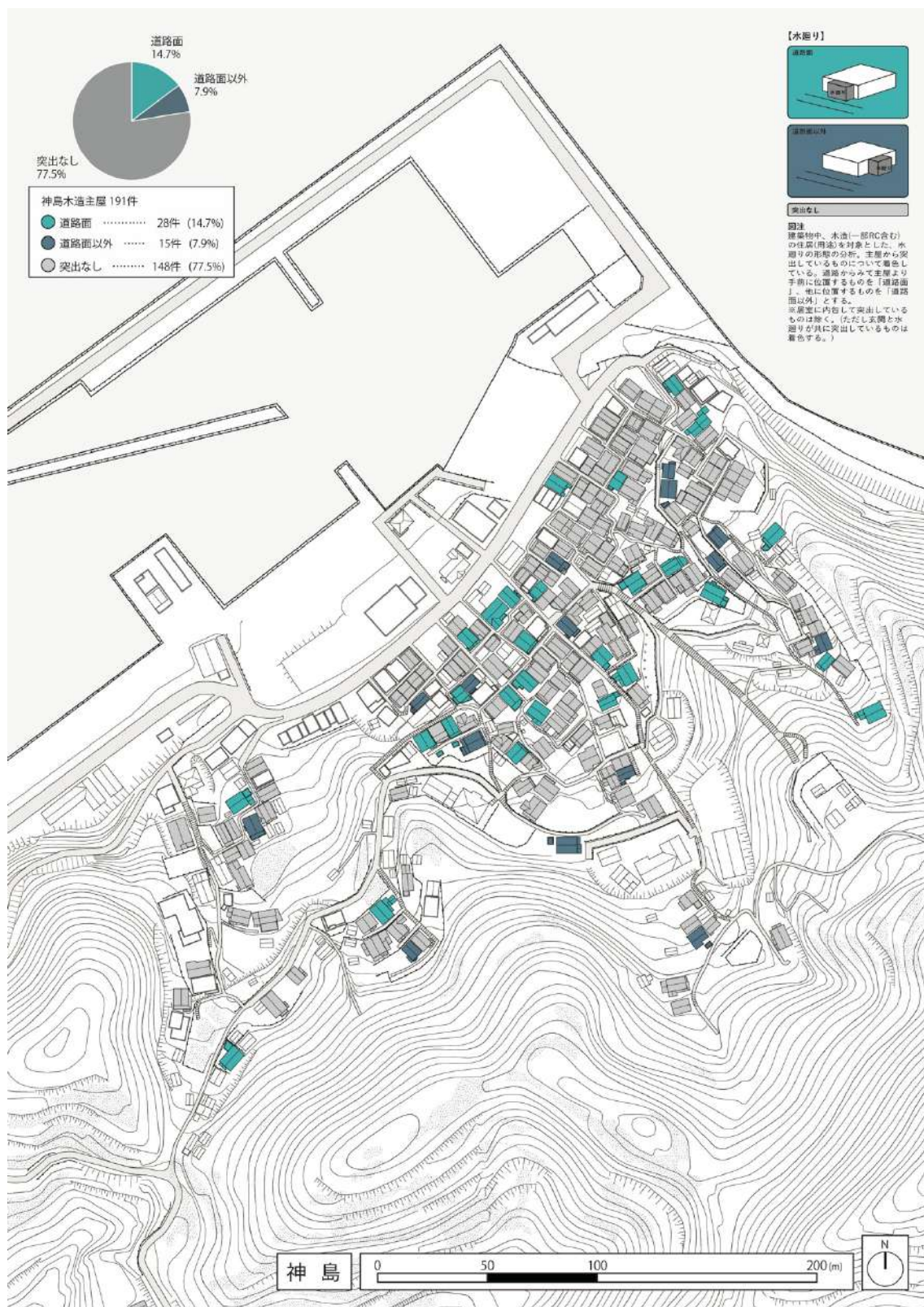
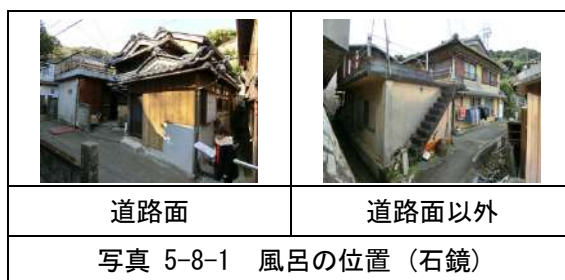


図 5-8-8 神島における風呂の位置形態の分布

【地区ごとの結果】

1) 石鏡

「道路面」が29.7%、「道路面以外」が13.5%であり、合わせて43.2%である。全地区の中で、風呂が突出している割合は最も高く、中でも「道路面」に突出しているものが多い。突出している風呂は写真のようにRCで作られたものばかりであり、比較的小規模である。南ノ谷については突出しているものの全てが「道路面」、北ノ谷についてもほとんどが「道路面」に突出しており、「道路面以外」に突出しているものは城山の高台と、北ノ谷の上のほうに分布する。



2) 国崎

「道路面」が20.5%、「道路面以外」が15.9%であり、合わせて36.4%である。他の地区と比較して、風呂が突出している割合は高く、中でも「道路面以外」に突出しているものが多い。突出している風呂は石鏡同様にRCで作られたものであるが、その規模は石鏡より大規模であり、浴槽だけでなく洗濯スペースや作業スペースが一体となっているものが多い。地形にかかわらず、分散して分布している。



3) 相差

「道路面」が3.8%、「道路面以外」が9.7%であり、合わせて13.6%である。突出している風呂は国崎同様にRCでかつ大規模である。突出しているものの中でみると半数以上が「道路面以外」となっており、これは全地区の中で相差だけである。鵜塚の周辺に「道路面以外」が集中して分布している。



4) 答志

「道路面」が18.5%、「道路面以外」が1.7%であり、合わせて20.2%である。突出している風呂はRCが大半であるが稀に写真のように木造のものもみられる。規模については小規模であり、突出しているものの中でみると「道路面」が圧倒的に多い。特に短冊状に道が形成される集落の中心部には、風呂が「道路面」に突出している木造主屋が連続して軒を連ねている場所がいくつかみられる。



5) 和具

「道路面」が13.2%、「道路面以外」が6.9%であり、合わせて20.1%である。突出している風呂は石鏡同様にRCで小規模なものである。突出しているものの中でみると「道路面」が優勢であるが、「道路面以外」も一定数みられる。地形にかかわらず、分散して分布している。



6) 菅島

「道路面」が27.6%、「道路面以外」が2.8%であり、合わせて30.4%である。突出している風呂はRCで作られたものであるが、写真のように洗濯スペースや作業スペース、倉庫と一体となった大規模のものが多い。「道路面」に設けられているものがほとんどである。「根村谷」「中村谷」を中心に分布している。



7) 神島

「道路面」が14.7%、「道路面以外」が7.9%であり、合わせて22.5%である。突出している風呂はRCが大半であるが稀に写真のように木造のものもみられる。規模については小規模であり、突出しているものの中でみると「道路面」が圧倒的に多い。大きな偏りはないが、やや集落の東側に多く分布している。



【全地区の比較】

全地区の風呂が突出するものの割合を図 5-8-9 に示す。全地区において突出している風呂はRCで作られたものがほとんどであり、相差以外は道路面に設けられたものが過半をしめる。中でも菅島は特に「道路面」に突出しているものの割合が高い。国崎については「道路面」と「道路面以外」が拮抗している。

節のまとめとして7地区の木造主屋における、風呂の突出するものの割合による位置付けを図 5-8-10 に示す。図は、右に偏るほど割合が高くなり、左に偏るほど低くなることを表す。地区名の上のアイコンは各地区において突出している風呂の中で「道路面」および「道路面以外」のうち、優勢の方を示している。風呂が突出するものの割合が高い地区から順に並べると石鏡、国崎、菅島、神島、和具、答志、相差の順となる。



図 5-8-9 全地区の風呂が突出するものの割合

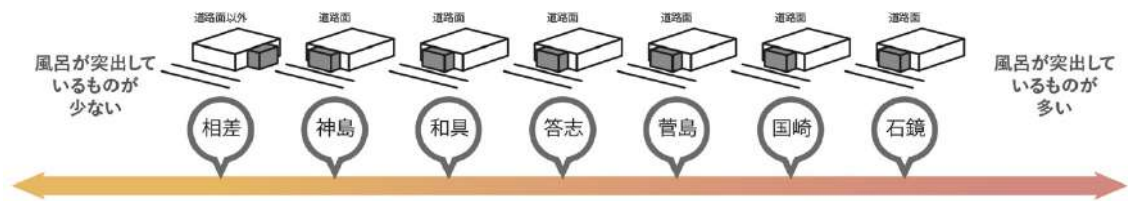


図 5-8-10 風呂が突出するものの割合による位置付け

5-9 小括

5-9-1 各地区の木造主屋の形態

本章では各地区における木造主屋の形態を確認してきた。7項目の調査の結果より、各地区の木造主屋の特徴をまとめ、それをよく表す例として、集落景観と代表的な木造主屋の例を写真で示す(図 5-9-1-1～図 5-9-1-7)。

1) 石鏡

石鏡の木造主屋は、「一階」「ツシ二階状」も一定数みられるが、「二階」が過半をしめており、特に敷地がかぎられる谷筋には「二階」が連続している。二階については図 5-9-1-1 の木造主屋の写真のように下屋が一尺分程度出ている「居室一間未満」が他の地区より多いことが特徴的である。屋根形式は「入母屋」と「切妻」が拮抗しているが、谷筋には「複合」も多くみられ、それらは図 5-9-1-1 の木造主屋の写真のように道路からみえる面のみが「入母屋」となっている。「平入」が優勢で入口は道から直接入る位置に設けられており、玄関が突出しているものは他の地区に比べて極端に少ない。石鏡の木造主屋の最大の特徴は RC の風呂が道路面に突出していることで、図 5-9-1-1 集落景観の写真のように道路からは風呂が並んでみえる。

2) 国崎

国崎の木造主屋は、「一階」と「ツシ二階状」の合計が過半を越え、残りの「二階」についても、居室が丸々下屋となっている「居室一間以上」が多いことから、相対的に階数が小さい。屋根形式は「入母屋」が優勢で「複合」も合わせるとかなり多くみられ、図 5-9-1-2 の集落景観の写真のように入母屋が並ぶ景観もみられる。入口方向は特徴的で、道との関係を考慮しながらも「南」または「東」から入る位置に玄関が設けられ、道路から敷地の裏側に回り込んだ場所にあるものもある。玄関自体は図 5-9-1-2 の木造主屋の写真のように突出しているものが多く、「平入」が優勢である。風呂が突出しているものも比較的多いが、「道路面」だけでなく、「道路面以外」に設けるものもある。

3) 相差

相差の木造主屋は、全地区の中で唯一「一階」が優勢であり、「ツシ二階状」も合わせるとかなり多くみられ、特に、真壁のものは図 5-9-1-3 の木造主屋の写真のようにほとんどが「一階」である。残りの「二階」についても、国崎同様、居室が丸々下屋となっている「居室一間以上」が多く、相対的に階数が小さい。屋根形式は「入母屋」が優勢で「複合」も合わせるとかなり多くみられる。入口方向は国崎よりも顕著に特定の方角を向く傾向が現れており、道や地形にほとんど関係なく「南」から入る位置に玄関が設けられている。「平入」が優勢で、写真のように突出して玄関を設けるものが多いが、一方、風呂が突出しているものは、数は少ない。ただし、突出しているものについては、「道路面」よりも「道路面以外」の方が多い点が、他の地区とは異なる特徴である。

4) 答志

答志の木造主屋は、ほとんどが「二階」以上で、「三階」以上のものもみられる。「二階」についても、「総二階」や「非居室」が多く、**図 5-9-1-4**の写真のように道路に沿って高密度に建ち並ぶ。屋根形式は「切妻」が9割程度で、「妻入」が優勢である。入口は道から直接入る位置に向かい合うように設けられているが、主屋の南北の両側に道がある場合は「北」を避ける傾向がみられる。

5) 和具

和具の木造主屋は、ほぼ全てが「二階」で、下屋のタイプとしては全種類が均等にみられるが、やや「総二階」のものが多い。集落の端のほうには「一階」と「三階」も少しずつみられる。屋根形式は、答志同様に「切妻」が9割程度で、「妻入」が優勢である。入口方向は特徴的で、道との関係を考慮しながらも「南」または「西」から入る位置に玄関が設けられる。また、玄関自体は突出しているものの数は少ないが、**図 5-9-1-5**の木造主屋の写真のように「妻面」に突出しているものが多く、その割合は全地区の中で最も高い。

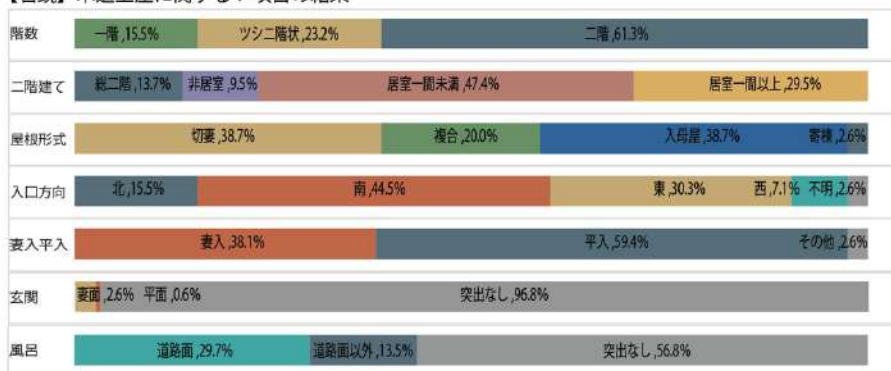
6) 菅島

菅島の木造主屋は、「二階」が大半で、「一階」と「三階」も少しずつみられる。「二階」については、「居室一間以上」のものが多いが、これは主屋と道路との間に、**図 5-9-1-6**の木造主屋の写真のように、ボリュームの大きい倉庫や居室を下屋としているからで、これは菅島の木造主屋の最大の特徴である。屋根形式は「切妻」が8割程度で、**図 5-9-1-6**の集落景観の写真のように、道路に平をむけるかたちで軒を連ねており、そこに、道から直接入る位置に玄関が設けられるため「平入」が優勢である。また、風呂が「道路面」に突出しているものが多いが、これは倉庫とともに主屋と道路との間につくられるものが多い。

7) 神島

神島の木造主屋は、ほぼ全てが「二階」以上で、「三階」もかなり多い。神島の「三階」は**図 5-9-1-7**の木造主屋の写真のように、二階建ての木造主屋の基礎となる部分にRCでもう一層分の階をつくり、主に倉庫の用途として利用しているものが一般的である。屋根形式についてはほぼ全てが「切妻」で全地区の中で最も割合が高く、**図 5-9-1-7**の集落景観の写真のように、海に妻をむけるように軒を連ねる。玄関は道から直接入る位置に設けられ、「妻入」と「平入」が拮抗する。

【石鏡】木造主屋に関する7項目の結果



木造主屋

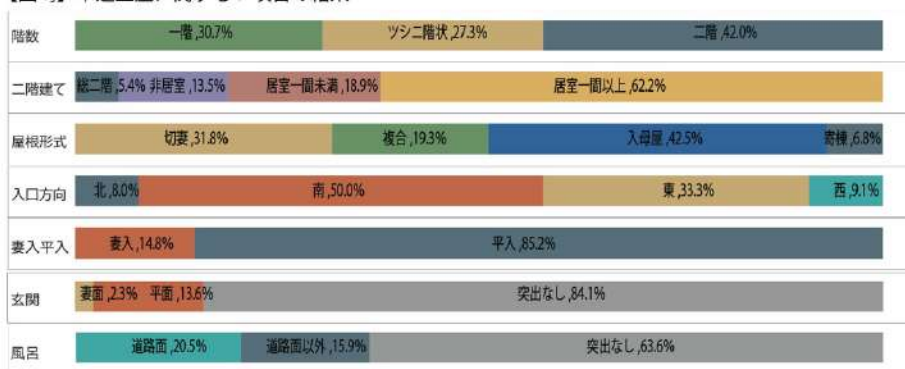


集落景観



図 5-9-1-1 石鏡の代表的な木造主屋

【国崎】木造主屋に関する7項目の結果



木造主屋

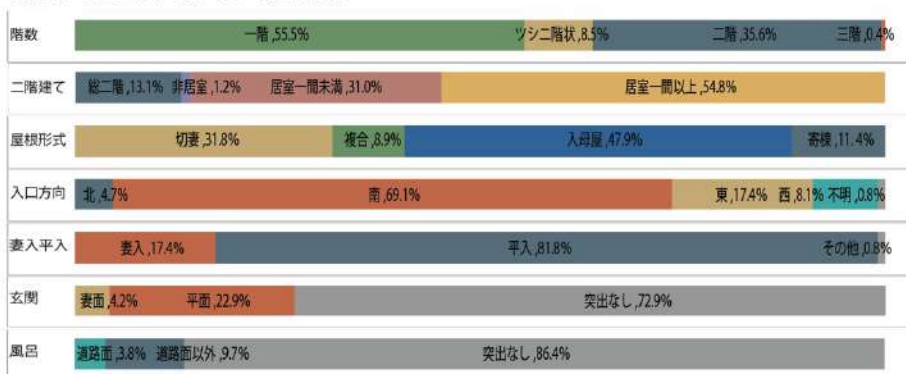


集落の景観



図 5-9-1-2 国崎の代表的な木造主屋

【相差】木造主屋に関する7項目の結果



木造主屋

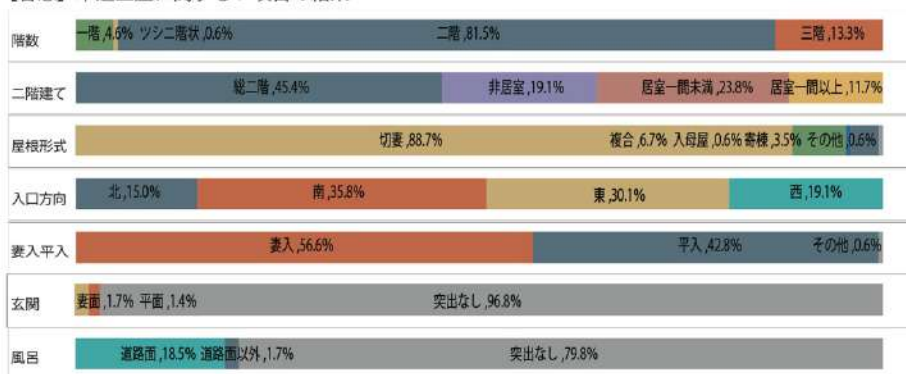


木造主屋



図 5-9-1-3 相差の代表的な木造主屋

【答志】木造主屋に関する7項目の結果



木造主屋

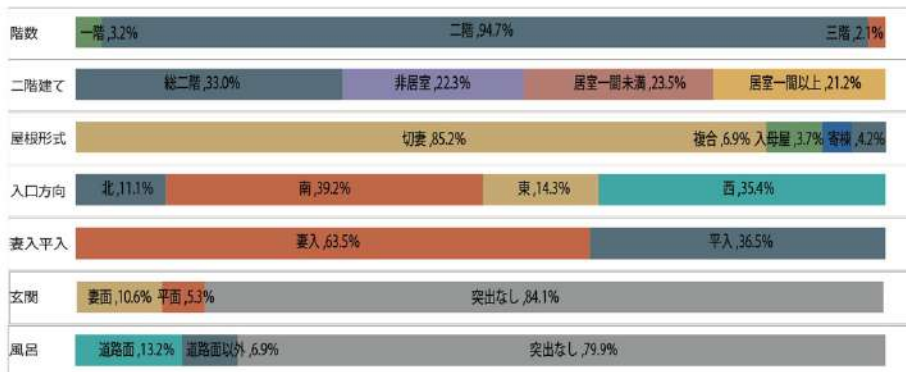


集落景観



図 5-9-1-4 答志の代表的な木造主屋

【和具】木造主屋に関する7項目の結果



木造主屋

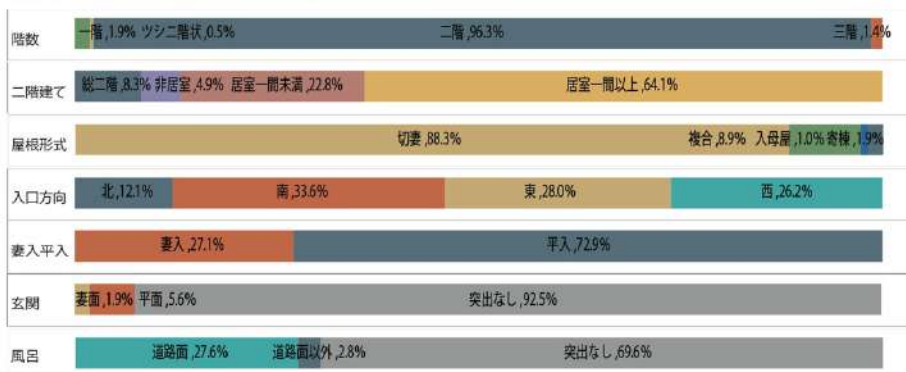


集落景観



図 5-9-1-1 和具の代表的な木造主屋

【菅島】木造主屋に関する7項目の結果



木造主屋

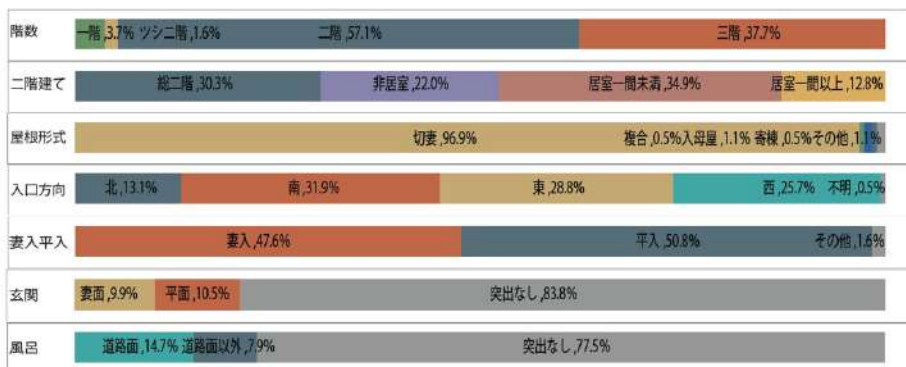


集落景観



図 5-9-1-1 菅島の代表的な木造主屋

【神島】木造主屋に関する7項目の結果



木造主屋



集落景観



図 5-9-1-1 神島の代表的な木造主屋

5-9-2 木造主屋の形態における各地区の位置付け

次に、調査を行なった7項目において各節で示した各地区の位置付けをまとめて示している(図5-9-2)。図5-9-2から考察できることを以下に述べる。

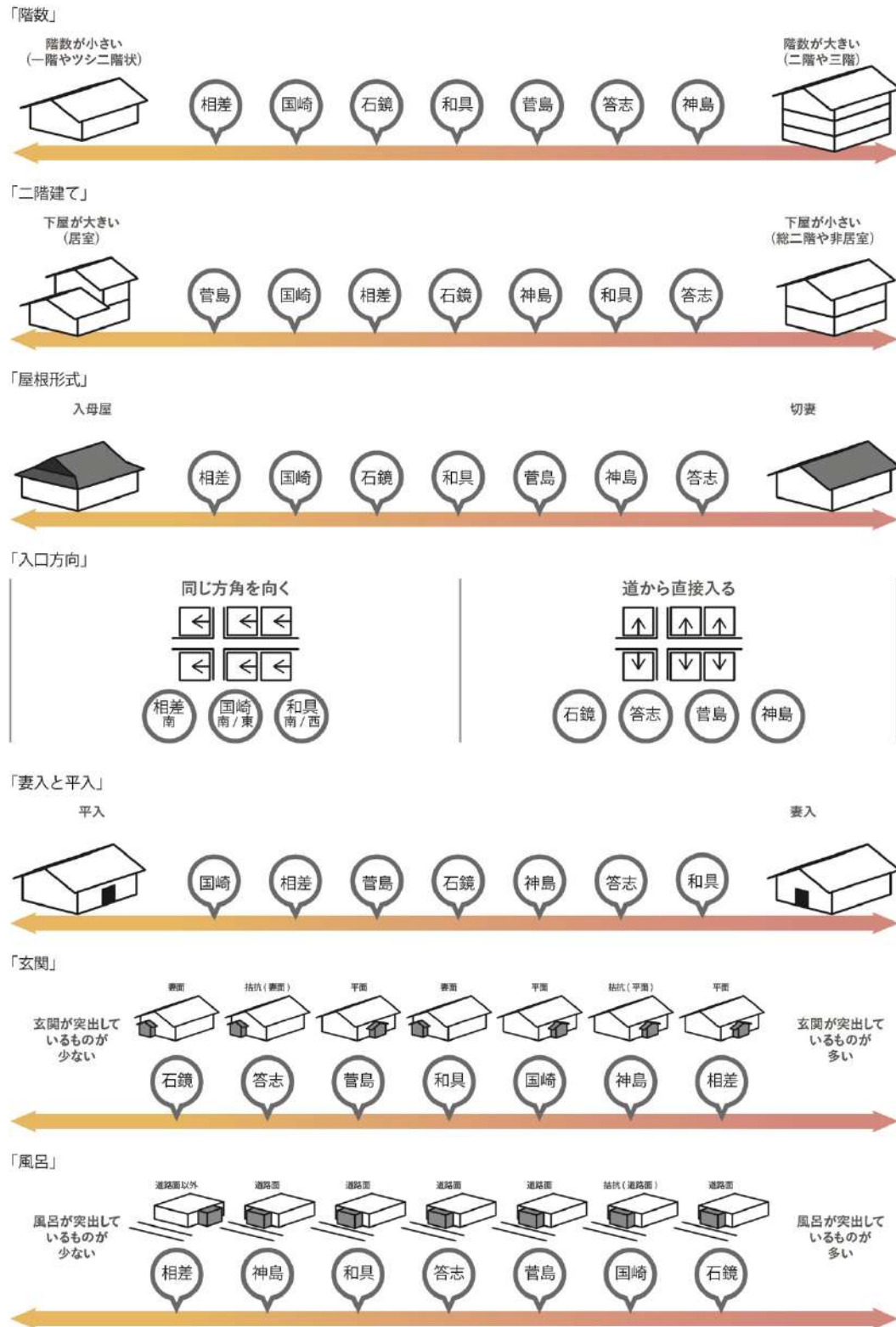


図 5-9-2 7項目における各地区の位置付け

図 5-9-2 より例えば本土側の相差と離島側の答志について比べてみると、“相差では相対的な階数が低い、答志では高い”、“相差では入母屋が優勢であるが、答志では切妻が優勢”、“相差では玄関が突出しているものが多いが、答志では少ない”といったように、階数などの大きなボリュームから、屋根の掛け方、入口や風呂などの小さなボリュームまで、どれをとってもその特徴には違いがあることがわかる。調査を行った 7 項目のうち、全地区が類似する特徴を持つ項目は一つもないことから、その他の地区についても、木造主屋の形態は非常に多様であることがわかる。

次に各項目間の関係を見ていくと、まず「階数」と「二階建て」の関係については、階数において相対的な階数が小さい本土側 3 地区については、二階建てにおいて、下屋が大きくなる。下屋が大きくなるにつれてボリュームの視点からみれば一階建てに近づくことになることから、相対的な階数が小さいと言える。一方、階数において相対的な階数が大きい本土側 4 地区については、菅島は例外だが、二階建てにおいて、下屋が小さくなり、相対的な階数が大きい。このことから「階数」と「二階建て」の相対的な階数の大小はほぼ一致すると考えられる。「階数」と「屋根形式」の関係については、位置付けにおける 7 地区の順番が完全に一致しており、階数において相対的な階数が小さい本土側 3 地区については、屋根形式において「入母屋」や「複合」の比重が高く、一方、階数において相対的な階数が大きい本土側 4 地区については「切妻」の比重が高い。このことから、「階数」と「屋根形式」は階数が小さい場合は「入母屋」、階数が大きい場合は「切妻」のように一式で決定されていると考えられる。

5-9-3 生業・気候・集落構成と木造主屋の形態の関係

次に本章で確認した木造主屋の形態と、第3章で確認した生業と風向、第4章で確認した集落構成との相互の関係を考察する。各地区の位置付けを図 5-9-3-1、図 5-9-3-2 に今一度並べて示す。図 5-9-3-1、図 5-9-3-2 から考察して相互に関係しているものを以下に述べる。

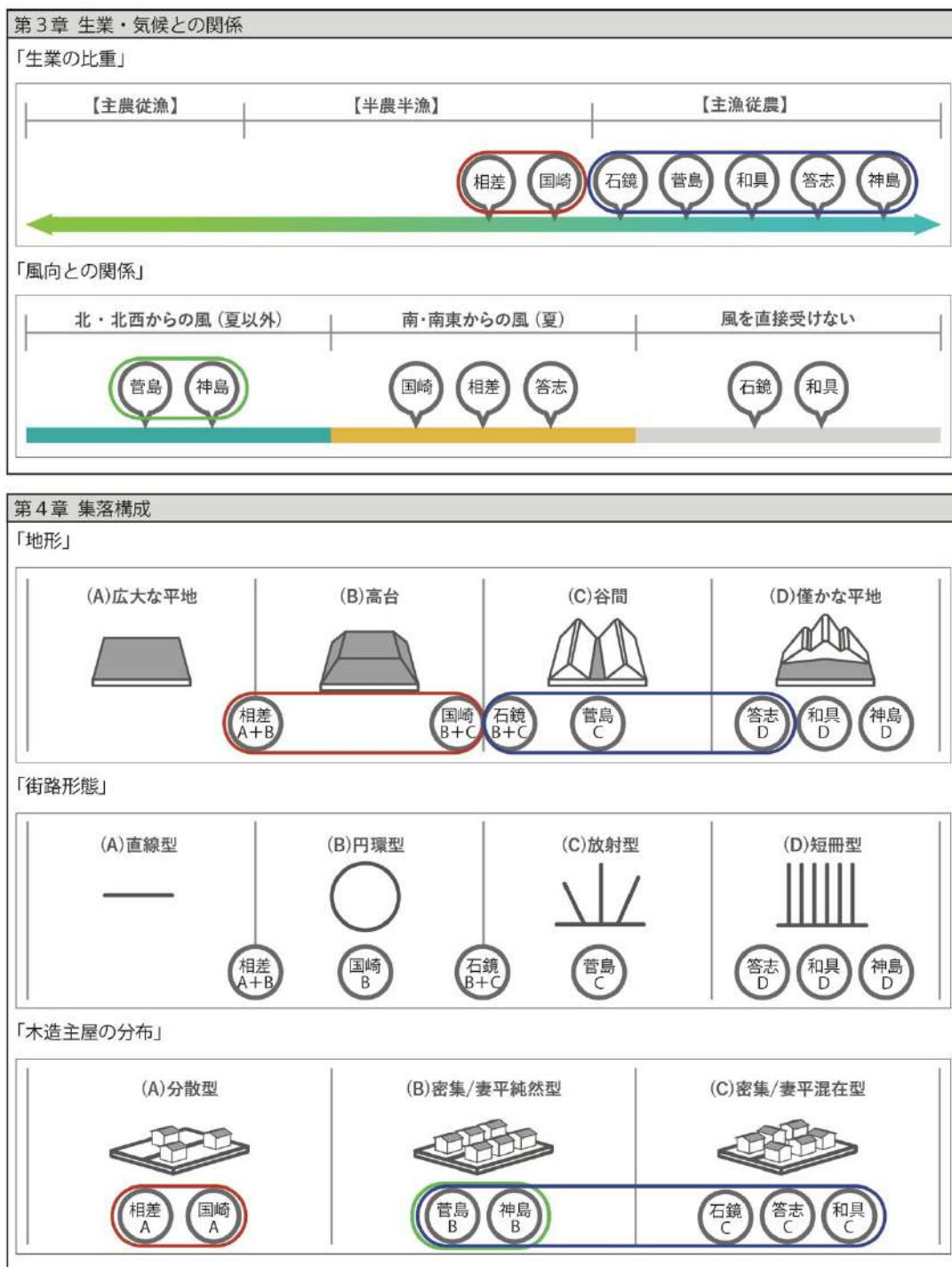


図 5-9-3-1 生業・風向、集落構成と木造主屋の形態の関係 (1)

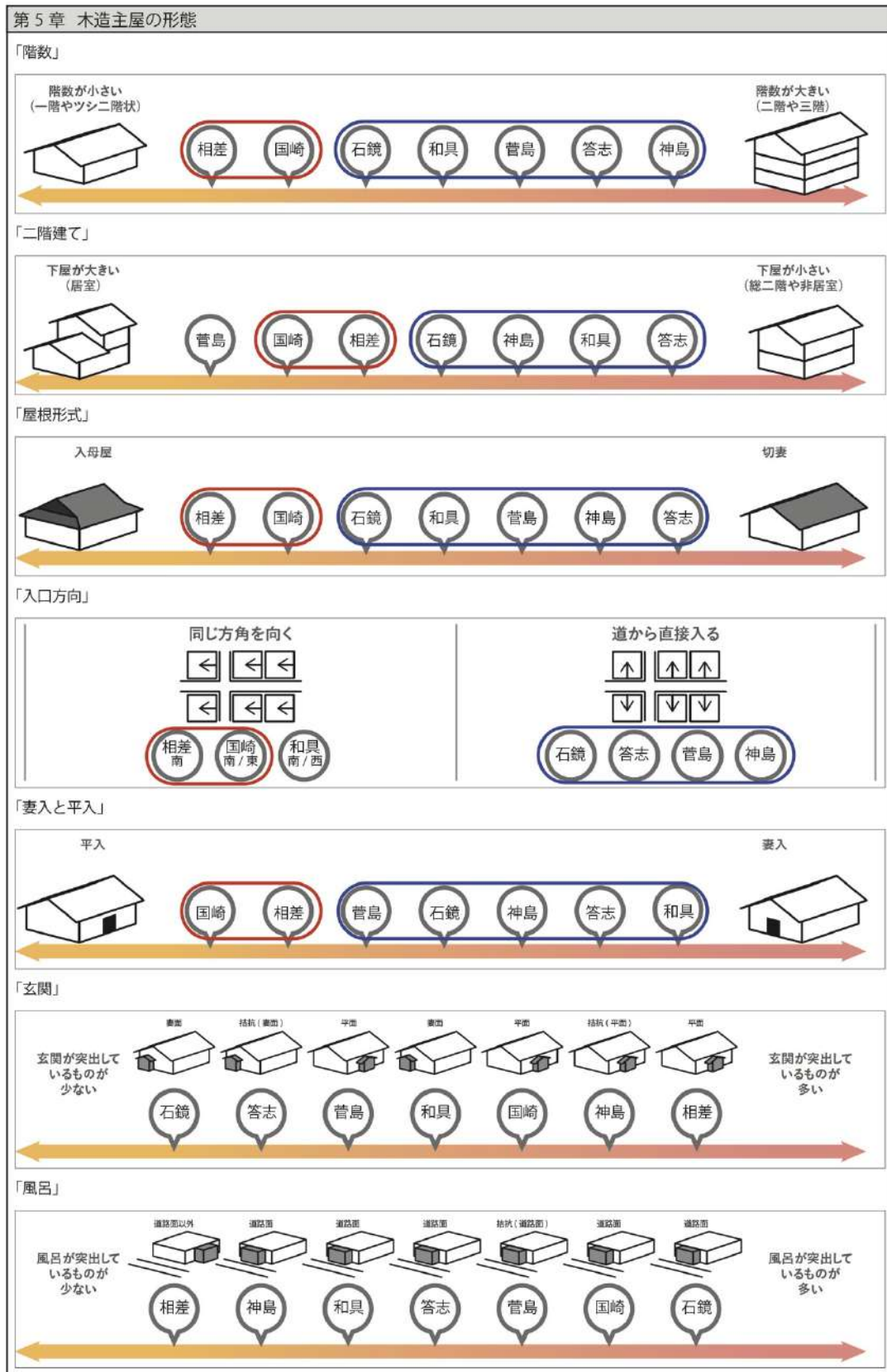


図 5-9-3-2 生業・風向、集落構成と木造主屋の形態の関係 (2)

1) 「生業の比重」「地形」「木造主屋の分布」- 「階数」

「生業の比重」「地形」「木造主屋の分布」と「階数」の関係を以下に挙げる。

- ・「生業の比重」において国崎や相差のように農業のしめる割合が高く、「地形」に余裕があり、「木造主屋の分布」が〈分散型〉となる地区(図 5-9-3-1 5-9-3-2 における赤枠の地区で、以下、[赤枠の地区]とする)では、「階数」は比較的小さい。〈広大な平地〉で形成される相差は、特に階数が小さい。
- ・「生業の比重」において石鏡や離島のように漁業のしめる割合が高く、「地形」が限られており、「木造主屋の分布」が〈密集型〉となる地区(図 5-9-3-1 5-9-3-2 における青枠の地区で、以下、[青枠の地区]とする)では、「階数」は比較的大さい。ただし、その中でも石鏡は、国崎、相差側に寄った性格となる。また神島、答志は、特に階数が大きい。
- ・7地区について、木造主屋の「階数」を低い順に並べた順番は、「生業の比重」で農業の比重が大きい順に並べたものとほぼ一致する。

以上のことから「階数」は「生業の比重」や「地形」、「木造主屋の分布」の影響を受けて決定されるといえる。

2) 「生業の比重」「地形」「木造主屋の分布」- 「二階建て」

「生業の比重」「地形」「木造主屋の分布」と「二階建て」の関係を以下に挙げる。

- ・[赤枠の地区]では、比較的下屋が大きくなる。
- ・[青枠の地区]では、比較的下屋が小さくなる。ただし、菅島は、主屋の前に大きなボリュームの倉庫を下屋として設けるために例外である。また、石鏡は、国崎、相差側に寄った性格となる。

以上のことから「二階建て」は「生業の比重」や「地形」、「木造主屋の分布」の影響を受けて決定されるといえる。

3) 「生業の比重」「地形」「木造主屋の分布」- 「屋根形式」

「生業の比重」「地形」「木造主屋の分布」と「屋根形式」の関係を以下に挙げる。

- ・[赤枠の地区]では「屋根形式」は〈入母屋〉の比重が大きくなる。
- ・[青枠の地区]では「屋根形式」は〈切妻〉の比重が大きくなる。ただし、その中でも石鏡は、国崎、相差側に寄った性格となり、〈入母屋〉も一定数みられる。一方、離島の4地区はいずれも〈切妻〉が9割程度とかなり〈切妻〉の比重が高い。
- ・7地区について、木造主屋の「屋根形式」を〈切妻〉の比重が小さい順に並べた順番は、「生業の比重」で農業の比重が大きい順に並べたものとほぼ一致する。

以上のことから「屋根形式」は「生業の比重」や「地形」、「木造主屋の分布」の影響を受けて決定されるといえる。

4) 「生業の比重」「地形」「木造主屋の分布」- 「入口方向」

「生業の比重」「地形」「木造主屋の分布」と「入口方向」の関係を以下に挙げる。

- ・[赤柾の地区]では特定の方角(南または東)を向くように入りが設けられる。
- ・[青柾の地区]では道から直接入る向きに入りが設けられる。ただし、和具は例外であり特定の方角(南または東)を向くように入りが設けられる。

以上のことから「入口方向」は「生業の比重」や「地形」、「木造主屋の分布」の影響を受けて決定されるといえる。

5) 「生業の比重」「地形」「木造主屋の分布」- 「妻入・平入」

「生業の比重」「地形」「木造主屋の分布」と「妻入・平入」の関係を以下に挙げる。

- ・[赤柾の地区]では、比較的〈平入〉の比重が大きくなる。
- ・[青柾の地区]では、比較的〈妻入〉の比重が大きくなる。ただし、菅島は、道路に平面を向けて主屋が密集しているために、平入の比重が国崎、相島の次に大きくなる。

以上のことから「妻入・平入」は「生業の比重」や「地形」、「木造主屋の分布」の影響を受けて決定されるといえる。

5-9-4 木造主屋の形態に多様性をもたらす要因

ここまでの小括を図 5-9-4 にまとめる。木造主屋の形態に関する項目のうち、階数や屋根形式などの形態の大部分を決定する要素はほとんどが、大まかにみて[赤枠の地区]（「生業の比重」において農業のしめる割合が高く、「地形」に余裕があり、「木造主屋の分布」が〈分散型〉となる地区）と[青枠の地区]（「生業の比重」において漁業のしめる割合が高く、「地形」が限られており、「木造主屋の分布」が〈密集型〉となる地区）で性格が分かれることが明らかとなった。また、玄関や、風呂の突出しているものの割合には生業や集落構成との直接的な関係は確認できなかったが、突出のしかたは[赤枠の地区]と[青枠の地区]で異なっている。

ただし、厳密には、5-9-2 でも確認したように、[赤枠の地区]、[青枠の地区]それぞれの中でも形態の特徴は一様ではない。それぞれの地区の生業・気候、集落構成に合わせて、よりバラエティ豊かに展開している。

3章 生業と気候	4章 集落構成	5章 木造主屋の形態
<p>【生業】</p> <p>半農半漁</p> <p>相違 国崎</p>	<p>【地形】</p> <p>【街路形態】</p> <p>【木造主屋の分布】</p>	<p>【階数】</p> <p>【二階建て】</p> <p>【屋根形式】</p> <p>【妻入・平入】</p> <p>【入口方向】</p> <p>【玄関・風呂の突出】</p>
<p>【生業】</p> <p>主漁従農</p> <p>石鏡 答志 和具 菅島 神島</p> <p>【風向】</p> <p>北・北西から年間を通して直接風を受ける</p> <p>菅島 神島</p>	<p>【地形】</p> <p>【街路形態】</p> <p>【木造主屋の分布】</p>	<p>【階数】</p> <p>【二階建て】</p> <p>【屋根形式】</p> <p>【妻入・平入】</p> <p>【入口方向】</p> <p>【玄関・風呂の突出】</p>

図 5-9-4 木造主屋の形態に多様性をもたらす要因

第 6 章

鳥羽市における海女集落のかつての集落景観

6-1	アーカイブ調査の概要	166
6-2	かつての漁港と集落	179
6-3	かつての木造主屋	190
6-4	小括	210

6-1 アーカイブ調査の概要

6-1-1 調査の内容

鳥羽市の景観計画において、7地区は「重点地区」の候補地となっており、実際に指定されれば、景観法に基づき景観形成基準を定めることになる。そこでは、各地区で今後目指す景観について歴史上のどの点に遡って決定するかの議論が行われることとなり、集落景観の現状の把握に加え、かつての集落の姿や、変化の様子を把握し、その特性を理解しておくことが必要になる。そこで、本研究では、その手がかりとなる古い写真資料を収集し、かつての集落の姿を探りたい。アーカイブ調査により収集した写真資料を年代ごとに分類し、それらを現在の地図や景観と照らし合わせることで景観の変遷をたどる。

6-1-2 アーカイブスと写真掲載書籍

現在、三重大学伊勢志摩サテライト・海女研究センターでは、海の博物館が所蔵する古写真のアーカイブ化を進めている。また、三重県総合博物館（博物館 HP 所蔵資料検索ページ）、鳥羽市観光課（鳥羽デジタルアーカイブス HP）では、鳥羽各町の古写真を公開している。これらのアーカイブスに加え、鳥羽の各町を対象とした調査・研究の成果や、複数の論文・書籍からも古写真を収集した。使用したアーカイブスと写真掲載書籍は以下の通りである。

1) 海の博物館所蔵資料 (<http://amakenkyucenter.rscn.mie-u.ac.jp/>)

海の博物館が1971年の開館以来独自に撮影・収集してきた膨大な数の写真資料である。それらの写真は現在、三重大学伊勢志摩サテライト・海女研究センターによりアーカイブ化されており、特に海女に関する古写真のアーカイブ（以下、海女アーカイブ）については、撮影地区や撮影年代等の情報が整理されホームページにて公開されている。本研究では、海女アーカイブと、それ以外の古写真のアーカイブの双方を資料として扱う。撮影年代は、昭和40年代から平成20年代と比較的新しいが、観光開発や建物の建て替えによって集落が変化していく様子が確認できる。すでに失われた建物が写り込んだ写真も多く、極めて貴重な資料である。

2) 海の博物館所蔵資料 (<http://www.bunka.pref.mie.lg.jp/MieMu/>)

三重県総合博物館が「くらしの写真」として所蔵している資料群である。主に石鏡・菅島・神島の昭和30年代の写真を収蔵している。

3) 鳥羽デジタルアーカイブス資料 (<https://toba-archive.jp>)

鳥羽市が、自然景観、名所旧跡、過去の情景、伝統芸能などの写真・映像を収集しているアーカイブス資料である。航空写真等で集落全体を撮影したものも豊富である。撮影年代は昭和初期から昭和60年代まで幅広い写真が集約されており、他のアーカイブと比較してより古い年代の景観の姿を把握する手がかりとなる資料である。

4) アサヒ写真ブック 伊勢志摩 (朝日新聞, 1958)

伊勢志摩を幅広く紹介した写真を中心とした書籍で、石鏡・国崎・神島の写真を掲載している。撮影年は発行年である1958年以前である。

5) 写真アルバム 伊勢・志摩の昭和 (樹林舎, 2013)

伊勢志摩地域の古写真を中心に振り返った書籍で、「海女ものがたり」とのコラムに9枚の石鏡を写した古写真が掲載されている。多くは海女を焦点にしているが、背景に細木屋、「御堂の神様」が写っている写真がある。撮影は昭和30年代で、撮影者は四日市の辻俊文氏である。

6) 志摩の漁村 (牧野由朗, 愛知大学総合郷土研究所研究叢書9, 1994)

国崎を対象にした民俗学分野の研究を総合した書籍で、冒頭で複数の古写真を掲載している。かつての遠景、中心部の景観、国崎漁業協同組合事務所、店舗外観、祝浜の様子などが掲載されている。撮影は1964年である。

6-1-3 調査の方法

①写真の選定

本調査では、前項1)～6)にあげた資料に掲載されている写真の中から、建築物が写っている写真のみを調査対象資料として選定した。また、建築物が写っているもので、同じ画角で撮影されている連続した写真については代表で一枚を対象としている。地区ごとの該当資料数を表6-1-3に示す。

表 6-1-3 調査対象資料数

地区名	石鏡	国崎	相差	答志	和具	菅島	神島
資料数(枚)	145	180	56	23	62	83	234

②撮影年代の特定

次に選定した各資料の写真について、以下の方法で撮影年代を特定した。

1) 海の博物館資料

海女アーカイブについては、撮影地区や撮影年代等の情報が整理された資料を三重大学伊勢志摩サテライト・海女研究センターから提供を受け、これを基に判断をした。海女アーカイブ以外のものについては、写真アーカイブから建築物が写っているものを選定し、海の博物館の所蔵倉庫で実際にネガ等を確認して撮影年代を判断した。

2) その他

三重県博物館所蔵資料、鳥羽デジタルアーカイブス資料についてはホームページに公開される資料情報を基に判断した。『アサヒ写真ブック』については発行年を撮影年代とし、『写真アルバム 伊勢・志摩の昭和』、『志摩の漁村』については文中の記述を基に判断をした。

③シーンの分類

次に選定した各資料の写真について、撮影シーンの分類を行った。集落の大部分の様子を確認できるものを「全体写真」、それ以外の集落の街路の様子や、建築物の細部を確認できるものを「部分写真」とした。

④写真の整理

②、③の手順を経て、撮影年代とシーンの分類が行われた写真を、集落ごとに集計して整理番号を振り分けた。なお、地区ごとの調査対象一覧および、写真は資料編に記載しているため適宜参照されたい。

⑤撮影場所の特定

次に、これらの写真の撮影場所を特定し地区ごとに第4章で作成した現在の集落の屋根伏図上に整理番号をプロットした。プロットした地図を図6-1-4-1から図6-1-4-7に示す。図中の整理番号については、「全体写真」については丸囲み数字、「部分写真」については四角囲み数字で、撮影年代ごとに色を分けて表記している。なお、撮影年代、撮影場所ともに同じ写真については代表で最も整理番号の若いものを地図上にプロットしており、他のものについては図中下部にリストにしてまとめている。また、撮影場所が特定できなかったものについてもプロットしておらず、同様に図中下部にリストにしてまとめている。

6-1-4 各地区で収集した資料の特徴

前節で作成した調査対象一覧、および撮影場所のプロット図より各地区で収集できた資料の特徴を把握する。

1) 石鏡

石鏡の写真は、海の博物館所蔵資料から126点、三重県博物館所蔵資料から7点、鳥羽デジタルアーカイブス資料から3点、『アサヒ写真ブック 伊勢志摩』から5点、『写真アルバム 伊勢・志摩』の昭和から3点の計145点の写真が収集できた。

撮影年代は昭和30年代が18点、昭和40年代が35点、昭和50年代が6点、昭和60年代が36点、平成元年代が42点、不明8点であり、約50年間分写真資料が収集できている。海の博物館所蔵資料から収集した写真は昭和40年代以降のものばかりであり、昭和30年代の18点はその他の資料からの収集である。また、「全体写真」に該当した29点についても昭和30年代から平成元年代のすべての年代を網羅している。

撮影場所としては、各年代の「弓引きじんじ」の際に撮影された写真が多いことから城山の高台と、北ノ谷の浜近くに集中しており、残りは、浜、漁港、宮ノ谷、で撮影されたものが数点ずつ確認できた。民家が写る写真が多く確認できる。

表 6-1-4-1 石鏡の調査対象資料

総計	昭和 元年代	昭和 10年代	昭和 20年代	昭和 30年代	昭和 40年代	昭和 50年代	昭和 60年代	平成 元年代	平成 10年代	平成 20年代	不明	全体 写真	部分 写真
	0	0	0	18	35	6	36	42	0	0	8	29	116
				年代が確定したもの				137	総数	145		145	

2) 国崎

国崎の写真は、海の博物館所蔵資料から176点、『志摩の漁村』から4点の計180点の写真が収集できた。

撮影年代は昭和30年代が4点、昭和40年代が125点、昭和50年代が34点、昭和60年代が0点、平成元年代が5点、不明12点であり、昭和40年代に集中している。海の博物館所蔵資料から収集した写真は昭和40年代以降のものばかりであり、昭和30年代の4点は、すべて『志摩の漁村』からの収集である。また、「全体写真」に該当した38点についても、収集できたすべての年代を網羅している。

撮影場所としては、前浜周辺から延びる2本の谷筋、常福寺の周辺、海士潜女神社の周辺に集中しており、民家が写る写真も多く確認できる。海女小屋や伊勢神宮御料鮑調整所など浜から鑑崎を写したのもも数点みられた。

表 6-1-4-2 国崎の調査対象資料

総計	昭和 元年代	昭和 10年代	昭和 20年代	昭和 30年代	昭和 40年代	昭和 50年代	昭和 60年代	平成 元年代	平成 10年代	平成 20年代	不明	全体 写真	部分 写真
	0	0	0	4	125	34	0	5	0	0	12	38	142
年代が確定したもの									168	総数	180	180	

3) 相差

相差の写真は、海の博物館所蔵資料から55点、鳥羽デジタルアーカイブス資料から1点の計56点の写真が収集できた。

撮影年代は昭和30年代が1点、昭和50年代が20点、昭和60年代が14点、平成元年代60年代が16点、不明5点であり、昭和50年代以降の比較的新しい写真は収集できたが、それ以前の写真はほとんど収集できなかった。収集できた昭和30年代の1点についても長岡中学校を撮影した航空写真であり集落の様子は確認することはできなかった。また、「全体写真」に該当した8点については昭和50年代、60年代のものである。

撮影場所としては、漁港または漁港沿いの道からの撮影が多く、集落の内部で民家が撮影されているものは数枚である。

表 6-1-4-3 相差の調査対象資料

総計	昭和 元年代	昭和 10年代	昭和 20年代	昭和 30年代	昭和 40年代	昭和 50年代	昭和 60年代	平成 元年代	平成 10年代	平成 20年代	不明	全体 写真	部分 写真
	0	0	0	1	0	20	14	16	0	0	5	8	48
年代が確定したもの									51	総数	56	56	

4) 答志

答志の写真は、海の博物館所蔵資料から17点、鳥羽デジタルアーカイブス資料から6点の計23点の写真が収集できたが、7地区の中で収集できた写真数が最も少ない。

撮影年代は昭和元年代が2点、昭和10年代が2点、昭和30年代が2点、昭和60年代が1点、平成元年代が1点、平成10年代が11点、平成20年代が4点であり、少数ずつではあるものの昭和初期の古い写真も収集することができた。これら昭和30年代以前の写真はすべて鳥羽デジタルアーカイブス資料からの収集であり、いずれも「全体写真」である。一方で、大半は平成以降の写真であり、昭和40年代、50年代あたりの写真は収集できていない。

撮影場所としては、「じんじの舞台」の周辺に集中しており、「全体写真」については山から集落を見下ろすようなかたちで撮影されたものが中心である。

表 6-1-4-4 答志の調査対象資料

総計	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	平成	平成	平成	不明	全体 写真	部分 写真
	元年代	10年代	20年代	30年代	40年代	50年代	60年代	元年代	10年代	20年代			
	2	2	0	2	0	0	1	1	11	4	0	5	18
	年代が確定したもの									23	総数	23	23

5) 和具

和具の写真は、海の博物館所蔵資料から60点、鳥羽デジタルアーカイブス資料から2点の計62点の写真が収集できた。

撮影年代は昭和10年代が2点、昭和60年代が46点、平成元年代10年代が14点であり昭和50年以前に撮影された写真はほとんど収集できなかった。昭和10年代の2枚の写真は鳥羽デジタルアーカイブス資料からの収集であり、いずれも「全体写真」である。

撮影場所としては、漁港の周辺と、八幡神社に集中しており、集落の内部で民家が撮影されているものは数枚である。

表 6-1-4-5 和具の調査対象資料

総計	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	平成	平成	平成	不明	全体 写真	部分 写真
	元年代	10年代	20年代	30年代	40年代	50年代	60年代	元年代	10年代	20年代			
	0	2	0	0	0	0	46	0	14	0	0	3	59
	年代が確定したもの									62	総数	62	62

6) 菅島

菅島の写真は、海の博物館所蔵資料から 79 点、鳥羽デジタルアーカイブス資料から 4 点の計 83 点の写真が収集できた。

撮影年代は昭和 10 年代が 1 点、昭和 30 年代が 3 点、昭和 50 年代が 10 点、昭和 60 年代が 34 点、平成元年代が 32 点、不明 3 点であり、昭和 50 年代以降の比較的新しい写真は収集できたが、それ以前の写真はほとんど収集できなかった。昭和 10 年代、昭和 30 年代の写真は、すべて鳥羽デジタルアーカイブス資料からの収集であり、いずれも海から撮影されたものや航空写真などの「全体写真」である。また、「全体写真」に該当した他の写真については、収集できたすべての年代を網羅している。

撮影場所としては、漁港周辺、漁港から菅島神社の間と、漁港から冷泉寺までの中村谷の谷筋が中心で、民家が写る写真も確認できた。

表 6-1-4-6 菅島の調査対象資料

総計	昭和 元年代	昭和 10年代	昭和 20年代	昭和 30年代	昭和 40年代	昭和 50年代	昭和 60年代	平成 元年代	平成 10年代	平成 20年代	不明	全体 写真	部分 写真
	0	1	0	3	0	10	34	32	0	0	3	12	71
				年代が確定したもの				80	総数	83		83	

7) 神島

神島の写真は、海の博物館所蔵資料から 228 点、鳥羽デジタルアーカイブス資料から 6 点の計 234 点の写真が収集でき、7 地区の中で収集できた写真数が最も多い。

撮影年代は昭和元年代が 2 点、昭和 30 年代が 2 点、昭和 40 年代が 105 点、昭和 50 年代が 1 点、昭和 60 年代が 74 点、平成元年代が 40 点、平成 20 年代が 1 点、不明 9 点であり、昭和 40 年代、昭和 60 年代、平成元年代の 3 時期に集中している。昭和 10 年代、昭和 30 年代の写真は、すべて鳥羽デジタルアーカイブス資料からの収集であり、海から撮影されたものや航空写真などの「全体写真」が中心である。また、「全体写真」に該当した 60 点については昭和 40 年代に撮影されたものが多く、昭和 60 年代、平成元年代のものが数枚である。

撮影場所としては、大きな偏りはなく集落の広範囲で撮影されており、民家が写る写真が多く確認できる。

表 6-1-4-3 神島の調査対象資料

総計	昭和 元年代	昭和 10年代	昭和 20年代	昭和 30年代	昭和 40年代	昭和 50年代	昭和 60年代	平成 元年代	平成 10年代	平成 20年代	不明	全体 写真	部分 写真
	2	0	0	2	105	1	74	40	0	1	9	60	174
				年代が確定したもの				225	総数	234		234	

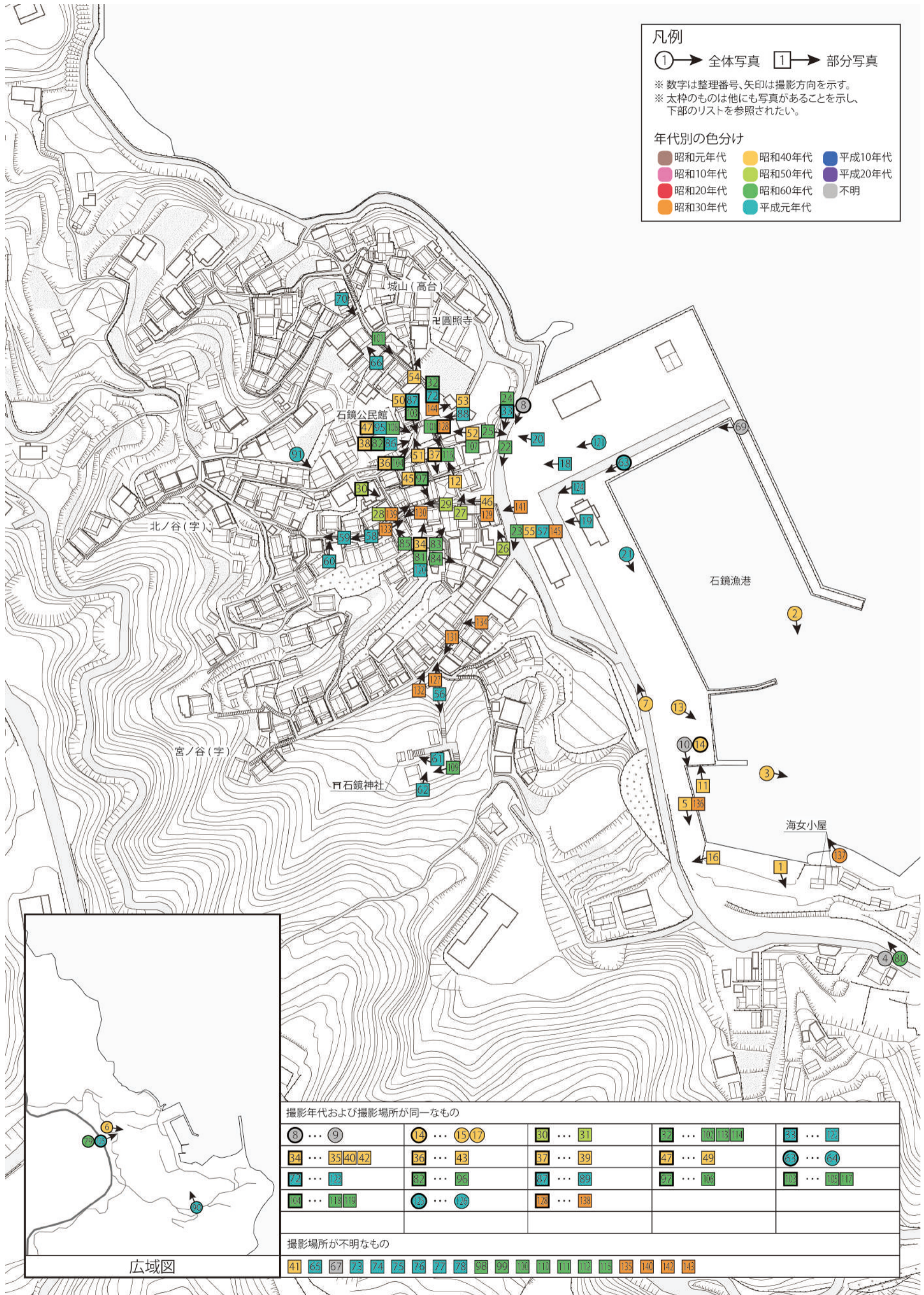


図 6-1-4-1 石鏡におけるアーカイブ資料の撮影場所

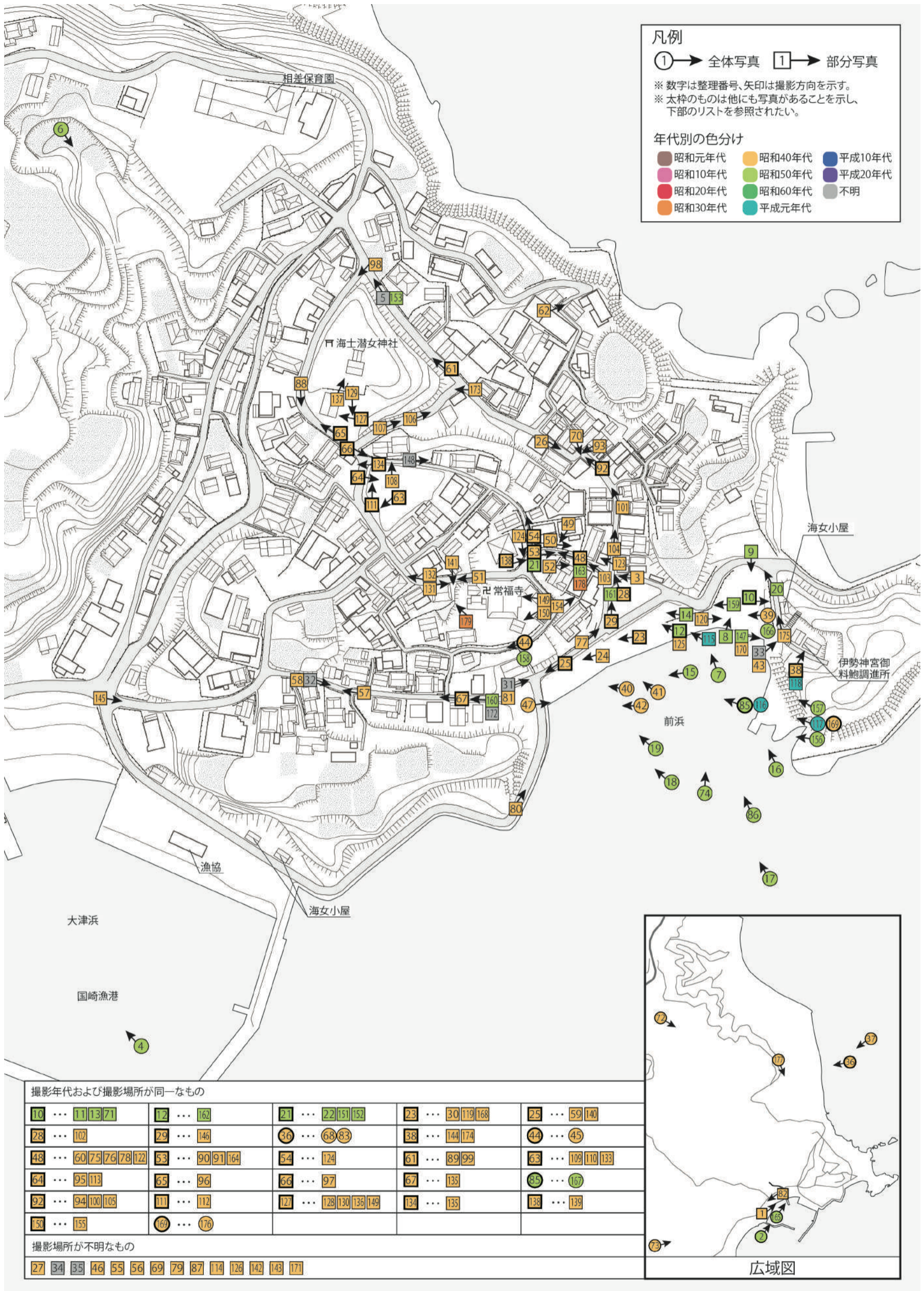


図 6-1-4-2 国崎におけるアーカイブ資料の撮影場所



図 6-1-4-3 相差におけるアーカイブ資料の撮影場所

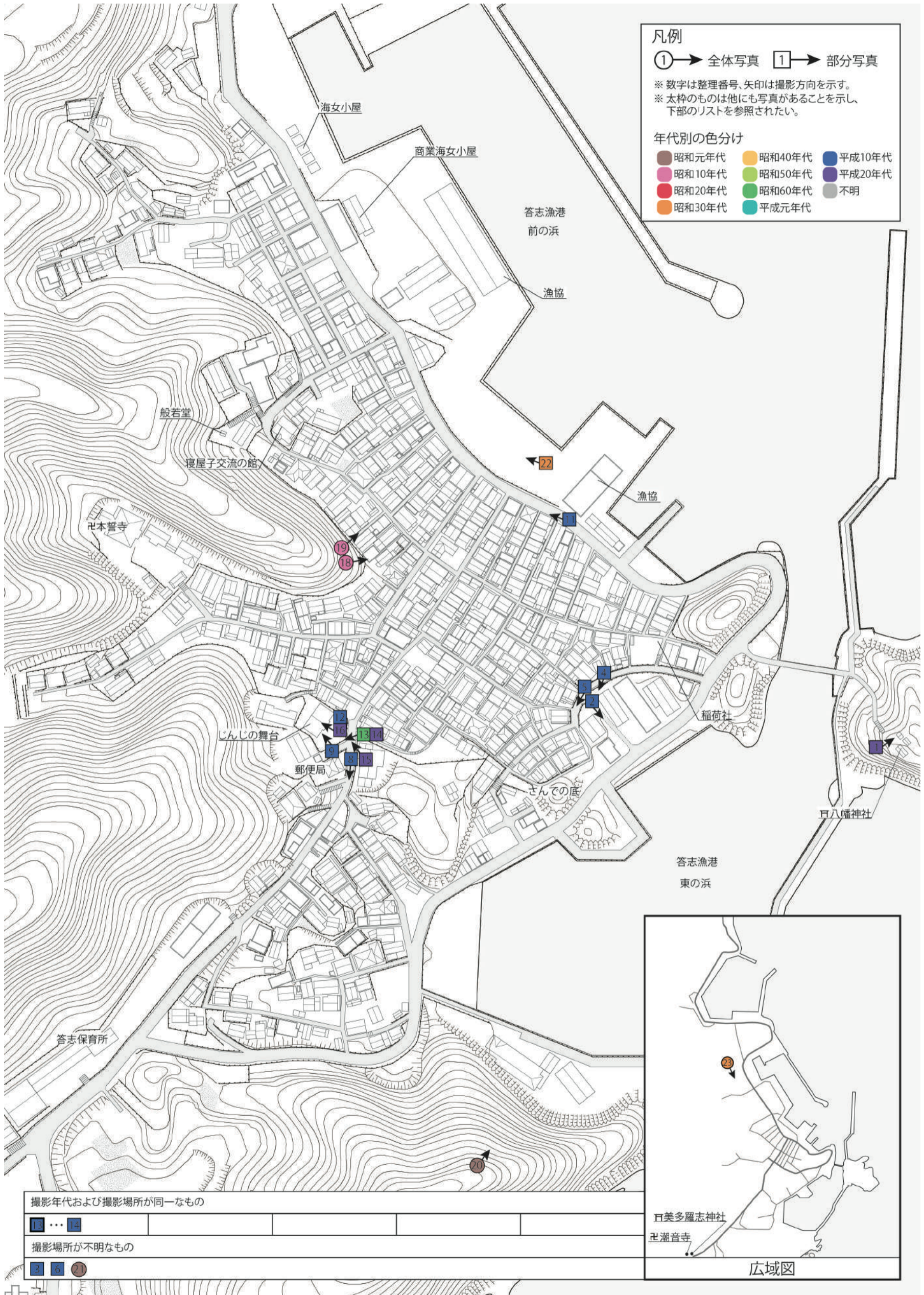


図 6-1-4-4 答志におけるアーカイブ資料の撮影場所

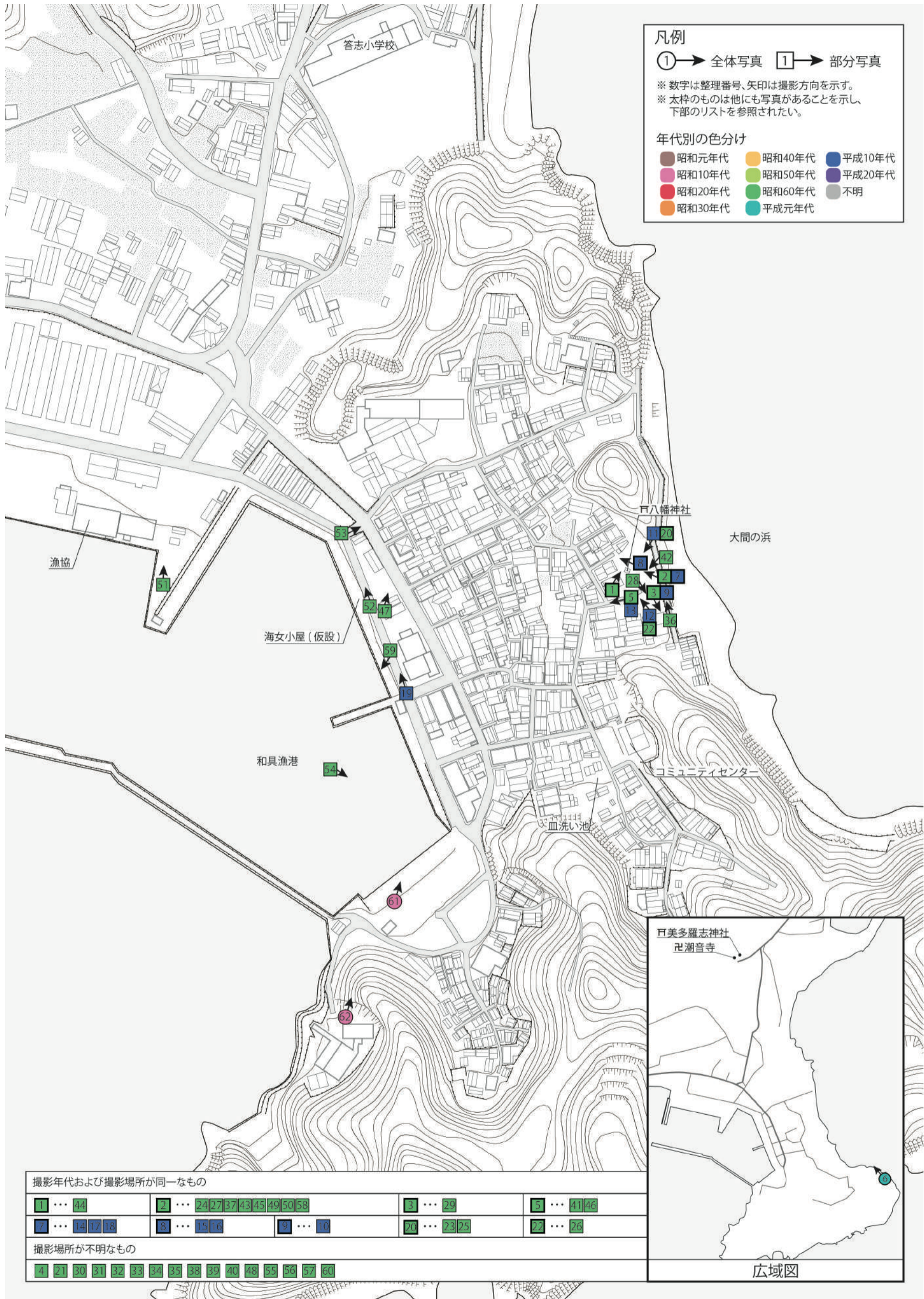


図 6-1-4-5 和具におけるアーカイブ資料の撮影場所

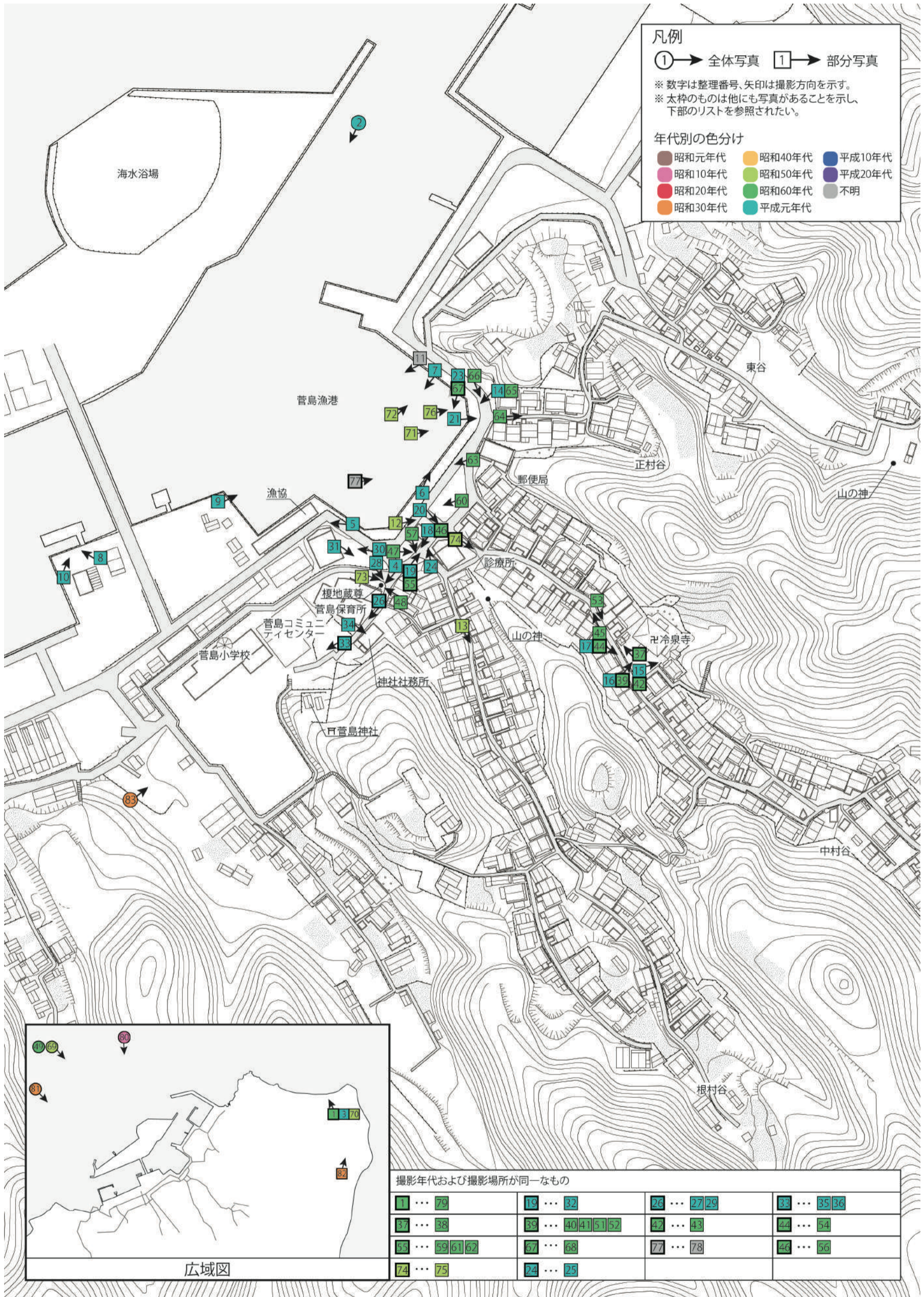


図 6-1-4-6 菅島におけるアーカイブ資料の撮影場所

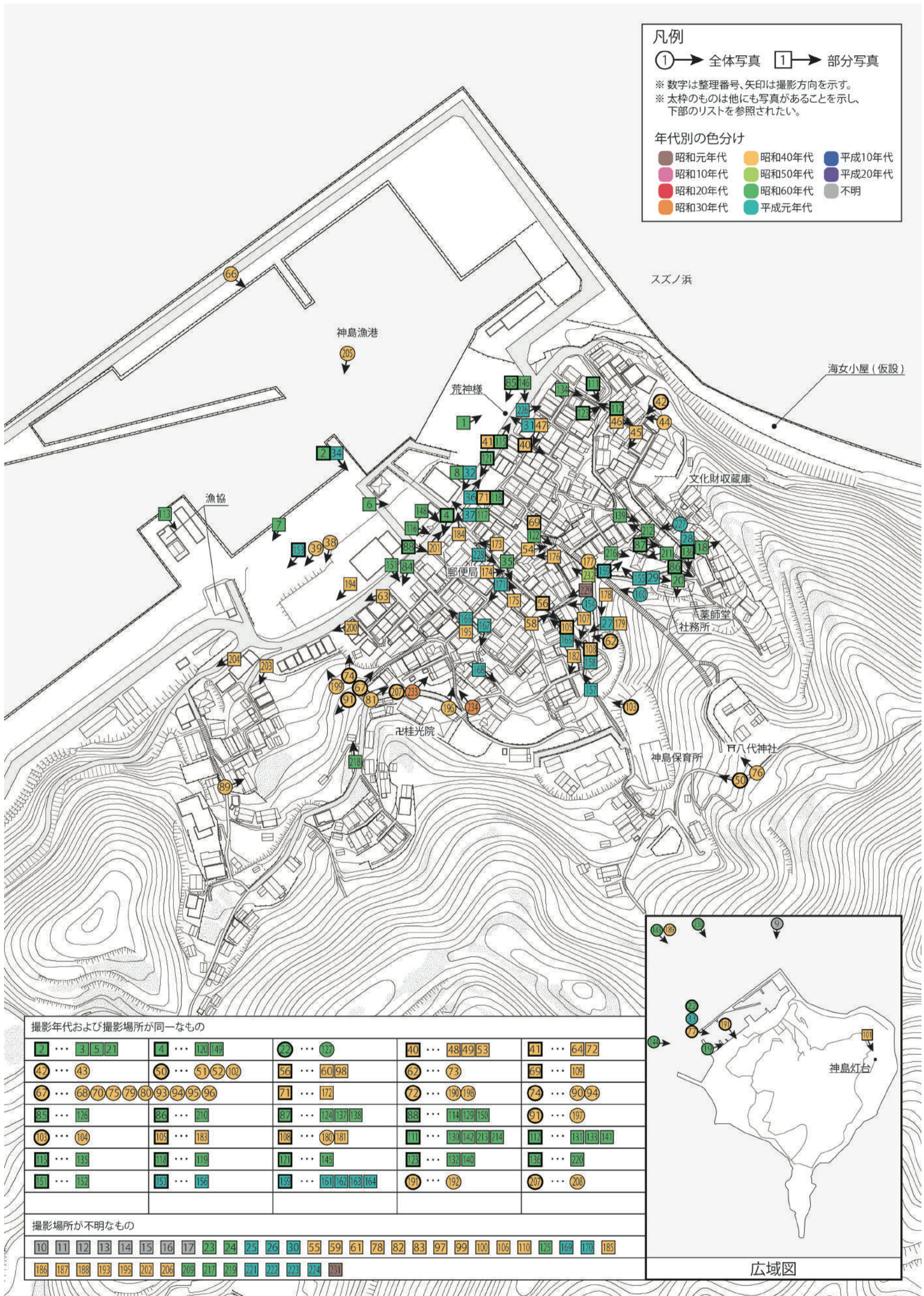


図 6-1-4-7 神島におけるアーカイブ資料の撮影場所

6-2 かつての漁港と集落

本節では収集した写真をもとに、各地区のかつての漁港と集落の様子を明らかにする。

1) 石鏡

石鏡で収集できた写真のうち「全体写真」に分類できた写真を中心に、各年代で漁港や集落の様子がよくわかるものを選抜して示す。ただし、**写真 6-2-6** は景観調査(2018年/平成30年)の際に撮影した現在の写真である。



写真 6-2-1 整理番号 137 昭和 30 年代



写真 6-2-2 整理番号 4 撮影年代不明



写真 6-2-3 整理番号 15 昭和 48 年 7 月 11 日

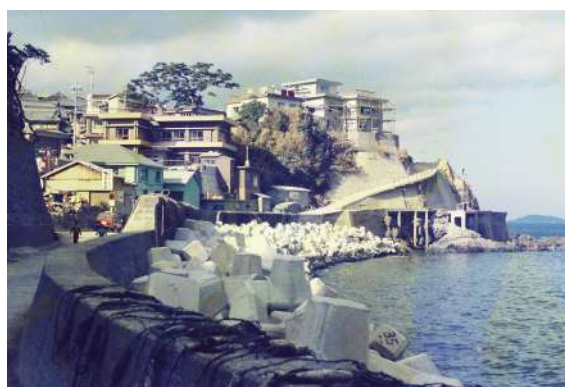


写真 6-2-4 整理番号 7 昭和 49 年 1 月 20 日



写真 6-2-4 整理番号 80 昭和 63 年 1 月 11 日



写真 6-2-5 景観調査の写真 平成 30 年

以上に撮影地点や方向が類似する写真を並べた。最も古いものは整理番号 137 の昭和 30 年代に撮影されたものである。昭和 30 年代には現在の漁港がある場所はまだ海であり、堤防は整備されていない浜であった。また、集落に関しては、高台上の建物はまだ小規模であることがわかる。

次に古いと思われるものが整理番号 4 の写真で、撮影年代は不明であるが他の写真との関係から昭和 40 年代前半ごろの写真であると推測できる。整理番号 137 と比べると堤防が整備され、また高台上の建築物が増えており拡大している。ただし建設中の建築物も見られ、現在に比べると建築物は少ない。

次に古いものは整理番号 7 の昭和 49 年に撮影されたものと、整理番号 15 の昭和 48 年に撮影されたものである。整理番号 4 と比べると堤防前にテトラポットが配置され浜が消えていることがわかる。また、集落の南側の浜はまだ堤防が整備されていない。

最も新しいものが整理番号 80 の昭和 63 年に撮影されたものである。浜が完全に埋め立てられ現在の漁港の姿になっている。また、集落の分布に関しても、高台上にもさらに建築物が増えていることがわかる。

以上のことから石鏡のかつての漁港と集落の様子を整理すると図 6-2-1 のようになる。石鏡で最も大きく変化したのは浜の様子である。また、街路に関しては昭和 48 年にパールロードが開通した。集落の分布は写っている範囲が少なく、一部しか考察できないが、高台上は年代が進むごとに建築物が増え、規模が拡大していることがわかる。昭和 60 年代には現在とほぼ変わらない姿となっている。

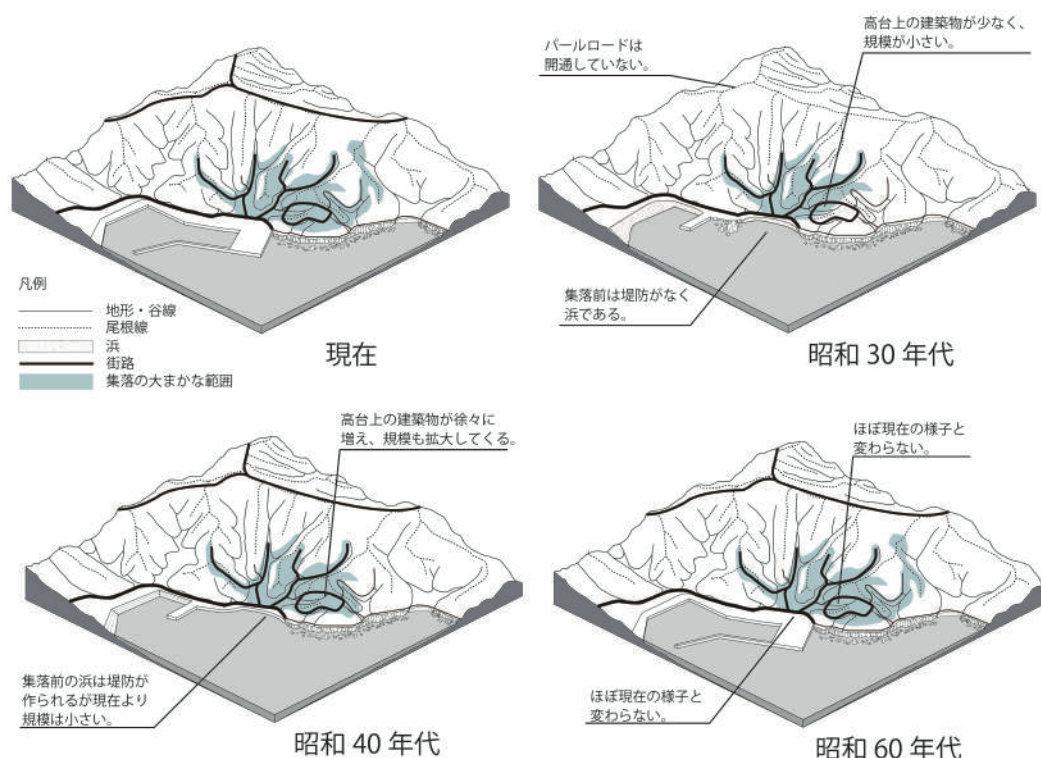


図 6-2-1 石鏡のかつての漁港と集落

2) 国崎

国崎で収集できた写真のうち「全体写真」に分類できた写真を中心に、各年代で漁港や集落の様子がよくわかるものを選抜して示す。



写真 6-2-7 整理番号 30 昭和 47 年 8 月 17 日



写真 6-2-8 整理番号 39 昭和 48 年 10 月 10 日



写真 6-2-9 整理番号 156 昭和 50 年 1 月 7 日



写真 6-2-10 整理番号 157 昭和 50 年 1 月 7 日



写真 6-2-11 整理番号 18 昭和 53 年 1 月 20 日



写真 6-2-12 整理番号 117 平成元年 11 月 18 日



写真 6-2-13 整理番号 165 昭和 54 年



写真 6-2-14 景観調査の写真 平成 30 年

前 6 枚の写真は、撮影地点や方向が類似する写真を並べており、最も古いものは整理番号 30 の昭和 47 年と、整理番号 39 の昭和 48 年に撮影されたもの、ついで、整理番号 156、157 の昭和 50 年、整理番号 18 の昭和 53 年、最も新しいもので整理番号 117 の平成元年に撮影されたものである。これらを確認すると、前浜と大津浜の間をつなぐ街路は昭和 53 年まではなかったことが分かる。浜の様子と集落の様子はほとんど変化していない。

一方、整理番号 165 は現在の漁港がある大津浜を写したもので、昭和 54 年に撮影されたものであるが、こちらは、現在よりも整備されている範囲がせまくテトラポットによって波を制御していたことが分かる。写真 6-2-14 は撮影場所や方向は異なるが大津浜を写したもので現在の漁港の様子である。

以上のことから国崎のかつての漁港と集落の様子を整理すると図 6-2-2 のようになる。国崎で最も大きく変化したのは大津の浜の様子である。前浜や集落分布については特に大きな変化は見られなかった。

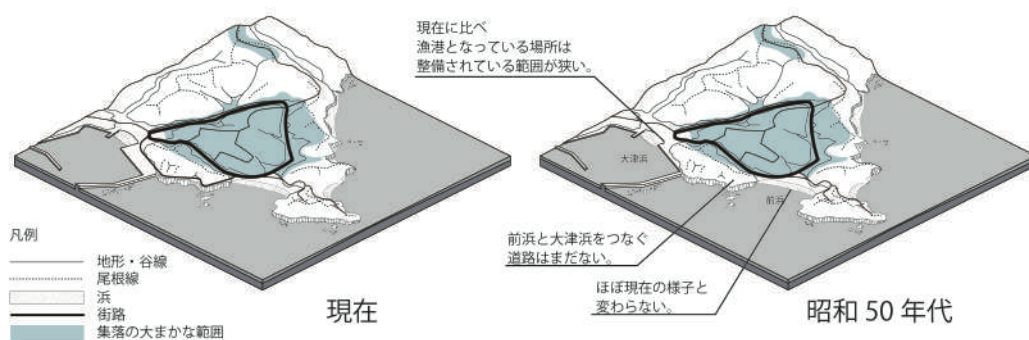


図 6-2-2 国崎のかつての漁港と集落

3) 相差

相差で収集できた写真のうち「全体写真」に分類できた写真は1点であり、長岡中学校の周囲を航空写真で写したものである。よって、漁港や集落の様子を把握できるような写真は1枚も収集できておらず、今後の課題である。

4) 答志

答志で収集できた写真のうち「全体写真」に分類できた写真を中心に、各年代で漁港や集落の様子がよくわかるものを選抜して示す。ただし、写真 6-2-19 は景観調査(2019年/令和元年)の際に撮影した現在の写真である。

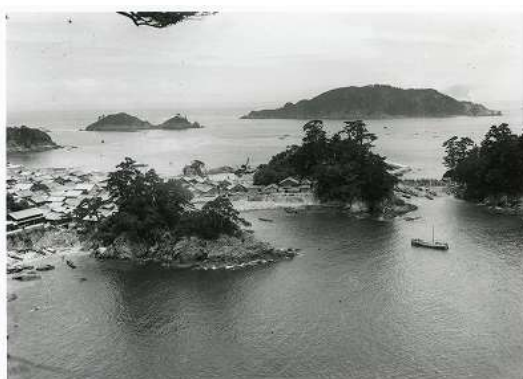


写真 6-2-15 整理番号 20 昭和初期

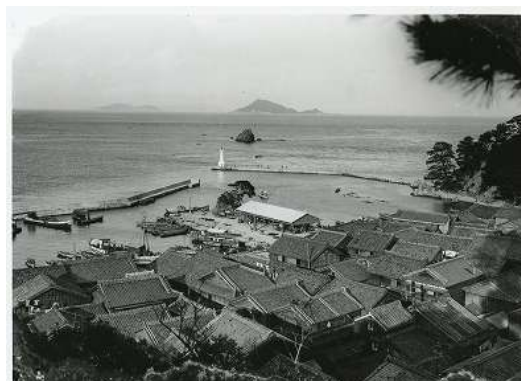


写真 6-2-16 整理番号 18 昭和10年代

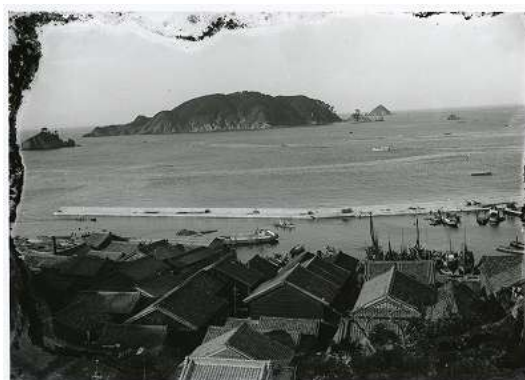


写真 6-2-17 整理番号 19 昭和10年代



写真 6-2-18 整理番号 117 昭和30年代



写真 6-2-19 景観調査の写真 令和元年

最も古いものは整理番号 20 の昭和初期に撮影されたものである。和具と答志の間から東の浜を撮影されたものであるが、現在消防団の倉庫が置かれているあたりはまだ海であり、浜になっている。

次に古いものが整理番号 18、19 の昭和 10 年代に撮影されたものである。令和元年に撮影した撮影地点が類似する写真 6-2-19 と比較すると集落の分布はほとんど変わらないものの、前の浜の様子は変化している。前の浜の様子については整理番号 117 の昭和 30 年代のものが分かりやすく、現在に比べて整備されている範囲がかなり狭く、道の際まで海がきていることが分かる。また昭和 30 年代においても、現在、浜付近に建っている RC の建物は無い。

以上のことから答志のかつての漁港と集落の様子を整理すると図 6-2-3 のようになる。答志で最も大きく変化したのは東の浜と前の浜の様子であり、集落分布については特に大きな変化は見られなかった。

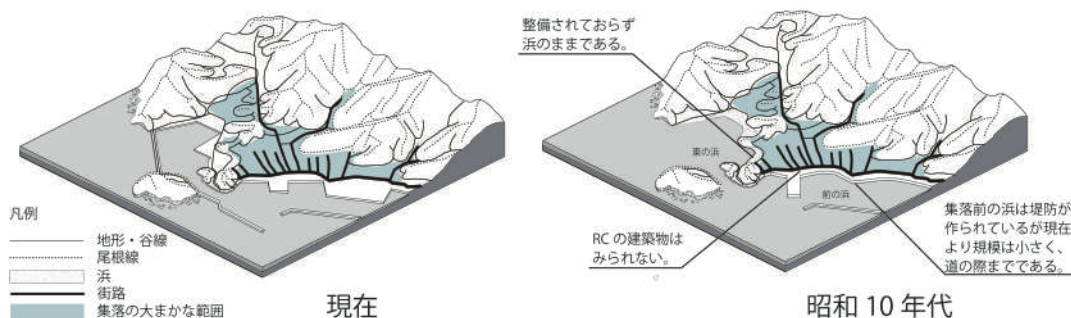


図 6-2-3 答志のかつての漁港と集落

5) 和具

和具で収集できた写真のうち「全体写真」に分類できた写真を中心に、各年代で漁港や集落の様子がよくわかるものを選抜して示す。ただし、写真 6-2-22 は追加調査(2020 年/令和 2 年)の際に撮影した現在の写真である。



写真 6-2-20 整理番号 61 昭和 10 年代



写真 6-2-21 整理番号 62 昭和 10 年代



写真 6-2-22 追加調査の写真 令和2年

整理番号 61、62 は昭和 10 年代に撮影されたものである。画質が悪く、しっかりとその様子は確認できないものの、漁港の様子は変わっており、おそらくそのほとんどが浜であったと考えられる。現在は高台を挟んで北(写真で言うところの左)側にも集落が展開しているが、昭和 10 年代には高台より北には建築物がみられない。また、昭和 10 年代なので当然ではあるが、RC の建物は建っていない。

以上のことから和具のかつての漁港と集落の様子を整理すると図 6-2-4 のようになる。和具で最も大きく変化したのは集落分布についてであり、昭和 10 年代には高台より北は集落が展開していなかった。和具については集落構成が把握できるような写真は昭和 10 年代の資料のみしか収集できておらず、今後の課題である。

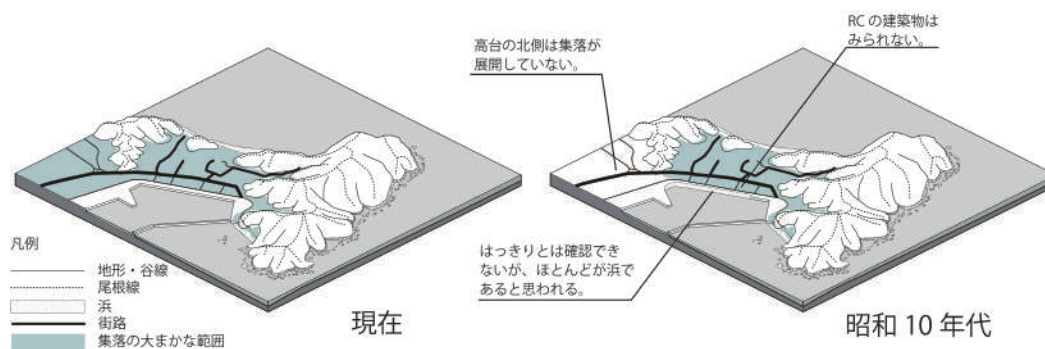


図 6-2-4 和具のかつての漁港と集落

6) 菅島

菅島で収集できた写真のうち「全体写真」に分類できた写真を中心に、各年代で漁港や集落の様子がよくわかるものを選抜して示す。



写真 6-2-23 整理番号 78 撮影年不明



写真 6-2-24 整理番号 80 昭和 10 年代



写真 6-2-25 整理番号 81 昭和 37 年 8 月



写真 6-2-26 整理番号 83 昭和 30 年代



写真 6-2-27 整理番号 49 昭和 63 年 8 月 31 日



写真 6-2-28 整理番号 50 昭和 63 年 8 月 31 日

最も古いものは、整理番号 80 の昭和 10 年代に撮影された航空写真である。集落全体が映されており現在の集落とかなり比較がしやすい写真になっている。現在の集落は根村谷、中村谷、正村谷、東谷の 4 つの谷を中心に集落が分布しているが、昭和 10 年代においてもこの分布は変わらないようである。一方、浜についてはかなり家に迫る位置まで船が定着していることが分かり、まだ現在の漁港がある場所は整備されていないことが分かる。

次に古いものが、整理番号 81 の昭和 37 年に撮影されたものと、整理番号 83 の昭和 30 年代に撮影されたものである。いずれも小学校を中心に撮影された航空写真であり、昭和 10 年代に撮影されたものと比べると、小学校付近は様子が変わったことが分かる。

最も新しいものが、整理番号 49、50 の昭和 63 年に撮影されたものであるが、この頃には小学校の手前にも建物がみられることから、浜の整備が進み現在の漁港になっている場所も埋め立てが完了していることが分かる。しかし現在漁港から橋によって繋がれている人口の浮島はまだ建設されていないようである。

整理番号 78 は撮影年不明であるが、浜の様子が昭和 10 年代、および昭和 30 年代の様子と変わっていないことから比較的古い写真であると推測できる。

以上のことから菅島のかつての漁港と集落の様子を整理すると図 6-2-5 のようになる。菅島で最も大きく変化したのは浜の様子であり、集落分布については特に大きな変化は見られなかった。

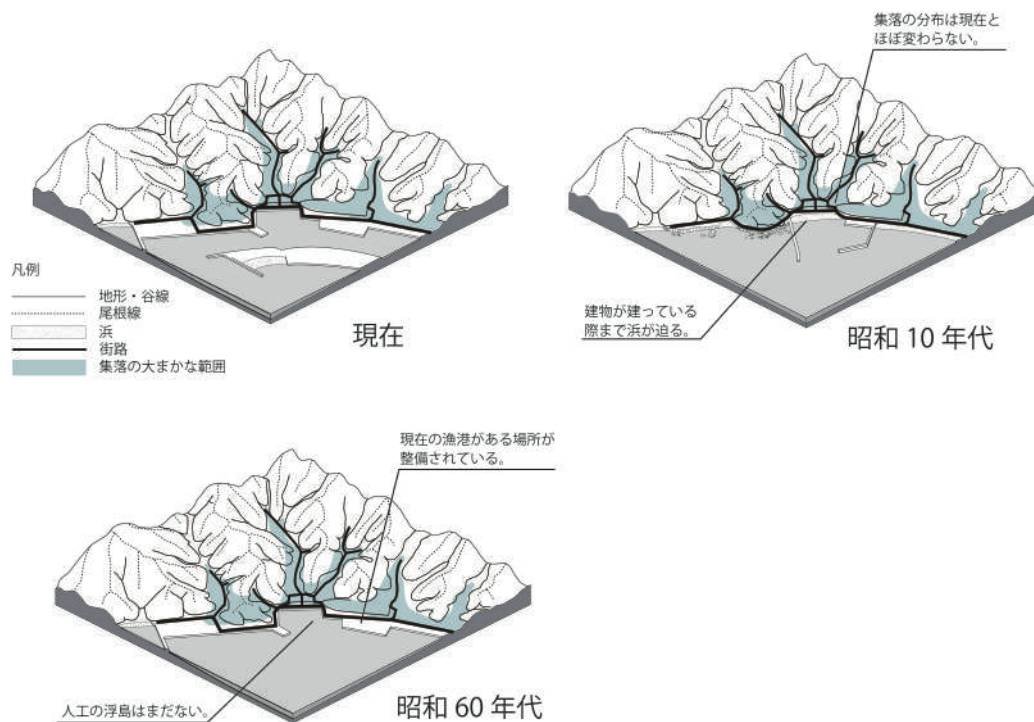


図 6-2-5 菅島のかつての漁港と集落

1) 神島

神島で収集できた写真のうち「全体写真」に分類できた写真を中心に、各年代で漁港や集落の様子がよくわかるものを選抜して示す。



写真 6-2-29 整理番号 229 昭和初期



写真 6-2-30 整理番号 234 昭和30年代初頭



写真 6-2-31 整理番号 66 昭和47年8月4日



写真 6-2-32 整理番号 79 昭和47年8月4日

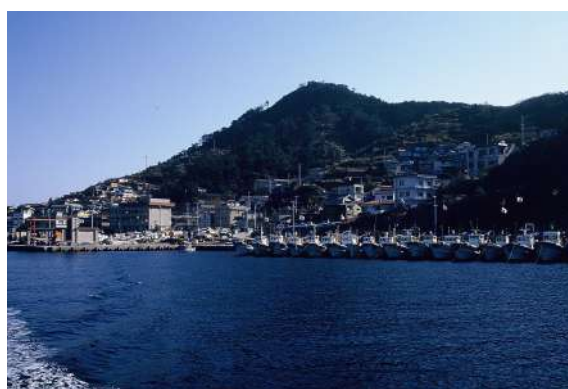


写真 6-2-33 整理番号 22 昭和62年1月7日



写真 6-2-34 整理番号 33 平成元年12月31日

最も古いものは整理番号 229 の昭和初期に撮影されたものである。桂光院が写っているが現在の場所と変わらない場所に立地しており、周りの集落の分布の様子も特に大きな変化はないことがわかる。

次に古いと思われるものが整理番号 234 の昭和 30 年代初頭に撮影されたものであり、集落と漁港の様子が写っている。漁港付近に RC の建築物はみられず、同じく集落と漁港お様子が撮影された整理番号 79 の昭和 47 年に撮影されたものと比べると漁港付近の建築物は少々変化していることが分かる。

また、残りの整理番号 22, 33, 66 の写真は撮影地点や方向が類似する写真を並べており、古いものから順に昭和 47 年、昭和 62 年、平成元年に撮影されたものである。これらより、漁港より西(写真で言うところの右)側は現在よりも整備されておらず、船が集落の際まで停泊されていることがわかる。

以上のことから神島のかつての漁港と集落の様子を整理すると図 6-2-6 のようになる。菅島で最も大きく変化したのは浜の様子であり、集落分布については特に大きな変化は見られなかった。

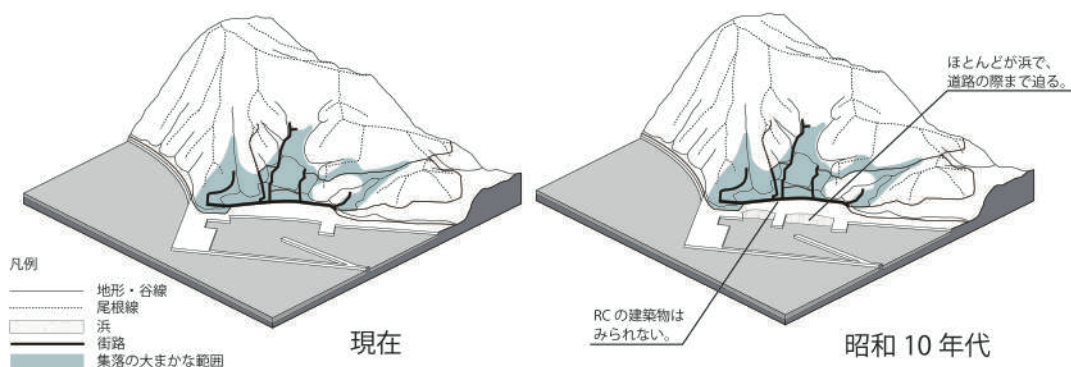


図 6-2-6 神島のかつての漁港と集落

6-3 かつての木造主屋

本節では収集した写真をもとに、各地区のかつての木造主屋の形態を明らかにする。

1) 石鏡

石鏡で収集できた写真のうち「部分写真」に分類できた写真を中心に、撮影年代が古いもの、または連続的に同じ場所で撮影されており変化が見られるものを撮影場所ごとに選抜して示す。景観調査、追加調査の際の写真で、古写真に対応するものがあれば合わせて掲載しているものもある。

- ・撮影場所① 御堂の神様へ向かう階段からの見下ろし



写真 6-3-1-1 整理番号 128
昭和 30 年代



写真 6-3-1-2 整理番号 138
昭和 30 年代



写真 6-3-1-3 整理番号 101
昭和 63 年 1 月 11 日

・撮影場所② 北の谷



写真 6-3-1-4 整理番号 129
昭和 30 年代



写真 6-3-1-5 整理番号 130
昭和 30 年代



写真 6-3-1-6 整理番号 29
昭和 52 年 7 月 1 日



写真 6-3-1-7 景観調査の写真
平成 30 年

撮影場所③ 石鏡神社前から宮ノ谷を見る



写真 6-3-1-8 整理番号 127
昭和 30 年代



写真 6-3-1-9 景観調査の写真
平成 30 年

撮影場所④ 宮ノ谷、石鏡神社前



写真 6-3-1-10 整理番号 131
昭和 30 年代



写真 6-3-1-11 景観調査の写真
平成 30 年

撮影場所⑤ 宮ノ谷入り口(現在の旅館細木屋)



写真 6-3-1-12 整理番号 145
昭和 30 年代



写真 6-3-1-11 整理番号 55
昭和 49 年 1 月 11 日

収集できた石鏡の写真は昭和30年代に撮影された写真が最も古い。撮影場所①では昭和30年代の写真2枚と、昭和63年のものがある。昭和30年代の整理番号138において、屋根形式は切妻と入母屋のどちらもみられ現在と変わらないが、素材に関してみると茅葺の屋根とその手前には本瓦葺の屋根がかかった木造主屋が映り込んでいる。それらは昭和63年の整理番号101になると草葺は洋瓦に変わり、本瓦葺の主屋はRCへと変わっている。また階数については、昭和63年の整理番号101では、右手に二階建ての木造主屋が2件並んでいるが、昭和30年代の整理番号138では、手前の木造主屋は平家であり、その奥についても写真に写らない高さであることから平家であったと推測できる。

次に撮影場所②は北の谷で撮られたもので昭和30年代のものが2枚あるが、道のクランクから昭和52年のものや景観調査で撮影した写真6-3-1-7と同じ場所であると判断できる。これらの写真から変化したと判断できることは道沿いの様子である。昭和30年代の写真は、道沿いに漁具や農具が置かれ、この頃には道沿に水廻りはないようである。昭和52年の整理番号29になると道沿いにRCで水廻りが作られるようになり、現在と変わらない状態になっている。

次に撮影場所③、④はいずれも宮ノ谷の石鏡神社周辺である。整理番号131から現在ではコンクリートブロックになってしまった擁壁も、当時は石積みであったことがわかる。また、道路沿いに着目すると、撮影場所③、④のどちらにおいても現在は水廻りが突出してきているが、やはり昭和30年代において水廻りはなく、道具類がおかれているようである。

最後に撮影場所⑤であるが、ここは現在の旅館細木屋が建つ場所であるが、昭和30年代と昭和49年のいずれの写真にも本瓦葺で入母屋平家の建物が写っている。

以上のことから石鏡のかつての木造主屋の形態を整理すると図6-3-1のようになる。なお、図中のグラフは現在における木造主屋の形態を示す。まず、昭和30年代には、道沿いに水廻りはみられず、各家の漁具、農具などが道にはみ出てきており、道で作業を行う様子もあった。それが昭和50年代には道と主屋との間にRCで水廻りがつくられるようになり現在と同様の様子になっている。また、階数については昭和30年代には平家建てであったものが、昭和63年には二階建てに変わっているものが数件確認できた。屋根形式は昭和30年代においても現在と同様に入母屋のものも切妻のものもどちらもみられ、その他の項目については判断できなかった。

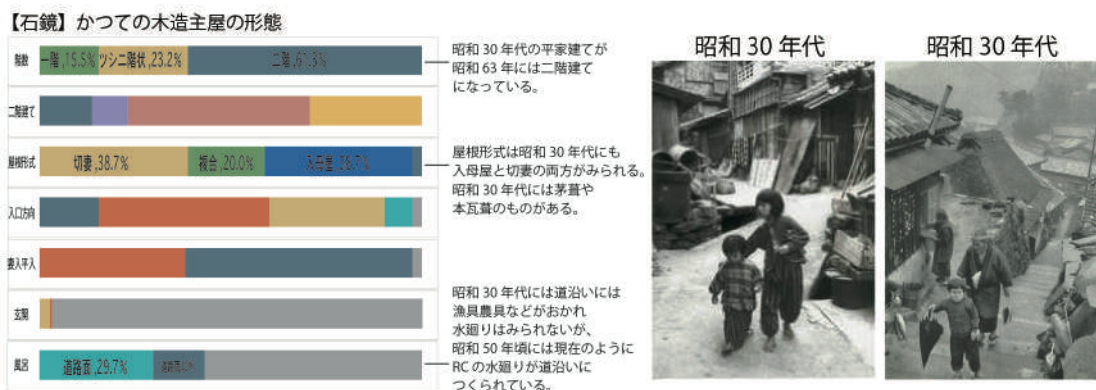


図 6-3-1 石鏡のかつての木造主屋の形態

2) 国崎

国崎で収集できた写真のうち「部分写真」に分類できた写真を中心に、撮影年代が古いもの、または連続的に同じ場所で撮影されており変化が見られるものを、撮影場所ごとに選抜して示す。景観調査、追加調査の際の写真で、古写真に対応するものがあれば合わせて掲載しているものもある。

・撮影場所① 前浜から常福寺へ向かう上り坂



写真 6-3-2-1 整理番号 178
昭和 39 年



写真 6-3-2-2 整理番号 103
昭和 47 年夏



写真 6-3-2-3 整理番号 75
昭和 47 年夏



写真 6-3-2-4 整理番号 122
昭和 47 年 11 月 18 日



写真 6-3-2-5 整理番号 163
昭和 51 年 1 月 7 日



写真 6-3-2-6 景観調査の写真
平成 30 年

・撮影場所② 常福寺から大津を見下ろす



写真 6-3-2-7 整理番号 45
昭和 48 年 1 月 18 日



写真 6-3-2-8 景観調査の写真
平成 30 年

撮影場所③ 海土潜女神社の西側の道



写真 6-3-2-9 整理番号 96
昭和 47 年夏



写真 6-3-2-10 景観調査の写真
平成 30 年

・撮影場所④ 前浜から海士潜女神社へ向かう途中



写真 6-3-2-11 整理番号 100
昭和 47 年夏



写真 6-3-2-12 景観調査の写真
平成 30 年

・撮影場所⑤ 海士潜女神社の南の下り坂



写真 6-3-2-13 整理番号 101
昭和 47 年夏



写真 6-3-2-14 景観調査の写真
平成 30 年

撮影場所⑥ 海士潜女神社の西側の道



写真 6-3-2-15 整理番号 107
昭和 47 年夏



写真 6-3-2-16 景観調査の写真
平成 30 年

・撮影場所⑦ 海士潜女神社から大津浜へ向かう谷筋



写真 6-3-2-13 整理番号 32
撮影年不明



写真 6-3-2-14 整理番号 58
昭和 47 年 8 月 17 日

収集できた国崎の写真は、撮影場所①整理番号 178 の昭和 30 年代に撮影されたものが最も古い。前浜から常福寺へ向かう上り坂を撮影されたもので、同場所は他にも昭和 47 年や、昭和 51 年に撮影されたものもあり、景観調査の際に撮影したものも掲載している。これらの一連の写真から読み取れることとして、昭和 30 年代は写り込む木造主屋が全て切妻屋根かつ平家建てであるのに対して、昭和 47 年の整理番号 122 では 1 件入母屋に変わっており、また、整理番号 75 では 1 件二階建てに建て変わっている。昭和 51 年には左手に RC に変わったものがみられ、現在に至っては石積みの上の木造主屋も RC に建てかわっている。

次に撮影場所②については常福寺から大津浜の谷筋を写したものであるが、現在の写真が入母屋の屋根がずらりと妻面を見せているのに対して、昭和 48 年には切妻が数件混じっていることがうかがえ、またはっきりとは判断できないが、階数も低いように思われる。

撮影番所③以降からは海士潜女神社の周辺の道で撮影されたものである。撮影番所③は海士潜女神社の西側の道で現在は RC の建物が中心であるが昭和 47 年には切妻屋根の木造主屋が並んでいたようである。

次に撮影場所④は南側の谷筋で現在は大壁の比較的新しい木造主屋であるが、昭和 47 年には真壁入母屋の二階建ての木造主屋であり、道路面に水廻りを RC でつくっていることが分かる。

また撮影場所⑤⑥からは現在には建物がない場所に元々は木造主屋が建っていたことがわかり、国崎は昭和 40 年代に比べ建築物が減りつつあることが分かる。

最後に撮影場所⑦は、海士潜女神社から大津浜へ向かう谷筋を上から撮影したもので、撮影年代不明と昭和47年の写真である。対応写真は載せていないが、現在の大津の谷筋は屋根伏図から判断すると、入母屋または複合が多いことが分かる。しかし、撮影年代不明の整理番号32、昭和47年の整理番号58では写り込んでいる木造主屋の大半が切妻である。また、整理番号32にはツシ二階のものが2件写っている。

以上のことから国崎のかつての木造主屋の形態を整理すると図6-3-2のようになる。なお、図中のグラフは現在における木造主屋の形態を示す。まず、階数については、現在は二階建てが4割程度みられるが、昭和30年代にはほとんどの木造主屋が平家であり、昭和40年代に入って徐々にツシ二階や二階建てに建て変わっている。屋根形式については、現在は入母屋が切妻より優勢であるのに対して、昭和30年代や40年代については木造主屋の多くが切妻屋根であったようである。国崎については集落内で撮られた写真はほとんどが昭和40年代のものであるため、そこから現在に至るまでのいつの段階に屋根形式が変化したのかは不明である。また、道沿いの様子については昭和40年代にRCの水廻りをつくっているものがみられ、その他の項目については判断できなかった。

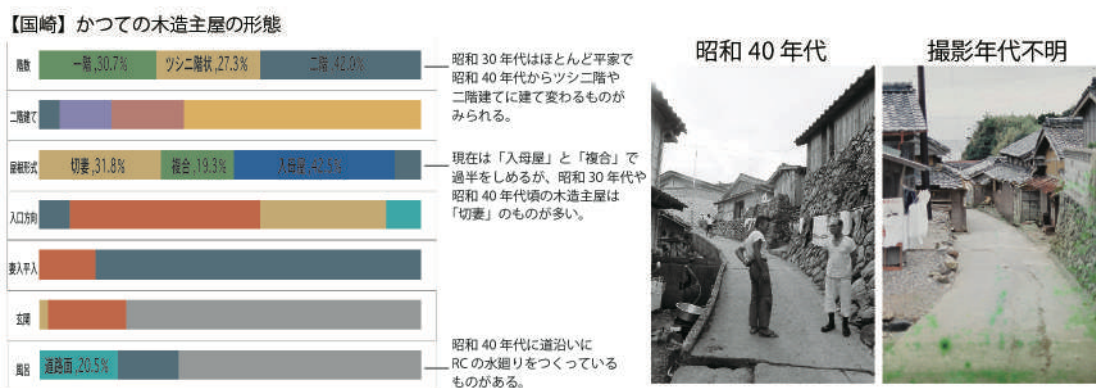


図 6-3-2 国崎のかつての木造主屋の形態

3) 相 差

相 差 で 収 集 で き た 写 真 の う ち 「 部 分 写 真 」 に 分 類 で き た 写 真 を 中 心 に、 撮 影 年 代 が 古 い も の、 ま た は 連 続 的 に 同 じ 場 所 で 撮 影 さ れ て お り 変 化 が 見 ら れ る も の を、 撮 影 場 所 ご と に 選 抜 し て 示 す。 景 観 調 査、 追 加 調 査 の 際 の 写 真 で、 古 写 真 に 対 応 す る も の が あ れ ば 合 わ せ て 掲 載 し て い る も の も あ る。

・ 撮 影 場 所 ①



写 真 6-3-3-1 整 理 番 号 46
昭 和 54 年 1 月 5 日



写 真 6-3-3-2 景 観 調 査 の 写 真
令 和 元 年

・ 撮 影 場 所 ②



写 真 6-3-3-3 整 理 番 号 53
昭 和 54 年 1 月 5 日

・ 撮 影 場 所 ③



写 真 6-3-3-4 整 理 番 号 55
昭 和 54 年 1 月 5 日

収 集 で き た 相 差 の 写 真 は、 昭 和 54 年 の 写 真 が 最 も 古 く、 主 屋 の 写 っ て い る も の は 撮 影 場 所 ①～③ の 3 枚 で あ る。

撮 影 場 所 ② の 木 造 主 屋 は ツ シ 二 階 で 桁 行 が 長 く 平 入 で あ る こ と か ら、 現 在 の 真 壁 の 木 造 主 屋 と 同 様 で あ る。 ま た 撮 影 場 所 ③ に は 右 手 に 入 母 屋、 平 家 建 て の 木 造 主 屋 が 写 っ て い る。 こ の 木 造 主 屋 は、 現 在 は な く な っ て い る が、 玄 関 が 妻 面 に 突 出 し て い る こ と が 分 か る。

以 上 の こ と か ら 相 差 の か つ て の 木 造 主 屋 の 形 態 を 整 理 す る と 図 6-3-3 の よ う に な る。 な お、 図 中 の グ ラ フ は 現 在 に お け る 木 造 主 屋 の 形 態 を 示 す。 現 在 の 木 造 主 屋 は 7 地 区 の 中 で 最 も 玄 関 が 突 出 し て い る も の が 多 い が、 現 在 は な く な っ て し ま っ た 木 造 主 屋 に つ い て も、 昭 和 50 年 代 に お い て 玄 関 が 突 出 し て い る こ と が 確 認 で き た こ と か ら、 か つ て は 現 在 以 上 に 玄 関 が 突 出 し た も の が み ら れ た と 推 測 で き る。 た だ し 相 差 に つ い て は 収 集 で き た 写 真 が 新 し く、 数 が 少 な い こ と か ら、 判 断 で き な い 項 目 が 多 く 今 後 の 課 題 で あ る。

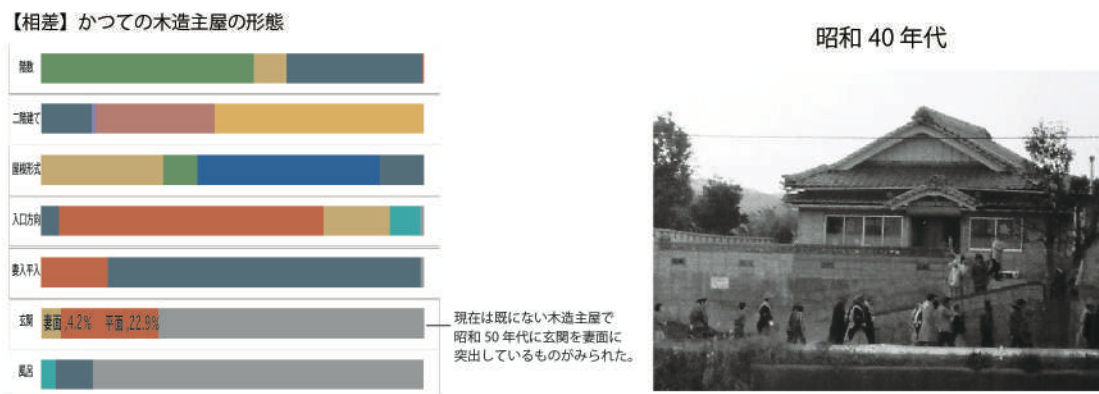


図 6-3-3 相差のかつての木造主屋の形態

4) 答志

答志で収集できた写真のうち「部分写真」に分類できた写真を中心に、撮影年代が古いもの、または連続的に同じ場所で撮影されており変化が見られるものを、撮影場所ごとに選抜して示す。景観調査、追加調査の際の写真で、古写真に対応するものがあれば合わせて掲載しているものもある。

・撮影場所① 漁協付近から集落をみる



写真 6-3-4-1 整理番号 22
昭和30年代



写真 6-3-4-2 追加調査の写真
令和2年

・撮影場所②



写真 6-3-4-3 整理番号 6
昭和 54 年 1 月 5 日



写真 6-3-4-4 追加調査の写真
令和 2 年

収集できた答志の写真は、撮影場所①の昭和 30 年代の写真が最も古く、漁港から集落を撮影しているものである。現在の写真と比較すると、昭和 30 年代には RC の建築物はなく、木造主屋の外壁についても大壁ではなく真壁である等の違いはあるものの、木造主屋の形態に限っては特に現状とほとんど変わらないようである。

また撮影場所②の昭和 54 年の写真についても、現在の様子とほとんど変わらないことが分かる。

主屋の写っているものは 2 枚のみで数も少なく、また変化も少ないことから、これらの写真を頼りにかつての木造主屋の形態を判断ことは難しく、今後の課題である。

5) 和具

和具で収集できた写真のうち「部分写真」に分類できた写真を中心に、撮影年代が古いもの、または連続的に同じ場所で撮影されており変化が見られるものを、撮影場所ごとに選抜して示す。景観調査、追加調査の際の写真で、古写真に対応するものがあれば合わせて掲載しているものもある。

撮影場所① 浜から集落をみる



写真 6-3-5-1 整理番号 53
昭和 61 年 8 月 31 日



写真 6-3-5-2 景観調査の写真
令和元年

撮影場所②



写真 6-3-5-3 整理番号 56
昭和 61 年 8 月 31 日

収集できた和具の写真は、昭和 61 年の写真が最も古く、主屋の写っているものは撮影場所①～②の 2 枚のみであり、撮影年代も新しいことから、この 2 枚の写真を頼りにかつての木造主屋の形態を考察することは難しく、今後の課題である。

6) 菅島

菅島で収集できた写真のうち「部分写真」に分類できた写真を中心に、撮影年代が古いもの、または連続的に同じ場所で撮影されており変化が見られるものを、撮影場所ごとに選抜して示す。景観調査、追加調査の際の写真で、古写真に対応するものがあれば合わせて掲載しているものもある。

撮影場所① 根村の谷中腹



写真 6-3-6-1 整理番号 13
昭和 50 年 11 月 17 日



写真 6-3-6-2 追加調査の写真
令和 3 年

撮影場所② 海から正村谷をみる



写真 6-3-6-3 整理番号 71
昭和 51 年 7 月 11 日



写真 6-3-6-4 整理番号 76
昭和 51 年 7 月 11 日

収集できた菅島の写真は、撮影場所①の昭和 50 年の写真が最も古い、現在の写真と比較しても、ほとんど変わらないようである。撮影場所②の 2 枚については、昭和 51 年に撮影されたものであり、整理番号 71 に写る木造主屋は立派な石積みがあるが、現在はない等の違いはあるものの、木造主屋の形態に限っては特に現状とほとんど変わらないようである。主屋の写っているものは数も少なく、比較的新しいことから、これらの写真を頼りにかつての木造主屋の形態を判断することは難しく、今後の課題である。

7) 神島

神島で収集できた写真のうち「部分写真」に分類できた写真を中心に、撮影年代が古いもの、または連続的に同じ場所で撮影されており変化が見られるものを、撮影場所ごとに選抜して示す。景観調査、追加調査の際の写真で、古写真に対応するものがあれば合わせて掲載しているものもある。

撮影場所①



写真 6-3-7-1 整理番号 45
昭和47年8月4日



写真 6-3-7-2 追加調査の写真
令和2年

撮影場所②



写真 6-3-7-3 整理番号 45
昭和 47 年 8 月 4 日



写真 6-3-7-4 景観調査の写真
令和元年

撮影場所③ 洗濯池へ向かう下り坂



写真 6-3-7-5 整理番号 108
昭和 49 年



写真 6-3-7-6 追加調査の写真
令和 2 年

撮影場所④ 洗濯池前



写真 6-3-7-7 整理番号 183
昭和 48 年 8 月 4 日



写真 6-3-7-8 整理番号 165
平成 2 年 1 月 6 日

撮影場所⑤



写真 6-3-7-9 追加調査の写真
令和 2 年



写真 6-3-7-10 整理番号 106
昭和 49 年

撮影場所⑥



写真 6-3-7-11 整理番号 195
昭和 48 年 8 月 4 日



写真 6-3-7-12 整理番号 166
平成 2 年 1 月 6 日

撮影場所⑦



写真 6-3-7-13 景観調査の写真
令和元年



写真 6-3-7-14 整理番号 100
昭和 49 年

⑧三階建て



写真 6-3-7-15 整理番号 175
昭和 48 年 8 月 4 日



写真 6-3-7-16 整理番号 203
昭和 48 年 8 月 4 日



写真 6-3-7-17 整理番号 222
平成元年



写真 6-3-7-16 整理番号 223
平成元年



写真 6-3-7-18 整理番号 226
平成元年



写真 6-3-7-19 整理番号 228
平成元年

収集できた神島の写真は、昭和40年代の写真が最も古い。撮影場所①や撮影場所②の写真はどちらも昭和47年に撮影されたものであるが、現在の写真と比較して、外壁の素材が大壁に変わっていることや、小屋が木造からRCに変わっているなどの変化はあるものの、木造主屋の形態に限っては、現在とほとんど変わらない状態である。

撮影場所③は洗濯池へ向かう下り坂で昭和49年に撮られたのであり、現在の写真の右手に写る3階建てのフラット屋根の建築物は、元々は撮影場所⑤の平家建ての木造主屋であったことが分かる。また撮影場所④は③を少し下った洗濯池の前からの撮影で、昭和48年と平成2年に撮影された写真であるが、現在の写真の左手奥に写る2階建ての建築物は、昭和48年、および平成2年の時点では二階建て(ツシ二階のようにもみえる)の木造主屋であったことが分かる。

撮影場所⑥については、昭和48年と平成2年に撮影されたものであるが、現在の写真と比較して、写真右手に写るタバコ屋が昭和48年から平成2年の間に平家建てから二階建てへと変化している様子が分かる。また撮影場所⑦についても、撮影場所は特定できていないが、昭和49年には平家建ての木造主屋があったことがわかる。

⑧の写真は、三階建てが撮影されている写真を集めてきている。昭和40年代にも三階建てのものはあったようだが、資料編の写真をみても数は多くない。しかし平成元年代には整理番号222や整理番号223のように三階建ての地下部分のみをクローズアップして撮影された写真もみられるようになり、三階建ての木造主屋が写った写真も増えることから、昭和50年代、60年代が三階建てに建て変わるピークであったように推測できる。

以上のことから神島のかつての木造主屋の形態を整理すると図6-3-4のようになる。なお、図中のグラフは現在における木造主屋の形態を示す。まず、階数は現在はほぼ全てが二階以上で三階のものも多いのに対し、昭和40年代には平家建ての木造主屋も数件確認できた。またこの頃には現在のような三階建ての木造主屋は少ない。その後平成元年になると三階建ての地下部分をクローズアップして撮影された写真が出てくるなど、その数が増えており、このことから昭和50年代から60年代にかけて、三階建てへの建て替えが進んだと考えられる。また、屋根形式については各写真の説明では触れてこなかったが、取り上げた写真に写るすべての木造主屋が切妻であることから、現在と変わらないようである。

【神島】木造主屋にみられる変化

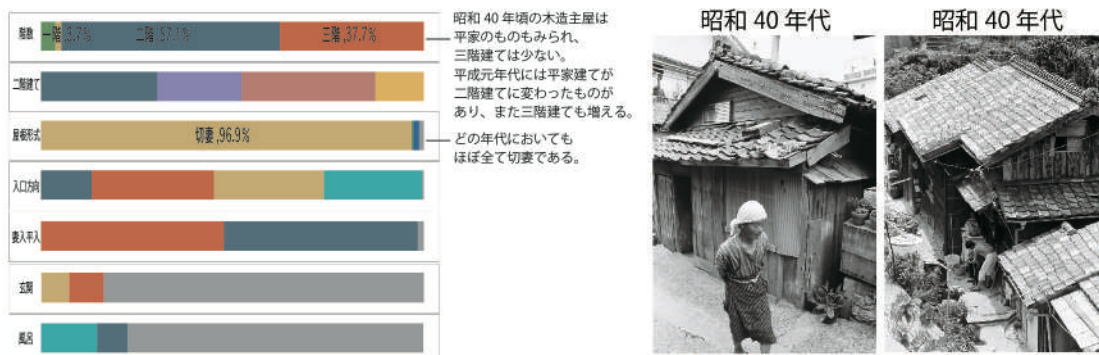


図 6-3-4 神島のかつての木造主屋

6-4 小括

本章では各地区におけるかつての漁港と集落と木造主屋の形態を確認してきた。

6-4-1 漁港と集落の様子の変遷

漁港と集落の様子については全地区を通して最も変化があったのは浜の様子で、どの地区においても砂浜だったものを埋め立てる等の整備を行い、堤防として機能させるように変化している。また、石鏡や和具についてはかつての集落の分布は今よりも小規模であったことが明らかになったが、ほとんどの地区では昭和初期から現在において集落の範囲はあまり変化していないことが分かった。

6-4-2 木造主屋の形態の変遷

木造主屋の形態については年代が古いものを数多く収集できた石鏡、国崎、神島の3地区についてのみ、かつての景観を把握することができた。ここでは、第5章の現在の木造主屋の形態における石鏡、国崎、神島の位置付けと比較して変遷をまとめる(図6-4-2-1から図6-4-2-1)。

1) 石鏡

石鏡のかつての木造主屋の形態の変遷を図6-4-2-1に示す。石鏡の木造主屋の形態でも大きく変化したのは道沿いの様子である。昭和30年代には、道沿いに水廻りはみられなかったが、昭和50年代には道と主屋との間にRCで水廻りがつくられるようになり現在と同様の様子になっている。また、階数については昭和30年代には平家建てであったものが、昭和63年には二階建てに変わっているものが数件確認できた。



図 6-4-2-1 石鏡の木造主屋の変遷

2) 国崎

国崎のかつての木造主屋の形態の変遷を図 6-4-2-2 に示す。国崎の木造主屋の形態で変化したのは階数と屋根形式である。階数については、現在は二階建てが 4 割程度みられるが、昭和 30 年代にはほとんどの木造主屋が平家であり、昭和 40 年代に入って徐々にツシ二階や二階建てに建て変わっている。屋根形式については、現在は入母屋が切妻より優勢であるのに対して、昭和 30 年代や 40 年代については木造主屋の多くが切妻屋根であったようである。また、道沿いの様子については昭和 40 年代に RC の水廻りをつくっているものがみられた。



図 6-4-2-2 国崎の木造主屋の変遷

3) 神島

国崎のかつての木造主屋の形態の変遷を図 6-4-2-3 に示す。神島の木造主屋の形態で最も大きく変化したのは階数である。現在はほぼ全てが二階以上で三階も多いのに対し、昭和 40 年代には平家建ても数件確認できた。またこの頃には三階建ての木造主屋は少ない。その後平成元年になると三階建ての地下部分を撮影された写真が出てくるなど、三階の数が増えており、昭和 50 年代から 60 年代にかけて、三階建てへの建て替えが進んだと考えられる。また、屋根形式については写真に写るすべての木造主屋が切妻であることから、現在と変わらないようである。



図 6-4-2-3 神島の木造主屋の変遷

第7章

研究の総括

7-1 海女集落における木造主屋の形態の変遷	212
7-2 今後の課題	213

7-1 海女集落全体における木造主屋の形態の変遷

3章の生業・風向、4章の集落構成、5章の木造主屋の形態の結果と、6章でかつての木造主屋の形態を考察することができた国崎および、石鏡、神島の結果から、考察できなかった残りの地区も推測し、海女集落全体における木造主屋の形態の変遷を図7-1にまとめる。特に変化が見られた階数、屋根形式、風呂について項目ごとに整理する。

3章 生業と気候	4章 集落構成	5章・6章 木造主屋の形態の変遷
【生業】 半農半漁 相差 国崎	【地形】 広大な平地 高台 【街路形態】 直線型 円環型 【木造主屋の分布】 分散型	【階数】 昭和30年代 昭和40年代 やや階数が大きいものが増える。 【屋根形式】 昭和30年代 昭和40年代 切妻から入母屋に変わる。 【風呂の突出】 昭和30年代 道路面以外にRCの風呂が突出する。
【生業】 主漁従農 石鏡 答志 和具 菅島 神島	【地形】 谷間 僅かな平地 【街路形態】 放射型 短冊型 【木造主屋の分布】 密集/妻平混在型 密集/妻平純然型	【階数】 昭和30年代 昭和40年代 3階など、かなり階数が大きいものが増える。 【屋根形式】 昭和30年代 昭和40年代 切妻のまま変わらない。 【風呂の突出】 昭和30年代 道路面にRCの風呂が突出する。

図 7-1 海女集落における木造主屋の形態の変遷

1) 階数

現在においては、本土側の3地区では約半数が二階、離島の4地区についてはほぼ全てが二階以上で、答志や神島には三階建てもみられる。しかし、昭和30年代、40年代には全地区で現在よりも階数が小さく、一階のものも見られた。そこから地形にゆとりがあり、主屋が分散している国崎や相差は、やや階数が大きいツシ二階や二階に建て変わったのに対し、地形が限られ主屋が密集している石鏡や離島は、二階や、より階数が大きい三階などに建て替えが進んだと推測できる。

2) 屋根形式

現在においては、本土側の 3 地区では入母屋が優勢、離島の 4 地区についてはほとんどが切妻である。しかし、昭和 30 年代、40 年代には、全地区で現在よりも切妻の比重高かった。そこから地形にゆとりがあり、主屋が分散している国崎や相差は、切妻から入母屋や複合へと変更されたのに対し、地形が限られ主屋が密集している石鏡や離島は、切妻のまま変化していないと推測できる。

3) 風呂(水廻り)

現在においては、風呂(水廻り)が突出するものが全地区で一定数見られ、特に石鏡や国崎ではその数が多く、道路面(道沿い)に突出している。しかし、突出して作られた水廻りは、昭和 30 年代には確認できない。そこから昭和 40 年代にはみられるようになり、昭和 50 年代には現在と変わらない程に普及したと考えられる。その際、地形にゆとりがあり、主屋が分散している国崎や相差は、道路面以外に、地形が限られ主屋が密集している石鏡や離島は道路面に風呂がつけられたと推測できる。

まとめ

第 5 章までの考察の結果、海女集落の現在の木造主屋は、形態を決定する大部分から小部分に至るまで、いずれの要素についても、非常に多様に展開されていることが明らかとなったが、それらは、かつては統一的であり、時間の経過とともに地形等の影響を受けながら、より多様性を持つように変遷していったのではないかと推測できる。

7-2 今後の課題

本研究は、前半では、海女集落の景観に多様性をもたらす要因とは何かを探ることを目的として、特に景観の大要を決定する集落構成、および木造主屋の形態を考察した。しかし、景観の細部を決定しさらに各集落を魅力的に彩る木造主屋の形状(素材や色彩など)については言及できていない。

また、後半では、景観形成基準を定めるにあたり、古い写真資料を収集し、かつての集落の姿を考察した。昭和 30 年以降に撮影されたものを中心に 7 地区で計 783 枚の写真を分析したが、収集できた写真には地区や年代に偏りがあった。その結果、石鏡、国崎、神島については、全体的な集落の様子から木造主屋の形態まで、ある程度確認することができたが、残りの相差、答志、和具、菅島については依然として資料が少なく、考察できなかった項目が多かった。また、明治期や昭和初期の景観も把握できていない。

以上のことから、今後は現在の景観についても過去の景観についても、木造主屋の形状について把握することが課題であり、またアーカイブ調査を行うにあたり更なる資料の収集が必要である。

謝辞

本調査・研究を進めるにあたり、終始適切な助言と丁寧な指導をして下さった教授・浅野聡先生、助教・大井隆弘先生に厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

調査および分析にあたり、伊勢志摩サテライト海女研究センター・三重大学人文学部教授・塚本明氏、伊勢志摩サテライト海女研究センター・三重大学人文学部助教・吉村真衣氏、にもご協力を頂きました。加えて、このご時世にも関わらず、快く調査にご協力頂いた鳥羽市の各集落の住民の皆様、鳥羽市教育委員会の皆様、鳥羽市役所の皆様、議員の皆様には景観調査において多大なご協力を頂きました。記して感謝の意を申し上げます。

また、調査および試料作成、分析にあたり、同研究グループの大井研究室 M1 の荻野真雪氏、浅野研究室 M2 の佐藤愛美氏、岡田優太氏、興津舜也氏、M1 の藤原基義氏、B4 の神山〇〇氏、竹下陽菜氏、既卒生の園部梨央氏、高橋明里氏には、調査研究にあたり多大な協力を頂きました。記して感謝の意を申し上げます。

最後に、同じ大井研究室に所属する、M2 の大河原剛氏、M1 の中嶋宏徳氏、B4 の小川聖平氏、竹本調氏、谷口賛氏研究は異なるものの自らの研究に対して責任を持って進める姿勢から、本研究を進めるにあたって刺激を受け、精神的にも支えられました。皆様に心から感謝致します。

本研究の一部は鳥羽市教育委員会からの助成金（研究費）によります。その他、多くの方々のご協力によって、おかげさまで本研究を無事形にすることができました。改めてここに感謝の意を申し上げます。

資料編

アーカイブ調査の対象資料一覧

1	石鏡	001
2	国崎	019
3	相差	039
4	答志	045
5	和具	049
6	菅島	055
7	神島	065

1 石鏡

本編 6-1-3 で選定した石鏡の写真を、掲載資料ごとに示す。なお写真の整理番号は節末の表 1 と対応している。

1) 海の博物館所蔵資料 海女アーカイブ



図 1-1 整理番号 1
石鏡の海女 1-1-6



図 1-4 整理番号 4
石鏡の海女 1-2-7



図 1-7 整理番号 7
石鏡の進水式様子 11-3-2



図 1-2 整理番号 2
石鏡の海女 1-2-2

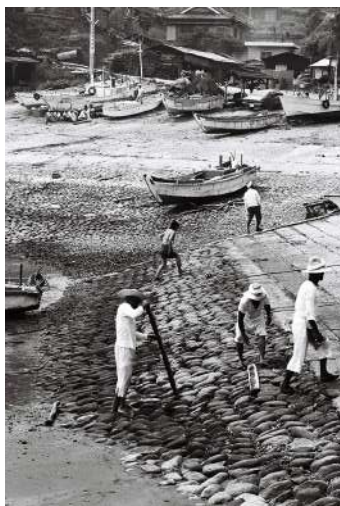


図 1-5 整理番号 5
石鏡の海女 1-4-2



図 1-8 整理番号 8
石鏡 11-4-2



図 1-3 整理番号 3
石鏡の海女 1-2-6



図 1-6 整理番号 6
石鏡の海女 1-6-2



図 1-9 整理番号 9
石鏡 11-4-3



図 1-12 整理番号 12
石鏡の進水式様子 11-6-2



図 1-16 整理番号 16
石鏡海女の出漁 12-6-1



図 1-17 整理番号 17
国崎(海女)10-6-4



図 1-10 整理番号 10
石鏡 11-4-6



図 1-13 整理番号 13
石鏡海女の出漁 12-1-3



図 1-18 整理番号 18
石鏡潜き下り 1-2



図 1-14 整理番号 14
石鏡海女の出漁 12-2-3



図 1-19 整理番号 19
石鏡潜き下り 1-3



図 1-11 整理番号 11
石鏡の進水式様子 11-5-4



図 1-15 整理番号 15
石鏡海女の出漁 12-2-6



図 1-20 整理番号 20
石鏡(潜き下り)2-8



図 1-21 整理番号 21
石鏡(潜き下り)2-10



図 1-22 整理番号 22
石鏡かづきおり(潜き下り)3-4



図 1-23 整理番号 23
石鏡かづきおり(潜き下り)3-8



図 1-24 整理番号 24
石鏡(潜き下り)4-3



図 1-25 整理番号 25
石鏡かづきおり(潜き下り)5-9



図 1-26 整理番号 26
石鏡 3-4-5



図 1-27 整理番号 27
石鏡 3-4-6



図 1-28 整理番号 28
石鏡 3-5-2



図 1-29 整理番号 29
石鏡 3-6-1



図 1-30 整理番号 30
石鏡木村弁助宅出土鯨骨
5-5-1



図 1-31 整理番号 31
石鏡木村弁助宅出土鯨骨
5-5-4



図 1-32 整理番号 32
石鏡辻札・正月始 6-2-2



図 1-33 整理番号 33
石鏡海女の潜き下り 7-3-2

2) 海の博物館所蔵資料 海女アーカイブ以外



図 1-34 整理番号 34
10018806①志摩の祭 3

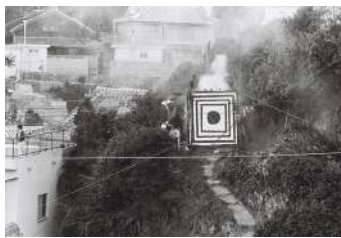


図 1-37 整理番号 37
10018806②志摩の祭 3



図 1-35 整理番号 35
10018806①志摩の祭 3



図 1-38 整理番号 38
10018806②志摩の祭 3



図 1-40 整理番号 40
10018806②志摩の祭 3



図 1-36 整理番号 36
10018806②志摩の祭 3



図 1-39 整理番号 39
10018806②志摩の祭 3



図 1-41 整理番号 41
10018806②志摩の祭 3



図 1-42 整理番号 42
10018806②志摩の祭 3



図 1-43 整理番号 43
10018806②志摩の祭 3



図 1-44 整理番号 44
10018806②志摩の祭 3



図 1-45 整理番号 45
10018806②志摩の祭 3



図 1-46 整理番号 46
10018806②志摩の祭 3



図 1-47 整理番号 47
10018806②志摩の祭 3



図 1-48 整理番号 48
10018806②志摩の祭 3



図 1-49 整理番号 49
10018806②志摩の祭 3



図 1-50 整理番号 50
10018806②志摩の祭 3



図 1-51 整理番号 51
10018806②志摩の祭 3



図 1-52 整理番号 52
10018806②志摩の祭 3



図 1-53 整理番号 53
10018806②志摩の祭 3



図 1-54 整理番号 54
10018806②志摩の祭 3



図 1-55 整理番号 55
10018806②志摩の祭 3



図 1-56 整理番号 56
1. 石鏡入り渡しの神事



図 1-57 整理番号 57
1. 石鏡入り渡しの神事



図 1-58 整理番号 58
1. 石鏡入り渡しの神事



図 1-59 整理番号 59
1. 石鏡入り渡しの神事



図 1-60 整理番号 60
1. 石鏡入り渡しの神事



図 1-61 整理番号 61
1. 石鏡入り渡しの神事



図 1-62 整理番号 62
1. 石鏡入り渡しの神事



図 1-63 整理番号 63
2. 石鏡 みそぎ 90. 1. 1
みかん下がらし H2. 1. 2



図 1-64 整理番号 64
2. 石鏡 みそぎ 90. 1. 1
みかん下がらし H2. 1. 2



図 1-65 整理番号 65
2. 石鏡 みそぎ 90. 1. 1
みかん下がらし H2. 1. 2



図 1-66 整理番号 66
2. 石鏡 みそぎ 90. 1. 1
みかん下がらし H2. 1. 2



図 1-67 整理番号 67
2. 石鏡 みそぎ 90. 1. 1
みかん下がらし H2. 1. 2



図 1-68 整理番号 68
2. 石鏡 みそぎ 90. 1. 1
みかん下がらし H2. 1. 2



図 1-69 整理番号 69
2. 石鏡 みそぎ 90. 1. 1
みかん下がらし H2. 1. 2



図 1-70 整理番号 70
3. 石鏡の辻札書の神事
石鏡当ヤのおちね



図 1-71 整理番号 71
3. 石鏡の辻札書の神事
石鏡当ヤのおちね



図 1-72 整理番号 72
3. 石鏡の辻札書の神事
石鏡当ヤのおちね



図 1-73 整理番号 73
3. 石鏡の辻札書の神事
石鏡当ヤのおちね



図 1-74 整理番号 74
3. 石鏡の辻札書の神事
石鏡当ヤのおちね



図 1-75 整理番号 75
3. 石鏡の辻札書の神事
石鏡当ヤのおちね



図 1-76 整理番号 76
3. 石鏡の辻札書の神事
石鏡当ヤのおちね



図 1-77 整理番号 77
3. 石鏡の辻札書の神事
石鏡当ヤのおちね



図 1-78 整理番号 78
3. 石鏡の辻札書の神事
石鏡当ヤのおちね



図 1-79 整理番号 79
4. 石鏡 明寅神事 90. 1. 1
正月行事 S63. 1. 1
弓引き 03. 1. 11



図 1-80 整理番号 80
4. 石鏡 明寅神事 90. 1. 1
正月行事 S63. 1. 1
弓引き 03. 1. 11



図 1-81 整理番号 81
4. 石鏡 明寅神事 90. 1. 1
正月行事 S63. 1. 1
弓引き 03. 1. 11



図 1-82 整理番号 82
4. 石鏡 明寅神事 90. 1. 1
正月行事 S63. 1. 1
弓引き 03. 1. 11



図 1-83 整理番号 83
4. 石鏡 明寅神事 90. 1. 1
正月行事 S63. 1. 1
弓引き 03. 1. 11



図 1-84 整理番号 84
4. 石鏡 明寅神事 90. 1. 1
正月行事 S63. 1. 1
弓引き 03. 1. 11



図 1-85 整理番号 85
4. 石鏡 明寅神事 90. 1. 1
正月行事 S63. 1. 1
弓引き 03. 1. 11



図 1-86 整理番号 86
4. 石鏡 明寅神事 90. 1. 1
正月行事 S63. 1. 1
弓引き 03. 1. 11



図 1-87 整理番号 87
4. 石鏡 明寅神事 90. 1. 1
正月行事 S63. 1. 1
弓引き 03. 1. 11



図 1-88 整理番号 88
4. 石鏡 明寅神事 90. 1. 1
正月行事 S63. 1. 1
弓引き 03. 1. 11



図 1-89 整理番号 89
4. 石鏡 明寅神事 90. 1. 1
正月行事 S63. 1. 1
弓引き 03. 1. 11



図 1-90 整理番号 90
4. 石鏡 明寅神事 90. 1. 1
正月行事 S63. 1. 1
弓引き 03. 1. 11



図 1-91 整理番号 91
4. 石鏡 明寅神事 90. 1. 1
正月行事 S63. 1. 1
弓引き 03. 1. 11



図 1-92 整理番号 92
4. 石鏡 明寅神事 90. 1. 1
正月行事 S63. 1. 1
弓引き 03. 1. 11



図 1-93 整理番号 93
4. 石鏡 明寅神事 90. 1. 1
正月行事 S63. 1. 1
弓引き 03. 1. 11



図 1-94 整理番号 94
4. 石鏡 明寅神事 90. 1. 1
正月行事 S63. 1. 1
弓引き 03. 1. 11



図 1-95 整理番号 95
4. 石鏡 明寅神事 90. 1. 1
正月行事 S63. 1. 1
弓引き 03. 1. 11



図 1-96 整理番号 96
4. 石鏡 明寅神事 90. 1. 1
正月行事 S63. 1. 1
弓引き 03. 1. 11



図 1-97 整理番号 97
4. 石鏡 明寅神事 90. 1. 1
正月行事 S63. 1. 1
弓引き 03. 1. 11



図 1-98 整理番号 98
4. 石鏡 明寅神事 90. 1. 1
正月行事 S63. 1. 1
弓引き 03. 1. 11



図 1-99 整理番号 99
4. 石鏡 明寅神事 90. 1. 1
正月行事 S63. 1. 1
弓引き 03. 1. 11



図 1-100 整理番号 100
4. 石鏡 明寅神事 90. 1. 1
正月行事 S63. 1. 1
弓引き 03. 1. 11



図 1-101 整理番号 101
4. 石鏡 明寅神事 90. 1. 1
正月行事 S63. 1. 1
弓引き 03. 1. 11



図 1-102 整理番号 102
4. 石鏡 明寅神事 90. 1. 1
正月行事 S63. 1. 1
弓引き 03. 1. 11



図 1-103 整理番号 103
4. 石鏡 明寅神事 90. 1. 1
正月行事 S63. 1. 1
弓引き 03. 1. 11



図 1-104 整理番号 104
4. 石鏡 明寅神事 90. 1. 1
正月行事 S63. 1. 1
弓引き 03. 1. 11



図 1-105 整理番号 105
4. 石鏡 明寅神事 90. 1. 1
正月行事 S63. 1. 1
弓引き 03. 1. 11



図 1-106 整理番号 106
4. 石鏡 明寅神事 90. 1. 1
正月行事 S63. 1. 1
弓引き 03. 1. 11



図 1-110 整理番号 110
4. 石鏡 明寅神事 90. 1. 1
正月行事 S63. 1. 1
弓引き 03. 1. 11



図 1-114 整理番号 114
4. 石鏡 明寅神事 90. 1. 1
正月行事 S63. 1. 1
弓引き 03. 1. 11



図 1-107 整理番号 107
4. 石鏡 明寅神事 90. 1. 1
正月行事 S63. 1. 1
弓引き 03. 1. 11



図 1-111 整理番号 111
4. 石鏡 明寅神事 90. 1. 1
正月行事 S63. 1. 1
弓引き 03. 1. 11



図 1-115 整理番号 115
4. 石鏡 明寅神事 90. 1. 1
正月行事 S63. 1. 1
弓引き 03. 1. 11



図 1-108 整理番号 108
4. 石鏡 明寅神事 90. 1. 1
正月行事 S63. 1. 1
弓引き 03. 1. 11



図 1-112 整理番号 112
4. 石鏡 明寅神事 90. 1. 1
正月行事 S63. 1. 1
弓引き 03. 1. 11



図 1-116 整理番号 116
4. 石鏡 明寅神事 90. 1. 1
正月行事 S63. 1. 1
弓引き 03. 1. 11



図 1-109 整理番号 109
4. 石鏡 明寅神事 90. 1. 1
正月行事 S63. 1. 1
弓引き 03. 1. 11



図 1-113 整理番号 113
4. 石鏡 明寅神事 90. 1. 1
正月行事 S63. 1. 1
弓引き 03. 1. 11



図 1-117 整理番号 117
4. 石鏡 明寅神事 90. 1. 1
正月行事 S63. 1. 1
弓引き 03. 1. 11



図 1-118 整理番号 118
4. 石鏡 明寅神事 90. 1. 1
正月行事 S63. 1. 1
弓引き 03. 1. 11



図 1-119 整理番号 119
4. 石鏡 明寅神事 90. 1. 1
正月行事 S63. 1. 1
弓引き 03. 1. 11



図 1-120 整理番号 120
4. 石鏡 明寅神事 90. 1. 1
正月行事 S63. 1. 1
弓引き 03. 1. 11



図 1-121 整理番号 121
17-1. 祭スライド 1



図 1-122 整理番号 122
17-1. 祭スライド 1



図 1-123 整理番号 123
29. 祭スライド 8



図 1-124 整理番号 124
29. 祭スライド 8



図 1-125 整理番号 125
20. 相差 獅子舞 90. 1. 5



図 1-126 整理番号 126
20. 相差 獅子舞 90. 1. 5

3) 三重県博物館所蔵資料



図 1-127 整理番号 127
石鏡の道端で



図 1-128 整理番号 128
鳥羽の漁村の民家



図 1-129 整理番号 129
鳥羽の漁村のきょうだい



図 1-130 整理番号 130
鳥羽の漁村のきょうだい



図 1-131 整理番号 131
鳥羽の漁村の日常



図 1-132 整理番号 132
鳥羽の漁村の道端で



図 1-133 整理番号 133
柴の長さを切りそろえる。
こどももお手伝い。



図 1-134 整理番号 134
桶で水汲みに行く女性

4) 鳥羽デジタルアーカイブス資料



図 1-135 整理番号 135
石鏡町のオチネ



図 1-136 整理番号 136
石鏡町の海女の出漁風景



図 1-137 整理番号 137
石鏡町の景観

5) アサヒ写真ブック 伊勢志摩 (朝日新聞, 1958)



図 1-138 整理番号 138



図 1-140 整理番号 140



図 1-142 整理番号 142



図 1-139 整理番号 139



図 1-141 整理番号 141

6) 写真アルバム 伊勢・志摩の昭和 (樹林舎, 2013)



図 1-143 整理番号 143
石鏡の漁村を往診する医師



図 1-144 整理番号 144
家路のひとつ



図 1-145 整理番号 145
港へ出港

表 1 石鏡の調査対象料一覧

整理番号	アーカイブス資料名	写真番号 ページ数	年代の記述	年代												シーン	
				昭和 元年代	昭和 10年代	昭和 20年代	昭和 30年代	昭和 40年代	昭和 50年代	昭和 60年代	平成 元年代	平成 10年代	平成 20年代	不明	全体 写真	部分 写真	
海の博物館所蔵資料 海女アーカイブ																	
1	石鏡の海女1-1-6	911	S48.7.11						1							1	
2	石鏡の海女1-2-2	913	S48.7.11						1							1	
3	石鏡の海女1-2-6	917	S48.7.11						1							1	
4	石鏡の海女1-2-7	919													1	1	
5	石鏡の海女1-4-2	925	S48.7.11						1							1	
6	石鏡の海女1-6-2	935	S48.7.11						1							1	
7	石鏡の進水式様子11-3-2	1034	S49.1.20						1							1	
8	石鏡11-4-2	1039	(不明)												1	1	
9	石鏡11-4-3	1040	(不明)												1	1	
10	石鏡11-4-6	1043	(不明)												1	1	
11	石鏡の進水式様子11-5-4	1047	S49.1.20						1							1	
12	石鏡の進水式様子11-6-2	1051	S49.1.20						1							1	
13	石鏡海女の出漁12-1-3	1057	S48.7.11						1							1	
14	石鏡海女の出漁12-2-3	1063	S48.7.11						1							1	
15	石鏡海女の出漁12-2-6	1066	S48.7.11						1							1	
16	石鏡海女の出漁12-6-1	1085	S48.7.11						1							1	
17	国崎(海女)10-6-4	1592	S47.7.31~8.1						1							1	
18	石鏡潜き下り1-2	1684	H10.2.17										1			1	
19	石鏡潜き下り1-3	1685	H10.2.17										1			1	
20	石鏡(潜き下り)2-8	1708	H10.2.17										1			1	
21	石鏡(潜き下り)2-10	1710	H10.2.17										1			1	
22	石鏡かづきおり(潜き下り)3-4	1716	H2.2.16										1			1	
23	石鏡かづきおり(潜き下り)3-8	1720	H2.2.16										1			1	
24	石鏡(潜き下り)4-3	1727	H2.2.16										1			1	
25	石鏡かづきおり(潜き下り)5-9	1745	H2.2.16										1			1	
26	石鏡3-4-5	1747	S52.7.1							1						1	
27	石鏡3-4-6	1748	S52.7.1							1						1	
28	石鏡3-5-2	1750	S52.7.1							1						1	
29	石鏡3-6-1	1755	S52.7.1							1						1	
30	石鏡木村并助宅出土鯨骨5-5-1	1812	(S50.5)							1						1	
31	石鏡木村并助宅出土鯨骨5-5-4	1815	(S50.5)							1						1	
32	石鏡辻札・正月始6-2-2	1831	S63.12.13										1			1	
33	石鏡海女の出漁下り7-3-2	1861	H2.2.16												1	1	
海の博物館所蔵資料 海女アーカイブ以外																	
34	10018806① 志摩の祭 3	DH000198	昭和49年1月11日						1							1	
35	10018806① 志摩の祭 3	DH000199	昭和49年1月11日						1							1	
36	10018806② 志摩の祭 3	DH000006	昭和49年1月11日						1							1	
37	10018806② 志摩の祭 3	DH000007	昭和49年1月11日						1							1	
38	10018806② 志摩の祭 3	DH000010	昭和49年1月11日						1							1	
39	10018806② 志摩の祭 3	DH000012	昭和49年1月11日						1							1	
40	10018806② 志摩の祭 3	DH000019	昭和49年1月11日						1							1	
41	10018806② 志摩の祭 3	DH000023	昭和49年1月11日						1							1	
42	10018806② 志摩の祭 3	DH000033	昭和49年1月11日						1							1	
43	10018806② 志摩の祭 3	DH000037	昭和49年1月11日						1							1	
44	10018806② 志摩の祭 3	DH000038	昭和49年1月11日						1							1	
45	10018806② 志摩の祭 3	DH000040	昭和49年1月11日						1							1	
46	10018806② 志摩の祭 3	DH000041	昭和49年1月11日						1							1	
47	10018806② 志摩の祭 3	DH000052	昭和49年1月11日						1							1	
48	10018806② 志摩の祭 3	DH000053	昭和49年1月11日						1							1	
49	10018806② 志摩の祭 3	DH000054	昭和49年1月11日						1							1	
50	10018806② 志摩の祭 3	DH000056	昭和49年1月11日						1							1	
51	10018806② 志摩の祭 3	DH000058	昭和49年1月11日						1							1	
52	10018806② 志摩の祭 3	DH000059	昭和49年1月11日						1							1	
53	10018806② 志摩の祭 3	DH000060	昭和49年1月11日						1							1	
54	10018806② 志摩の祭 3	DH000063	昭和49年1月11日						1							1	
55	10018806② 志摩の祭 3	DH000064	昭和49年1月11日						1							1	
56	1.石鏡入り渡し <small>の</small> 神事	A06001	平成2年1月3日										1			1	
57	1.石鏡入り渡し <small>の</small> 神事	A06004	平成2年1月3日										1			1	
58	1.石鏡入り渡し <small>の</small> 神事	A06005	平成2年1月3日										1			1	
59	1.石鏡入り渡し <small>の</small> 神事	A06006	平成2年1月3日										1			1	
60	1.石鏡入り渡し <small>の</small> 神事	A06007	平成2年1月3日										1			1	
61	1.石鏡入り渡し <small>の</small> 神事	A06050	平成2年1月3日										1			1	
62	1.石鏡入り渡し <small>の</small> 神事	A06081	平成2年1月3日										1			1	
63	2.石鏡 みそぎ90.1.1 みかん下がらしH2.1.2	A06152	平成2年1月2日										1			1	
64	2.石鏡 みそぎ90.1.1 みかん下がらしH2.1.2	A06189	平成2年1月2日										1			1	
65	2.石鏡 みそぎ90.1.1 みかん下がらしH2.1.2	A06212	平成2年1月3日										1			1	
66	2.石鏡 みそぎ90.1.1 みかん下がらしH2.1.2	A06225	1992年4月26日										1			1	
67	2.石鏡 みそぎ90.1.1 みかん下がらしH2.1.2	A06242													1	1	
68	2.石鏡 みそぎ90.1.1 みかん下がらしH2.1.2	A06243													1	1	
69	2.石鏡 みそぎ90.1.1 みかん下がらしH2.1.2	A06252													1	1	
70	3.石鏡の辻札書 <small>の</small> 神事 石鏡当ヤのおちね	A06279	平成元年12月13日										1			1	
71	3.石鏡の辻札書 <small>の</small> 神事 石鏡当ヤのおちね	A06282	平成元年12月13日										1			1	
72	3.石鏡の辻札書 <small>の</small> 神事 石鏡当ヤのおちね	A06314	平成元年12月13日										1			1	
73	3.石鏡の辻札書 <small>の</small> 神事 石鏡当ヤのおちね	A06316	平成元年12月31日										1			1	
74	3.石鏡の辻札書 <small>の</small> 神事 石鏡当ヤのおちね	A06329	平成元年12月31日										1			1	

整理番号	アーカイブ資料名	写真番号 ページ数	年代の記述	年代												シーン		
				昭和 元年代	昭和 10年代	昭和 20年代	昭和 30年代	昭和 40年代	昭和 50年代	昭和 60年代	平成 元年代	平成 10年代	平成 20年代	不明	全体 写真	部分 写真		
75	3.石鏡の辻札書の神事 石鏡当ヤのおちね	A06336	平成元年12月31日												1			1
76	3.石鏡の辻札書の神事 石鏡当ヤのおちね	A06339	平成元年12月31日												1			1
77	3.石鏡の辻札書の神事 石鏡当ヤのおちね	A06343	平成元年12月31日												1			1
78	3.石鏡の辻札書の神事 石鏡当ヤのおちね	A06363	平成元年12月31日												1			1
79	4.石鏡 明寅神事90.1.1 正月行事S63.1.1 弓引き03.1.11	A06366	昭和63年1月5日											1			1	
80	4.石鏡 明寅神事90.1.1 正月行事S63.1.1 弓引き03.1.11	A06368	昭和63年1月11日											1			1	
81	4.石鏡 明寅神事90.1.1 正月行事S63.1.1 弓引き03.1.11	A06372	昭和63年1月11日											1			1	
82	4.石鏡 明寅神事90.1.1 正月行事S63.1.1 弓引き03.1.11	A06373	昭和63年1月11日											1			1	
83	4.石鏡 明寅神事90.1.1 正月行事S63.1.1 弓引き03.1.11	A06376	昭和63年1月11日											1			1	
84	4.石鏡 明寅神事90.1.1 正月行事S63.1.1 弓引き03.1.11	A06377	昭和63年1月11日											1			1	
85	4.石鏡 明寅神事90.1.1 正月行事S63.1.1 弓引き03.1.11	A06381	昭和63年1月11日											1			1	
86	4.石鏡 明寅神事90.1.1 正月行事S63.1.1 弓引き03.1.11	A06408	平成15年1月11日											1			1	
87	4.石鏡 明寅神事90.1.1 正月行事S63.1.1 弓引き03.1.11	A06413	平成15年1月11日											1			1	
88	4.石鏡 明寅神事90.1.1 正月行事S63.1.1 弓引き03.1.11	A06417	平成15年1月11日											1			1	
89	4.石鏡 明寅神事90.1.1 正月行事S63.1.1 弓引き03.1.11	A06418	平成15年1月11日											1			1	
90	4.石鏡 明寅神事90.1.1 正月行事S63.1.1 弓引き03.1.11	A06424	平成15年1月11日											1			1	
91	4.石鏡 明寅神事90.1.1 正月行事S63.1.1 弓引き03.1.11	A06425	平成15年1月11日											1			1	
92	4.石鏡 明寅神事90.1.1 正月行事S63.1.1 弓引き03.1.11	A06426	平成15年1月11日											1			1	
93	4.石鏡 明寅神事90.1.1 正月行事S63.1.1 弓引き03.1.11	A06427	平成15年1月11日											1			1	
94	4.石鏡 明寅神事90.1.1 正月行事S63.1.1 弓引き03.1.11	A06430	平成15年1月11日											1			1	
95	4.石鏡 明寅神事90.1.1 正月行事S63.1.1 弓引き03.1.11	A06433	平成15年1月11日											1			1	
96	4.石鏡 明寅神事90.1.1 正月行事S63.1.1 弓引き03.1.11	A06445	昭和63年1月11日											1			1	
97	4.石鏡 明寅神事90.1.1 正月行事S63.1.1 弓引き03.1.11	A06457	昭和63年1月11日											1			1	
98	4.石鏡 明寅神事90.1.1 正月行事S63.1.1 弓引き03.1.11	A06468	昭和63年1月11日											1			1	
99	4.石鏡 明寅神事90.1.1 正月行事S63.1.1 弓引き03.1.11	A06469	昭和63年1月11日											1			1	
100	4.石鏡 明寅神事90.1.1 正月行事S63.1.1 弓引き03.1.11	A06473	昭和63年1月11日											1			1	
101	4.石鏡 明寅神事90.1.1 正月行事S63.1.1 弓引き03.1.11	A06474	昭和63年1月11日											1			1	
102	4.石鏡 明寅神事90.1.1 正月行事S63.1.1 弓引き03.1.11	A06478	昭和63年1月11日											1			1	
103	4.石鏡 明寅神事90.1.1 正月行事S63.1.1 弓引き03.1.11	A06483	昭和63年1月11日											1			1	
104	4.石鏡 明寅神事90.1.1 正月行事S63.1.1 弓引き03.1.11	A06488	昭和63年1月11日											1			1	
105	4.石鏡 明寅神事90.1.1 正月行事S63.1.1 弓引き03.1.11	A06495	昭和63年1月11日											1			1	
106	4.石鏡 明寅神事90.1.1 正月行事S63.1.1 弓引き03.1.11	A06496	昭和63年1月11日											1			1	
107	4.石鏡 明寅神事90.1.1 正月行事S63.1.1 弓引き03.1.11	A06508	昭和63年1月11日											1			1	
108	4.石鏡 明寅神事90.1.1 正月行事S63.1.1 弓引き03.1.11	A06513	昭和63年1月11日											1			1	
109	4.石鏡 明寅神事90.1.1 正月行事S63.1.1 弓引き03.1.11	A06514	昭和63年1月5日											1			1	
110	4.石鏡 明寅神事90.1.1 正月行事S63.1.1 弓引き03.1.11	A06516	昭和63年1月5日											1			1	
111	4.石鏡 明寅神事90.1.1 正月行事S63.1.1 弓引き03.1.11	A06519	昭和63年1月5日											1			1	
112	4.石鏡 明寅神事90.1.1 正月行事S63.1.1 弓引き03.1.11	A06520	昭和63年1月5日											1			1	
113	4.石鏡 明寅神事90.1.1 正月行事S63.1.1 弓引き03.1.11	A06524	昭和63年1月5日											1			1	
114	4.石鏡 明寅神事90.1.1 正月行事S63.1.1 弓引き03.1.11	A06525	昭和63年1月5日											1			1	
115	4.石鏡 明寅神事90.1.1 正月行事S63.1.1 弓引き03.1.11	A06526	昭和63年1月5日											1			1	
116	4.石鏡 明寅神事90.1.1 正月行事S63.1.1 弓引き03.1.11	A06531	昭和63年1月5日											1			1	
117	4.石鏡 明寅神事90.1.1 正月行事S63.1.1 弓引き03.1.11	A06532	昭和63年1月5日											1			1	
118	4.石鏡 明寅神事90.1.1 正月行事S63.1.1 弓引き03.1.11	A06533	昭和63年1月5日											1			1	
119	4.石鏡 明寅神事90.1.1 正月行事S63.1.1 弓引き03.1.11	A06535	昭和63年1月5日											1			1	
120	4.石鏡 明寅神事90.1.1 正月行事S63.1.1 弓引き03.1.11	A06566	1990年1月11日											1			1	
121	17-1.祭スライド1	A13915	平成2年1月2日											1			1	
122	17-1.祭スライド1	A13923	平成2年1月2日											1			1	
123	29.祭スライド8	A15773	1991年12月13日											1			1	
124	29.祭スライド8	A15780	1989年12月13日											1			1	
125	20.相差 獅子舞90.1.5	A08264	1990年1月5日											1			1	
126	20.相差 獅子舞90.1.5	A08269	1990年1月5日											1			1	
三重県博物館所蔵資料																		
127	石鏡の道端で		昭和30年代														1	
128	鳥羽の漁村の民家		昭和30年代														1	
129	鳥羽の漁村のきょうだい		昭和30年代														1	
130	鳥羽の漁村のきょうだい		昭和30年代														1	
131	鳥羽の漁村の日常		昭和30年代														1	
132	鳥羽の漁村の道端で		昭和30年代														1	
133	柴の長さを切りそろえる。こどももお手伝い。		昭和30年代														1	
134	桶で水汲みに行く女性		昭和30年代														1	
鳥羽デジタルアーカイブ資料																		
135	石鏡町のオチネ	2771	1940年代以降														1	
136	石鏡町の海女の出漁風景	2791	昭和30年代														1	
137	石鏡町の景観	2794	昭和30年代														1	
アサヒ写真ブック 伊勢志摩 (朝日新聞,1958)																		
138		p.33 左下	昭和33年8月発行														1	
139		p.62 右下	昭和33年8月発行														1	
140		p.62 左上	昭和33年8月発行														1	
141		p.63 右中	昭和33年8月発行														1	
142		p.63 左下	昭和33年8月発行														1	
写真アルバム 伊勢・志摩の昭和 (樹林舎,2013)																		
143	石鏡の漁村を往診する医師	p.172 下	昭和30年代														1	
144	家路のひととき	p.178 中	昭和30年代														1	
145	港へ出港	P.180 中	昭和30年代														1	
総計				昭和 元年代	昭和 10年代	昭和 20年代	昭和 30年代	昭和 40年代	昭和 50年代	昭和 60年代	平成 元年代	平成 10年代	平成 20年代	不明	全体 写真	部分 写真		
				0	0	0	18	35	6	36	42	0	0	8	29	29	116	
年代が確定したもの												137	総数	145		145		

2 国崎

本編 6-1-3 で選定した国崎の写真を、掲載資料ごとに示す。なお写真の整理番号は節末の表 2 と対応している。

1) 海の博物館所蔵資料 海女アーカイブ



図 2-1 整理番号 1
国崎の海女 1-2-1



図 2-2 整理番号 2
国崎の海女 1-2-4



図 2-3 整理番号 3
国崎の海女 1-4-6



図 2-4 整理番号 4
国崎の海女 2-5-1



図 2-5 整理番号 5
国崎の海女 3-1-2



図 2-6 整理番号 6
国崎の海女 3-1-4



図 2-7 整理番号 7
国崎海女 ウニ取り
世古昌男の舟 4-2-4



図 2-8 整理番号 8
国崎海女 ウニ取り
世古昌男の舟 4-2-5



図 2-9 整理番号 9
国崎海女 ウニ取り
世古昌男の舟 4-3-3



図 2-10 整理番号 10
国崎海女 ウニ取り
世古昌男の舟 4-3-4



図 2-11 整理番号 11
国崎海女 ウニ取り
世古昌男の舟 4-3-5



図 2-12 整理番号 12
国崎ウニとり 5-2-3



図 2-13 整理番号 13
国崎ウニとり 5-2-5



図 2-14 整理番号 14
国崎ウニ漁 5-4-1



図 2-15 整理番号 15
国崎ウニ漁 6-3-3



図 2-16 整理番号 16
国崎の海女作業
ウニ漁 6-4-3



図 2-17 整理番号 17
国崎の海女作業
ウニ漁 6-4-4



図 2-18 整理番号 18
国崎の海女作業
ウニ漁 6-4-5



図 2-19 整理番号 19
国崎の海女作業
ウニ漁 6-4-6



図 2-20 整理番号 20
国崎の街並み景観 7-5-3



図 2-21 整理番号 21
国崎の街並み景観 7-5-4



図 2-22 整理番号 22
国崎の街並み景観 7-5-5



図 2-23 整理番号 23
国崎(海女) 3-1-8



図 2-24 整理番号 24
国崎(海女) 3-2-5



図 2-25 整理番号 25
国崎(海女) 3-5-6



図 2-26 整理番号 26
国崎(海女)3-6-5



図 2-27 整理番号 27
国崎(海女)5-3-3



図 2-28 整理番号 28
国崎(海女)5-3-4



図 2-29 整理番号 29
国崎(海女)5-3-5



図 2-30 整理番号 30
国崎 6-4-3



図 2-31 整理番号 31
国崎 6-4-6



図 2-32 整理番号 32
国崎 7-2-1



図 2-33 整理番号 33
国崎 7-2-4



図 2-34 整理番号 34
国崎 7-3-2

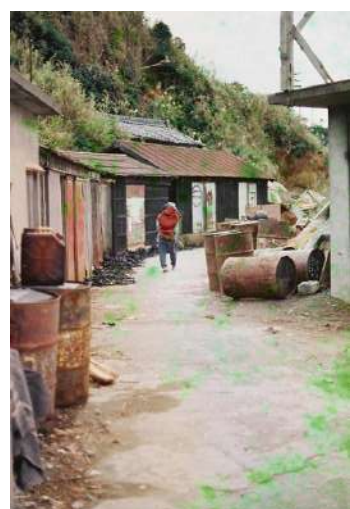


図 2-35 整理番号 35
国崎 7-3-4



図 2-36 整理番号 36
国崎 ととかか舟 9-1-3



図 2-37 整理番号 37
国崎(海女)9-5-4



図 2-38 整理番号 38
国崎 11-1-6



図 2-39 整理番号 39
国崎 11-2-1



図 2-40 整理番号 40
国崎(海女)12-1-3



図 2-41 整番号 41
国崎(海女)12-1-4



図 2-42 整理番号 42
国崎(海女)12-1-5



図 2-43 整理番号 43
国崎の油タンカーもれ 1-3-2



図 2-44 整理番号 44
国崎 2-2-1



図 2-45 整理番号 45
国崎 2-2-2



図 2-46 整理番号 46
国崎 2-2-6



图 2-47 整理番号 47
国崎 2-3-2



图 2-48 整理番号 48
国崎 2-3-4



图 2-49 整理番号 49
国崎 2-3-5



图 2-50 整理番号 50
国崎 2-5-1



图 2-51 整理番号 51
国崎 2-5-4



图 2-52 整理番号 52
国崎 2-6-2



图 2-53 整理番号 53
国崎 2-6-3



图 2-54 整理番号 54
国崎 2-6-4



图 2-55 整理番号 55
国崎 2-6-5



図 2-56 整理番号 56
国崎(海女)B-1-1



図 2-59 整理番号 59
国崎の海女 B-4-11



図 2-62 整理番号 62
国崎 B-6-3



図 2-63 整理番号 63
国崎 B-6-14



図 2-57 整理番号 57
国崎(海女)B-2-15



図 2-60 整理番号 60
国崎の海女 B-4-14



図 2-64 整理番号 64
国崎 B-6-17



図 2-58 整理番号 58
国崎(海女)B-2-16



図 2-61 整理番号 61
(国崎の海女)B-5-14



図 2-65 整理番号 65
国崎 B-6-18



図 2-66 整理番号 66
国崎 B-6-19



図 2-67 整理番号 67
国崎の海女 B-7-15



図 2-68 整理番号 68
国崎のトトカカ舟 B-9-14



図 2-69 整理番号 69
国崎の海女 B-10-7



図 2-70 整理番号 70
国崎の海女 B-10-8



図 2-71 整理番号 71
国崎(海女)D-10-11



図 2-72 整理番号 72
国崎町(海女)1-2-3



図 2-73 整理番号 73
国崎町(海女)1-2-5



図 2-74 整理番号 74
国崎町(海女)2-1-1



図 2-75 整理番号 75
国崎町(海女)4-3-1



図 2-78 整理番号 78
国崎町(海女)7-3-3



図 2-81 整理番号 81
国崎町(海女)8-2-3



図 2-76 整理番号 76
国崎町(海女)4-3-2



図 2-79 整理番号 79
国崎町(海女)8-1-5



図 2-82 整理番号 82
国崎町(海女)8-3-1



図 2-77 整理番号 77
国崎町(海女)7-3-1



図 2-80 整理番号 80
国崎(海女)8-2-1



図 2-83 整理番号 83
国崎町(海女)11-2-1



図 2-84 整理番号 84
国崎町(海女) 12-1-6



図 2-88 整理番号 88
国崎町(海女) 17-3-2



図 2-91 整理番号 91
国崎町(海女) 18-3-4



図 2-85 整理番号 85
国崎町(海女) 13-1-3



図 2-89 整理番号 89
国崎町(海女) 17-3-5



図 2-92 整理番号 92
国崎町(海女) 21-2-3



図 2-86 整理番号 86
国崎町(海女) 13-1-5



図 2-90 整理番号 90
国崎町(海女) 18-3-1



図 2-87 整理番号 87
国崎町(海女) 17-2-6



図 2-93 整理番号 93
国崎(海女) 21-2-4



图 2-94 整理番号 94
国崎町(海女)21-2-4



图 2-95 整理番号 95
国崎町(海女)25-1-2



图 2-96 整理番号 96
国崎町(海女)25-2-2



图 2-97 整理番号 97
国崎町(海女)25-2-5



图 2-98 整理番号 98
国崎町(海女)25-2-6



图 2-99 整理番号 99
国崎町(海女)25-3-2



图 2-100 整理番号 100
国崎町(海女)25-3-3



图 2-101 整理番号 101
国崎町(海女)25-3-5



图 2-102 整理番号 102
国崎町(海女)26-1-1



图 2-103 整理番号 103
国崎町(海女)27-1-5



图 2-104 整理番号 104
国崎町(海女)27-1-6



图 2-105 整理番号 105
国崎町(海女)27-2-2



图 2-106 整理番号 106
国崎町(海女)27-2-3



图 2-107 整理番号 107
国崎町(海女)27-2-5



図 2-108 整理番号 108
国崎町(海女)27-3-4



図 2-109 整理番号 109
国崎町(海女)27-3-5



図 2-110 整理番号 110
国崎町(海女)28-1-1



図 2-111 整理番号 111
国崎町(海女)28-1-3



図 2-112 整理番号 112
国崎町(海女)28-1-4



図 2-113 整理番号 113
国崎町(海女)28-2-4



図 2-114 整理番号 114
国崎のっと正月



図 2-115 整理番号 115
国崎二船祭



図 2-116 整理番号 116
国崎二船祭



図 2-117 整理番号 117
国崎の熨斗鯨づくり



図 2-118 整理番号 118
国崎の熨斗鯨づくり

2) 海の博物館所蔵資料 海女アーカイブ以外



図 2-119 整理番号 119
10018803①志摩の祭 1



図 2-120 整理番号 120
10018803①志摩の祭 1



図 2-121 整理番号 121
10018803①志摩の祭 1



図 2-122 整理番号 122
10018803①志摩の祭 1



図 2-123 整理番号 123
10018803①志摩の祭 1



図 2-124 整理番号 124
10018803①志摩の祭 1



図 2-125 整理番号 125
10018803①志摩の祭 1



図 2-126 整理番号 126
10018803①志摩の祭 1



図 2-127 整理番号 127
10018803①志摩の祭 3



図 2-128 整理番号 128
10018803①志摩の祭 3



図 2-129 整理番号 129
10018803①志摩の祭 3



図 2-130 整理番号 130
10018803①志摩の祭 3



図 2-131 整理番号 131
10018803①志摩の祭 3



図 2-132 整理番号 132
10018803①志摩の祭 3



図 2-133 整理番号 133
10018803①志摩の祭 3



図 2-134 整理番号 134
10018803①志摩の祭 3



図 2-135 整理番号 135
10018803①志摩の祭 3



図 2-136 整理番号 136
10018803①志摩の祭 3



図 2-137 整理番号 137
10018803①志摩の祭 3



図 2-138 整理番号 138
10018912①(栗原①)



図 2-139 整理番号 139
10018912①(栗原①)



図 2-140 整理番号 140
10018912①(栗原①)



図 2-143 整理番号 143
10018912①(栗原①)



図 2-146 整理番号 146
5. 国崎の港祭小浜の港祭



図 2-147 整理番号 147
5. 国崎の港祭小浜の港祭



図 2-141 整理番号 141
10018912①(栗原①)



図 2-144 整理番号 144
10018912①(栗原①)



図 2-148 整理番号 148
5. 国崎の港祭小浜の港祭



図 2-142 整理番号 142
10018912①(栗原①)



図 2-145 整理番号 145
10018912①(栗原①)



図 2-149 整理番号 149
11-1. 志摩の祭 5'



図 2-150 整理番号 150
11-1. 志摩の祭 5'



図 2-151 整理番号 151
11-1. 志摩の祭 5'



図 2-152 整理番号 152
11-1. 志摩の祭 5'



図 2-153 整理番号 153
11-1. 志摩の祭 5'



図 2-154 整理番号 154
11-1. 志摩の祭 5'



図 2-155 整理番号 155
11-1. 志摩の祭 5'



図 2-156 整理番号 156
11-1. 志摩の祭 5'



図 2-157 整理番号 157
11-1. 志摩の祭 5'



図 2-158 整理番号 158
11-1. 志摩の祭 5'



図 2-159 整理番号 159
11-1. 志摩の祭 5'



図 2-160 整理番号 160
11-1. 志摩の祭 5'



図 2-161 整理番号 161
11-1. 志摩の祭 5'



図 2-162 整理番号 162
11-1. 志摩の祭 5'



図 2-163 整理番号 163
11-1. 志摩の祭 5'



図 2-164 整理番号 164
12. 信仰・風俗・立地



図 2-165 整理番号 165
12. 信仰・風俗・立地



図 2-166 整理番号 166
14-1. のし調進国崎



図 2-167 整理番号 167
14-1. のし調進国崎



図 2-168 整理番号 168
14-1. のし調進国崎



図 2-169 整理番号 169
14-1. のし調進国崎



図 2-170 整理番号 170
14-1. のし調進国崎



図 2-171 整理番号 171
14-1. のし調進国崎



図 2-172 整理番号 172
14-1. のし調進国崎



図 2-173 整理番号 173
14-1. のし調進国崎



図 2-174 整理番号 174
14-1. のし調進国崎



図 2-175 整理番号 175
14-1. のし調進国崎



図 2-176 整理番号 176
14-1. のし調進国崎

3) 志摩の漁村 (牧野由朗, 愛知大学総合郷土研究所研究叢書 9, 1994)



図 2-177 整理番号 177
鳥羽市国崎町全景



図 2-179 整理番号 179
国崎漁協協同組合事務所



図 2-180 整理番号 180
むらの規制をうける販売店



図 2-178 整理番号 178
国崎むらの中心部

表 2 国崎の調査対象料一覧

整理番号	アーカイブス資料名	写真番号 ページ数	年代の記述	年代												シーン	
				昭和 元年代	昭和 10年代	昭和 20年代	昭和 30年代	昭和 40年代	昭和 50年代	昭和 60年代	平成 元年代	平成 10年代	平成 20年代	不明	全体 写真	部分 写真	
海の博物館所蔵資料 海女アーカイブ																	
1	国崎の海女1-2-1	1091	S49.1.2							1							1
2	国崎の海女1-2-4	1093	S49.1.2							1							1
3	国崎の海女1-4-6	1107	S49.5.9							1							1
4	国崎の海女2-5-1	1143	49.8.10							1							1
5	国崎の海女3-1-2	1155	(不明)													1	1
6	国崎の海女3-1-4	1157	(不明)													1	1
7	国崎海女 ウニ取り 世古昌男の舟4-2-4	1194	S53.9.20							1							1
8	国崎海女 ウニ取り 世古昌男の舟4-2-5	1195	S53.9.20							1							1
9	国崎海女 ウニ取り 世古昌男の舟4-3-3	1199	S53.9.20							1							1
10	国崎海女 ウニ取り 世古昌男の舟4-3-4	1200	S53.9.20							1							1
11	国崎海女 ウニ取り 世古昌男の舟4-3-5	1201	S53.9.20							1							1
12	国崎ウニとり5-2-3	1222	S53.9.20							1							1
13	国崎ウニとり5-2-5	1224	S53.9.20							1							1
14	国崎ウニ漁5-4-1	1231	S53.9.20							1							1
15	国崎ウニ漁6-3-3	1260	S53.9.20							1							1
16	国崎の海女作業 ウニ漁6-4-3	1264	S53.9.20							1							1
17	国崎の海女作業 ウニ漁6-4-4	1265	S53.9.20							1							1
18	国崎の海女作業 ウニ漁6-4-5	1266	S53.9.20							1							1
19	国崎の海女作業 ウニ漁6-4-6	1267	S53.9.20							1							1
20	国崎の街並み景観7-5-3	1301	S53.10.12							1							1
21	国崎の街並み景観7-5-4	1302	S53.10.12							1							1
22	国崎の街並み景観7-5-5	1303	S53.10.12							1							1
23	国崎(海女)3-1-8	1383	(S47)						1								1
24	国崎(海女)3-2-5	1388	(S47)						1								1
25	国崎(海女)3-5-6	1407	(S47)						1								1
26	国崎(海女)3-6-5	1412	(不明)													1	1
27	国崎(海女)5-3-3	1452	(S47)						1								1
28	国崎(海女)5-3-4	1453	(S47)						1								1
29	国崎(海女)5-3-5	1454	(S47)						1								1
30	国崎6-4-3	1464	S47.8.17						1								1
31	国崎6-4-6	1467	(不明)													1	1
32	国崎7-2-1	1474	(不明)													1	1
33	国崎7-2-4	1477	(不明)													1	1
34	国崎7-3-2	1481	(不明)													1	1
35	国崎7-3-4	1483	(不明)													1	1
36	国崎 ととかか舟9-1-3	1533	S47.7.31~8.1						1								1
37	国崎(海女)9-5-4	1558	S48.9.18						1								1
38	国崎11-1-6	1603	S48.10.10						1								1
39	国崎11-2-1	1604	S48.10.10						1								1
40	国崎(海女)12-1-3	1612	S48.9.18						1								1
41	国崎(海女)12-1-4	1613	S48.9.18						1								1
42	国崎(海女)12-1-5	1614	S48.9.18						1								1
43	国崎の油タンカーもれ1-3-2	1642	S48.5.12						1								1
44	国崎2-2-1	1649	S48.1.18						1								1
45	国崎2-2-2	1650	S48.1.18						1								1
46	国崎2-2-6	1654	S48.1.18						1								1
47	国崎2-3-2	1656	S48.1.18						1								1
48	国崎2-3-4	1658	S48.1.18						1								1
49	国崎2-3-5	1659	S48.1.18						1								1
50	国崎2-5-1	1666	S48.1.18						1								1
51	国崎2-5-4	1669	S48.1.18						1								1
52	国崎2-6-2	1673	S48.1.18						1								1
53	国崎2-6-3	1674	S48.1.18						1								1
54	国崎2-6-4	1675	S48.1.18						1								1
55	国崎2-6-5	1676	S48.1.18						1								1
56	国崎(海女)B-1-1	2072	昭和47年8月17日						1								1
57	国崎(海女)B-2-15	2103	昭和47年8月17日						1								1
58	国崎(海女)B-2-16	2104	昭和47年8月17日						1								1
59	国崎の海女B-4-11	2135	昭和47年8月17日						1								1
60	国崎の海女B-4-14	2138	昭和47年8月17日						1								1
61	(国崎の海女)B-5-14	2152	昭和47年8月17日						1								1
62	国崎B-6-3	2156	昭和47年8月17日						1								1
63	国崎B-6-14	2167	昭和47年8月17日						1								1
64	国崎B-6-17	2170	昭和47年8月17日						1								1
65	国崎B-6-18	2171	昭和47年8月17日						1								1
66	国崎B-6-19	2172	昭和47年8月17日						1								1
67	国崎の海女B-7-15	2187	昭和47年8月17日						1								1
68	国崎のトトカ力舟B-9-14	2217	昭和47年8月17日						1								1
69	国崎の海女B-10-7	2228	昭和47年8月17日						1								1
70	国崎の海女B-10-8	2229	昭和47年8月17日						1								1
71	国崎(海女)D-10-11	2488	昭和47年8月17日						1								1
72	国崎町(海女)1-2-3	2658	S47.夏						1								1
73	国崎町(海女)1-2-5	2660	S47.夏						1								1
74	国崎町(海女)2-1-1	2668	S47.夏						1								1

整理番号	アーカイブス資料名	写真番号 ページ数	年代の記述	年代											シーン			
				昭和 元年代	昭和 10年代	昭和 20年代	昭和 30年代	昭和 40年代	昭和 50年代	昭和 60年代	平成 元年代	平成 10年代	平成 20年代	不明	全体 写真	部分 写真		
75	国崎町(海女)4-3-1	2716	S47_夏						1									1
76	国崎町(海女)4-3-2	2717	S47_夏						1									1
77	国崎町(海女)7-3-1	2763	S47_夏						1									1
78	国崎町(海女)7-3-3	2765	S47_夏						1									1
79	国崎町(海女)8-1-5	2773	S47_夏						1									1
80	国崎町(海女)8-2-1	2775	S47_夏						1									1
81	国崎町(海女)8-2-3	2778	S47_夏						1									1
82	国崎町(海女)8-3-1	2781	S47_夏						1									1
83	国崎町(海女)11-2-1	2823	S47_夏						1								1	
84	国崎町(海女)12-1-6	2835	S47_夏						1									1
85	国崎町(海女)13-1-3	2849	S47_夏						1								1	
86	国崎町(海女)13-1-5	2851	S47_夏						1								1	
87	国崎町(海女)17-2-6	2925	S47_夏						1									1
88	国崎町(海女)17-3-2	2927	S47_夏						1									1
89	国崎町(海女)17-3-5	2930	S47_夏						1									1
90	国崎町(海女)18-3-1	2939	S47_夏						1									1
91	国崎町(海女)18-3-4	2942	S47_夏						1									1
92	国崎町(海女)21-2-3	2989	S47_夏						1									1
93	国崎町(海女)21-2-4	2990	S47_夏						1									1
94	国崎町(海女)21-2-5	2991	S47_夏						1									1
95	国崎町(海女)25-1-2	3049	S47_夏						1									1
96	国崎町(海女)25-2-2	3055	S47_夏						1									1
97	国崎町(海女)25-2-5	3058	S47_夏						1									1
98	国崎町(海女)25-2-6	3059	S47_夏						1									1
99	国崎町(海女)25-3-2	3061	S47_夏						1									1
100	国崎町(海女)25-3-3	3062	S47_夏						1									1
101	国崎町(海女)25-3-5	3064	S47_夏						1									1
102	国崎町(海女)26-1-1	3066	S47_夏						1									1
103	国崎町(海女)27-1-5	3087	S47_夏						1									1
104	国崎町(海女)27-1-6	3088	S47_夏						1									1
105	国崎町(海女)27-2-2	3090	S47_夏						1									1
106	国崎町(海女)27-2-3	3091	S47_夏						1									1
107	国崎町(海女)27-2-5	3093	S47_夏						1									1
108	国崎町(海女)27-3-4	3098	S47_夏						1									1
109	国崎町(海女)27-3-5	3099	S47_夏						1									1
110	国崎町(海女)28-1-1	3101	S47_夏						1									1
111	国崎町(海女)28-1-3	3103	S47_夏						1									1
112	国崎町(海女)28-1-4	3104	S47_夏						1									1
113	国崎町(海女)28-2-4	3110	S47_夏						1									1
114	国崎のつと正月	3145	平成2年1月17日										1					1
115	国崎二船祭	3641	平成元年11月18日										1					1
116	国崎二船祭	3643	平成元年11月18日										1				1	
117	国崎の熨斗鯉づくり	3769	平成元年11月18日										1				1	
118	国崎の熨斗鯉づくり	3770	平成2年9月16日										1					1
海の博物館所蔵資料 海女アーカイブ以外																		
119	10018803① 志摩の祭 1	DH000002	昭和47年11月18日						1									1
120	10018803① 志摩の祭 1	DH000018	昭和47年11月18日						1									1
121	10018803① 志摩の祭 1	DH000027	昭和47年11月18日						1									1
122	10018803① 志摩の祭 1	DH000032	昭和47年11月18日						1									1
123	10018803① 志摩の祭 2	DH000033	昭和47年11月18日						1									1
124	10018803① 志摩の祭 1	DH000034	昭和47年11月18日						1									1
125	10018803① 志摩の祭 1	DH000040	昭和47年11月18日						1									1
126	10018803① 志摩の祭 1	DH000042	昭和47年12月31日						1									1
127	10018806① 志摩の祭 3	DH000011	昭和49年1月5日						1									1
128	10018806① 志摩の祭 3	DH000012	昭和49年1月5日						1									1
129	10018806① 志摩の祭 3	DH000016	昭和49年1月5日						1									1
130	10018806① 志摩の祭 3	DH000038	昭和49年1月5日						1									1
131	10018806① 志摩の祭 3	DH000044	昭和49年1月5日						1									1
132	10018806① 志摩の祭 3	DH000047	昭和49年1月5日						1									1
133	10018806① 志摩の祭 3	DH000048	昭和49年1月5日						1									1
134	10018806① 志摩の祭 3	DH000049	昭和49年1月5日						1									1
135	10018806① 志摩の祭 3	DH000050	昭和49年1月5日						1									1
136	10018806① 志摩の祭 3	DH000052	昭和49年1月5日						1									1
137	10018806① 志摩の祭 3	DH000079	昭和49年1月5日						1									1
138	10018912① (栗原①)	DH000141	昭和49年						1									1
139	10018912① (栗原①)	DH000142	昭和49年						1									1
140	10018912① (栗原①)	DH000166	昭和49年						1									1
141	10018912① (栗原①)	DH000168	昭和49年						1									1
142	10018912① (栗原①)	DH000172	昭和49年						1									1
143	10018912① (栗原①)	DH000173	昭和49年						1									1
144	10018913① (栗原①)	DH000177	昭和49年						1									1
145	10018912① (栗原①)	DH000191	昭和49年						1									1
146	5.国崎の港祭小浜の港祭	A03457	昭和48年8月2日						1									1
147	5.国崎の港祭小浜の港祭	A03464	昭和48年8月2日						1									1
148	5.国崎の港祭小浜の港祭	A03475															1	1
149	11-1.志摩の祭5'	A12741	昭和50年1月7日										1					1
150	11-1.志摩の祭5'	A12742	昭和50年1月7日										1					1

整理番号	アーカイブス資料名	写真番号 ページ数	年代の記述	年代												シーン		
				昭和 元年代	昭和 10年代	昭和 20年代	昭和 30年代	昭和 40年代	昭和 50年代	昭和 60年代	平成 元年代	平成 10年代	平成 20年代	不明	全体 写真	部分 写真		
151	11-1.志摩の祭5'	A12759	昭和50年1月7日							1							1	
152	11-1.志摩の祭5'	A12760	昭和50年1月7日							1							1	
153	11-1.志摩の祭5'	A12761	昭和50年1月7日							1							1	
154	11-1.志摩の祭5'	A12764	昭和50年1月7日							1							1	
155	11-1.志摩の祭5'	A12781	昭和50年1月7日							1							1	
156	11-1.志摩の祭5'	A12787	昭和50年1月7日							1							1	
157	11-1.志摩の祭5'	A12788	昭和50年1月7日							1							1	
158	11-1.志摩の祭5'	A12798	昭和50年1月7日							1							1	
159	11-1.志摩の祭5'	A12802	昭和50年1月7日							1							1	
160	11-1.志摩の祭5'	A12814	昭和50年1月7日							1							1	
161	11-1.志摩の祭5'	A12815	昭和50年1月7日							1							1	
162	11-1.志摩の祭5'	A12817	昭和50年1月7日							1							1	
163	11-1.志摩の祭5'	A12875	昭和51年1月17日							1							1	
164	12.信仰・風俗・立地	A13049	昭和47年12月14日						1								1	
165	12.信仰・風俗・立地	A13056	昭和47年12月14日						1								1	
166	14-1.のし調進国崎	A13432	昭和54年のファイル にネガを同封							1							1	
167	14-1.のし調進国崎	A13433	昭和54年のファイル にネガを同封							1							1	
168	14-1.のし調進国崎	A13437	昭和54年のファイル にネガを同封							1							1	
169	14-1.のし調進国崎	A13471	昭和48年10月10日						1								1	
170	14-1.のし調進国崎	A13474	昭和48年10月10日						1								1	
171	14-1.のし調進国崎	A13537														1	1	
172	14-2.のし調進国崎	A13631														1	1	
173	14-2.のし調進国崎	A13632														1	1	
174	14-2.のし調進国崎	A13655	昭和48年8月17日						1								1	
175	14-2.のし調進国崎	A13668	昭和48年8月17日						1								1	
176	14-2.のし調進国崎	A13686	昭和48年10月10日						1								1	
志摩の漁村 (牧野由朗,愛知大学総合郷土研究所研究叢書9,1994)																		
177	鳥羽市国崎町全景	1	1964年						1								1	
178	国崎むらの中心部	2	1964年						1								1	
179	国崎漁協協同組合事務所	17	1964年						1								1	
180	むらの規制をうける販売店	20	1964年						1								1	
			総計	昭和 元年代	昭和 10年代	昭和 20年代	昭和 30年代	昭和 40年代	昭和 50年代	昭和 60年代	平成 元年代	平成 10年代	平成 20年代	不明	全体 写真	部分 写真		
				0	0	0	4	125	34	0	5	0	0	12	38	142		
				年代が確定したもの								168	総数	180		180		

3 相差

本編 6-1-3 で選定した相差の写真を、掲載資料ごとに示す。なお写真の整理番号は節末の表 3 と対応している。

1) 海の博物館所蔵資料 海女アーカイブ以外



図 3-1 整理番号 1
20. 相差 獅子舞 90. 1. 5



図 3-2 整理番号 2
20. 相差 獅子舞 90. 1. 5



図 3-3 整理番号 3
20. 相差 獅子舞 90. 1. 5



図 3-4 整理番号 4
20. 相差 獅子舞 90. 1. 5



図 3-5 整理番号 5
20. 相差 獅子舞 90. 1. 5



図 3-6 整理番号 6
20. 相差 獅子舞 90. 1. 5



図 3-7 整理番号 7
20. 相差 獅子舞 90. 1. 5



図 3-8 整理番号 8
20. 相差 獅子舞 90. 1. 5



図 3-9 整理番号 9
20. 相差 獅子舞 90. 1. 5



図 3-10 整理番号 10
20. 相差 獅子舞 90. 1. 5



図 3-11 整理番号 11
20. 相差 獅子舞 90. 1. 5



図 3-12 整理番号 12
20. 相差 獅子舞 90. 1. 5



図 3-13 整理番号 13
20. 相差 獅子舞 90. 1. 5



図 3-14 整理番号 14
21. 相差のシシマイ



図 3-15 整理番号 15
21. 相差のシシマイ



図 3-16 整理番号 16
21. 相差のシシマイ



図 3-17 整理番号 17
21. 相差のシシマイ



図 3-18 整理番号 18
21. 相差のシシマイ



図 3-19 整理番号 19
21. 相差のシシマイ



図 3-20 整理番号 20
21. 相差のシシマイ



図 3-21 整理番号 21
21. 相差のシシマイ



図 3-22 整理番号 22
21. 相差のシシマイ



図 3-23 整理番号 23
21. 相差のシシマイ



図 3-24 整理番号 24
21. 相差のシシマイ



図 3-29 整理番号 29
21. 相差のシシマイ



図 3-33 整理番号 33
21. 相差のシシマイ



図 3-25 整理番号 25
21. 相差のシシマイ



図 3-30 整理番号 30
21. 相差のシシマイ



図 3-34 整理番号 34
21. 相差のシシマイ



図 3-26 整理番号 26
21. 相差のシシマイ



図 3-31 整理番号 31
21. 相差のシシマイ



図 3-35 整理番号 35
21. 相差のシシマイ



図 3-27 整理番号 27
21. 相差のシシマイ



図 3-32 整理番号 32
21. 相差のシシマイ



図 3-36 整理番号 36
8. 相差・千賀・堅子



図 3-28 整理番号 28
21. 相差のシシマイ



図 3-37 整理番号 37
8. 相差・千賀・堅子



図 3-38 整理番号 38
8. 相差・千賀・堅子



図 3-39 整理番号 39
8. 相差・千賀・堅子



図 3-40 整理番号 40
8. 相差・千賀・堅子



図 3-41 整理番号 41
8. 相差・千賀・堅子



図 3-42 整理番号 42
8. 相差・千賀・堅子



図 3-43 整理番号 43
8. 相差・千賀・堅子



図 3-44 整理番号 44
8. 相差・千賀・堅子



図 3-45 整理番号 45
8. 相差・千賀・堅子



図 3-46 整理番号 46
8. 相差・千賀・堅子



図 3-47 整理番号 47
8. 相差・千賀・堅子



図 3-48 整理番号 48
8. 相差・千賀・堅子



図 3-49 整理番号 49
8. 相差・千賀・堅子



図 3-50 整理番号 50
8. 相差・千賀・堅子



図 3-51 整理番号 51
8. 相差・千賀・堅子



図 3-53 整理番号 53
8. 相差・千賀・堅子



図 3-55 整理番号 55
8. 相差・千賀・堅子



図 3-52 整理番号 52
8. 相差・千賀・堅子



図 3-54 整理番号 54
8. 相差・千賀・堅子

2) 鳥羽デジタルアーカイブス資料



図 3-56 整理番号 56
鳥羽市立長岡中学校
航空写真

表 3 相差の調査対象料一覧

整理番号	アーカイブス資料名	写真番号 ページ数	年代の記述	年代													シーン			
				昭和 元年代	昭和 10年代	昭和 20年代	昭和 30年代	昭和 40年代	昭和 50年代	昭和 60年代	平成 元年代	平成 10年代	平成 20年代	不明	全体 写真	部分 写真				
海の博物館所蔵資料 海女アーカイブ以外																				
1	20.相差 獅子舞90.1.5	A08273	1990年1月5日											1					1	
2	20.相差 獅子舞90.1.5	A08276	1990年1月5日											1					1	
3	20.相差 獅子舞90.1.5	A08305	1990年1月5日											1					1	
4	20.相差 獅子舞90.1.5	A08319	1990年1月5日											1					1	
5	20.相差 獅子舞90.1.5	A08320	1990年1月5日											1					1	
6	20.相差 獅子舞90.1.5	A08337	1990年1月5日											1					1	
7	20.相差 獅子舞90.1.5	A08338	1990年1月5日											1					1	
8	20.相差 獅子舞90.1.5	A08341	1990年1月5日											1					1	
9	20.相差 獅子舞90.1.5	A08342	1990年1月5日											1					1	
10	20.相差 獅子舞90.1.5	A08346	1990年1月5日											1					1	
11	20.相差 獅子舞90.1.5	A08347	1990年1月5日											1					1	
12	20.相差 獅子舞90.1.5	A08348	1990年1月5日											1					1	
13	20.相差 獅子舞90.1.5	A08366	1990年1月5日											1					1	
14	21.相差のシシマイ	A08394	昭和63年1月5日											1					1	
15	21.相差のシシマイ	A08397	昭和63年1月5日											1					1	
16	21.相差のシシマイ	A08398	昭和63年1月5日											1					1	
17	21.相差のシシマイ	A08399	昭和63年1月5日											1					1	
18	21.相差のシシマイ	A08400	昭和63年1月5日											1					1	
19	21.相差のシシマイ	A08402	昭和63年1月5日											1					1	
20	21.相差のシシマイ	A08406	昭和63年1月5日											1					1	
21	21.相差のシシマイ	A08407	昭和63年1月5日											1					1	
22	21.相差のシシマイ	A08437	昭和63年1月5日											1					1	
23	21.相差のシシマイ	A08441	昭和63年1月5日											1					1	
24	21.相差のシシマイ	A08443	昭和63年1月5日											1					1	
25	21.相差のシシマイ	A08446	1990年1月5日											1					1	
26	21.相差のシシマイ	A08447	1990年1月5日											1					1	
27	21.相差のシシマイ	A08470	1992年1月5日											1					1	
28	21.相差のシシマイ	A08509																1	1	
29	21.相差のシシマイ	A08510																1	1	
30	21.相差のシシマイ	A08511																1	1	
31	21.相差のシシマイ	A08512																1	1	
32	21.相差のシシマイ	A08524																1	1	
33	21.相差のシシマイ	A08525	昭和63年1月5日											1					1	
34	21.相差のシシマイ	A08530	昭和63年1月5日											1					1	
35	21.相差のシシマイ	A08531	昭和63年1月5日											1					1	
36	8.相差・千賀・堅子	A12444	昭和54年1月5日											1					1	
37	8.相差・千賀・堅子	A12445	昭和54年1月5日											1					1	
38	8.相差・千賀・堅子	A12457	昭和54年1月5日											1					1	
39	8.相差・千賀・堅子	A12477	昭和54年1月5日											1					1	
40	8.相差・千賀・堅子	A12479	昭和54年1月5日											1					1	
41	8.相差・千賀・堅子	A12483	昭和54年1月5日											1					1	
42	8.相差・千賀・堅子	A12484	昭和54年1月5日											1					1	
43	8.相差・千賀・堅子	A12498	昭和54年1月5日											1					1	
44	8.相差・千賀・堅子	A12513	昭和54年1月5日											1					1	
45	8.相差・千賀・堅子	A12529	昭和54年1月5日											1					1	
46	8.相差・千賀・堅子	A12532	昭和54年1月5日											1					1	
47	8.相差・千賀・堅子	A12534	昭和54年1月5日											1					1	
48	8.相差・千賀・堅子	A12545	昭和54年1月5日											1					1	
49	8.相差・千賀・堅子	A12563	昭和54年1月5日											1					1	
50	8.相差・千賀・堅子	A12564	昭和54年1月5日											1					1	
51	8.相差・千賀・堅子	A12566	昭和54年1月5日											1					1	
52	8.相差・千賀・堅子	A12588	昭和54年1月5日											1					1	
53	8.相差・千賀・堅子	A12592	昭和54年1月5日											1					1	
54	8.相差・千賀・堅子	A12597	昭和54年1月5日											1					1	
55	8.相差・千賀・堅子	A12598	昭和54年1月5日											1					1	
鳥羽デジタルアーカイブス資料																				
56	鳥羽市立長岡中学校航空写真	282	昭和36年12月																1	
			総計	昭和 元年代	昭和 10年代	昭和 20年代	昭和 30年代	昭和 40年代	昭和 50年代	昭和 60年代	平成 元年代	平成 10年代	平成 20年代	不明	全体 写真	部分 写真				
				0	0	0	1	0	20	14	16	0	0	5	8	48				
				年代が確定したもの									51	総数	56		56			

4 答志

本編 6-1-3 で選定した答志の写真を、掲載資料ごとに示す。なお写真の整理番号は節末の表 4 と対応している。

1) 海の博物館所蔵資料 海女アーカイブ以外



図 4-1 整理番号 1
10018911①(答志神祭)



図 4-4 整理番号 4
10018911①(答志神祭)



図 4-7 整理番号 7
10018911①(答志神祭)



図 4-2 整理番号 2
10018911①(答志神祭)



図 4-5 整理番号 5
10018911①(答志神祭)



図 4-8 整理番号 8
10018911①(答志神祭)



図 4-3 整理番号 3
10018911①(答志神祭)



図 4-6 整理番号 6
10018911①(答志神祭)



図 4-9 整理番号 9
10018911①(答志神祭)



図 4-10 整理番号 10
10018911①(答志神祭)



図 4-11 整理番号 11
10018911①(答志神祭)



図 4-14 整理番号 14
3. 菅島の神祭



図 4-17 整理番号 17
25-2. 答志・和具(総合)



図 4-12 整理番号 12
10018911①(答志神祭)



図 4-15 整理番号 15
3. 菅島の神祭



図 4-13 整理番号 13
3. 菅島の神祭



図 4-16 整理番号 16
3. 菅島の神祭

2) 鳥羽デジタルアーカイブス資料



図 4-18 整理番号 18
鳥羽・答志島



図 4-20 整理番号 20
鳥羽・答志村の風景



図 4-22 整理番号 22
答志島の漁港風景



図 4-19 整理番号 19
鳥羽・答志島



図 4-21 整理番号 21
鳥羽・答志島



図 4-23 整理番号 23
答志島の集落眺望

表 4 答志の調査対象料一覧

整理番号	アーカイブス資料名	写真番号 ページ数	年代の記述	年代											シーン		
				昭和 元年代	昭和 10年代	昭和 20年代	昭和 30年代	昭和 40年代	昭和 50年代	昭和 60年代	平成 元年代	平成 10年代	平成 20年代	不明	全体 写真	部分 写真	
海の博物館所蔵資料 海女アーカイブ以外																	
1	10018911① (答志神祭)	DH000022	2010年7月30日												1		1
2	10018910① (答志神祭)	DH000037	2004年2月8日												1		1
3	10018911① (答志神祭)	DH000038	2004年2月8日												1		1
4	10018911① (答志神祭)	DH000041	2004年2月8日												1		1
5	10018911① (答志神祭)	DH000043	2004年2月8日												1		1
6	10018911① (答志神祭)	DH000044	2004年2月8日												1		1
7	10018912① (答志神祭)	DH000045	2004年2月8日												1		1
8	10018911① (答志神祭)	DH000052	2004年2月8日												1		1
9	10018911① (答志神祭)	DH000054	2004年2月8日												1		1
10	10018911① (答志神祭)	DH000068	2004年2月8日												1		1
11	10018911① (答志神祭)	DH000072	2004年2月8日												1		1
12	10018911① (答志神祭)	DH000098	昭和63年6月13日												1		1
13	3.菅島の神祭	A03199	2010年2月14日												1		1
14	3.菅島の神祭	A03202	2010年2月14日												1		1
15	3.菅島の神祭	A03210	2010年2月14日												1		1
16	3.菅島の神祭	A03212	2010年2月14日												1		1
17	25-2.答志・和具(総合)	A15415	1990年2月13日												1		1
鳥羽デジタルアーカイブス資料																	
18	鳥羽・答志島	95	昭和10年代														1
19	鳥羽・答志島	96	昭和10年代														1
20	鳥羽・答志村の風景	97	昭和初期														1
21	鳥羽・答志島	154	昭和初期														1
22	答志島の漁港風景	2085	昭和30年代														1
23	答志島の集落眺望	2806	昭和30年代														1
			総計	昭和 元年代	昭和 10年代	昭和 20年代	昭和 30年代	昭和 40年代	昭和 50年代	昭和 60年代	平成 元年代	平成 10年代	平成 20年代	不明	全体 写真	部分 写真	
				2	2	0	2	0	0	1	1	11	4	0	5	18	
				年代が確定したもの									23	総数	23	23	

5 和具

本編 6-1-3 で選定した和具の写真を、掲載資料ごとに示す。なお写真の整理番号は節末の表 5 と対応している。

1) 海の博物館所蔵資料 海女アーカイブ



図 5-1 整理番号 1
答志和具の神祭



図 5-3 整理番号 3
答志和具の神祭



図 5-5 整理番号 5
答志和具の神祭



図 5-2 整理番号 2
答志和具の神祭



図 5-4 整理番号 4
答志和具の神祭

2) 海の博物館所蔵資料 海女アーカイブ以外



図 5-6 整理番号 6
7-1. 八幡祭. 答志の和具浦



図 5-8 整理番号 8
7-1. 八幡祭. 答志の和具浦



図 5-10 整理番号 10
7-1. 八幡祭. 答志の和具浦



図 5-7 整理番号 7
7-1. 八幡祭. 答志の和具浦



図 5-9 整理番号 9
7-1. 八幡祭. 答志の和具浦



図 5-11 整理番号 11
7-1. 八幡祭. 答志の和具浦



図 5-12 整理番号 12
7-1. 八幡祭. 答志の和具浦



図 5-16 整理番号 16
7-1. 八幡祭. 答志の和具浦



図 5-21 整理番号 21
7-1. 八幡祭. 答志の和具浦



図 5-13 整理番号 13
7-1. 八幡祭. 答志の和具浦



図 5-17 整理番号 17
7-1. 八幡祭. 答志の和具浦



図 5-22 整理番号 22
7-1. 八幡祭. 答志の和具浦



図 5-18 整理番号 18
7-1. 八幡祭. 答志の和具浦



図 5-23 整理番号 23
7-1. 八幡祭. 答志の和具浦



図 5-14 整理番号 14
7-1. 八幡祭. 答志の和具浦



図 5-19 整理番号 19
7-1. 八幡祭. 答志の和具浦



図 5-24 整理番号 24
7-1. 八幡祭. 答志の和具浦



図 5-15 整理番号 15
7-1. 八幡祭. 答志の和具浦



図 5-20 整理番号 20
7-1. 八幡祭. 答志の和具浦



図 5-25 整理番号 25
7-1. 八幡祭. 答志の和具浦



図 5-26 整理番号 26
7-1. 八幡祭. 答志の和具浦



図 5-31 整理番号 31
7-1. 八幡祭. 答志の和具浦



図 5-36 整理番号 36
7-1. 八幡祭. 答志の和具浦



図 5-27 整理番号 27
7-1. 八幡祭. 答志の和具浦



図 5-32 整理番号 32
7-1. 八幡祭. 答志の和具浦



図 5-37 整理番号 37
7-1. 八幡祭. 答志の和具浦



図 5-28 整理番号 28
7-1. 八幡祭. 答志の和具浦



図 5-33 整理番号 33
7-1. 八幡祭. 答志の和具浦



図 5-38 整理番号 38
7-1. 八幡祭. 答志の和具浦



図 5-29 整理番号 29
7-1. 八幡祭. 答志の和具浦



図 5-34 整理番号 34
7-1. 八幡祭. 答志の和具浦



図 5-39 整理番号 39
7-1. 八幡祭. 答志の和具浦



図 5-30 整理番号 30
7-1. 八幡祭. 答志の和具浦



図 5-35 整理番号 35
7-1. 八幡祭. 答志の和具浦



図 5-40 整理番号 40
7-1. 八幡祭. 答志の和具浦



図 5-41 整理番号 41
7-1. 八幡祭. 答志の和具浦



図 5-42 整理番号 42
7-1. 八幡祭. 答志の和具浦



図 5-43 整理番号 43
7-1. 八幡祭. 答志の和具浦



図 5-44 整理番号 44
7-1. 八幡祭. 答志の和具浦



図 5-45 整理番号 45
7-1. 八幡祭. 答志の和具浦



図 5-46 整理番号 46
7-1. 八幡祭. 答志の和具浦



図 5-47 整理番号 47
16. ワカメ漁・天草



図 5-48 整理番号 48
25-1. 答志・和具(総合)



図 5-49 整理番号 49
25-1. 答志・和具(総合)



図 5-50 整理番号 50
25-1. 答志・和具(総合)



図 5-51 整理番号 51
25-1. 答志・和具(総合)



図 5-52 整理番号 52
25-1. 答志・和具(総合)



図 5-53 整理番号 53
25-1. 答志・和具(総合)



図 5-54 整理番号 54
25-1. 答志・和具(総合)



図 5-55 整理番号 55
25-1. 答志・和具(総合)



図 5-56 整理番号 56
25-1. 答志・和具(総合)



図 5-57 整理番号 57
25-1. 答志・和具(総合)



図 5-58 整理番号 58
25-1. 答志・和具(総合)



図 5-59 整理番号 59
25-1. 答志・和具(総合)



図 5-60 整理番号 60
25-2. 答志・和具(総合)

2) 鳥羽デジタルアーカイブス資料



図 5-61 整理番号 61
鳥羽・答志島和具船揚場
魚揚場全景



図 5-62 整理番号 62
鳥羽・答志島和具

表 5 相差の調査対象料一覧

整理番号	アーカイブス資料名	写真番号 ページ数	年代の記述	年代												シーン					
				昭和 元年代	昭和 10年代	昭和 20年代	昭和 30年代	昭和 40年代	昭和 50年代	昭和 60年代	平成 元年代	平成 10年代	平成 20年代	不明	全体 写真	部分 写真					
海の博物館所蔵資料 海女アーカイブ																					
1	答志和具の神祭	3254	昭和63年3月5日											1							1
2	答志和具の神祭	3255	昭和63年3月5日											1							1
3	答志和具の神祭	3263	昭和63年3月5日											1							1
4	答志和具の神祭	3269	昭和63年3月5日											1							1
5	答志和具の神祭	3270	昭和63年3月5日											1							1
海の博物館所蔵資料 海女アーカイブ以外																					
6	7-1.八幡祭.答志の和具浦	A03755	2004年2月7日																		1
7	7-1.八幡祭.答志の和具浦	A03757	2004年2月7日																		1
8	7-1.八幡祭.答志の和具浦	A03760	2004年2月7日																		1
9	7-1.八幡祭.答志の和具浦	A03762	2004年2月7日																		1
10	7-1.八幡祭.答志の和具浦	A03764	2004年2月7日																		1
11	7-1.八幡祭.答志の和具浦	A03772	2004年2月7日																		1
12	7-1.八幡祭.答志の和具浦	A03791	2004年2月7日																		1
13	7-1.八幡祭.答志の和具浦	A03795	2004年2月7日																		1
14	7-1.八幡祭.答志の和具浦	A03798	2004年2月7日																		1
15	7-1.八幡祭.答志の和具浦	A03799	2004年2月7日																		1
16	7-1.八幡祭.答志の和具浦	A03813	2004年2月7日																		1
17	7-1.八幡祭.答志の和具浦	A03815	2004年2月7日																		1
18	7-1.八幡祭.答志の和具浦	A03824	2004年2月7日																		1
19	7-1.八幡祭.答志の和具浦	A03828	2004年2月7日																		1
20	7-1.八幡祭.答志の和具浦	A03831	昭和63年3月5日																		1
21	7-1.八幡祭.答志の和具浦	A03833	昭和63年3月5日																		1
22	7-1.八幡祭.答志の和具浦	A03849	昭和63年3月5日																		1
23	7-1.八幡祭.答志の和具浦	A03863	昭和63年3月5日																		1
24	7-1.八幡祭.答志の和具浦	A03869	昭和63年3月5日																		1
25	7-1.八幡祭.答志の和具浦	A03876	昭和63年3月5日																		1
26	7-1.八幡祭.答志の和具浦	A03879	昭和63年3月5日																		1
27	7-1.八幡祭.答志の和具浦	A03882	昭和63年3月5日																		1
28	7-1.八幡祭.答志の和具浦	A03888	昭和63年3月5日																		1
29	7-1.八幡祭.答志の和具浦	A03890	昭和63年3月5日																		1
30	7-1.八幡祭.答志の和具浦	A03899	昭和63年3月5日																		1
31	7-1.八幡祭.答志の和具浦	A03900	昭和63年3月5日																		1
32	7-2.八幡祭.答志の和具浦	A03906	昭和63年3月5日																		1
33	7-2.八幡祭.答志の和具浦	A03907	昭和63年3月5日																		1
34	7-2.八幡祭.答志の和具浦	A03911	昭和63年3月5日																		1
35	7-2.八幡祭.答志の和具浦	A03912	昭和63年3月5日																		1
36	7-2.八幡祭.答志の和具浦	A03917	昭和63年3月5日																		1
37	7-2.八幡祭.答志の和具浦	A03930	昭和63年3月5日																		1
38	7-2.八幡祭.答志の和具浦	A03940	昭和63年3月5日																		1
39	7-2.八幡祭.答志の和具浦	A03941	昭和63年3月5日																		1
40	7-2.八幡祭.答志の和具浦	A03942	昭和63年3月5日																		1
41	7-2.八幡祭.答志の和具浦	A03949	昭和63年3月5日																		1
42	7-2.八幡祭.答志の和具浦	A03951	昭和63年3月5日																		1
43	7-2.八幡祭.答志の和具浦	A03954	昭和63年3月5日																		1
44	7-2.八幡祭.答志の和具浦	A03969	昭和63年3月5日																		1
45	7-2.八幡祭.答志の和具浦	A03974	昭和63年3月5日																		1
46	7-2.八幡祭.答志の和具浦	A03984	昭和63年3月5日																		1
47	16.ワカメ漁・天草	A13750	昭和62年2月6日																		1
48	25-1.答志・和具(総合)	A15171	昭和61年6月10日																		1
49	25-1.答志・和具(総合)	A15180	昭和62年2月14日																		1
50	25-1.答志・和具(総合)	A15189	昭和62年2月14日																		1
51	25-1.答志・和具(総合)	A15198	昭和61年8月30日																		1
52	25-1.答志・和具(総合)	A15203	昭和61年8月30日																		1
53	25-1.答志・和具(総合)	A15218	昭和61年8月30日																		1
54	25-1.答志・和具(総合)	A15219	昭和61年8月30日																		1
55	25-1.答志・和具(総合)	A15250	昭和61年8月31日																		1
56	25-1.答志・和具(総合)	A15256	昭和61年8月31日																		1
57	25-1.答志・和具(総合)	A15263	昭和61年8月31日																		1
58	25-1.答志・和具(総合)	A15270	昭和61年8月31日																		1
59	25-1.答志・和具(総合)	A15274	昭和61年8月31日																		1
60	25-2.答志・和具(総合)	A15400	昭和62年11月28日																		1
鳥羽デジタルアーカイブス資料																					
61	鳥羽・答志島和具船揚場魚揚場全景	107	昭和10年代																		1
62	鳥羽・答志島和具	108	昭和10年代																		1
			総計	昭和 元年代	昭和 10年代	昭和 20年代	昭和 30年代	昭和 40年代	昭和 50年代	昭和 60年代	平成 元年代	平成 10年代	平成 20年代	不明	全体 写真	部分 写真					
				0	2	0	0	0	0	46	0	14	0	0	3	59					
				年代が確定したもの										62	総数	62					62

6 菅島

本編 6-1-3 で選定した菅島の写真を、掲載資料ごとに示す。なお写真の整理番号は節末の表 6 と対応している。

1) 海の博物館所蔵資料 海女アーカイブ



図 6-1 整理番号 1
菅島しろんご祭 4-8



図 6-5 整理番号 5
菅島しろんご祭 7-10



図 6-9 整理番号 9
菅島しろんご祭 8-12



図 6-2 整理番号 2
菅島しろんご祭 4-2



図 6-6 整理番号 6
菅島しろんご祭 7-11



図 6-10 整理番号 10
菅島しろんご祭 8-14



図 6-3 整理番号 3
菅島しろんご祭 4-9



図 6-7 整理番号 7
菅島しろんご祭 8-6



図 6-11 整理番号 11
菅島しろんご祭 10-9



図 6-4 整理番号 4
菅島しろんご祭 4-10



図 6-8 整理番号 8
菅島しろんご祭 8-11



図 6-12 整理番号 12
菅島取材 5-1-1



図 6-13 整理番号 13
菅島取材 5-1-3



図 6-18 整理番号 18
菅島ジンカン舟



図 6-23 整理番号 23
菅島ジンカン舟



図 6-14 整理番号 14
菅島ジンカン舟



図 6-19 整理番号 19
菅島ジンカン舟



図 6-24 整理番号 24
菅島ジンカン舟



図 6-15 整理番号 15
菅島ジンカン舟



図 6-20 整理番号 20
菅島ジンカン舟



図 6-16 整理番号 16
菅島ジンカン舟



図 6-21 整理番号 21
菅島ジンカン舟



図 6-17 整理番号 17
菅島ジンカン舟



図 6-22 整理番号 22
菅島ジンカン舟

2) 海の博物館所蔵資料 海女アーカイブ以外



図 6-25 整理番号 25
3. 菅島の神祭



図 6-26 整理番号 26
3. 菅島の神祭



図 6-27 整理番号 27
3. 菅島の神祭



図 6-28 整理番号 28
3. 菅島の神祭



図 6-29 整理番号 29
3. 菅島の神祭



図 6-30 整理番号 30
3. 菅島の神祭



図 6-31 整理番号 31
3. 菅島の神祭



図 6-32 整理番号 32
3. 菅島の神祭



図 6-33 整理番号 33
3. 菅島の神祭



図 6-34 整理番号 34
3. 菅島の神祭



図 6-35 整理番号 35
3. 菅島の神祭



図 6-36 整理番号 36
3. 菅島の神祭



図 6-37 整理番号 37
4-1. 菅島のジンカンブネ



図 6-38 整理番号 38
4-1. 菅島のジンカンブネ



図 6-39 整理番号 39
4-1. 菅島のジンカンブネ



図 6-40 整理番号 40
4-1. 菅島のジンカンブネ



図 6-41 整理番号 41
4-1. 菅島のジンカンブネ



図 6-42 整理番号 42
4-1. 菅島のジンカンブネ



図 6-43 整理番号 43
4-1. 菅島のジンカンブネ



図 6-44 整理番号 44
4-1. 菅島のジンカンブネ



図 6-45 整理番号 45
4-1. 菅島のジンカンブネ



図 6-46 整理番号 46
4-1. 菅島のジンカンブネ



図 6-47 整理番号 47
4-1. 菅島のジンカンブネ



図 6-48 整理番号 48
4-1. 菅島のジンカンブネ



図 6-49 整理番号 49
4-1. 菅島のジンカンブネ



図 6-50 整理番号 50
4-1. 菅島のジンカンブネ



図 6-51 整理番号 51
4-1. 菅島のジンカンブネ



図 6-52 整理番号 52
4-1. 菅島のジンカンブネ



図 6-53 整理番号 53
4-1. 菅島のジンカンブネ



図 6-54 整理番号 54
4-1. 菅島のジンカンブネ



図 6-55 整理番号 55
4-1. 菅島のジンカンブネ



図 6-56 整理番号 56
4-1. 菅島のジンカンブネ



図 6-57 整理番号 57
4-1. 菅島のジンカンブネ



図 6-58 整理番号 58
4-1. 菅島のジンカンブネ



図 6-59 整理番号 59
4-1. 菅島のジンカンブネ



図 6-60 整理番号 55
4-1. 菅島のジンカンブネ



図 6-61 整理番号 61
4-1. 菅島のジンカンブネ



図 6-62 整理番号 62
4-1. 菅島のジンカンブネ



図 6-63 整理番号 63
4-1. 菅島のジンカンブネ



図 6-64 整理番号 64
4-1. 菅島のジンカンブネ



図 6-65 整理番号 65
4-1. 菅島のジンカンブネ



図 6-66 整理番号 66
4-1. 菅島のジンカンブネ



図 6-67 整理番号 67
4-1. 菅島のジンカンブネ



図 6-68 整理番号 68
4-1. 菅島のジンカンブネ



図 6-69 整理番号 69
11-1. 志摩の祭 5'



図 6-70 整理番号 70
11-1. 志摩の祭 5'



図 6-71 整理番号 71
11-1. 志摩の祭 5'



図 6-72 整理番号 72
11-1. 志摩の祭 5'



図 6-73 整理番号 73
11-1. 志摩の祭 5'



図 6-74 整理番号 74
11-1. 志摩の祭 5'



図 6-75 整理番号 75
11-1. 志摩の祭 5'



図 6-76 整理番号 76
11-1. 志摩の祭 5'



図 6-77 整理番号 77
12. 信仰・風俗・立地



図 6-78 整理番号 78
12. 信仰・風俗・立地



図 6-79 整理番号 79
12. 信仰・風俗・立地

3) 鳥羽デジタルアーカイブス資料



図 6-80 整理番号 80
鳥羽・菅島



図 6-81 整理番号 81
鳥羽市立菅島中学校
航空写真



図 6-82 整理番号 82
菅島灯台・開設 85 周年
記念事業 2



図 6-83 整理番号 83
菅島小学校と町の景観・
航空写真

表 6 菅島の調査対象料一覧

整理番号	アーカイブス資料名	写真番号 ページ数	年代の記述	年代												シーン	
				昭和 元年代	昭和 10年代	昭和 20年代	昭和 30年代	昭和 40年代	昭和 50年代	昭和 60年代	平成 元年代	平成 10年代	平成 20年代	不明	全体 写真	部分 写真	
海の博物館所蔵資料 海女アーカイブ																	
1	菅島しろんご祭4-8	47	(S63.07.11)										1				1
2	菅島しろんご祭4-2	254	(H01.07.11)										1				1
3	菅島しろんご祭4-9	261	(H01.07.11)										1				1
4	菅島しろんご祭4-10	262	H02.09										1				1
5	菅島しろんご祭7-10	293	H5.7.10										1				1
6	菅島しろんご祭7-11	294	H5.7.10										1				1
7	菅島しろんご祭8-6	309	H5.7.10										1				1
8	菅島しろんご祭8-11	314	H5.7.10										1				1
9	菅島しろんご祭8-12	315	H5.7.10										1				1
10	菅島しろんご祭8-14	317	H5.7.10										1				1
11	菅島しろんご祭10-9	346	(不明)													1	1
12	菅島取材5-1-1	1000	S50.11.17										1				1
13	菅島取材5-1-3	1002	S50.11.17										1				1
14	菅島ジンカン舟	3540	平成2年8月31日										1				1
15	菅島ジンカン舟	3547	平成2年8月31日										1				1
16	菅島ジンカン舟	3548	平成2年8月31日										1				1
17	菅島ジンカン舟	3549	平成2年8月31日										1				1
18	菅島ジンカン舟	3550	平成2年8月31日										1				1
19	菅島ジンカン舟	3554	平成2年8月31日										1				1
20	菅島ジンカン舟	3557	平成2年8月31日										1				1
21	菅島ジンカン舟	3558	平成2年8月31日										1				1
22	菅島ジンカン舟	3561	平成2年8月31日										1				1
23	菅島ジンカン舟	3562	平成2年8月31日										1			1	1
24	菅島ジンカン舟	3566	平成2年8月31日										1				1
海の博物館所蔵資料 海女アーカイブ以外																	
25	3.菅島の神祭	A03176	1992年1月17日										1				1
26	3.菅島の神祭	A03179	1992年1月17日										1				1
27	3.菅島の神祭	A03180	1992年1月17日										1				1
28	3.菅島の神祭	A03183	1992年1月17日										1				1
29	3.菅島の神祭	A03185	1992年1月17日										1				1
30	3.菅島の神祭	A03186	1992年1月17日										1				1
31	3.菅島の神祭	A03188	1992年1月17日										1				1
32	3.菅島の神祭	A03190	1992年1月17日										1				1
33	3.菅島の神祭	A03191	1992年1月17日										1				1
34	3.菅島の神祭	A03192	1992年1月17日										1				1
35	3.菅島の神祭	A03194	1992年1月17日										1				1
36	3.菅島の神祭	A03197	1992年1月17日										1				1
37	4-1.菅島のジンカンブネ	A03227	昭和63年8月31日										1				1
38	4-1.菅島のジンカンブネ	A03228	昭和63年8月31日										1				1
39	4-1.菅島のジンカンブネ	A03229	昭和63年8月31日										1				1
40	4-1.菅島のジンカンブネ	A03230	昭和63年8月31日										1				1
41	4-1.菅島のジンカンブネ	A03235	昭和63年8月31日										1				1
42	4-1.菅島のジンカンブネ	A03238	昭和63年8月31日										1				1
43	4-1.菅島のジンカンブネ	A03239	昭和63年8月31日										1				1
44	4-1.菅島のジンカンブネ	A03247	昭和63年8月31日										1				1
45	4-1.菅島のジンカンブネ	A03250	昭和63年8月31日										1				1
46	4-1.菅島のジンカンブネ	A03251	昭和63年8月31日										1				1
47	4-1.菅島のジンカンブネ	A03252	昭和63年8月31日										1				1
48	4-1.菅島のジンカンブネ	A03254	昭和63年8月31日										1				1
49	4-1.菅島のジンカンブネ	A03279	昭和63年8月31日										1			1	1
50	4-1.菅島のジンカンブネ	A03280	昭和63年8月31日										1			1	1
51	4-1.菅島のジンカンブネ	A03300	昭和63年8月31日										1				1
52	4-1.菅島のジンカンブネ	A03328	昭和63年8月31日										1				1
53	4-1.菅島のジンカンブネ	A03334	昭和63年8月31日										1				1
54	4-1.菅島のジンカンブネ	A03335	昭和63年8月31日										1				1
55	4-1.菅島のジンカンブネ	A03336	昭和63年8月31日										1				1
56	4-1.菅島のジンカンブネ	A03337	昭和63年8月31日										1				1
57	4-1.菅島のジンカンブネ	A03339	昭和63年8月31日										1				1
58	4-1.菅島のジンカンブネ	A03340	昭和63年8月31日										1				1
59	4-1.菅島のジンカンブネ	A03343	昭和63年8月31日										1				1
60	4-1.菅島のジンカンブネ	A03345	昭和63年8月31日										1				1
61	4-1.菅島のジンカンブネ	A03347	昭和63年8月31日										1				1
62	4-1.菅島のジンカンブネ	A03348	昭和63年8月31日										1				1
63	4-1.菅島のジンカンブネ	A03374	昭和63年8月31日										1				1
64	4-1.菅島のジンカンブネ	A03375	昭和63年8月31日										1				1
65	4-1.菅島のジンカンブネ	A03379	昭和63年8月31日										1				1
66	4-2.菅島のジンカンブネ	A03384	昭和63年8月31日										1				1
67	4-2.菅島のジンカンブネ	A03386	昭和63年8月31日										1				1
68	4-2.菅島のジンカンブネ	A03390	昭和63年8月31日										1				1
69	11-1.志摩の祭5'	A12906	昭和51年7月11日										1			1	1
70	11-1.志摩の祭5'	A12920	昭和51年7月11日										1			1	1
71	11-2.志摩の祭5'	A13015	昭和51年7月11日										1				1
72	11-2.志摩の祭5'	A13016	昭和51年7月11日										1				1
73	11-2.志摩の祭5'	A13017	昭和51年7月11日										1				1

整理番号	アーカイブス資料名	写真番号 ページ数	年代の記述	年代												シーン								
				昭和 元年代	昭和 10年代	昭和 20年代	昭和 30年代	昭和 40年代	昭和 50年代	昭和 60年代	平成 元年代	平成 10年代	平成 20年代	不明	全体 写真	部分 写真								
74	11-2.志摩の祭5'	A13024	昭和51年7月11日										1										1	
75	11-2.志摩の祭5'	A13025	昭和51年7月11日										1											1
76	11-2.志摩の祭5'	A13037	昭和51年7月11日										1											1
77	12.信仰・風俗・立地	A13057																				1	1	
78	12.信仰・風俗・立地	A13058																				1	1	
79	29.祭スライド8	A15749	昭和61年12月11日											1										1
鳥羽デジタルアーカイブス資料																								
80	鳥羽・菅島	188	昭和10年代			1																		1
81	鳥羽市立菅島中学校航空写真	279	昭和37年8月						1															1
82	菅島灯台・開設85周年記念事業2	2705	昭和33年4月						1															1
83	菅島小学校と町の景観・航空写真	2724	昭和30年代						1															1
			総計	昭和 元年代	昭和 10年代	昭和 20年代	昭和 30年代	昭和 40年代	昭和 50年代	昭和 60年代	平成 元年代	平成 10年代	平成 20年代	不明	全体 写真	部分 写真								
				0	1	0	3	0	10	34	32	0	0	3	12	71								
				年代が確定したもの										80	総数	83								

7 神島

本編 6-1-3 で選定した神島の写真を、掲載資料ごとに示す。なお写真の整理番号は節末の表 7 と対応している。

1) 海の博物館所蔵資料 海女アーカイブ



図 7-1 整理番号 1
神島ゴクアゲ(御供上げ)
1-1



図 7-5 整理番号 5
神島ゴクアゲ(御供上げ)
4-5



図 7-9 整理番号 9
神島ゲーター祭 1-1



図 7-2 整理番号 2
神島ゴクアゲ(御供上げ)
1-11



図 7-6 整理番号 6
神島ゴクアゲ(御供上げ)
5-5



図 7-10 整理番号 10
神島ゲーター祭 1-2



図 7-3 整理番号 3
神島ゴクアゲ(御供上げ)
1-13



図 7-7 整理番号 7
神島ゴクアゲ(御供上げ)
5-7



図 7-11 整理番号 11
神島ゲーター祭 1-6



図 7-4 整理番号 4
神島ゴクアゲ(御供上げ)
2-8



図 7-8 整理番号 8
神島ゴクアゲ(御供上げ)
10-10



図 7-12 整理番号 12
神島ゲーター祭 1-7



図 7-13 整理番号 13
神島ゲーター祭 1-9



図 7-14 整理番号 14
神島ゲーター祭 1-9



図 7-15 整理番号 15
神島ゲーター祭 2-4



図 7-16 整理番号 16
神島ゲーター祭 2-5



図 7-17 整理番号 17
神島ゲーター祭 3-13



図 7-18 整理番号 18
神島ゲーター祭
(神島の景観) 6-1



図 7-19 整理番号 19
神島ゲーター祭
(神島の景観) 6-3



図 7-20 整理番号 20
神島ゲーター祭
(神島の景観) 6-6



図 7-21 整理番号 21
神島ゲーター祭
(神島の景観) 7-1



図 7-22 整理番号 22
神島ゲーター祭
(神島の景観) 7-3



図 7-23 整理番号 23
神島ゲーター祭
(神島の景観) 7-5



図 7-24 整理番号 24
神島ゲーター祭
(神島の景観) 7-6



図 7-25 整理番号 25
神島ゲーター祭
(宮持家集合) 1-2



図 7-26 整理番号 26
神島ゲーター祭
(宮持家集合)1-3



図 7-27 整理番号 27
神島ゲーター祭
(アワ・浜へ出発)4-2



図 7-28 整理番号 28
神島ゲーター祭
(神島アワつくり 1-2)6-4



図 7-29 整理番号 29
神島ゲーター祭
(薬師さんの開扉)10-8



図 7-30 整理番号 30
神島ゲーター祭
(舟玉しんぜ)13-3



図 7-31 整理番号 31
神島ゲーター祭
(舟玉しんぜ)14-3



図 7-32 整理番号 32
神島ゲーター祭
(舟玉しんぜ)14-11



図 7-33 整理番号 33
神島ゲーター祭
(神島)16-5



図 7-34 整理番号 34
神島ゲーター祭
(神島)16-9



図 7-35 整理番号 35
神島ゲーター祭
(神島大漁旗)17-12



図 7-36 整理番号 36
神島ゲーター祭
(日向の神事)18-1



図 7-37 整理番号 37
神島ゲーター祭
(日向の神事)18-3



図 7-38 整理番号 38
神島 A-7-7



図 7-39 整理番号 39
神島 A-7-9



図 7-40 整理番号 40
神島 A-8-3



図 7-41 整理番号 41
神島 A-8-6



図 7-42 整理番号 42
神島 A-8-8



図 7-43 整理番号 43
神島 A-8-9



図 7-44 整理番号 44
神島 A-8-10

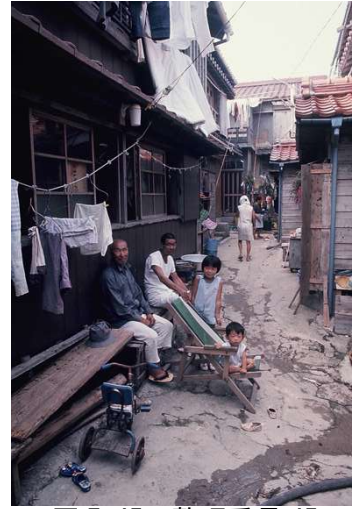


図 7-45 整理番号 45
神島 A-8-12



図 7-46 整理番号 46
神島 A-8-15



図 7-47 整理番号 47
神島 A-8-17



図 7-48 整理番号 48
神島 A-8-18



図 7-51 整理番号 51
神島 灯台・風俗 A-9-14



図 7-54 整理番号 54
神島 A-10-2



図 7-49 整理番号 49
神島 灯台・風俗 A-9-1



図 7-52 整理番号 52
神島 灯台・風俗 A-9-15



図 7-55 整理番号 55
神島 A-10-3



図 7-50 整理番号 50
神島 灯台・風俗 A-9-13



図 7-53 整理番号 53
神島 灯台・風俗 A-9-17



図 7-56 整理番号 56
神島 A-10-4



図 7-57 整理番号 57
神島 A-10-5



図 7-60 整理番号 60
神島 A-10-8



図 7-63 整理番号 63
神島 A-11-11



図 7-58 整理番号 58
神島 A-10-6



図 7-61 整理番号 61
神島 A-10-11



図 7-64 整理番号 64
神島 A-11-16



図 7-59 整理番号 59
神島 A-10-7



図 7-62 整理番号 62
神島 A-11-6



図 7-65 整理番号 65
神島 A-11-17



図 7-66 整理番号 66
神島 A-12-5



図 7-67 整理番号 67
神島 A-12-15



図 7-68 整理番号 68
神島 A-13-1



図 7-69 整理番号 69
神島 A-13-3



図 7-70 整理番号 70
神島 A-13-4



図 7-71 整理番号 71
神島 A-13-5



図 7-72 整理番号 72
神島 A-13-6



図 7-73 整理番号 73
神島 A-13-9



図 7-74 整理番号 74
神島 A-13-10



図 7-75 整理番号 75
神島 A-13-12



図 7-76 整理番号 76
神島 A-13-13



図 7-77 整理番号 77
神島 A-13-14



図 7-78 整理番号 78
神島 A-14-2



図 7-79 整理番号 79
神島 A-14-5



図 7-80 整理番号 80
神島 A-14-10



図 7-81 整理番号 81
神島 A-14-11



図 7-82 整理番号 82
神島 A-14-18



図 7-83 整理番号 83
神島 A-14-19



図 7-84 整理番号 84
神島ヤリマシヨ舟



図 7-85 整理番号 85
神島ヤリマシヨ舟



図 7-87 整理番号 87
神島ヤリマシヨ舟



図 7-88 整理番号 88
神島ヤリマシヨ舟



図 7-86 整理番号 86
神島ヤリマシヨ舟

2) 海の博物館所蔵資料 海女アーカイブ以外



図 7-89 整理番号 89
10018912①(栗原①)



図 7-91 整理番号 91
10018912①(栗原①)



図 7-93 整理番号 93
10018912②(栗原②)



図 7-90 整理番号 90
10018912①(栗原①)



図 7-92 整理番号 92
10018912②(栗原②)



図 7-94 整理番号 94
10018912②(栗原②)



図 7-95 整理番号 95
10018912②(栗原②)



図 7-96 整理番号 96
10018912②(栗原②)



図 7-97 整理番号 97
10018912②(栗原②)



図 7-98 整理番号 98
10018912②(栗原②)



図 7-99 整理番号 99
10018912②(栗原②)



図 7-100 整理番号 100
10018912②(栗原②)



図 7-101 整理番号 101
10018912②(栗原②)



図 7-102 整理番号 102
10018912②(栗原②)



図 7-103 整理番号 103
10018912②(栗原②)



図 7-104 整理番号 104
10018912②(栗原②)



図 7-105 整理番号 105
10018912②(栗原②)



図 7-106 整理番号 106
10018912②(栗原②)



図 7-107 整理番号 107
10018912②(栗原②)



図 7-108 整理番号 108
10018912②(栗原②)



図 7-109 整理番号 109
10018912②(栗原②)



図 7-110 整理番号 110
10018912②(栗原②)



図 7-111 整理番号 111
10018911②
(神島ヤリマシヨブネ 1)



図 7-112 整理番号 112
10018911②
(神島ヤリマシヨブネ 1)



図 7-113 整理番号 113
10018911②
(神島ヤリマシヨブネ 1)



図 7-114 整理番号 114
10018911②
(神島ヤリマシヨブネ 1)



図 7-119 整理番号 119
10018911②
(神島ヤリマシヨブネ 1)



図 7-124 整理番号 124
10018911②
(神島ヤリマシヨブネ 1)



図 7-115 整理番号 115
10018911②
(神島ヤリマシヨブネ 1)



図 7-120 整理番号 120
10018911②
(神島ヤリマシヨブネ 1)



図 7-125 整理番号 125
10018911②
(神島ヤリマシヨブネ 1)



図 7-116 整理番号 116
10018911②
(神島ヤリマシヨブネ 1)



図 7-121 整理番号 121
10018911②
(神島ヤリマシヨブネ 1)



図 7-126 整理番号 126
10018911②
(神島ヤリマシヨブネ 1)



図 7-117 整理番号 117
10018911②
(神島ヤリマシヨブネ 1)



図 7-122 整理番号 122
10018911②
(神島ヤリマシヨブネ 1)



図 7-127 整理番号 127
10018911③
(神島ヤリマシヨブネ 2)



図 7-118 整理番号 118
10018911②
(神島ヤリマシヨブネ 1)



図 7-123 整理番号 123
10018911②
(神島ヤリマシヨブネ 1)



図 7-128 整理番号 128
10018911③
(神島ヤリマシヨブネ 2)



図 7-129 整理番号 129
10018911③
(神島ヤリマシヨブネ 2)

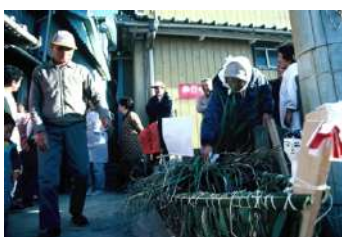


図 7-130 整理番号 130
10018911③
(神島ヤリマシヨブネ 2)



図 7-131 整理番号 131
10018911③
(神島ヤリマシヨブネ 2)



図 7-132 整理番号 132
10018911③
(神島ヤリマシヨブネ 2)



図 7-133 整理番号 133
10018911③
(神島ヤリマシヨブネ 2)



図 7-134 整理番号 134
10018911③
(神島ヤリマシヨブネ 2)



図 7-135 整理番号 135
10018911③
(神島ヤリマシヨブネ 2)



図 7-136 整理番号 136
10018911③
(神島ヤリマシヨブネ 2)



図 7-137 整理番号 137
10018911③
(神島ヤリマシヨブネ 2)



図 7-138 整理番号 138
10018911③
(神島ヤリマシヨブネ 2)



図 7-139 整理番号 139
10018911③
(神島ヤリマシヨブネ 2)



図 7-140 整理番号 140
10018911③
(神島ヤリマシヨブネ 2)



図 7-141 整理番号 141
10018911③
(神島ヤリマシヨブネ 2)



図 7-142 整理番号 142
10018911③
(神島ヤリマシヨブネ 2)



図 7-143 整理番号 143
10018911③
(神島ヤリマシヨブネ 2)



図 7-144 整理番号 144
10018911③
(神島ヤリマシヨブネ 2)



図 7-145 整理番号 145
10018911③
(神島ヤリマシヨブネ 2)



図 7-146 整理番号 146
10018911③
(神島ヤリマシヨブネ 2)



図 7-147 整理番号 147
10018911③
(神島ヤリマシヨブネ 2)



図 7-148 整理番号 148
10018911③
(神島ヤリマシヨブネ 2)



図 7-149 整理番号 149
10018911③
(神島ヤリマシヨブネ 2)



図 7-150 整理番号 150
10018911③
(神島ヤリマシヨブネ 2)



図 7-151 整理番号 151
10018911③
(神島ヤリマシヨブネ 2)



図 7-152 整理番号 152
10018911③
(神島ヤリマシヨブネ 2)



図 7-153 整理番号 153
6. 神島六日祭



図 7-154 整理番号 154
6. 神島六日祭



図 7-155 整理番号 155
6. 神島六日祭



図 7-156 整理番号 156
6. 神島六日祭



図 7-157 整理番号 157
6. 神島六日祭



図 7-161 整理番号 161
6. 神島六日祭



図 7-165 整理番号 165
6. 神島六日祭



図 7-158 整理番号 158
6. 神島六日祭



図 7-162 整理番号 162
6. 神島六日祭



図 7-166 整理番号 166
6. 神島六日祭



図 7-159 整理番号 159
6. 神島六日祭



図 7-163 整理番号 163
6. 神島六日祭



図 7-160 整理番号 160
6. 神島六日祭



図 7-164 整理番号 164
6. 神島六日祭



図 7-167 整理番号 167
10018911③
(神島ヤリマシヨブネ 2)



図 7-168 整理番号 168
6. 神島六日祭



図 7-171 整理番号 171
6. 神島六日祭



図 7-175 整理番号 175
27. 神島



図 7-169 整理番号 169
6. 神島六日祭



図 7-172 整理番号 172
27. 神島



図 7-176 整理番号 176
27. 神島



図 7-170 整理番号 170
6. 神島六日祭



図 7-173 整理番号 173
27. 神島



図 7-177 整理番号 177
27. 神島



図 7-174 整理番号 174
27. 神島



図 7-178 整理番号 178
27. 神島



図 7-179 整理番号 179
27. 神島



図 7-180 整理番号 180
27. 神島



図 7-181 整理番号 181
27. 神島



図 7-182 整理番号 182
27. 神島



図 7-183 整理番号 183
27. 神島



図 7-184 整理番号 184
27. 神島



図 7-185 整理番号 185
27. 神島



図 7-186 整理番号 186
27. 神島



図 7-187 整理番号 187
27. 神島



図 7-188 整理番号 188
27. 神島



図 7-189 整理番号 189
27. 神島



図 7-190 整理番号 190
27. 神島



図 7-194 整理番号 194
27. 神島



図 7-198 整理番号 198
27. 神島



図 7-191 整理番号 191
27. 神島



図 7-195 整理番号 195
27. 神島



図 7-199 整理番号 199
27. 神島



図 7-192 整理番号 192
27. 神島



図 7-200 整理番号 200
27. 神島



図 7-193 整理番号 193
27. 神島



図 7-196 整理番号 196
27. 神島



図 7-201 整理番号 201
27. 神島



図 7-197 整理番号 197
27. 神島



図 7-202 整理番号 202
27. 神島



図 7-203 整理番号 203
27. 神島



図 7-208 整理番号 208
27. 神島



図 7-213 整理番号 213
27. 神島



図 7-204 整理番号 204
27. 神島



図 7-209 整理番号 209
27. 神島



図 7-214 整理番号 214
27. 神島



図 7-205 整理番号 205
27. 神島



図 7-210 整理番号 210
27. 神島



図 7-206 整理番号 206
27. 神島



図 7-211 整理番号 211
27. 神島



図 7-215 整理番号 215
27. 神島



図 7-207 整理番号 207
27. 神島



図 7-212 整理番号 212
27. 神島



図 7-216 整理番号 216
27. 神島



図 7-217 整理番号 217
27. 神島



図 7-218 整理番号 218
27. 神島



図 7-219 整理番号 219
28. 神島 2



図 7-220 整理番号 220
28. 神島 2



図 7-221 整理番号 221
28. 神島 2



図 7-222 整理番号 222
28. 神島 2



図 7-223 整理番号 223
28. 神島 2



図 7-224 整理番号 224
28. 神島 2



図 7-225 整理番号 225
28. 神島 2



図 7-226 整理番号 226
28. 神島 2



図 7-227 整理番号 227
28. 神島 2



図 7-228 整理番号 228
28. 神島 2

3) 鳥羽デジタルアーカイブス資料



図 7-229 整理番号 229
鳥羽・神島村の一部



図 7-230 整理番号 230
神島町の乗合海女の
のせのせ 15



図 7-231 整理番号 231
神島漁港



図 7-232 整理番号 232
神島開発総合センター完成 2



図 7-233 整理番号 233
鳥羽市神島村の集落景観 1



図 7-234 整理番号 234
鳥羽市神島村の集落景観 2

表 7 菅島の調査対象料一覧

整理番号	アーカイブズ資料名	写真番号 ページ数	年代の記述	年代												シーン		
				昭和 元年代	昭和 10年代	昭和 20年代	昭和 30年代	昭和 40年代	昭和 50年代	昭和 60年代	平成 元年代	平成 10年代	平成 20年代	不明	全体 写真	部分 写真		
海の博物館所蔵資料 海女アーカイブ																		
1	神島ゴクアゲ(御供上げ)1-1	361	\$62.06.11										1					1
2	神島ゴクアゲ(御供上げ)1-11	371	\$62.06.11										1					1
3	神島ゴクアゲ(御供上げ)1-13	373	\$62.06.11										1					1
4	神島ゴクアゲ(御供上げ)2-8	382	\$62.06.11										1					1
5	神島ゴクアゲ(御供上げ)4-5	399	\$62.06.11										1					1
6	神島ゴクアゲ(御供上げ)5-5	412	\$62.06.11										1					1
7	神島ゴクアゲ(御供上げ)5-7	414	\$62.06.11										1					1
8	神島ゴクアゲ(御供上げ)10-10	484	\$62.06.11										1					1
9	神島ゲーター祭1-1	505	(不明)														1	1
10	神島ゲーター祭1-2	506	(不明)														1	1
11	神島ゲーター祭1-6	510	(不明)														1	1
12	神島ゲーター祭1-7	511	(不明)														1	1
13	神島ゲーター祭1-9	513	(不明)														1	1
14	神島ゲーター祭2-2	515	(不明)														1	1
15	神島ゲーター祭2-4	517	(不明)														1	1
16	神島ゲーター祭2-5	518	(不明)														1	1
17	神島ゲーター祭3-13	532	(不明)														1	1
18	神島ゲーター祭(神島の景観)6-1	568	\$61.12.8										1					1
19	神島ゲーター祭(神島の景観)6-3	570	\$61.12.8										1				1	1
20	神島ゲーター祭(神島の景観)6-6	573	(S61/12/08)										1					1
21	神島ゲーター祭(神島の景観)7-1	574	(S62/01/07)										1					1
22	神島ゲーター祭(神島の景観)7-3	576	(S62/01/07)										1				1	1
23	神島ゲーター祭(神島の景観)7-5	578	(S62/01/07)										1					1
24	神島ゲーター祭(神島の景観)7-6	579	(S62/01/07)										1					1
25	神島ゲーター祭(富持家集合)1-2	582	(H1/12/31)										1					1
26	神島ゲーター祭(富持家集合)1-3	583	(H1/12/31)										1					1
27	神島ゲーター祭(アワ・浜へ出発)4-2	620	(H2/01/01)										1					1
28	神島ゲーター祭(神島アワつくり1-2)6-4	657	(H1/12/31)										1					1
29	神島ゲーター祭(薬師さんの開扉)10-8	692	(H2/01/01)										1					1
30	神島ゲーター祭(舟玉しんぜ)13-3	721	(H1/12/31)										1					1
31	神島ゲーター祭(舟玉しんぜ)14-3	731	(H1/12/31)										1					1
32	神島ゲーター祭(舟玉しんぜ)14-11	739	(H1/12/31)										1					1
33	神島ゲーター祭(神島)16-5	767	(H1/12/31)										1				1	1
34	神島ゲーター祭(神島)16-9	771	(H1/12/31)										1					1
35	神島ゲーター祭(神島大漁旗)17-12	783	(H1/12/31)										1					1
36	神島ゲーター祭(日向の神事)18-1	784	(H1/12/31)										1					1
37	神島ゲーター祭(日向の神事)18-3	786	(H1/12/31)										1					1
38	神島A-7-7	1944	昭和47年8月4日										1					1
39	神島A-7-9	1946	昭和47年8月4日										1					1
40	神島A-8-3	1959	昭和47年8月4日										1					1
41	神島A-8-6	1962	昭和47年8月4日										1					1
42	神島A-8-8	1964	昭和47年8月4日										1					1
43	神島A-8-9	1965	昭和47年8月4日										1					1
44	神島A-8-10	1966	昭和47年8月4日										1					1
45	神島A-8-12	1969	昭和47年8月4日										1					1
46	神島A-8-15	1971	昭和47年8月4日										1					1
47	神島A-8-17	1973	昭和47年8月4日										1					1
48	神島A-8-18	1974	昭和47年8月4日										1					1
49	神島 灯台・風俗A-9-1	1975	昭和47年8月4日										1					1
50	神島 灯台・風俗A-9-13	1987	昭和47年8月5日										1					1
51	神島 灯台・風俗A-9-14	1988	昭和47年8月4日										1					1
52	神島 灯台・風俗A-9-15	1989	昭和47年8月4日										1					1
53	神島 灯台・風俗A-9-17	1991	昭和47年8月4日										1					1
54	神島A-10-2	1993	昭和47年8月4日										1					1
55	神島A-10-3	1994	昭和47年8月4日										1					1
56	神島A-10-4	1995	昭和47年8月4日										1					1
57	神島A-10-5	1996	昭和47年8月4日										1					1
58	神島A-10-6	1997	昭和47年8月4日										1					1
59	神島A-10-7	1998	昭和47年8月4日										1					1
60	神島A-10-8	1999	昭和47年8月4日										1					1
61	神島A-10-11	2002	昭和47年8月4日										1					1
62	神島A-11-6	2012	昭和47年8月4日										1					1
63	神島A-11-11	2017	昭和47年8月4日										1					1
64	神島A-11-16	2022	昭和47年8月4日										1					1
65	神島A-11-17	2023	昭和47年8月4日										1					1
66	神島A-12-5	2028	昭和47年8月4日										1					1
67	神島A-12-15	2038	昭和47年8月4日										1					1
68	神島A-13-1	2039	昭和47年8月4日										1					1
69	神島A-13-3	2041	昭和47年8月4日										1					1
70	神島A-13-4	2042	昭和47年8月4日										1					1
71	神島A-13-5	2043	昭和47年8月4日										1					1
72	神島A-13-6	2044	昭和47年8月4日										1					1
73	神島A-13-9	2047	昭和47年8月4日										1					1
74	神島A-13-10	2048	昭和47年8月4日										1					1

整理番号	アーカイブス資料名	写真番号 ページ数	年代の記述	年代												シーン		
				昭和 元年代	昭和 10年代	昭和 20年代	昭和 30年代	昭和 40年代	昭和 50年代	昭和 60年代	平成 元年代	平成 10年代	平成 20年代	不明	全体 写真	部分 写真		
75	神島A-13-12	2050	昭和47年8月4日					1									1	
76	神島A-13-13	2051	昭和47年8月4日					1									1	
77	神島A-13-14	2052	昭和47年8月4日					1									1	
78	神島A-14-2	2054	昭和47年8月4日					1										1
79	神島A-14-6	2058	昭和47年8月4日					1									1	
80	神島A-14-10	2062	昭和47年8月4日					1									1	
81	神島A-14-11	2063	昭和47年8月4日					1									1	
82	神島A-14-18	2070	昭和47年8月4日					1										1
83	神島A-14-19	2071	昭和47年8月4日					1										1
84	神島ヤリマシヨ舟	3744	昭和61年12月8日										1					1
85	神島ヤリマシヨ舟	3754	昭和61年12月8日										1					1
86	神島ヤリマシヨ舟	3755	昭和61年12月8日										1					1
87	神島ヤリマシヨ舟	3756	昭和61年12月8日										1					1
88	神島ヤリマシヨ舟	3763	昭和61年12月8日										1					1
海の博物館所蔵資料 海女アーカイブ以外																		
89	10018912① (栗原①)	DH000194	昭和49年					1										1
90	10018912① (栗原①)	DH000195	昭和49年					1										1
91	10018912① (栗原①)	DH000198	昭和49年					1										1
92	10018912② (栗原②)	DH000002	昭和49年					1										1
93	10018912② (栗原②)	DH000003	昭和49年					1										1
94	10018912② (栗原②)	DH000004	昭和49年					1										1
95	10018912② (栗原②)	DH000005	昭和49年					1										1
96	10018912② (栗原②)	DH000006	昭和49年					1										1
97	10018912② (栗原②)	DH000012	昭和49年					1										1
98	10018912② (栗原②)	DH000013	昭和49年					1										1
99	10018912② (栗原②)	DH000016	昭和49年					1										1
100	10018912② (栗原②)	DH000017	昭和49年					1										1
101	10018912② (栗原②)	DH000018	昭和49年					1										1
102	10018912② (栗原②)	DH000028	昭和49年					1										1
103	10018912② (栗原②)	DH000029	昭和49年					1										1
104	10018912② (栗原②)	DH000030	昭和49年					1										1
105	10018912② (栗原②)	DH000031	昭和49年					1										1
106	10018912② (栗原②)	DH000033	昭和49年					1										1
107	10018912② (栗原②)	DH000034	昭和49年					1										1
108	10018912② (栗原②)	DH000035	昭和49年					1										1
109	10018912② (栗原②)	DH000038	昭和49年					1										1
110	10018912② (栗原②)	DH000039	昭和49年					1										1
111	10018911② (神島ヤリマシヨブネ1)	DH000007	昭和61年12月8日										1					1
112	10018911② (神島ヤリマシヨブネ1)	DH000009	昭和61年12月8日										1					1
113	10018911② (神島ヤリマシヨブネ1)	DH000012	昭和61年12月8日										1					1
114	10018911② (神島ヤリマシヨブネ1)	DH000014	昭和61年12月8日										1					1
115	10018911② (神島ヤリマシヨブネ1)	DH000015	昭和61年12月8日										1					1
116	10018911② (神島ヤリマシヨブネ1)	DH000019	昭和61年12月8日										1					1
117	10018911② (神島ヤリマシヨブネ1)	DH000049	DEC-86 (一連の写真)										1					1
118	10018911② (神島ヤリマシヨブネ1)	DH000051	DEC-86 (一連の写真)										1					1
119	10018911② (神島ヤリマシヨブネ1)	DH000053	DEC-86 (一連の写真)										1					1
120	10018911② (神島ヤリマシヨブネ1)	DH000054	DEC-86 (一連の写真)										1					1
121	10018911② (神島ヤリマシヨブネ1)	DH000055	DEC-86 (一連の写真)										1					1
122	10018911② (神島ヤリマシヨブネ1)	DH000056	DEC-86 (一連の写真)										1					1
123	10018911② (神島ヤリマシヨブネ1)	DH000057	DEC-86 (一連の写真)										1					1
124	10018911② (神島ヤリマシヨブネ1)	DH000058	昭和61年12月8日										1					1
125	10018911② (神島ヤリマシヨブネ1)	DH000061	昭和61年12月8日										1					1
126	10018911② (神島ヤリマシヨブネ1)	DH000067	昭和61年12月8日										1					1
127	10018911③ (神島ヤリマシヨブネ2)	DH000015	DEC-86 (一連の写真)										1					1
128	10018911③ (神島ヤリマシヨブネ2)	DH000042	昭和61年12月8日										1					1
129	10018911③ (神島ヤリマシヨブネ2)	DH000047	(一連の写真)										1					1
130	10018911③ (神島ヤリマシヨブネ2)	DH000049	DEC-86 (一連の写真)										1					1
131	10018911③ (神島ヤリマシヨブネ2)	DH000051	DEC-86 (一連の写真)										1					1
132	10018911③ (神島ヤリマシヨブネ2)	DH000052	DEC-86 (一連の写真)										1					1
133	10018911③ (神島ヤリマシヨブネ2)	DH000056	DEC-86 (一連の写真)										1					1
134	10018911③ (神島ヤリマシヨブネ2)	DH000057	DEC-86 (一連の写真)										1					1
135	10018911③ (神島ヤリマシヨブネ2)	DH000062	DEC-86 (一連の写真)										1					1
136	10018911③ (神島ヤリマシヨブネ2)	DH000068	DEC-86 (一連の写真)										1					1
137	10018911③ (神島ヤリマシヨブネ2)	DH000069	DEC-86 (一連の写真)										1					1
138	10018911③ (神島ヤリマシヨブネ2)	DH000070	DEC-86 (一連の写真)										1					1
139	10018911③ (神島ヤリマシヨブネ2)	DH000071	DEC-86 (一連の写真)										1					1
140	10018911③ (神島ヤリマシヨブネ2)	DH000073	DEC-86 (一連の写真)										1					1
141	10018911③ (神島ヤリマシヨブネ2)	DH000074	DEC-86 (一連の写真)										1					1
142	10018911③ (神島ヤリマシヨブネ2)	DH000078	DEC-86 (一連の写真)										1					1
143	10018911③ (神島ヤリマシヨブネ2)	DH000080	DEC-86 (一連の写真)										1					1
144	10018911③ (神島ヤリマシヨブネ2)	DH000083	DEC-86 (一連の写真)										1					1
145	10018911③ (神島ヤリマシヨブネ2)	DH000084	DEC-86 (一連の写真)										1					1
146	10018911③ (神島ヤリマシヨブネ2)	DH000093	DEC-86 (一連の写真)										1					1
147	10018911③ (神島ヤリマシヨブネ2)	DH000099	DEC-86 (一連の写真)										1					1
148	10018911③ (神島ヤリマシヨブネ2)	DH000138	DEC-86 (一連の写真)										1					1
149	10018911③ (神島ヤリマシヨブネ2)	DH000141	DEC-86 (一連の写真)										1					1
150	10018911③ (神島ヤリマシヨブネ2)	DH000142	DEC-86 (一連の写真)										1					1
151	10018911③ (神島ヤリマシヨブネ2)	DH000143	DEC-86 (一連の写真)										1					1

整理番号	アーカイブス資料名	写真番号 ページ数	年代の記述	年代												シーン		
				昭和 元年代	昭和 10年代	昭和 20年代	昭和 30年代	昭和 40年代	昭和 50年代	昭和 60年代	平成 元年代	平成 10年代	平成 20年代	不明	全体 写真	部分 写真		
152	10018911③ (神島ヤリマシヨブネ2)	DH000145	DEC-86 (一連の写真)										1					1
153	6.神島六日祭	A03571	平成2年1月6日										1					1
154	6.神島六日祭	A03626	平成2年1月6日										1				1	1
155	6.神島六日祭	A03630	平成2年1月6日										1					1
156	6.神島六日祭	A03645	平成2年1月6日										1					1
157	6.神島六日祭	A03659	平成2年1月6日										1					1
158	6.神島六日祭	A03671	平成2年1月6日										1					1
159	6.神島六日祭	A03674	平成2年1月6日										1					1
160	6.神島六日祭	A03683	平成2年1月6日										1				1	1
161	6.神島六日祭	A03684	平成2年1月6日										1					1
162	6.神島六日祭	A03685	平成2年1月6日										1					1
163	6.神島六日祭	A03688	平成2年1月6日										1					1
164	6.神島六日祭	A03689	平成2年1月6日										1					1
165	6.神島六日祭	A03698	平成2年1月6日										1					1
166	6.神島六日祭	A03718	平成2年1月6日										1					1
167	6.神島六日祭	A03720	平成2年1月6日										1					1
168	6.神島六日祭	A03721	平成2年1月6日										1					1
169	6.神島六日祭	A03727	平成2年1月6日										1					1
170	6.神島六日祭	A03730	平成2年1月6日										1					1
171	6.神島六日祭	A03732	平成2年1月6日										1					1
172	27.神島	A15487	昭和48年8月4日							1								1
173	27.神島	A15490	昭和48年8月4日							1								1
174	27.神島	A15491	昭和48年8月4日							1								1
175	27.神島	A15492	昭和48年8月4日							1								1
176	27.神島	A15493	昭和48年8月4日							1								1
177	27.神島	A15495	昭和48年8月4日							1						1		1
178	27.神島	A15496	昭和48年8月4日							1								1
179	27.神島	A15497	昭和48年8月4日							1								1
180	27.神島	A15498	昭和48年8月4日							1						1		1
181	27.神島	A15499	昭和48年8月4日							1								1
182	27.神島	A15500	昭和48年8月4日							1								1
183	27.神島	A15501	昭和48年8月4日							1								1
184	27.神島	A15502	昭和48年8月4日							1								1
185	27.神島	A15503	昭和48年8月4日							1								1
186	27.神島	A15504	昭和48年8月4日							1								1
187	27.神島	A15505	昭和48年8月4日							1								1
188	27.神島	A15506	昭和48年8月4日							1								1
189	27.神島	A15514	昭和48年8月4日							1							1	1
190	27.神島	A15516	昭和48年8月4日							1								1
191	27.神島	A15517	昭和48年8月4日							1								1
192	27.神島	A15519	昭和48年8月4日							1								1
193	27.神島	A15521	昭和48年8月4日							1								1
194	27.神島	A15522	昭和48年8月4日							1								1
195	27.神島	A15523	昭和48年8月4日							1								1
196	27.神島	A15524	昭和48年8月4日							1							1	1
197	27.神島	A15527	昭和48年8月4日							1								1
198	27.神島	A15528	昭和48年8月4日							1								1
199	27.神島	A15529	昭和48年8月4日							1								1
200	27.神島	A15530	昭和48年8月4日							1								1
201	27.神島	A15531	昭和48年8月4日							1								1
202	27.神島	A15532	昭和48年8月4日							1								1
203	27.神島	A15533	昭和48年8月4日							1								1
204	27.神島	A15534	昭和48年8月4日							1								1
205	27.神島	A15539	昭和48年8月4日							1								1
206	27.神島	A15540	昭和48年8月4日							1								1
207	27.神島	A15548	昭和48年8月4日							1								1
208	27.神島	A15549	昭和48年8月4日							1								1
209	27.神島	A15577	昭和61年12月8日										1					1
210	27.神島	A15579	昭和61年12月8日										1					1
211	27.神島	A15583	昭和61年12月8日										1					1
212	27.神島	A15584	昭和61年12月8日										1					1
213	27.神島	A15585	昭和61年12月8日										1					1
214	27.神島	A15591	昭和61年12月8日										1					1
215	27.神島	A15604	昭和62年11月16日										1					1
216	27.神島	A15606	昭和62年11月16日										1					1
217	27.神島	A15615	昭和62年11月16日										1					1
218	27.神島	A15616	昭和62年11月16日										1					1
219	28.神島2	A15629	昭和63年12月31日										1					1
220	28.神島2	A15630	昭和63年12月31日										1					1
221	28.神島2	A15714	平成1年8月10日										1					1
222	28.神島2	A15718	平成1年8月10日										1					1
223	28.神島2	A15719	平成1年8月10日										1					1
224	28.神島2	A15721	平成1年8月10日										1					1
225	28.神島2	A15726	平成1年8月10日										1					1
226	28.神島2	A15730	平成1年8月10日										1					1
227	28.神島2	A15731	平成1年8月10日										1				1	1
228	28.神島2	A15734	平成1年8月10日										1					1

整理番号	アーカイブス資料名	写真番号 ページ数	年代の記述	年代											シーン			
				昭和 元年代	昭和 10年代	昭和 20年代	昭和 30年代	昭和 40年代	昭和 50年代	昭和 60年代	平成 元年代	平成 10年代	平成 20年代	不明	全体 写真	部分 写真		
鳥羽デジタルアーカイブス資料																		
229	鳥羽・神島村の一部	115	昭和初期	1												1		
230	神島町の乗合海女・のせのせ15	194	平成25年8月4日											1		1		
231	神島漁港	2666	昭和3年10月	1													1	
232	神島開発総合センター完成2	2901	昭和53年6月						1								1	
233	鳥羽市神島村の集落景観1	3162	昭和30年初頭				1										1	
234	鳥羽市神島村の集落景観2	3163	昭和30年初頭				1										1	
			総計	昭和 元年代	昭和 10年代	昭和 20年代	昭和 30年代	昭和 40年代	昭和 50年代	昭和 60年代	平成 元年代	平成 10年代	平成 20年代	不明	全体 写真	部分 写真		
				2	0	0	2	105	1	74	40	0	1	9	60	174		
				年代が確定したもの											225	総数	234	234

